

ユーザ マニュアル

UD.6L0202D2172A01 Made in China

<u>ユーザ マニュアル</u>

COPYRIGHT © 2015 Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd.

ALL RIGHTS RESERVED.

文章、画像、図表を含むすべての情報は、Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd. また はその子会社(以下、「Hikvision」とする)の所有するものとします。本ユーザ マニュアル (以下、「本マニュアル」とする)は、Hikvisionの事前の書面による許可なく、部分的または 全体的にかかわらず再生産、変更、翻訳または配布できないものとします。それ以外規定さ れていない場合、Hikvision は明示的にしろ黙示的にしろ本マニュアルに関して一切の補償、 保証または表明を行わないものとします。

本マニュアルについて

このマニュアルは iVMS-4200 クライアント ソフトウェア向けです。

本マニュアルには製品の使用および管理についての指示が含まれています。ここに記載され ている写真、表、画像およびその他すべての情報は説明だけを目的としています。本マニュ アルに含まれる情報は、ファームウェア更新やその他の理由で通知なく変更されるものとし ます。最新版は企業ウェブサイト(<u>http://overseas.hikvision.com/en/</u>)でご確認ください。 プロの指導の下で本ユーザ マニュアルをご利用ください。

商標に関する確認

HIKVISIONおよびその他 Hikvision の商標およびロゴは、さまざまな裁判管轄地域に おいても Hikvision の所有物です。以下に示されたその他の商標およびロゴは、各権利保有者 の所有物です。

免責事項

適用法により許容される範囲内で、記載の製品とそのハードウェア、ソフトウェアおよびフ アームウェアは、あらゆる誤謬やエラーを含め、そのままの形で提供されるものとし、 HIKVISION では明示黙示を問わず一切の保証(商品性、十分な品質、特定の目的の適合性およ び第三者の権利非侵害を含むがそれだけに限定されない)を行いません。HIKVISION およびそ の取締役、役員、従業員または代理人は、たとえ HIKVISION がこのような損害に関して忠告 を受けていても、本製品に関連する事業利益の損失や事業妨害、データや書類の損失に関す る損害を含む特別、必然、偶発または間接的な損害に対して一切の責任を負いません。 インターネット アクセスを伴う製品に関して、当該製品の一切の使用はお客様自身の責任に よるものとします。HIKVISION は、異常操作、プライバシー漏えいまたはサイバー攻撃、ハッ キング、ウィルス検査やその他のセキュリティリスクから生じるその他の損害に対して一切 の責任を負わないものとします。ただし、必要に応じて HIKVISION は適宜技術サポートを提 供します。

監視に関する法律は裁判管轄地域によって異なります。本製品のご使用前に、使用地の裁判 管轄地域におけるすべての関連法を確認して、必ず適用法に準拠するかたちで使用してくだ さい。本製品が不正な目的で使用された場合に、HIKVISION は責任を負わないものとします。 本マニュアルと適用法における矛盾がある場合については、より新しいほうを優先します。

目次

第1章	概要		9
1.1	説明		9
1.2	動作環	境	9
1.3	機能モ	ジュール	10
1.4	更新の	内容	12
第 2 章	ライブ	ビュー	14
2.1	ユーザ	登録とログイン	14
2.2	デバイ	スの追加	15
	2.2.1	パスワードの作成	16
	2.2.2	オンライン デバイスの追加	18
	2.2.3	デバイスの手動追加	21
	2.2.4	IP セグメントによるデバイスの追加	22
	2.2.5	IP サーバによるデバイスの追加	23
	2.2.6	HiDDNS によるデバイスの追加	24
	2.2.7	デバイスの一括追加	25
	2.2.8	エンコーディング デバイスの QR コード	27
2.3	グルー	プ管理	28
2.4	ライブ	ビューでの基本操作	31
	2.4.1	ライブ ビューの開始と停止	34
	2.4.2	ライブ ビューでのオート スイッチ	36
	2.4.3	ライブ ビューでの PTZ 操作	37
	2.4.4	手動録画とキャプチャ	40
	2.4.5	インスタント再生	43
	2.4.6	カスタム ウィンドウ分割	45
	2.4.7	フィッシュアイ ライブ ビュー モード:	46
	2.4.8	スピード ドーム リンクの開始	49
	2.4.9	ライブ ビューのその他の機能	50
第3章	リモー	ト ストレージ スケジュール設定および再生	52
3.1	リモー	ト ストレージ	52
	3.1.1	DVR、NVR またはネットワーク カメラのストレージ デバイスへの保存	، 52
	3.1.2	ストレージ デバイスへの保存	55
3.2	リモー	ト再生	58
	3.2.1	通常再生	59
	3.2.2	イベント再生	63
	3.2.3	ATM 再生	65
	3.2.4	同期再生	66
	3.2.5	VCA 冉生	67
	3.2.6	フィッシュアイ冉生	68
第4章	イベン	ト 官 埋	70
4.1	動体検 .、	知アラームの設定	70
4.2	ビデオ	+渉アラームの検知 - / ◇== ☆	73
4.3	PIRア	フームの設定	75

	4.4	ビデオ損失アラームの検知	76
	4.5	音声異常アラームの設定	77
	4.6	焦点逸脱検知アラームの設定	78
	4.7	顔検出アラームの設定	79
	4.8	ライン横断検知アラームの設定	81
	4.9	侵入検知アラームの設定	82
	4.10	シーン変化アラームの設定	84
	4.11	VCA 検知アラームの設定	85
	4.12	領域進入検知	86
	4.13	領域退出検知	88
	4.14	徘徊検知	89
	4.15	高速移動検知	91
	4.16	人物集合検知	92
	4.17	駐車検知	94
	4.18	放置荷物検知	96
	4.19	物体除去検知	97
	4.20	アラーム入力リンクの設定	99
	4.21	デバイス異常リンクの設定	. 100
	4.22	ゾーン イベント リンク設定	. 101
	4.23	アラームおよびイベント情報の表示	. 102
第	5 章	E マップ管理	. 106
	5.1	E マップの追加	. 106
	5.2	ホット スポット機能	. 108
		5.2.1 ホット スポットの追加	. 108
		5.2.2 ホット スポットの編集	. 110
		5.2.3 ホット スポットのプレビュー	. 110
	5.3	ホット リージョン機能	. 111
		5.3.1 ホット リージョンの追加	. 111
		5.3.2 ホット リージョンの編集	. 112
		5.3.3 ホット リージョンのプレビュー	. 113
第	6 章	EZVIZ クラウド P2P	. 114
	6.1	EZVIZ クラウド P2P アカウントの登録	. 114
	6.2	EZVIZ クラウド P2P アカウントへのログイン	. 115
	6.3	デバイス管理	. 115
第	7 章	VCA デバイス管理	. 117
第	8 章	トランスコーダ管理	.120
	8.1	エンコーディング デバイスのトランスコーダへの追加	.120
		8.1.1 トランスコーダのクライアント ソフトウェアへの追加	. 120
		8.1.2 エンコーディング デバイスのトランスコーダへのインポート	.121
	8.2	トランスコーディッド ストリーム パラメータの設定	. 122
	8.3	トランスコーディッド ストリームの操作	.123
第	9 章	ストリーム メディア サーバを経由したビデオ ストリームの転送	. 125
	9.1	ストリーム メディア サーバの追加	. 125
	9.2	ビデオ ストリーム転送のためのストリーム メディア サーバへのカメラ追加	.126

第	10 章	ビデオ	ウォール上でのビデオのデコーディングと表示	128
	10.1	エンコ	ーディング デバイスの追加	128
	10.2	デコー	ディング デバイスの追加	130
	10.3	ビデオ	ウォールの設定	131
	1	0.3.1	ビデオ ウォールへのデコーディング出力のリンク	132
	1	.0.3.2	マルチ スクリーン表示	133
	1	0.3.3	背景設定	134
	1	0.3.4	バーチャル LED の設定	135
	10.4	ビデオ	ウォール上でのビデオ表示	136
	1	0.4.1	デコーディングと表示	136
	1	0.4.2	ウィンドウ化および浮動化設定	138
	1	.0.4.3	再生設定	140
	1	0.4.4	周期的デコーディングの設定	141
	10.5	ビデオ	ウォール コントローラの設定	141
	1	0.5.1	ビデオ ウォール コントローラの追加	142
	1	.0.5.2	ビデオ ウォールへの出力のリンク	142
	1	0.5.3	バーチャル LED の設定	143
	1	0.5.4	ビデオ ウォール画面の設定	144
	1	0.5.5	ビデオ ウォール上でのビデオ表示	145
	1	0.5.6	プランの設定	146
第	11 章	セキュ	リティ コントロール パネル	148
	11.1	デバイ	ス管理	148
	1	1.1.1	セキュリティ コントロール パネルの追加	148
	1	1.1.2	セキュリティ コントロール パネルの編集	149
	1	1.1.3	セキュリティ コントロール パネルの削除	150
	11.2	リモー	ト操作	150
	1	1.2.1	パーティション システム リモート操作	151
	1	1.2.2	ゾーン リモート操作	152
第	12 章	ビデオ	インターコム	154
	12.1	デバイ	ス管理	154
	12.2	リモー	ト設定	156
	1	2.2.1	システム	157
	1	2.2.2	ビデオ インターコム	160
	1	2.2.3	ネットワーク	165
	1	2.2.4	ビデオ表示	167
	12.3	ライブ	ビュー	167
	12.4	画像ス	トレージ	168
	12.5	インタ	ーコム	168
	1	2.5.1	インドア ステーション経由の iVMS-4200 とのビデオ インターコム	169
	1	2.5.2	iVMS-4200 経由のインドア ステーションとのビデオ インターコム	170
	1	2.5.3	ドア ステーション経由の iVMS-4200 とのビデオ インターコム	172
	1	2.5.4	コール ログ	172
	12.6	グルー	プ管理	173
	12.7	カード	管理	176

1	.2.7.1	カード追加	176
1	2.7.2	カード発行	177
1	2.7.3	未承認カードの一括インポート:	
1	.2.7.4	未承認カードの一括エクスポート:	
12.8	通知管	理	182
1	2.8.1	通知情報の作成	
1	2.8.2	通知情報の照会	
1	2.8.3	コール ログの照会	
1	2.8.4	アンロック ログの照会	
12.9	デバイ	ス監視状態制御	
第 13 章	ログ管	理理	
第 14 章	アカウ	ント管理とシステム設定	
14.1	アカウ	ント管理	
14.2	システ	ム設定	
1	4.2.1	一般設定	192
1	4.2.2	画像設定	194
1	4.2.3	ファイル保存先パス設定	195
1	4.2.4	キーボードおよびジョイスティック ショートカット設定	
1	4.2.5	アラーム音設定	
1	4.2.6	メール設定	197
1	4.2.7	ビデオ インターコム設定	197
第 15 章	統計…		199
15.1	ヒート	マップ	199
15.2	人数力	ウント統計	201
15.3	カウン	ト統計	203
15.4	道路交	通量	205
15.5	顏抽出		207
15.6	ナンバ	ー プレート抽出	208
15.7	行動解	析	210
15.8	顔キャ	プチャー	211
第 16 章	ウェブ	ブラウジング	213
16.1	ログイ	ン	213
16.2	デバイ	ス管理	214
1	.6.2.1	エンコーディング デバイスの追加	214
1	.6.2.2	デバイスのグループへのインポート	218
16.3	ライブ	ビュー	219
1	.6.3.1	ライブ ビューの開始	220
1	.6.3.2	PTZ 操作機能	221
1	.6.3.3	ビデオ設定機能	223
16.4	再生		223
1	.6.4.1	ビデオ ファイルの検索	224
1	.6.4.2	ビデオ ファイルの再生	225
16.5	アカウ	ント管理	226
1	6.5.1	ユーザの追加	

ザ管理22	.2 ユーザ管語	ユーザ管理		
22	[,] ステム設定	マテム設定	6.	1
グ22	ューティング	ーティング	Ĵ,	トラフ

第1章 概要

1.1 説明

iVMS-4200 は DVR、NVR、IP カメラ、エンコーダ、デコーダ、VCA デバイス、セキュリティ コ ントロール パネル、ビデオ インターコム デバイスなどのための、多目的ビデオ管理ソフト ウェアです。接続された機器による監視業務の要求に応えるための、リアルタイム ライブ ビ ュー、ビデオ録画、リモート検索や再生、ファイル バックアップ、アラーム受信など、複数 の機能を備えています。柔軟な分散型の構造と簡単な操作により、クライアント ソフトウェ アは中小の規模の監視プロジェクトに幅広く適用されています。

このユーザ マニュアルでは、iVMS-4200 ソフトウェアの機能、設定、および操作手順につい て説明します。ソフトウェアの適正な利用と安定性を確保するために、設置と操作の前に、 以降の内容を参照し、マニュアルを注意深く読んでください。

1.2 動作環境

オペレーティング システム:Microsoft Windows 7 / Windows Server 2008 (32 ビットまたは 64 ビット)、Windows XP / Windows 2003 (32 ビット)、Windows 8 / Windows 8.1 / Windows Server 2012 / Windows 10 (64 ビット) CPU:Intel Pentium IV 3.0 GHz またはそれ以上 メモリ:1G またはそれ以上 ビデオカード:RADEON X 700 シリーズまたはそれ以上 GPU:256MB またはそれ以上 注意:

- 高い安定性と、良好なパフォーマンスのために、上記のシステム要件を満たす必要があります。
- ソフトウェアは 64 ビットのオペレーティング システムをサポートしていません; 上述の 64 ビット オペレーティング システムは、システムが 32 ビット アプリケーション もサポートしているもののことを指します。

1.3 機能モジュール

iVMS-4200 のコントロール パネル:

: System View Tool Help	💩 iVMS-4200	admin 11:01:49 🔒 🗕
Control Panel 🔂 Main View 😃	Security Control Panel 🙎 Account Management 🚪	Device Management
Operation and Control		
Main View Viewing Ive video, controlling PTZ functionality and setting image parameters.	Remote Playback Searching the record files and playback.	Video Wall Configuring and operating video wall functions.
E-map Adding, modifying, deleting, and basic operations of E-map.	Security Control Panel Controlling and monitoring the zone and partition of the security control panel.	Video Intercom Controlling and operating the video Intercom device.
	•••	
Maintenance and Management		
	Event Management	Storage Schedule
Device Management Adding, editing and deleting the devices and groups.	Configuring the alarm, exception parameters and the linkage actions for the devices.	Configuring the storage schedule and related parameters.

メニュー バー:

	画像ファイルを開く	ローカル PC に保存されたキャプチャ画像を検索、 表示します。		
		ローカル DC に録画されたビデオ ファイルを検索		
ファイル	ビデオ ファイルを開く			
		衣亦しまり。		
	ログ ファイルを開く	バックアップ ログ ファイルを表示します。		
	閉じる	iVMS-4200クライアント ソフトウェアを終了します。		
		スクリーン操作をロックします。アンロックするに		
	ロック	は再度クライアントにログインします。		
	ユーザーの切り替え	ログイン ユーザを切り替えます。		
システム	システム設定ファイルのイ	お使いのコンピュータからクライアント設定ファ		
	ンポート	イルをインポートします。		
	システム設定ファイルのエ	お使いのコンピュータからクライアント設定ファ		
	クスポート	イルをエクスポートします。		
	1024 * 700	1024 * 768 ピクセルのサイズでウィンドウを表示し		
	1024 * 768	ます。		
	1200 * 1021	1280 * 1024 ピクセルのサイズでウィンドウを表示		
	1280 * 1024	します。		
表示	1440 * 000	1440 * 900 ピクセルのサイズでウィンドウを表示し		
	1440 * 900	ます。		
	1690 * 1050	1680 * 1050 ピクセルのサイズでウィンドウを表示		
	1080 * 1050	します。		
	最大化	ウィンドウを最大表示します。		

	コントロール パネル	コントロール パネル インターフェイスに入ります。		
	メイン ビュー	メイン ビュー ページを開きます。		
	リモート再生	リモート再生ページを開きます。		
	ビデオ ウォール	ビデオ ウォール ページを開きます。		
	Eマップ	E マップ ページを開きます。		
	セキュリティ コントロール	セキュリティ コントロール パネル ページを開き		
	パネル	ます。		
	ビデオ インターコム	ビデオ インターコム ページを開きます。		
	AUX 画面のプレビュー	AUX 画面のプレビュー ウィンドウを開きます。		
	デバイス管理	デバイス管理ページを開きます。		
	イベント管理	イベント管理ページを開きます。		
	ストレージ スケジュール	ストレージ スケジュール ページを開きます。		
	アカウント管理	アカウント管理ページを開きます。		
	ログ検索	ログ検索ページを開きます。		
	システム設定	システム設定ページを開きます。		
<u>м</u> —Л.	ブロードキャスト	カメラを選択してブロードキャストを開始します。		
)_//	デバイス監視状態制御	デバイスの監視ステータスを設定します。		
	アラーム出力コントロール	アラーム出力をオン/オフにします。		
	ー 任 ワ イ パ ー 判 御	複数デバイスのワイパーを一括で作動または停止		
	יישונית ייזריקונ	します。		
	一括時刻同期	複数デバイスの時刻同期を一括で行います。		
	プレイヤー	ビデオ ファイルを再生するプレイヤーを開きます。		
	メッセージ キュー	送信されるメール メッセージの情報を表示します。		
	ウィザードを開く	クライアント設定のためのガイドを開きます。		
	ビデオ ウォール ウィザー	ビデオ ウォール設定のためのガイドを開きます。		
	ドを開く			
		クリックしてユーザ マニュアルを開きます; また		
ヘルプ	ユーザーマニュアル (F1)	はキーボードの F1 キーを押して、ユーザ マニュア		
		ルを開くこともできます。		
	製品について	クライアント ソフトウェアの基本的な情報を表示		
		します。 		
	言語	クライアント ソフトウェアの言語を選択し、設定を		
		有効にするためにソフトウェアをリブートします。		

iVMS-4200 クライアント ソフトウェアは以下の機能モジュールから構成されます:

メイン ビュー モジュールでは、ネットワーク カメラやビデオ エンコーダのライ ブ ビューや、画像のキャプチャ、録画、PTZ 操作といった基本機能の一部が提供されます。

- リモート再生モジュールでは、ビデオ ファイルの検索、再生、エクスポート機能を 提供されます。

ビデオ ウォール モジュールでは、デコーディング デバイスとビデオ ウォールの 管理およびビデオ ウォールへのデコードされたビデオの表示を行う機能が提供さ れます。

- Eマップ モジュールでは、Eマップ、アラーム入力、ホット リージョンとホット ス ポットの表示および管理ができます。
 - セキュリティ コントロール パネル モジュールでは、パーティションおよびゾーン の両方について、監視開始、監視解除、バイパス、グループ バイパスなどの操作が できます。

ビデオ インターコム モジュールでは、ビデオ インターコムに対し、インドア ス テーション経由で iVMS-4200 のグループ管理、カード管理、通知管理が提供されま す。

統計モジュールでは、ヒート マップ、人数カウント統計、カウント統計、道路交通 量、顔抽出、ナンバー プレート抽出、行動解析および顔検出統計機能が提供されま す。

- デバイス管理モジュールでは、異なるデバイスの追加、変更、削除と、管理目的で のデバイスのグループへのインポートが行えます。
- イベント管理モジュールでは、監視スケジュール、アラームのリンクおよびその他の異なるイベントについてのパラメータの設定が行えます。
- マンジェージ スケジュール モジュールでは、録画および撮影スケジュールの設定が 行えます。
- アカウント管理モジュールでは、ユーザ アカウントの追加、変更、削除と、異なる ユーザに対するそれぞれ異なる権限の付与が行えます。
- ログ検索モジュールでは、システム ログ ファイルの検索ができ、ログ ファイルは 異なる種別によってフィルタすることができます。

システム設定モジュールでは、一般的なパラメータ、ファイル保存パス、アラーム
 音およびその他のシステム設定が行えます。

機能モジュールは、コントロール パネル上のナビゲーション ボタンをクリックするか、[ビ ュー]または[ツール]メニューから機能モジュールを選択することで簡単にアクセスできます。

現在のユーザ、ネットワーク使用率、CPU使用率、メモリ使用率、時刻といった情報はメイン ページの右上で確認できます。

1.4 更新の内容

複数の新たにデザインされた機能が最新の iVMS-4200 クライアント ソフトウェアで提供されています。以下のコンテンツは、更新内容の概略を説明しています。

- セキュリティ コントロール パネル モジュールの追加
 セキュリティ コントロール パネル モジュールでは、セキュリティ コントロール パ
 ネルのリモート操作および設定ができます。
- ビデオ インターコム モジュールの追加
 ビデオ インターコム モジュールでは、ビデオ インターコム デバイスのリモート操作 および設定ができます。

- VCA 再生中の無関係なビデオのスキップをサポート
 VCA 再生中に無関係なビデオをスキップするよう設定すると、VCA の再生中は無関係な
 ビデオが再生されなくなりまうす。
- NVR デコード出力のサポート
 ビデオ ウォールの表示について、NVR デバイスによるデコード機能がサポートされました。ビデオ入力をリンクし、デコード デバイスを経由せずに、ビデオ ウォール上に表示することができます。デコード出力の解像度を変更することもできます。
 注意:この機能はデバイスがサポートしている必要があります。
- スマート H.264 および H.265 のサポート
 ライブ ビューと再生について、ソフトウェアが H.264+と H.265 ストリームをサポートしました。

第2章 ライブ ビュー

2.1 ユーザ登録とログイン

iVMS-4200 クライアント ソフトウェアを最初に使う際には、ログイン用にスーパー ユーザ を登録する必要があります。

注意:お使いの PC の 80 番ポートが他のサービスに利用されている場合、ダイアログ ボック スがポップアップします。ポート番号を他の数字に変更し、ソフトウェアが適正に動作する ようにしてください。

手順:

- スーパー ユーザ名とパスワードを入力します。ソフトウェアによって自動的にパスワード強度が判断されます。データ セキュリティを向上させるために、強力なパスワードを 使用するよう強くお勧めします。
- 2. パスワードを確認します。
- オプションとして、[自動ログインを有効化する]チェックボックスをチェックし、ソフト ウェアに自動ログインすることもできます。
- (登録)をクリックします。これで、ソフトウェアにスーパー ユーザとしてログインする ことができます。

ister Administator	×
er user before proceeding.	
Enable Auto-login	
Register Cancel	
	ister Administator r user before proceeding. Enable Auto-login Register Cancel



- ◆ ユーザ名には以下の文字を利用することはできません:/¥:*?"<>|.また、パスワードの長さは6文字未満にはできません。
- ◆ プライバシーのために、製品のセキュリティを向上できるように、パスワードをあ なた自身が決めたもの(大文字、小文字、数字と記号を含め、最低でも 8 文字以上) に変更することを強く推奨します。
- ◆ すべてのパスワードやその他のセキュリティの適切な設定は、設置者および/または エンドユーザの責任です。

登録後に iVMS-4200 を開いた場合、登録したユーザ名とパスワードでログインすることができます。

手順:

- 登録したユーザ名とパスワードを入力してください。
 注意:パスワードを忘れた場合、[パスワードを忘れた場合]をクリックし、ポップ アップ ウィンドウに表示される暗号化された文字列を記憶してください。販売店に連絡し、暗 号化された文字列を送って、パスワードをリセットできます。
- オプションとして、[自動ログインを有効化する]チェックボックスをチェックし、ソフト ウェアに自動ログインすることもできます。
- 3. **[ログイン]**をクリックします。

	Log	in	×
.	admin Enable Auto-lo	gin	~
Forgot Passv	vord	Login	Cancel

クライアント ソフトウェアを実行すると、ウィザードがポップアップし、デバイスの追加と 基本的な設定を行うためのガイドを提供します。ウィザードによる設定の詳細については iVMS-4200 クイック スタート ガイドを参照してください。

2.2 デバイスの追加

目的:

iVMS-4200 を実行し、ネットワーク カメラ、エンコーダ、デコーダ、DVR、NVR、セキュリ ティ コントロール パネル、ビデオ インターコム デバイスなどのデバイスは、クライアン トに追加することで、ライブ ビュー、再生、アラーム設定などのリモート設定や管理を行う ことができます。

以下の手順を実行し、デバイス追加インターフェイスに入ってください。 **手順**:

- コントロール パネル上の アイコンをクリックするか、[ツール]->[デバイス管理]を クリックしてデバイス管理 ページを開きます。
- 2. **[サーバ]**タブをクリックします。
- [エンコーディング デバイス/屋外デバイス]をクリックし、エンコーディング デバイス/ 屋外デバイス追加インターフェイスに入ります。
 注意:ここでは例としてエンコーディング デバイスの追加を取り上げます。

	Davias for Mana	noment (4)						
rganization	Device for Maria	gement (4)						
Encoding Device/Outdoor	+ Add Device	🕑 Modify 💥	Delete -	🕼 Remote Configurati	on 髋 QR Code	🌻 Activate 🔇	Refresh All	Filter
Decoding Device	Nickname 🔺	Device Type	IP	Device Seria	l No.		Security	Net Status
🜉 Cascading Server	10.16.1.93	Normal Device	10.16.1.	93 20141119C	CWR490340679B		Strong	0
🛃 Transcoder	10.33.3.159	Normal Device	10.33.3.	159 DS-2CD636	2F-IVS20140529C0	CH467064683	Weak	0
EZVIZ Cloud P2P Device	10.99.105.140	Normal Device	10.99.10	05.140 DS-9616N-S	T1620130301BBR	R407129395WC\	/U	3
Video Wall Controller	172.10.18.144	Normal Device	172.10.1	18.144 1620150716	CCRR530869950\	VCVLU		3
🧠 Third-party Encoding Device								
Security Control Panel								
Indoor Station/Master Station								
Indoor Station/Master Station Storage Server								
 Indoor Station/Master Station Storage Server Stream Media Server 								
 Indoor Station/Master Station Storage Server Stream Media Server 								
 Indoor Station/Master Station Storage Server Stream Media Server 								
 Indoor Station/Master Station Storage Server Stream Media Server 			1)			
 Indoor Station/Master Station Storage Server Stream Media Server 	Online Device (7)	€ R	tefresh Every 60s)			
Indoor Station/Master Station Storage Server Stream Media Server	Online Device (7 Add to Clier) 1 🕂 Add All	😯 R 🗹 Modify	Refresh Every 60s V Netinfo 😙 Reset P	assword 🔮 Act	ivate	Filter	\$
Indoor Station/Master Station Storage Server Stream Media Server	Online Device (7 Add to Clien) nt ♣ Add Ali Device Type	📀 R	Refresh Every 60s / Netinfo 🈙 Reset P	assword 🔮 Act	ivate	Filter	Ac
Indoor StationMaster Station Storage Server Stream Media Server	Online Device (7 Add to Clier IP 10.16.1.93) ht + Add All Device Type UNKOWN-DEVIC		Refresh Every 60s V Netlinfo • Reset P I Firmware Version V5.3.10build 150729	assword P Active	ivate Server Port 8000	Filter Start Time 2015-09-02 09:21	Ac 9:47 Ye
Indoor StationMaster Station Storage Server Stream Media Server Stream Media Server	Online Device (7 Add to Clier IP 10.16.1.93 10.16.1.111) Device Type UNKOWN-DEVI DS-8632N-116	€ R Modify CE-TYPE	Refresh Every 60s (Netinfo • Reset P (Firmware Version V5.3 10build 15029 V3.3 5build 15089	assword P Act Security Active Active	ivate Server Port 8000 8000	Filter Start Time 2015-09-02 09:2 2015-09-02 09:3	Ac 9:47 Ye 7:06 Ntc-

以下の方法でデバイスを追加することができます:

- オンライン デバイスを検知する方法については、2.2.2 節 オンライン デバイスの追加 を参照してください。
- デバイスの IP アドレスまたはドメイン名を指定する方法については、2.2.3 節 デバイスの手動追加を参照してください。
- IP セグメントを指定する方法については、2.2.4 節 IP セグメントによるデバイスの追加 を参照してください。
- IP サーバを利用する方法については、2.2.5 節 IP サーバによるデバイスの追加を参照し てください。
- HiDDNS を利用する方法については、2.2.6 節 HiDDNS によるデバイスの追加を参照して ください。
- デバイスを一括で追加するには 2.2.7 節 デバイスの一括追加を参照してください。

2.2.1 パスワードの作成

目的:

デバイスによっては、ソフトウェアに追加して適切に利用できるようにするために、デバイスをアクティベートするパスワードを作成する必要があります。

注意:この機能はデバイスがサポートしている必要があります。

手順:

- 1. デバイス管理ページに入ります。
- [管理するデバイス]または[オンライン デバイス]エリアからデバイスのステータス([セ キュリティ]欄に表示されます)をチェックし、非アクティブなデバイスを選択します。

Online Device (4)	Refresh Every 60s				
+ Add to Clien	nt 🕂 Add All 🛛 🗹 M	lodify Netinfo 🛛 🥱 Reset Pa	ssword 🔮 Ac	tivate	Filter	
IP 🔺	Device Type	Firmware Version	Security	Server Port	Start Time	Ac 1
10.16.1.102	DSI-6701HFH/V	V1.0.0build 150730	Active	8000	2015-08-17 14:57:51	Nc
192.168.1.64	DS-2ZMN3006(YF)	V5.3.0build 150323	Inactive	8000	2015-08-17 16:01:02	Nc
10.16.1.93		V5.3.10build 150729	Active	8000	2015-08-17 09:02:35	Nc 🗸
4 (+

+ Add Device	🗹 Modify 🗙	Delete	Remote Configuration	謎 QR Code 🎈	Activate	📀 Refresh All	Filter
Nickname 🔺	IP	Device	Serial No.		Security	Resourc	e Usa HDD S
4124 Counting	10.11.37.197					3	0
5220	172.10.18.150	DS-2D	F5220S-D420150211CCWF	R485342073B	Risky	0	0
9664	10.16.1.13	16201	41031AARR483862763WCV	'U		8	0
Intersection	10.99.105.140	DS-96	16N-ST1620130301BBRR4	07129395WCVU	Risky	0	0
Traffic IPC	172.10.21.202					8	0
Traffic Speed	10.10.38.155	iDS-TC	CS215-F520150227CCCH50	05266451B	Risky	0	0
7286	10.16.1.199	DS-2D	F7286-A20141110CCWR48	1390656C	Strong	0	0
IPD Traffic	172.10.21.180	iDS-20	0F8223I-A20141226CCCH4	96681277B	Risky	0	0
2412	10.16.1.251	DS-2C	D2412F-IW20140118CCCH	450047294	Risky	0	0
IPC 01	10.16.2.64				Inactive	8	0

- [アクティベート]ボタンをクリックすると、アクティベーション インターフェイスがポ ップアップします。
- 4. パスワード フィールドに新たなパスワードを入力して、パスワードを確認します。



<u>強力なパスワードの推奨</u>-お使いの製品のセキュリティ向上のため、自分自身で選択した強力なパスワード(最低8文字を使用し、大文字、小文字、数字および特殊記号を含むもの)を作成することを強く推奨します。また、定期的にパスワードを再設定し、特にセキュリティの高いシステムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より 安全に製品を保護できます。

	Activation	×
User Name:	admin	
Password:	••••••	
	Valid password range [8-16]. You can use a combination of numbers, lowercase, uppercase and special character for your password with at least buckinde of thom contained.	Strong
Confirm Password:		
	ОК	Cancel

- [OK]をクリックし、デバイスのパスワードを作成します。パスワードが問題なく設定されると「デバイスがアクティベートされました」ウィンドウがポップアップします。
- [ネット情報の変更]をクリックするとネットワーク パラメータ変更インターフェイス がポップアップします。
 注意:この機能は[オンライン デバイス]エリアでのみ利用できます。デバイスをソフト ウェアに追加する必要がある場合、デバイスの IP アドレスをお使いの PC と同じサブネ

 デバイスの IP アドレスをお使いの PC と同じサブネットにするには、IP アドレスを手動 で変更するか、DHCP のチェック ボックスをチェックしてください。

ットに変更することができます。

 ステップ 4 で設定したパスワードを入力し、[OK]をクリックしてネットワーク設定を完 了します。

	Modify Network Parameter	×
Device Information:		
MAC Address:	c0-56-e3-8a-06-65	Сору
Software Version:	V5.3.0build 150321	Сору
Device Serial No.:	DS-2DF7286-A20141110CCWR481390656C	Сору
Network Information:		
Port:	8000	
IPv4(Don't Save)		
IP Address:	10.16.1.233	
Subnet Mask:	255.255.255.0	
Gateway:	10.16.1.254	
IPv6(Don't Save)		
Password:	•••••	
	ОК	Cancel

2.2.2 オンライン デバイスの追加

目的:

クライアント ソフトウェアと同じローカル サブネットに属するアクティブなオンライン デバイスは[オンライン デバイス]エリアに表示されます。[60 秒ごとに更新]ボタンをクリッ クし、オンライン デバイスの情報を更新することができます。

注意: をクリックして[オンラインデバイス]エリアを非表示にすることができます。

Online Device (4) 📀	Refresh Every 60s				×
🕂 Add to Clie	nt 🕂 Add All 🔀 Mod	fy Netinfo 🛛 🥱 Reset Pa	ssword 🏾 🍨 Act	ivate	Filter	
IP 🔺	Device Type	Firmware Version	Security	Server Port	Start Time	Ac 1
10.16.1.102	DSI-6701HFH/V	V1.0.0build 150730	Active	8000	2015-08-17 14:57:51	Nc
192.168.1.64	DS-2ZMN3006(YF)	V5.3.0build 150323	Inactive	8000	2015-08-17 16:01:02	Nc
10.16.1.93		V5.3.10build 150729	Active	8000	2015-08-17 09:02:35	Nc 🗸
+ ()	P.

手順:

- リストから、追加したいデバイスを選択します。
 注意:非アクティブなデバイスについては、パスワードを作成しなければそのデバイスを 正しく追加することはできません。詳細は 2.2.1 節 パスワードの作成を参照してください。
- 2. [クライアントに追加]をクリックしてデバイス追加ダイアログ ボックスを開きます。
- 必要な情報を入力します。
 ニックネーム:好みに合わせてデバイスの名前を編集します。
 アドレス:デバイスの IP アドレスを入力します。この追加モードではデバイスの IP アドレスは自動的に取得されます。
 ポート:デバイスのポート番号を入力します。デフォルトの値は 8000 です。
 ユーザ名:デバイスのユーザ名を入力します。デフォルトでは、ユーザ名は admin です。
 パスワード:デバイスのパスワードを入力します。



デバイスのパスワードの強度をソフトウェアでチェックすることができます。プライバシ ーのために、製品のセキュリティを向上できるように、パスワードをあなた自身が決めた もの(大文字、小文字、数字と記号を含め、最低でも8文字以上)に変更することを強く推 奨します。また、定期的にパスワードを再設定し、特にセキュリティの高いシステムでは、 毎月または毎週パスワードを再設定すると、より安全に製品を保護できます。

- オプションとして、[グループにエクスポートする]チェックボックスをチェックして、デバイス名によってグループを作成することができます。デバイスのすべてのチャンネルは、デフォルトで対応するグループにインポートされます。
 注意:IVMS-4200 はオフライン デバイスを追加する方法も提供しています。[オフライン デバイスの追加]チェックボックスをチェックし、必要な情報とデバイスのチャンネル番号とアラーム入力番号を入力し、[追加]をクリックします。オフライン デバイスがオンラインになるとソフトウェアはそれを自動的に接続します。
- 5. [追加]をクリックし、デバイスを追加します。

	Add	×
Adding Mode:		
IP/Domain IP Segmen	t 🕐 IP Server 🕜 HiDDNS	 Batch Import
Add Offline Device		
Nickname:	My Camera	
Address:	10.16.1.112	
Port:	8000	
User Name:	admin	
Password:	•••••	
Export to Group		
Set the device name as t connected to the device t	he group name and add all the channels o the group.	:
	Ad	d Cancel

複数のオンライン デバイスの追加

クライアント ソフトウェアに複数のオンライン デバイスを追加したい場合、Ctrl キーを押 したままクリックして複数のデバイスを選択し、[**クライアントに追加]**をクリックしてデバ イス追加ダイアログ ボックスを開きます。ポップアップ メッセージ ボックスに、追加する デバイスのユーザー名とパスワードを入力します。

すべてのオンライン デバイスの追加

クライアント ソフトウェアにすべてのオンライン デバイスを追加したい場合、[すべて追加]をクリックし、ポップアップ メッセージ ボックスの[OK]をクリックします。そしてポップアップ メッセージ ボックスに、追加するデバイスのユーザー名とパスワードを入力します。

	Add	_	×
Adding Mode:			
IP/Domain IP Segment	 IP Server 	Hiddns	 Batch Import
User Name: Password: ✓ Export to Group Create group with device IP.			
		Ado	i Cancel

ネットワーク情報の変更

デバイスをリストから選択し、[**ネット情報の編集**]をクリックすると、選択したデバイスの ネットワーク情報を編集できます。

注意:パラメータを編集するには、ポップアップウィンドウの[パスワード]フィールドにデバイスの管理者パスワードを入力する必要があります。

パスワードのリセット

異なるデバイスごとに、デフォルト パスワードの復元またはパスワードをリセットするための3つの異なる方法があります。

リストからデバイスを選択し、 [パスワードをリセット]をクリックします。

オプション 1:

セキュリティ コード フィールドのあるウィンドウがポップアップした場合、セキュリティ コードを入力することで選択したデバイスのデフォルト パスワードを復元できます。

注意:セキュリティ コードはデバイスのデータとシリアル番号をメーカーに送ると返信され てきます。

オプション 2:

ファイル インポートとファイル エクスポートのボタンがあるウィンドウがポップアップした場合、次の手順を実行してデフォルト パスワードを復元します:

- 1. [エクスポート]をクリックし、PC にデバイス ファイルを保存します。
- 2. ファイルを当社のテクニカル エンジニアに送信します。
- 3. [インポート]をクリックし、テクニカル エンジニアから受信したファイルを選択します。
- 4. [OK]をクリックし、デバイスのデフォルト パスワードを復元します。



◆ 管理者アカウント用のデフォルト パスワード(12345)は、初回ログインのためだけに 利用されます。製品が正しく動作することを妨げたり、その他の望ましくない結果 に繋がるおそれのある他者による製品への無許可のアクセスのようなセキュリティ リスクに対して安全性を高めるために、このデフォルト パスワードは変更しなけれ ばいけません。

- ◆ プライバシーのために、製品のセキュリティを向上できるように、パスワードをあなた自身が決めたもの(大文字、小文字、数字と記号を含め、最低でも 8 文字以上)に変更することを強く推奨します。
- ◆ すべてのパスワードやその他のセキュリティの適切な設定は、設置者および/または エンドユーザの責任です。

オプション 3:

ファイル インポートとファイル エクスポートのボタンがあるウィンドウがポップアップし、 パスワードとパスワード確認のフィールドがポップアップした場合、次の手順を実行してパ スワードをリセットします:

- 1. [エクスポート]をクリックし、PC にデバイス ファイルを保存します。
- 2. ファイルを当社のテクニカル エンジニアに送信します。
- 3. [インポート]をクリックし、テクニカルエンジニアから受信したファイルを選択します。
- 4. [パスワード]と[パスワードの確認]の各テキストフィールドに新しいパスワードを入力 します。
- 5. [OK]をクリックし、パスワードをリセットします。



デバイスのパスワードの強度をソフトウェアでチェックすることができます。プライバシーのために、製品のセキュリティを向上できるように、パスワードをあなた自身が決めたもの(大文字、小文字、数字と記号を含め、最低でも8文字以上)に変更することを強く推奨します。また、定期的にパスワードを再設定し、特にセキュリティの高いシステムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より安全に製品を保護できます。

2.2.3 デバイスの手動追加

手順:

- 1. [デバイスを追加]をクリックしてデバイス追加ダイアログ ボックスを開きます。
- 2. [IP/ドメイン]を追加モードとして選択します。
- 3. 必要な情報を入力します。

ニックネーム:好みに合わせてデバイスの名前を編集します。 アドレス:デバイスの IP アドレスまたはドメイン名で入力します。 ポート:デバイスのポート番号を入力します。デフォルトの値は 8000 です。 ユーザ名:デバイスのユーザ名を入力します。デフォルトでは、ユーザ名は admin です。 パスワード:デバイスのパスワードを入力します。



デバイスのパスワードの強度をソフトウェアでチェックすることができます。プライバ シーのために、製品のセキュリティを向上できるように、パスワードをあなた自身が決 めたもの(大文字、小文字、数字と記号を含め、最低でも8文字以上)に変更することを強 く推奨します。また、定期的にパスワードを再設定し、特にセキュリティの高いシステ ムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より安全に製品を保護できます。

- オプションとして、[グループにエクスポートする]チェックボックスをチェックして、デバイス名によってグループを作成することができます。デバイスのすべてのチャンネルは、デフォルトで対応するグループにインポートされます。
 注意:iVMS-4200 はオフライン デバイスを追加する方法も提供しています。[オフラインデバイスの追加]チェックボックスをチェックし、必要な情報とデバイスのチャンネル番号とアラーム入力番号を入力し、[追加]をクリックします。オフライン デバイスがオンラインになるとソフトウェアはそれを自動的に接続します。
- 5. [追加]をクリックし、デバイスを追加します。

_	_	Add	_	×
Adding N	lode:			
IP/De	omain 💿 IP Segmen	t 🕓 IP Server		 Batch Import
Add	Offline Device			
	Nickname:	My DVR		
	Address:	10.16.1.22		
	Port:	8000		
	User Name:	admin		
	Password:	•••••		
	Export to Group			
	Set the device name as t connected to the device t	he group name and ado o the group.	d all the channels	
			Add	Cancel

2.2.4 IP セグメントによるデバイスの追加

手順:

- 1. [デバイスを追加]をクリックしてデバイス追加ダイアログ ボックスを開きます。
- 2. [IP セグメント]を追加モードとして選択します。
- 必要な情報を入力します。
 始点 IP:始点となる IP アドレスを入力します。
 終点 IP:始点 IP と同じネットワーク セグメントに属する、終点となる IP アドレスを入力します。

ポート:デバイスのポート番号を入力します。デフォルトの値は 8000 です。

ユーザ名:デバイスのユーザ名を入力します。デフォルトでは、ユーザ名は admin です。 パスワード:デバイスのパスワードを入力します。



デバイスのパスワードの強度をソフトウェアでチェックすることができます。プライバ シーのために、製品のセキュリティを向上できるように、パスワードをあなた自身が決 めたもの(大文字、小文字、数字と記号を含め、最低でも8文字以上)に変更することを強 く推奨します。また、定期的にパスワードを再設定し、特にセキュリティの高いシステ ムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より安全に製品を保護できます。

- オプションとして、[グループにエクスポートする]チェックボックスをチェックして、デバイスの IP によってグループを作成することができます。デバイスのすべてのチャンネルは、デフォルトで対応するグループにインポートされます。
 注意:IVMS-4200 はオフライン デバイスを追加する方法も提供しています。[オフラインデバイスの追加]チェックボックスをチェックし、必要な情報とデバイスのチャンネル番号とアラーム入力番号を入力し、[追加]をクリックします。オフライン デバイスがオンラインになるとソフトウェアはそれを自動的に接続します。
- 5. [追加]をクリックすると、IP アドレスが始点 IP と終点 IP の間にあるデバイスが、デバイス リストに追加されます。

	Add	_	×
Adding Mode: IP/Domain • IP Segmen	it 🕓 IP Server	HIDDNS	 Batch Import
 Add Offline Device Start IP: End IP: Port: User Name: Password: ✓ Export to Group Create group with device 	10.16.1.5 10.16.1.45 8000 admin •••••		
		Ad	d Cancel

2.2.5 IP サーバによるデバイスの追加

手順:

- 1. [デバイスを追加]をクリックしてデバイス追加ダイアログ ボックスを開きます。
- 2. [IP サーバ]を追加モードとして選択します。
- 必要な情報を入力します。
 ニックネーム:好みに合わせてデバイスの名前を編集します。
 サーバ アドレス:IP サーバをインストールする PC の IP アドレスを入力します。
 デバイス ID:IP サーバに登録されたデバイス ID を入力します。
 ユーザ名:デバイスのユーザ名を入力します。デフォルトでは、ユーザ名は admin です。
 パスワード:デバイスのパスワードを入力します。



デバイスのパスワードの強度をソフトウェアでチェックすることができます。プライバ シーのために、製品のセキュリティを向上できるように、パスワードをあなた自身が決 めたもの(大文字、小文字、数字と記号を含め、最低でも8文字以上)に変更することを強 く推奨します。また、定期的にパスワードを再設定し、特にセキュリティの高いシステ ムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より安全に製品を保護できます。

- オプションとして、[グループにエクスポートする]チェックボックスをチェックして、デバイス名によってグループを作成することができます。デバイスのすべてのチャンネルは、デフォルトで対応するグループにインポートされます。
 注意:iVMS-4200 はオフライン デバイスを追加する方法も提供しています。[オフラインデバイスの追加]チェックボックスをチェックし、必要な情報とデバイスのチャンネル番号とアラーム入力番号を入力し、[追加]をクリックします。オフライン デバイスがオンラインになるとソフトウェアはそれを自動的に接続します。
- 5. [追加]をクリックし、デバイスを追加します。

_		Add	_	×
Adding I	Mode:			
O IP/D	omain i 🔘 IP Segmen	t 💿 IP Server		 Batch Import
Add	Offline Device			
	Nickname:	My DVR		
	Server Address:	10.16.1.68		
	Device ID:	DS-2CD45PS6715FR5	55414555	
	User Name:	admin		
	Password:	•••••		
	Export to Group			
	Set the device name as t connected to the device t	he group name and add o the group.	i all the channels	
			Add	Cancel

2.2.6 HiDDNS によるデバイスの追加

手順:

- 1. [デバイスを追加]をクリックしてデバイス追加ダイアログ ボックスを開きます。
- 2. [HiDDNS]を追加モードとして選択します。
- 必要な情報を入力します。
 ニックネーム:好みに合わせてデバイスの名前を編集します。
 サーバ アドレス:www.hik-online.com。
 デバイス ドメイン名:HiDDNS に登録されたデバイス ドメイン名を入力します。
 ユーザ名:デバイスのユーザ名を入力します。デフォルトでは、ユーザ名は admin です。
 パスワード:デバイスのパスワードを入力します。



デバイスのパスワードの強度をソフトウェアでチェックすることができます。プライバ シーのために、製品のセキュリティを向上できるように、パスワードをあなた自身が決 めたもの(大文字、小文字、数字と記号を含め、最低でも8文字以上)に変更することを強 く推奨します。また、定期的にパスワードを再設定し、特にセキュリティの高いシステ ムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より安全に製品を保護できます。

オプションとして、[グループにエクスポートする]チェックボックスをチェックして、デバイス名によってグループを作成することができます。デバイスのすべてのチャンネルは、デフォルトで対応するグループにインポートされます。

注意:iVMS-4200 はオフライン デバイスを追加する方法も提供しています。[オフライン デバイスの追加]チェックボックスをチェックし、必要な情報とデバイスのチャンネル番 号とアラーム入力番号を入力し、[追加]をクリックします。オフライン デバイスがオン ラインになるとソフトウェアはそれを自動的に接続します。

5. [追加]をクリックし、デバイスを追加します。

	Add	×
Adding Mode:		
🔘 IP/Domain 🕥 IP Segmer	it 🕓 IP Server 🛛 🖲 HiDD	ONS OBatch Import
Add Offline Device		
Nickname:	My DVR	
Server Address:	www.hik-online.com	
Device Domain Name:	front door	
User Name:	admin	
Password:	•••••	
Export to Group		
Set the device name as t connected to the device t	he group name and add all the c o the group.	hannels
	5.	
		Add Cancel

2.2.7 デバイスの一括追加

目的:

事前定義された CSV ファイルにデバイスの情報を入力することで、デバイスをソフトウェア に一括で登録することができます。

手順:

- 1. [デバイスを追加]をクリックしてデバイス追加ダイアログボックスを開きます。
- 2. [一括インポート]を追加モードとして選択します。
- 3. **[エクスポート テンプレート]**をクリックし、事前定義されたテンプレート(CSV ファイル)をお使いの PC に保存します。
- エクスポートされたテンプレート ファイルを開き、追加されるデバイスの必要な情報 を対応する列に入力します。

ニックネーム:好みに合わせてデバイスの名前を編集します。

追加モード:それぞれ異なる追加モードを表す 0、2 または 3 を入力します。0 はデバイ スが IP アドレスまたはドメイン名で追加されることを示します; 2 はデバイスが IP サー バ経由で追加されることを示します; 3 はデバイスが HiDDNS 経由で追加されることを示 します。

アドレス:デバイスのアドレスを編集します。0 を追加モードとして設定した場合、デバ イスの IP アドレスまたはドメイン名を入力してください;2 を追加モードとして設定し た場合、IP サーバをインストールする PC の IP アドレスを入力します;3 を追加モードと して設定した場合、<u>www.hik-online.com</u>を入力してください。

ポート:デバイスのポート番号を入力します。デフォルトの値は 8000 です。

デバイス情報:0 を追加モードとして設定した場合、このフィールドは不要です。;2 を追加モードとして設定した場合、IP サーバに登録されたデバイス ID を入力します;3 を追加モードとして設定した場合、HiDDNS サーバに登録されたドメイン名を入力してください。

ユーザ名:デバイスのユーザ名を入力します。デフォルトでは、ユーザ名は admin です。 パスワード:デバイスのパスワードを入力します。



デバイスのパスワードの強度をソフトウェアでチェックすることができます。プライバ シーのために、製品のセキュリティを向上できるように、パスワードをあなた自身が決 めたもの(大文字、小文字、数字と記号を含め、最低でも8文字以上)に変更することを 強く推奨します。また、定期的にパスワードを再設定し、特にセキュリティの高いシス テムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より安全に製品を保護できます。 オフライン デバイスの追加:1 を入力することでオフライン デバイスの追加を有効化 できます。その後、ソフトウェアは、オフライン デバイスがオンラインになった時、 自動的にそれを接続します。0 はこの機能の無効化を示します。

グループへのエクスポート:1 を入力することで、デバイス名(ニックネーム)によるグル ープを作成することができます。デバイスのすべてのチャンネルは、デフォルトで対応 するグループにインポートされます。0 はこの機能の無効化を示します。

チャンネル番号:「オフライン デバイスの追加」で1を設定した場合、デバイスのチャン ネル番号を入力してください。「オフライン デバイスの追加」で0を設定した場合、こ のフィールドは不要です。

アラーム入力番号:「オフライン デバイスの追加」で1を設定した場合、デバイスのアラ ーム入力番号を入力してください。「オフライン デバイスの追加」で0を設定した場合、 このフィールドは不要です。

- 5. をクリックしてテンプレート ファイルを選択します。
- 6. [追加]をクリックし、デバイスをインポートします。

Add	×
Adding Mode:	
OIP/Domain OIP Segment OIP Server	HIDDNS e Batch Import
File (*.csv): Export Template	**
	Add Cancel

問題なく追加されたデバイスは管理用のデバイス リストに表示されます。リストに追加され たデバイスは、リソース使用率、HDD ステータス、録画ステータス、その他の情報を確認で きます。 [すべて更新]をクリックすると、すべての追加されたデバイスの情報が更新されます。フィ ルタ フィールドにデバイス名を入力して検索することもできます。

デバイスをリストから選択し、[編集/削除]をクリックすると、選択したデバイスの情報を編 集/削除できます。

デバイスをリストから選択し、[**リモート設定**]をクリックすると、選択したデバイスに対して、必要に応じて一部のリモート設定を行えます。リモートの設定についての詳細な設定については、デバイスのユーザマニュアルを参照してください。

2.2.8 エンコーディング デバイスの QR コード

目的:

エンコーディング デバイスについては、デバイスの QR コードを生成できます。モバイル ク ライアント ソフトウェアを使用して QR コードをスキャンし、デバイスをお使いのモバイル クライアント ソフトウェアに追加することができます。モバイル クライアント ソフトウェ アにデバイスを追加するには、モバイル クライアント ソフトウェアのユーザ マニュアルを 参照してください。

QR コードのチェック

デバイス リスト上でデバイスをダブルクリックすると、デバイスの情報と QR コードが表示 されます。

またはデバイスをクリックして選択し、[QR コード]をクリックすると、デバイスの QR コー ドウィンドウがポップアップします。

Ctrl キーを押したまま複数のデバイスをクリックして選択すると、[QR コード]をクリックすると、デバイスの QR コードウィンドウがポップアップします。このようにして、QR コードをスキャンして、同時に複数のデバイスを追加することができます。



2.3 グループ管理

目的:

デバイスの簡便な管理のためにはグループにまとめる必要があります。ライブ ビューの取得、 ビデオ ファイルの再生およびデバイスに対するその他の操作はグループを通じて行うこと ができます。

始める前に:

グループ管理のためにはデバイスはクライアント ソフトウェアに追加する必要があります。

以下の手順を実行し、グループ管理インターフェイスに入ってください:

- 1. デバイス管理ページを開きます。
- 2. [グループ]タブをクリックし、グループ管理インターフェイスを開きます。

Resource	🔷 😘	Encoding Channel Resources of G	roup Intersection(10)	
Search	9	🕂 Import 🗹 Modify 🗙 Del	ete 🔹 Remote Confi	Filter
Alarm Input	^	Nickname	≜ ∣IP	Device Serial No.
Arming Region	Resource	IP Camera1_Intersection	10.99.105.140	DS-9616N-ST1620130301BBRR4071293
* 🔄 10.6.6.133		IP Camera2_Intersection	10.99.105.140	DS-9616N-ST1620130301BBRR4071293
10.6.6.134 🖄 🖄		IP Camera3_Intersection	10.99.105.140	DS-9616N-ST1620130301BBRR4071293
10.6.6.135 🖄 🖄		IP Camera4_Intersection	10.99.105.140	DS-9616N-ST1620130301BBRR4071293
10.6.6.136 🖄 🖄		IP Camera5_Intersection	10.99.105.140	DS-9616N-ST1620130301BBRR4071293
10.6.6.137 🔁		IP Camera6_Intersection	10.99.105.140	DS-9616N-ST1620130301BBRR4071293
🛃 😂 10.6.6.140		IP Camera7_Intersection	10.99.105.140	DS-9616N-ST1620130301BBRR4071293
10.6.6.142 🔁		IP Camera8_Intersection	10.99.105.140	DS-9616N-ST1620130301BBRR4071293
10.6.6.143 🔁		IP Camera9_Intersection	10.99.105.140	DS-9616N-ST1620130301BBRR4071293
10.6.6.146 🔁 🛨		IP Camera10_Intersection	10.99.105.140	DS-9616N-ST1620130301BBRR4071293
🛃 🔄 Group_1				
* 🔄 2				
😑 😂 Intersection				
Encoding Chan	inel			
Alarm Input				
Arming Region	Resource			
* 🗐 10.7.35.223				
10.33.3.159				

グループの追加

手順:

- 1. 🔄をクリックしてグループ追加ダイアログボックスを開きます。
- 2. 任意のグループ名を入力します。
- [OK]をクリックし、新しいグループをグループ リストに追加します。
 [デバイス名でグループを作成]チェックボックスをチェックし、新しいグループを選択したデバイスの名前で作成することもできます。

Ado	Group	×
Group Name:		
Create Group by Device	Name	
	ОК	Cancel

エンコーディング デバイスのグループへのインポート

手順:

- 1. グループ管理インターフェイスの[インポート]をクリックし、[エンコーディング チャン ネル]タブをクリックしてエンコーディング チャンネル インポート ページを開きます。 注意:[アラーム インポート]タブを選択し、アラーム入力をグループにインポートするこ ともできます。
- 2. サムネイル/リスト ビューから、カメラのサムネイル/名前を選択します。
- 3. グループ リストからグループを選択します。
- 4. [インポート]をクリックして、選択したカメラをグループにインポートします。 [すべてインポート]をクリックしてすべてのカメラを選択したグループにインポートす ることもできます。

注意:

- エンコーディング チャンネル インポート ページの 🖓 アイコンをクリックして、新し いグループを追加することもできます。
- 1 つのグループには最大 256 台のカメラを追加できます。



インポート エンコーディング チャンネル ページでは以下のボタンが使用できます:

	リスト ビュー	カメラをリスト ビューで表示します。
100 SV 100 SV	サムネイル ビュー	カメラをサムネイル ビューで表示します。
•	更新	追加されたカメラの最新情報を更新します。
-	インポート	デバイス名-エンコーディング チャンネル(アラーム
		入力)という名前のグループを作成して、デバイスを
		グループにインポートします。
* *	折りたたみ/展開	カメラのサムネイルを折りたたみ/展開します。

グループ/カメラの編集

手順:

1. エンコーディング チャンネル インポート ページで、グループ リストからグループ/カ メラを選択します。

- マウスをカメラ/グループに動かし、
 をクリックするか、またはグループ/カメラ名を ダブルクリックすると、グループ/カメラ編集ダイアログボックスが開きます。
- グループ/カメラ名、ストリーム種別などを含む、グループ/カメラ情報を編集します。
 ビデオ ストリーム:カメラのストリームを任意に選択します。
 プロトコル種別:カメラの転送プロトコルを選択します。
 ストリーム メディア サーバ:ストリーム メディア サーバを介してカメラのストリームを取得するよう設定します。利用可能なストリーム メディア サーバを選択して管理できます。
 コピー先:設定したパラメータを他のカメラ(複数可)にコピーします。
 更新:カメラのライブ ビューの新しいキャプチャ画像を取得します。
 注意:ビデオ ストリームおよびプロトコル種別については、新しい設定はカメラのライブ ビューを開き直した後で有効になります。
- [OK]をクリックし、新しい設定を保存します。
 グループ管理インターフェイス上のグループ/カメラ名をダブルクリックしてグループ/ カメラ編集ダイアログ ボックスを開くこともできます。



注意:

デコード機能をサポートする NVR の IP チャンネルの場合:

- デコードしてビデオ ウォールに表示された後、エンコーディング チャンネル リソース リストに、プロトコル種別が「ビデオ ウォール上にデコード」である新しいチャンネルが追加されます。
- 対応する浮動ウィンドウを閉じた後は、新しいチャンネルは、エンコーディング チャンネル リソース リストから削除されます。

グループからのカメラの削除

手順:

- エンコーディング チャンネル インポート ページで、グループ リストからカメラを選 択します。
- マウスをカメラに移動して[×]をクリックし、カメラをグループから削除します。
 グループ管理インターフェイスからカメラを選択し、[削除]をクリックしてグループから カメラを削除することもできます。

 エンコーディング チャンネル インポート ページのグループ リストからグループを選 択し、マウスをグループに移動して¥をクリックすることで、グループからすべてのカ メラを削除することもできます。

グループの削除

手順:

- 1. グループ管理インターフェイスからグループを選択します。
- 2. [グループの削除]をクリックするか、グループにマウスを移動して、
 ×アイコンをクリ ックすると、選択したグループとその配下のリソースが削除されます。

2.4 ライブ ビューでの基本操作

目的:

監視タスクにおいては、メイン ビュー ページに追加されたネットワーク カメラ、ビデオ エ ンコーダおよびビデオ インターコム デバイスのライブ ビデオを確認できます。画像のキャ プチャや手動録画、PTZ 制御等の基本的な操作も一部サポートされています。

始める前に:

ライブ ビューにはカメラ グループの定義が必要です。

コントロール パネル上ののアイコンをクリックするか、[ビュー]->[メイン ビュー]をク リックしてメイン ビュー ページを開きます。



メイン ビュー ページ

- 1ビュー リスト
- 2 カメラ リスト
- 3 PTZ コントロール パネル
- 4 ライブ ビュー ウィンドウの表示
- 5 ライブ ビュー ツールバー

カメラ ステータス:

- カメラはオンラインで、正常に動作しています。
- 💰 カメラはライブ ビューを表示しています。
- 👩 カメラは録画状態です。
- カメラはオフラインです。

<mark>注意</mark>:カメラがイベント(例: 動体検知)を検知した場合、カメラ アイコンは^動のように表示 され、グループ アイコンは^動のように表示されます。

ライブ ビュー ツールバー:

F				
メイン ビュー ページでは、以下のツールバー ボタンが利用できます:				
E	ビューの保存	現在のビューの新しい設定を保存します。		
EB	名前をつけてビューを 保存	現在のビューを別の新しいビューとして保存します。		
=	ライブ ビューを停止	すべてのカメラのライブ ビューを停止します。		
	ミュート/音声オン	ライブ ビューの音声のオン/オフを切り替えます。		
0 0	自動切り替えの再開/一	クリックしてライブ ビューの自動切り替えを再開/一	-	
	時停止	時停止します。		
		自動切り替えの設定メニューの表示/非表示を切り替		
-	メニューの表示/非表示	えます。もう一度クリックすることで非表示にできま	ξ	
		す。		
+	前へ	前のページのライブ ビューに移動します。		
+	次へ	次のページのライブ ビューに移動します。		
	ウィンドウ分割	ウィンドウ分割を設定します。		
E	全面面	ライブ ビューを全画面モードで表示します。ESC を持	甲	
		して抜けることができます。		

ライブ ビューの表示ウィンドウを右クリックすることで、ライブ ビュー管理メニューが開きます:



右クリックのライブ ビュー管理メニューでは、以下のボタンが利用できます:

_	ライブ ビューを停止	表示ウィンドウのライブ ビューを停止します。
	キャプチャ	ライブ ビュー プロセスの中の画像をキャプチャーし ます。
	キャプチャー画像のプリ ント	現在の画像をキャプチャーし、その画像をプリントします。 現在の画像をキャプチャーし、その画像をプリントしま
	E メール送信	現在の画像をキャクテャーし、それをメール通知として 1人以上の宛先に送信します。キャプチャーした画像が 添付できます。
00	録画の開始/停止	手動録画を開始/停止します。ビデオ ファイルは PC に保 存されます。
2	PTZ 操作の有効化	表示ウィンドウ上で PTZ 操作機能を有効にします。再度 クリックして、機能を無効にします。
Q	オート トラッキングの 有効化	スピード ドームのオート トラッキング機能を有効化 します。スピード ドームはビデオ上に表示されている 対象を自動的にトラッキングするようになります。この ボタンはオート トラッキング機能をサポートするスピ ード ドームにおいてのみ利用可能です。
9	デジタル ズームを開く	デジタル ズーム機能を有効化します。再度クリックし て、機能を無効にします。
В	インスタント再生への切 り替え	インスタント再生モードに切り替えます。
۵	双方向音声の開始/停止	クリックして、ライブ ビュー中のデバイスの双方向音 声を開始/停止します。
ê ê	IP 双方向音声の開始/停止	クリックして、ライブ ビュー中のカメラの双方向音声 を開始/停止します。このボタンは IP 双方向音声機能を サポートするカメラにおいてのみ利用可能です。
()	音声の有効化/無効化	クリックしてライブ ビューの音声を有効化/無効化します。
	カメラ ステータス	録画ステータス、信号ステータス、接続数などを含む、 ライブ ビュー中のカメラのステータスを表示します。
6	リモート設定	ライブ ビュー中のカメラのリモート設定ページを開き ます。
	VCA 設定	VCA デバイスの場合、デバイスの VCA 設定インターフェ イスに入ります。
Đ	同期	クライアント ソフトウェアを実行している PC とライブ ビュー中のカメラを同期します。
Ð	一括時刻同期	デバイスの時刻を一括で同期設定します。 フィッシュアイ拡張モードに入ります。デバイスがフィ
٢	フィッシュアイ拡張	ッシュアイ レンズ カメラの場合にのみ使用可能です。 詳細は 2.4.7 節 フィッシュアイ ライブ ビュー モード: を参照してください。
	スピード ドーム リンク	必要に応じてクリックし、対象の特定またはトラッキン
¥ ¥	の開始/停止	グを開始/停止します。デバイスがフィッシュアイ レン

ズ カメラの場合にのみ使用可能です。詳細は 2.4.8 節 ス ピード ドーム リンクの開始を参照してください。 デバイスがドア ステーション、屋外ドア ステーション またはドア ステーション(V シリーズ)の場合、クリック することでリモートからドアのアンロックを行います。 ライブ ビューを全画面モードで表示します。再度クリ ックして終了します。

2.4.1 ライブ ビューの開始と停止

単一カメラでのライブ ビューの開始

手順:

- 1. メイン ビュー ページを開きます。
- オプションとして、ライブ ビュー ツールバーの[■]アイコンをクリックして、ライブ ビューのウィンドウ分割モードを選択できます。
- カメラを表示ウィンドウにクリック アンド ドラッグするか、または表示ウィンドウを 選択してカメラ名をダブル クリックすることでライブ ビューを開始できます。

注意:必要に応じてライブ ビューのカメラのビデオをクリック アンド ドラッグして別の表 示ウィンドウに移動させることもできます。

カメラ グループでのライブ ビューの開始

手順:

- 1. メイン ビュー ページを開きます。
- グループを表示ウィンドウにクリック アンド ドラッグするか、またはグループ名をダ ブル クリックすることでライブ ビューを開始できます。

注意:表示ウィンドウの数はグループ内のカメラの数に応じて自動調整されます。

デフォルト ビュー モードでのライブ ビューの開始

目的:

追加されたカメラのビデオは異なるビュー モードで表示できます。4 つの頻繁に利用される デフォルト ビュー モードが選択可能です:1 画面、4 画面、9 画面、16 画面。

手順:

- 1. メイン ビュー ページを開きます。
- 2. ビュー パネル上で アイコンをクリックしてデフォルト ビュー リストを展開します。
- クリックしてデフォルト ビュー モードを選択すると、追加されたカメラのビデオが選 択されたビューに順番に表示されます。

<mark>注意:</mark>
<sup>
</sup>
■をクリックして、デフォルト ビューをカスタム ビューとして保存することができま す。

マウスをビューに移動すると、以下のアイコンが利用できます:

- インスタント再生の開始 ビューのインスタント再生を開始します。
- オート スイッチの開始
 ビューのオート スイッチを開始します。詳細は 2.4.2 節
 ライブ ビューでのオート スイッチを参照してください。



カスタム ビュー モードでのライブ ビューの開始

目的:

ビュー モードはビデオのライブ ビューのためにカスタマイズできます。

手順:

- 1. メイン ビュー ページを開きます。
- ビュー パネル上で アイコンをクリックしてカスタム ビュー リストを展開します。カ スタム ビューが利用可能な場合、クリックするとカスタム ビューのライブ ビューが開 始されます。
- 3. 📩をクリックして、新しいビューを作成します。
- 4. [追加]をクリックして、ビューの名前を入力します。新しいビューはデフォルトで4 画面 モードです。
- 5. オプションとして、ライブ ビュー ツールバーの[■]アイコンをクリックして、新しいビ ューの画面レイアウト モードを選択できます。
- カメラ/グループを表示ウィンドウにクリック アンド ドラッグするか、またはカスタム ビュー モードでカメラ/グループ名をダブル クリックすることでライブ ビューを開始 できます。
- アイコンをクリックして新しいビューを保存します。または^四をクリックして、ビュ ーを別のカスタム ビューとして保存することもできます。

マウスをカスタム ビューに移動すると、以下のアイコンが利用できます:

- 🖉 カメラ名の編集 カスタム ビューの名前を編集します。
- X ビューの削除 カスタム ビューを削除します。
- インスタント再生の開始 ビューのインスタント再生を開始します。



ライブ ビューの停止

手順:

- 1. 表示ウィンドウを選択します。
- マウス ポインタを表示ウィンドウ上に置いた時に右上に表示される アイコンをクリックするか、 右クリック メニューの[ライブ ビューの停止]をクリックすることで表示 ウィンドウのライブ ビューを停止することができます。 またはライブ ビュー ツールバーの ボタンをクリックしてすべてのライブ ビューを 停止できます。

2.4.2 ライブ ビューでのオート スイッチ

カメラのオート スイッチ

目的:

カメラのオート スイッチを行うと、同じグループのカメラのビデオ ストリームが、選択した表示ウィンドウ上で自動的に切り替わります。

手順:

- 1. メイン ビュー ページを開きます。
- 2. カメラのオート スイッチを行う表示ウィンドウを選択します。
- 3. ツールバーのアイコンをクリックし、切り替え間隔を選択またはカスタマイズします。
- 4. グループを選択し、グループノードのジアイコンをクリックします。
- 5. 💁/22をクリックしてカメラのオート スイッチを一時停止/再開することができます。

シングル ビュー オート スイッチ

目的:

シングル ビュー オート スイッチでは、カメラ リストのすべてのカメラのビデオが、選択 したデフォルト ビュー上で自動的に切り替わります。

手順:

1. メイン ビュー ページを開きます。

- 2. ツールバーのアイコンをクリックし、切り替え間隔を選択またはカスタマイズします。
- 3. デフォルト ビューを選択し、選択したビュー ノードの アイコンをクリックします。
4. ④ をクリックしてシングル ビュー オート スイッチを一時停止/再開することがで きます。

マルチ ビュー オート スイッチ

目的:

マルチ ビュー オート スイッチではカスタム ビューが自動的に切り替わります。開始する 前にカスタム ビューを追加する必要があります。

手順:

- 1. メイン ビュー ページを開きます。
- 2. ツールバーの アイコンをクリックし、切り替え間隔を選択します。
- 3. カスタム ビュー ノードの アイコンをクリックします。
- 4. 💁/2をクリックしてマルチ ビュー オート スイッチを一時停止/再開することができ ます。

2.4.3 ライブ ビューでの PTZ 操作

ソフトウェアはパン/チルト/ズーム機能を備えたカメラに対する PTZ 操作機能を提供してい ます。PTZ コントロール パネル上で、カメラのプリセット、パトロールおよびパターンを設 定できます。PTZ カメラに対する PTZ 操作用のウィンドウを開くこともできます。 アイコンをクリックして PTZ コントロール パネルを展開します。

PIZ	P12 Control					
+		•	+	٩	-	
•	U	►	+		-	
•	•	•	+	0	-	
-		_	-		+	
< 🖸 🖾 🖬 🔹 🔶 >						
Pr	eset	Patt	ern	Pat	rol	
			() 🖉	×	
01	01 Preset 1					
02	Preset 2					
03	03 Preset 3					
	-				-	

PTZ コントロール パネルでは以下のボタンが使用できます:

O.	ズーム
-	フォーカス
0	絞り
9	3D ポジション
	補助フォーカス
53	レンズの初期化
•	照明
1	ワイパー
	マニュアル ト
121	ラッキング
	メニュー

注意:

- アナログ スピード ドームでは、
 をクリックするとローカル メニューが開きます。
 メニュー操作の詳細についてはスピード ドームのユーザ マニュアルを参照してください。
- オート トラッキング機能を備えたスピード ドームについては(右クリック メニューから)オート トラッキングを有効化し、さらに 年をクリックすることで、ビデオ上でクリックした目標をマニュアルでトラッキングすることもできます。

プリセットの設定

プリセットは事前定義された撮影位置で、パン、チルト、フォーカス、その他のパラメータ が含まれます。

プリセットを追加するには以下の手順を実行します:

- 1. [プリセット]ボタンをクリックして PTZ プリセット設定パネルに入ります。
- PTZ コントロール パネルの方向ボタンおよびその他のボタンをクリックして、カメラを 必要な映像が得られるように操作します。
- プリセット リストから PTZ プリセット番号を選択し、 Zetaをの します。
- 4. ポップアップ ダイアログ ボックス上でプリセット名を入力します。
- 5. [OK]をクリックして設定を保存します。

設定したプリセットを呼び出すには、プリセットをダブルクリックするか、プリセットを選 択し、■アイコンをクリックします。

あるいは次のステップを実行してもプリセットを呼び出すことができます。

手順:

- 1. クリックしてライブ ビュー ウィンドウを選択します。
- プリセット1から9に対しては、対応する数字キー(例:4)をクリックすることでプリセットの呼び出しができます。
 その他のプリセットについては、「[」、数字キー(例:124)、「]」をクリックしてプリセットの呼び出しができます。

設定したプリセットを編集するには、リストからプリセットを選択し、 「アイコンをクリックします。

設定したプリセットを削除するには、リストからプリセットを選択し、×アイコンをクリックします。



パターンの設定

パターンとは、一連のパン、チルト、ズームおよびプリセット機能の繰り返しを記憶させた ものです。

パターンを追加するには以下の手順を実行します:

- 1. [パターン]ボタンをクリックして PTZ パターン設定パネルに入ります。
- 2. 💵をクリックしてパターン経路の記録を開始します。
- 3. 方向ボタンを使って PTZ の動作を操作してください。
- 4. 🎴をクリックしてパターン記録を停止し、保存します。
- 5. ■アイコンをクリックしてパターンの呼び出しができます。パターンの呼び出しを停止 するには■をクリックしてください。

PTZ C	PTZ Control				
•		•	+	٩	-
•	υ	►	+		-
	•	•	+	0	-
-					+
< :	: (¥ =	
Preset Pattern Patrol					
2	<u> </u>	0	0	x	İ

パトロールの設定

パトロールはユーザ定義によるプリセットのグループによって指定される移動監視の経路で、 2 つのプリセットの間の移動の速度や、プリセットでの滞留時間を個別にプログラムするこ とができます。

始める前に:

1 つの PTZ カメラに対して 2 つ以上のプリセットを追加しておく必要があります。 パトロールを追加するには以下の手順を実行します:

- 1. [パトロール]ボタンをクリックして PTZ パトロール設定パネルに入ります。
- 2. ドロップダウン リストから、トラック番号を選択します。
- 3. ■をクリックしてプリセットを追加して、プリセットの滞留時間と、そのプリセットへのパトロール速度を設定します。
- 4. 上記の操作を繰り返して、パトロールする他のプリセットを追加します。
- 5. オプションとして、^図または¹をクリックし、パトロール経路のプリセットを編集また は削除できます。
- Example: ■アイコンをクリックしてパトロールの呼び出しができます。パトロールの呼び出しを 停止するには■をクリックしてください。

注意:

● 最大 16 のパトロールを設定できます。

プリセットの滞留時間は1から30秒までで設定でき、パトロールの速度はレベル1から40までで設定できます。

PTZ Control	
7 4 7 + 0 -	
- <u>w</u> + <u>-</u>	
▶ ▼ ▲ + © - +	Add Patrol No ×
Preset Pattern Patrol Path 1 V 20 20	Preset: 1 ~ Dwell Time(s): 1 ~ Patrol Speed: 1 ~
+	OK Cancel

2.4.4 手動録画とキャプチャ

各ライブ ビュー表示ウィンドウのツールバー:



ライブ ビュー表示ウィンドウでは、以下のツールバー ボタンが利用できます:

(C)	キャプチャ	ライブ ビュー プロセスの中の画像をキャプチャーします。 キャプチャ画像は PC に保存されます。
•	録画の開始/停止	手動録画を開始/停止します。ビデオ ファイルは PC に保存 されます。
3	インスタント再生 への切り替え	インスタント再生モードに切り替えます。

ライブ ビューでの手動録画

目的:

手動録画機能では、メイン ビュー ページのライブ ビデオを手動で録画できます。ビデオフ ァイルは、ローカル PC に保存されます。

手順:

- 1. マウス ポインタをライブ ビュー中の表示ウィンドウに移動するとツールバーが表示さ れます。
- 表示ウィンドウのツールバーの をクリックするか、右クリックのライブ ビュー管理 メニューから手動録画を開始します。
- アイコンをクリックして手動録画を停止します。 操作が全て正常に完了すると、録画したビデオ ファイルを保存するパスを含んだプロン プト ボックスがポップアップします。

注意:

- 手動録画中は、インジケータ■が表示ウィンドウの右上隅に表示されます。
- ビデオ ファイルを保存するパスは、システムの設定インターフェイス上で設定することができます。詳細については、14.2.3 節 ファイル保存先パス設定を参照してください。
- EZVIZ デバイスでは、ライブ ビュー中の手動録画はサポートされていません。

ローカル ビデオ ファイルの確認

手順:

- 1. **[ファイル]->[ビデオ ファイルを開く]**をクリックし、ビデオ ファイル ページを開きま す。
- 2. カメラ グループ リストから検索するカメラを選択します。
- 3. ジアイコンをクリックして検索範囲の開始時刻と終了時刻を指定します。
- [検索]をクリックします。開始時刻と終了時刻の間に録画されたビデオ ファイルが表示 されます。ビデオ ファイルを選択し、[削除]をクリックします。ビデオ ファイルが削除 されます。

ビデオ ファイルを選択し、[メール送信]をクリックします。選択したビデオ ファイルが 添付されたメール通知を送信することができます。

ビデオ ファイルを選択し、[名前をつけて保存]をクリックします。ビデオ ファイルの新 しいコピーを保存することができます。

注意:メール通知を送信する場合、実行する前にメールの設定を行っておく必要があります。 詳細については、14.2.6 節 メール設定を参照してください。



ビデオ ファイルをダブルクリックして、ビデオ ファイルをクリックしてローカルで再生す ることができます。



ローカル再生ページでは以下のボタンが使用できます:

cif 4cif	CIF/4CIF	CIF/4CIF 解像度でビデオを表示します。
	全画面	ローカル再生を全画面モードで表示します。
×	閉じる	ビデオ ファイルのローカル再生ページを閉じます。
п 🕨	一時停止/再生	ビデオ ファイル再生を一時停止/再開します。
•	停止	ビデオ ファイル再生を停止します。
1x	スピード	再生速度を設定します。
Þ	シングル フレーム	ビデオ ファイルを1フレームずつ再生します。
Ð	デジタル ズーム	デジタル ズーム機能を有効化します。もう一度クリック
		することで無効化できます。
1	音声の有効化/無効化	クリックしてローカル再生の音声を有効化/無効化します。
	キャプチャ	再生プロセスの画像をキャプチャーします。

ライブ ビューでの画像キャプチャー

手順:

- 1. マウス ポインタをライブ ビュー中の表示ウィンドウに移動するとツールバーが表示さ れます。
- 表示ウィンドウのツールバー、または右クリックのライブ ビュー管理メニューの
 ア
 イコンをクリックします。
 キャプチャー操作が行われたかどうかを通知するための、キャプチャーした画像の小さいウィンドウが表示されます。

注意:キャプチャー画像を保存するパスは、システム設定インターフェイス上で設定すること ができます。詳細については、14.2.3節 ファイル保存先パス設定を参照してください。

キャプチャー画像の確認

ライブ ビューでキャプチャーされた画像は、ソフトウェアを実行している PC に保存されま す。必要に応じてキャプチャーされた画像を確認できます。

手順:

- 1. [ファイル]-> [画像ファイルを開く]をクリックし、キャプチャー画像ページを開きます。
- 2. カメラ グループ リストから検索するカメラを選択します。
- 3. 型アイコンをクリックして検索範囲の開始時刻と終了時刻を指定します。
- (検索)をクリックします。開始時刻と終了時刻の間にキャプチャーされた画像が表示されます。
- キャプチャー画像がよりよく見えるように、ダブルクリックで拡大することができます。 キャプチャー画像を選択し、[印刷]をクリックします。選択した画像を印刷できます。 キャプチャー画像を選択し、[削除]をクリックします。選択した画像を削除できます。 キャプチャー画像を選択し、[メール送信]をクリックします。選択した画像が添付された メール通知を送信することができます。 キャプチャー画像を選択し、[名前をつけて保存]をクリックします。選択した画像の新し

キャフテャー画像を選択し、[名前をつけて保存]をクリックします。選択した画像の新しいコピーを保存することができます。

	Captured Images	×
Camera Group	Local Images	🚊 Print 🛛 😵 Delete 🔛 Send Email 🛛 🖶 Save as
Search	Provider molitoration Provider molitoration Provider molitoration Provider molitoration Provider molitoration	
Start Time: 2015-08-31 00:00:00 End Time: 2015-08-31 23:59:59		
		1

2.4.5 インスタント再生

目的:

ビデオ ファイルはメイン ビュー ページ上で即座に再生することができます。インスタント 再生は注目を要するような、または一見しただけでは不明瞭なビデオの一部分を再生します。 これにより、必要な場合にはすぐに確認してみることができます。

始める前に:

ビデオ ファイルは DVR、NVR、ネットワーク カメラなどの SD/SDHC カードや HDD のような ストレージ デバイス、またはストレージ サーバに保存されている必要があります。

手順:

- ライブ ビューを開始し、マウスを表示ウィンドウ上に移動し、ツールバーを表示します。 またはマウスをデフォルト ビューまたはカスタム ビューに移動し、 C をクリックして 選択したビューのインスタント再生を有効化できます。
- ツールバーの2アイコンをクリックすると、再生時間枠のリストがポップアップします。
 30 秒、1 分、3 分、5 分、8 分または 10 分が選択可能です。
- 時間枠を選択してインスタント再生を開始します。
 例:もしライブ ビューの現在時刻が 09:30:00 で、3 分を選択した場合、インスタント再生は 09:27:00 から始まります。
- 2. 2000 アイコンを再度クリックすると、インスタント再生が停止し、ライブ ビューに戻ります。

注意:インスタント再生中は、インジケータのが表示ウィンドウの右上隅に表示されます。



インスタント再生ページでは、以下のツールバー ボタンが利用できます:



表示ウィンドウを右クリックすることで、インスタント再生管理メニューが開きます:

-	Reverse Play
11	Pause
=	Stop
22	Fast Forward
-	Slow Forward
iÞ	Single Frame
9	Open Digital Zoom
1	Capture
8	Print Captured Picture
	Send Email
0	Start Recording
60	Enable Audio
B	Switch to Live View
(m)	Full Screen

右クリックのインスタント再生管理メニューでは、以下のボタンが利用できます:

V	逆再生	ビデオ ファイルを逆方向に再生します。
	一時停止/再生	表示ウィンドウ上のインスタント再生を一時停止/再生し
		ます。
-	体 止	インスタント再生を停止し、ライブ ビュー モードに戻り
		ます。
*	高速再生/スロー再生	インスタント再生速度を早く/遅くします。
100 44	シングル フレーム	ビデナ ファイルを1フレー/ ざつ (逆ち向い)再生します
1 1	(逆方向)	こうオークアイルをエクレームすう、(逆方向に)再生します。
æ	ゴミカル ブールた関ノ	デジタル ズーム機能を有効化します。再度クリックして、
8	ノンダル ヘームを用く	機能を無効にします。
	キャプチャ	インスタント再生プロセスの画像をキャプチャーします。

	キャプチャー画像のプ リント	現在の画像をキャプチャーし、その画像をプリントします。
	E メール送信	現在の画像をキャプチャーし、それをメール通知として1 人以上の宛先に送信します。キャプチャーした画像が添付 できます。
0 ©	録画の開始/停止 音声の有効化/無効化	ビデオ ファイルのクリッピングを開始/停止します。 クリックしてインスタント再生の音声をオン/オフします。
3	ライブ ビューに切り替 え	ライブ ビュー モードに切り替えます。
	全画面	インスタント再生を全画面モードで表示します。もう一度 クリックすることで終了します。

2.4.6 カスタム ウィンドウ分割

目的:

クライアント ソフトウェアは、事前定義されたに複数の種類のウィンドウ分割を提供しています。また、任意のカスタム ウィンドウ分割に設定することもできます。 手順:

1. ライブ ビュー ツールバー上の■をクリックし、Edl を選択するとカスタム ウィンドウ 分割ダイアログ ボックスがポップアップします。

	Edit Custom Window Division ×					
+ Add X Delete						
	Name:	3x3 ~	Joint Cancel			
			Save			

- [追加]をクリックしてカスタム ウィンドウ分割追加ダイアログ ボックスを開きます。
 注意:カスタム ウィンドウ分割は5 つまで追加できます。
- 3. 新しいウィンドウ分割に任意の名前を設定し、[OK]をクリックして設定を保存します。

Add Custom Window Division		
Name:	Window 01	
	OK Cancel	

4. ウィンドウ分割(3x3、4x4、5x5)の名前を編集できます。

 マウスをクリック アンド ドラッグして隣接するウィンドウを選択し、[結合]をクリッ クすると、それらを1つのウィンドウに結合できます。[キャンセル]をクリックして結 合をキャンセルすることもできます。



 [保存]をクリックして設定を確認します。■をクリックし、メイン ビュー ページに戻ります。■をクリックして、ライブ ビデオの再生のためのカスタム ウィンドウ分割を 選択できます。

注意:

- リモート再生に入って上記の手順を実行することで、カスタム ウィンドウ分割を 設定することもできます。
- リモート再生については最大で16のウィンドウを同時に再生することができます。
 16以上のウィンドウを持つカスタム ウィンドウ分割は再生には無効です。

2.4.7 フィッシュアイ ライブ ビュー モード:

目的:

カメラのライブ ビデオはフィッシュアイ拡張モードで再生できます。

手順:

- 1. ライブ ビューを開始します(2.4.1 節 ライブ ビューの開始と停止参照)。
- 2. ビデオを右クリックし、**フィッシュアイ拡張**を選択します。再生の拡張モードを任意に 選択できます。

注意:一部のデバイスについてはデバイスのマウント種別を選択すると関連する拡張モードのリストが表示されます。



- フィッシュアイ:魚眼ビューモードではカメラの広角ビュー全体が表示されます。このビューモードは、魚の凸面状の目の視界に似ているため「フィッシュアイ」と呼ばれています。このレンズは広いエリアの曲面的な画像を生成します。画像の中の物体に対するパースペクティブやアングルは湾曲します。
- パノラマ/デュアル-180 パノラマ/360 パノラマ:パノラマ ビュー モードでは、湾曲したフィッシュアイ画像がいくつかのキャリブレーション手法によって通常のパースペクティブを持った画像に変換します。
- PTZ:PTZビューはフィッシュアイ ビューまたはパノラマ ビュー上の一部の定義され たエリアに対するクローズ アップ ビューで、電子的なPTZ機能をサポートしていま す。これはe-PTZとも呼ばれます。
 注意:各PTZビューにはフィッシュアイ ビューおよびパノラマ ビュー上で、特定のナ ビゲーション ボックスによってマークされます。ナビゲーション ボックスをフィッ シュアイ ビューまたはパノラマ ビュー上でドラッグしてPTZビューを調整するか、 またはPTZビューをドラッグしてビューを希望の角度に調整してください。

PTZ 操作

PTZ モードでは PTZ 操作を使用して、PTZ ウィンドウを調整することができます。 <mark>注意</mark>:PTZ パネルは異なるデバイスごとに様々です。

PTZ ウィンドウを選択し、方向ボタンの1つをクリックして、ビューの角度を調整します。
 す。

注意:フィッシュアイまたはパノラマ ウィンドウの番号ラベルをクリック アンド ドラ ッグすると PTZ ウィンドウの視界の角度も変わります。

- PTZ ウィンドウを選択し、¹⁰をクリックしてオート スキャンを開始します。再度クリックするとオート スキャンが停止します。

プリセット

注意:プリセットは特定のフィッシュアイ カメラにおいてのみサポートされています。

プリセットはユーザ定義の監視位置/ポイントです。プリセット番号を呼び出すだけで監視す るシーンを定義したポジションに変更することができます。以下の手順にしたがって、プリ セットを設定してください。

手順:

- 1. [プリセット]タブをクリックしてプリセット設定インターフェイスに入ります。
- 2. PTZ ウィンドウを選択し、プリセットとしてマークしたい場所にシーンを調整します。
- 3. 🖉をクリックし、プリセット名を入力して[OK]をクリックし、プリセットを保存します。

	Add Preset	×
Name:	[]	
	OK Canc	el

4. (オプション) をクリックして、設定されたプリセットを呼び出します。

5. (オプション)圏をクリックして、設定されたプリセットを削除します。

パトロール

注意:プリセットは特定のフィッシュアイ カメラにおいてのみサポートされています。 パトロールはユーザ定義によるプリセットのグループによって指定される移動監視の経路で、 2 つのプリセットの間の移動の速度や、プリセットでの滞留時間を個別にプログラムするこ とができます。以下の手順にしたがって、パトロールを設定してください。 注意:

パトロールを設定する前に少なくとも2つのプリセットを設定しておく必要があります。 手順:

- 1. [パトロール]タブをクリックしてパトロール設定インターフェイスに入ります。
- 2. ドロップダウン リストから、経路番号を選択します。
- 3. ■をクリックしてプリセットを追加して、プリセットの滞留時間と、そのプリセットへのパトロール速度を設定します。
- 4. 上記の操作を繰り返して、パトロールする他のプリセットを追加します。

	Add Patrol No	×
Preset:	Door	~
Dwell Time(s):	10	* *
Patrol Speed:	5	▲ ▼
	ок	Cancel

- 5. 2をクリックしてパトロールを開始し、2をクリックしてパトロールを停止します。
- オプションとして、図または■をクリックし、パトロール経路のプリセットを編集また は削除できます。

注意:

- 最大 256 のプリセットを設定できます。
- 最大 32 のパトロールを設定できます。

- 滞留時間の範囲は1から120秒までです。
- パトロール速度の範囲は1から40までです。

2.4.8 スピード ドーム リンクの開始

目的:

フィッシュアイ カメラは必要に応じて対象を特定またはトラッキングするための、スピード ドーム リンク機能をサポートしています。

注意:

- この機能は特定のフィッシュアイ カメラにおいてのみサポートされています。
- オート トラッキング機能を持ったスピード ドームをフィッシュアイ カメラの近くに 設置する必要があります。

手順:

1. パノラマ ビューを右クリックし、[**リモート設定**]を選択します。[**フィッシュアイ**]メニ ューに移動します。

(2) Davies lates	Configure Fis	heye Parameters.		
General	Mounting Type:	Ceiling	•	
Time	Stroom Mode:	Mode 2: Fisheve (Main St	ream) + Fichove (Sub Stream) + 2	Tracking Paramet
🎯 System Mai	Stream mode.	wode 5. Fisheye (Main St	reall) + Fisheye (Sub Streall) + 5 •	Hacking Faramet.
@ RS232	Speed Dome Calib	pration:		
RS485				
Se Log	1		the second se	And in case of the local division of the loc
🎡 User			A CONTRACTOR OF THE OWNER	and the second second
Service			A CONTRACTOR OF A A	Common Pro-
🎡 Fisheye		T IN		
Network	and the second second			
Storage	- Kitalan - Alexandria			
4 🚳 Event	11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-			
Motion Dete				
Tampering	EAL		7	
Wideo Signal	1 3/10 1			
Wideo Signal Alarm		12	P3591700 2001	
🎡 Video Signal 🎡 Alarm 🎡 Email		E 10	P3591T00 2001	-
 Wideo Signal Alarm Email Exception 		Camera Details:	P3591Te0 2001 10.96.15.125 Dome:	Logout
 Video Signal Alarm Email Exception Schedule 		Camera Details:	P 359 (100 2001 10.96, 15, 125 Dome:	Logout
 Video Signal Alarm Email Exception Schedule Line Crossi 		Camera Details: X: 0	P3591700 2001 10.90.15.125 Dome: Pan: 8597	Logout PTZ Control
Video Signal Alarm Email Exception Schedule Line Crossi Intrusion De		Camera Details: X: 0	P359 (100 2001 10.36.15.125 Dome: Pan: 8597 Tilt: 357	Logout PTZ Control
 Video Signal Alarm Email Exception Schedule Line Crossi Intrusion De CCD 		Camera Details: X: 0 Y: 0	P359 (100 2001 10.96 (5.125 Dome: Pan: 8597 Tilt: 357 Zoom: 24	Logout PTZ Control
 Video Signal Alarm Email Exception Schedule Line Crossi Intrusion De CCD CD Image 		Camera Details: X: 0 Y: 0	P359:100 2001 10.96:15:125 Dome: Pan: 8597 Tilt: 357 Zoom: 24	Logout PTZ Control
Wideo Signal Warm Alarm Email Exception Schedule Din Crossi Monomore CCD Co Co Co Alarmage Co Alarmage Co Alarmage		Camera Details: X: 0 Y: 0	P359 (100 2001 10.90 15.125 Dome: Pan: 8597 Tilt: 357 Zoom: 24	Logout PTZ Control
 Wideo Signal Warm Email Exception Schedule Line Crossi Intrusion De CCD CCD CM Image Keat Map 	Horizon Line	Camera Details: X: 0 Y: 0 Calibration 1 C	P359 (100 2001 10.96.15.125 Dome: Pan: 8597 Tilt: 357 Zoom: 24 Clear	PTZ Control

- 2. スピード ドームのマウント種別を選択し、フィッシュアイ カメラのストリーム モード を選択します。
- 3. [ログイン]をクリックし、スピード ドームを追加します。

Login	×
Device IP Address:	10.96.15.125
Port:	8000
Name:	admin
Password:	*****
	Login

- 4. デバイスの IP アドレス、ポート番号、ユーザ名、パスワードを入力して、[**ログイン**]を クリックします。
- 5. [PTZ 操作]をクリックし、方向矢印を利用してスピード ドームを水平位置に調整します。 注意:スピード ドームが水平位置に調整されると、チルト角度は0に近づきます。

- 水平線をクリックして水平線を設定します。水平線がセットされると「水平線の設定が 成功しました」というメッセージがポップアップします。
- キャリブレーション クロス1番をフィッシュアイ カメラの中央部に移動すると、フィッシュアイ カメラの下に小さな画像が表示されます。PTZ を利用し、スピード ドームを同じ位置に調整します。キャリブレーション1をクリックしてキャリブレーション設定を終了します。
- キャリブレーション クロス2番を二つ目のポジションに移動し、PTZを利用してスピード ドームを同じ位置に調整します。キャリブレーション2をクリックして2番めのキャリブレーション設定を終了します。

注意:[クリア]をクリックすると設定したキャリブレーションが削除されます。

- 9. [リンク]をクリックするとスピード ドームがフィッシュアイ カメラにリンクされます。
- 10. **[トラッキング パラメータ]**をクリックすると、トラッキング方式が選択できます。 注意:
 - スピード ドーム リンクは侵入検知とライン横断検知のリンク方式として、そのようなアラームがトリガーされた場合に動作します。
 - フィッシュアイ カメラのライブ ビュー ウィンドウで右クリックし、[リモート設定]>[イベント]>[侵入/ライン横断] に移動し、[スマート トラッキング]チェックボックスをチェックしてトラッキング機能を有効化します。
- 11. 保存をクリックして設定を保存します。
- (オプション) パノラマ ビュー上で右クリックし、[スピード ドーム リンクの開始]を選 択することもできます。その場合、フィッシュアイ カメラのライブ ビューで対象をク リックすることで、手動でスピード ドームに対象をトラックさせることができます。
 注意:スピード ドーム リンクを表示させるには、スピード ドームをソフトウェアに追 加し(2.2 節 デバイスの追加)、そのライブ ビューを開始する(2.4.1 節 ライブ ビューの開 始と停止)必要があります。

2.4.9 ライブ ビューのその他の機能

デジタル ズーム、双方向音声、カメラ ステータスおよび同期など、ライブ ビューではその 他の機能もサポートされています。

AUX 画面のプレビュー

ライブ ビデオは別の補助画面に表示することができ、複数の監視シーンに対する便利なプレ ビューに用いることができます。最大3つまでの補助画面に対応しています。

デジタル ズーム

マウスの左ボタンを使って、右下または左上の方向に向けて四角のエリアをドラッグすると、 その四角のエリアに対してズーム イン/アウトします。

チャンネル ゼロ

デバイスのチャンネル ゼロについては Ctrl キーを押したまま画面の特定のチャンネルをダ ブルクリックします。Ctrl キーを押したまま再度ダブルクリックすることで元に戻します。

双方向音声

双方向音声機能はカメラの音声通話を可能にします。ライブ ビデオを得られるだけでなく、 カメラからのリアルタイムの音声も取得できます。この双方向音声は一度に1台のカメラで のみ利用できます。

カメラ ステータス

録画ステータス、信号ステータス、接続数などのカメラのステータスを検出し、チェックの ために表示させることができます。ステータス情報は 10 秒毎に更新されます。

同期

同期機能は、クライアント ソフトウェアを実行する PC を使用して、デバイスのクロックを 同期化する方法を提供します。

第3章 リモート ストレージ スケジュ ール設定および再生

ビデオ ストレージ デバイスがローカル デバイス上の HDD、Net HDD、SD/SDHC カードまた は接続されたリモート ストレージ サーバである場合、カメラの録画スケジュールまたはキ ャプチャー スケジュールを設定し、連続的、アラーム契機またはコマンド契機による録画ま たはキャプチャーを行わせることができます。また、ビデオ ファイルはリモート再生用に検 索することもできます。

3.1 リモート ストレージ

目的:

ビデオ ファイルおよびキャプチャーした画像は HDD、Net HDD、ローカル デバイスの SD/SDHC カード、または接続されたストレージ サーバに記録することができます。

コントロール パネル上の 一一 アイコンをクリックするか、[ツール]->[ストレージ スケジ ュール]をクリックしてストレージ スケジュール ページを開きます。

Camera	Storage Schedule					📄 Copy to	🕞 Savi
Search	Storage of Encoding Se Record Schedule: Capture Schedule:	Template 01 V	Edit	t Adva	anced Settings anced Settings		
	Storage Server Storage Server:	🛃 Storage Server 01 🗸	S	Storage Server N	lanagement		
	Storage Content Storage Quota:	Record Schedule Picture Storage Additional Information St Record Quota 50% Picture Quota Ratio:30% Additional Information Quota	Te Sto orage	mplate 01 ring the alarm r VCA Config Set Quota	oldures of the e	Edit	Advanced Settings

3.1.1 DVR、NVR またはネットワーク カメラのストレージ

デバイスへの保存

目的:

DVR、NVR、ネットワーク カメラを含む一部のローカル デバイスは、ビデオ ファイル用の HDD、Net HDD、SD/SDHC カードのようなストレージ デバイスを備えています。ローカル デ バイスのチャンネルに対して録画スケジュールやキャプチャー スケジュールを設定するこ とができます。

注意:キャプチャー スケジュールを使用してキャプチャーされた画像は、ローカル デバイス 上に保存され、デバイスのリモート設定ページで検索することができます。 始める前に:

新たにインストールされたストレージ デバイスはフォーマットする必要があります。リモート設定ページから、[ストレージ]->[一般]をクリックし、HDD をまたは SD/SDHC カードを選択します。[フォーマット]をクリックし、選択したストレージ デバイスを初期化します。 手順:

- 1. 録画スケジュール ページを開きます。
- 2. カメラ グループ リストからカメラを選択します。
- [エンコーディング サーバのストレージ]の[録画スケジュール/キャプチャー スケジュ ール]チェックボックスをチェックし、デバイス ローカルの録画またはキャプチャーを 有効化します。

Storage of Encoding Se				
Record Schedule:	Template 01	·	Edit	Advanced Settings
Capture Schedule:	Template 01	~	Edit	Advanced Settings

 ドロップダウン リストから、録画またはキャプチャー スケジュール テンプレートを選 択します。

全日テンプレート:すべての日を通じて継続的に録画するためのものです。

平日テンプレート:日勤帯時間、午前8時から午後8時まで継続的に録画するためのものです。

イベント テンプレート:イベント トリガー録画のためのものです。

テンプレート 01~08:特定のスケジュールのための固定テンプレートです。必要に応じ てテンプレートを編集できます。

カスタム:自由にカスタマイズすることができます。

テンプレートを編集またはカスタマイズする必要がある場合は、録画スケジュール テン プレートの設定を参照してください。

5. [詳細設定]をクリックして、録画パラメータを設定します。詳細については

- 6. **表 3.1 詳細録画設定**および表 3.2 詳細キャプチャー設定を参照してください。
- 7. オプションとして、[**コピー先**…]をクリックし、録画スケジュールを他のチャンネルにコ ピーできます。

		Ad	vanced Settings ×
		 Continuous Capture Resolution: Picture Quality: Interval: Event Capture Resolution: 	HD1080P v Low Medium High ms
Advance	ed Settings ×	Picture Quality:	Low Medium High
		Interval:	ms
Pre-record:	5s 🗸	Captured Picture Nu	4
Post-record:	5s 🗸		
Video Stream:	Main Stream 🗸		
	OK Cancel		OK Cancel

表 3.1 詳細録画設定

パラメータ	説明
録画前:	イベントが発生する前の録画を行いたい場合に、通常、イベント トリ ガー録画とともに用います。
録画後:	イベントの終了後、一定の時間ビデオを録画することもできます。
ビデオストリーム:	録画のストリーム種別を選択します。

表 3.2 詳細キャプチャー設定

パラメータ	説明
解像度	連続またはイベント キャプチャーの画像の解像度を選択します。
画質	連続またはイベント キャプチャーの画像の画質を選択します。
間隔	2 つのキャプチャー アクション間の時間を規定する間隔を選択します。
キャプチャー画像 数	イベント キャプチャーの画像の数を設定します。

録画スケジュール テンプレートの設定

以下の手順を実行して録画スケジュール テンプレートを設定します: ドロップダウン リストで**テンプレート 01~08**を選択した場合、ステップ1から実行します; ドロップダウン リストで**カスタム**を選択した場合、ステップ2から実行します。

- 1. [編集]をクリックし、テンプレート管理インターフェイスに入ります。設定するテンプレートを選択するとテンプレート名が編集できます。
- 2. 選択したテンプレートに対して時間スケジュールを設定します。

<u>Schedule Recording</u>は通常のスケジュール録画を表します。スケジュール タイム バーは
 でマークされます。

<u>Levent Recording</u>はイベントのためのスケジュール録画を表します。スケジュール タイム バーは でマークされます。

<u>Command</u>はコマンドによってトリガーされるスケジュール録画を表します。スケジュール タイム バーは でマークされます。

注意:コマンド トリガーによる録画は、ATM DVR を iVMS-4200 に追加した際の ATM トラ ンザクションに対してのみ利用可能です。

カーソルが

になったら、時間帯を設定できます。

カーソルが Culture から、 今編集したタイム バーを移動できます。表示された時刻ポイントを編集して正確な時間帯を設定することができます。

カーソルが (た) になったら、 選択したタイム バーを伸ばしたり縮めたりすることができます。

- オプションとして、スケジュール タイム バーを選択し、 アイコンをクリックして選択したタイム バーを削除するか、 アイコンをクリックしてすべてのタイム バーを削除するか、 アイコンをクリックしてタイム バーの設定を他の日付にコピーすることができます。
- 4. [OK]をクリックして設定を保存します。

カスタム スケジュール インターフェイスの[**スケジュール テンプレートとして保存]** をクリックして、カスタム テンプレートをテンプレート 01~08 として保存することが できます。

注意:録画スケジュールでは、各日について最大8つの時間帯を設定できます。





3.1.2 ストレージ デバイスへの保存

目的:

ビデオ ファイルおよび追加されたエンコーディング デバイスの画像を保存するために、ス トレージ デバイスをクライアントに追加することができます。ファイルはリモート再生のた めに検索することもできます。ストレージ デバイスはストレージ デバイス、CVR またはそ の他の NVR である場合もあります。ここでは例としてストレージ サーバの追加を取り上げ ます。

始める前に:

ストレージ サーバのアプリケーション ソフトウェアがインストールされており、それは iVMS-4200 ソフトウェア パッケージに同梱されているものである必要があります。 iVMS-4200 ソフトウェアのインストール時に、[**ストレージ サーバ]**チェックボックスをチェ ックし、ストレージ サーバのインストールを有効にしてください。

ストレージ サーバの追加

手順:

デスクトップの ショートカット アイコンをダブルクリックし、ストレージ サーバを起動します。

注意:

- ビデオ ファイルを別の PC にインストールされたストレージ サーバに保存することもできます。
- ストレージ サーバのポート番号(値:8000)が他のサービスに占有されている場合、ダイアログ ボックスがポップアップします。ポート番号を他の数字に変更し、ストレージ サーバが適正に動作するようにしてください。
- 2. デバイス管理ページを開き、[サーバ]タブをクリックします。
- 3. [新しいデバイス種別の追加]をクリックし、[ストレージ サーバ]を選択し、[OK]をクリ ックします。
- リストから[ストレージ サーバ]を選択し、ストレージ サーバ追加インターフェイスに入ります。

rganization	Device for Manag	ement (1)				
Encoding Device	+ Add Device	🖸 Modify	🗙 Delete 🛛 🎄	Remote Configuration	F	ilter
🟭 Decoding Device	Nickname 🔺	IP	Device Serial	No.	Resource Usage	Status
🜉 Cascading Server	Storage Server	10.16.1.103	DS-NVR-V120	B20150814-FCAA1426153F	0	
🛃 Transcoder						
EZVIZ Cloud P2P Device						
🔛 Video Wall Controller						
🧠 Third-party Encoding Device						
Security Control Panel						
Video Intercom Device						
Storage Server						
Ohners Madia Constant						
M Stream media Server						
Ma Sueam media Server						
R Stream wedra Server	Online Device (1)		Refres	n Every 60s		
Ma Sueam neula Selver	Online Device (1) + Add to Clien	t 🕂 Add All	 Refres Modify Netir 	n Every 60s fo 🔷 Restore Default Password		Filter
Sueam neula Server	Online Device (1) + Add to Clien IP •	t + Add All Device Type	 Refres Modify Netin Port 	n Every 60s fo • Restore Default Password Device Serial No.		Filter
M Suean media Server	Online Device (1) + Add to Clien IP • 10.16.1.103	t + Add All Device Type STORAGE-SEF	Refres Modify Netin Port RVER 8000	n Every 60s fo Restore Default Password Device Serial No. DS-NVR-V120B20150814-FC	AA1426153F	Filter Added Yes

- 5. 以下の方法でストレージ サーバを追加することができます:
- オンライン ストレージ サーバを検知する方法については、2.2.2 節 オンライン デバイ スの追加を参照してください。
- ストレージ サーバの IP アドレスまたはドメイン名を指定する方法については、2.2.3 節 デバイスの手動追加を参照してください。
- IP セグメントを指定する方法については、2.2.4 節 IP セグメントによるデバイスの追加 を参照してください。
- IP サーバを利用する方法については、2.2.5 節 IP サーバによるデバイスの追加を参照してください。

HDD のフォーマット

ストレージ サーバの HDD はビデオ ファイルや画像の保存のために、フォーマットしておく 必要があります。

手順:

1. 追加されたストレージ サーバをリストから選択し、[リモート設定]をクリックします。

- 2. [ストレージ]->[一般]をクリックし、HDD フォーマット インターフェイスに入ります。
- リストから HDD を選択して[フォーマット]をクリックします。プロセス バーによってフ オーマットのプロセスをチェックできます。フォーマットされた HDD フォーマットのス テータスは未フォーマットから通常ステータスに変わります。

注意:HDD のフォーマットは、ディスクの容量をストレージに事前配分することであり、フォ ーマットされる HDD の元のデータが削除されるわけではありません。

HDD settings.							
HDD No.	Capacity(MB)	Free Space (Status	Туре	Group No.	Property	
l 1	139996	1126	Normal	Local	Group00	Read/Write	
2	139996	400	Normal	Local	Group00	Read/Write	
3	136944	1152	Normal	Local	Group00	Read/Write	
√ 4	1992294	310713	Unformatted	Local	Group00	Read/Write	
Format	Upo	late All					
rocess:							
							0%

録画スケジュールの設定

始める前に:

ストレージ サーバは、クライアント ソフトウェアに追加されており、HDD はビデオ ファ イルの保存用にフォーマットされている必要があります。

手順:

- 1. ストレージ スケジュール ページを開きます。
- 2. カメラ グループ リストからカメラを選択します。
- ストレージ サーバのドロップダウン リストからストレージ サーバを選択します。
 注意:[ストレージ サーバ管理]をクリックしてストレージ サーバを追加、編集または削除することができます。
- (録画スケジュール)チェックボックスをチェックして、ビデオ ファイルの保存を有効化します。

または、[**画像保存**]チェックボックスをチェックして、イベント発生時のカメラのアラーム映像を保存することもできます。

ヒート マップまたは人数カウントの機能を持つネットワーク カメラの場合、[追加の情報保存]チェックボックスを利用できます。[VCA 設定]をクリックしてカメラの VCA ルールを設定することができます。[追加の情報保存]チェックボックスをチェックすると、ヒート マップ、人数カウント データおよび道路通行量データがストレージ サーバにアップロードされるようになります。データのチェックについては 15.1 章 ヒート マップ、15.2 章 人数カウント統計および 15.4 章 道路交通量を参照してください。 注意:VCA ルール設定の詳細な設定方法については、カメラのユーザ マニュアルを参照してください。

- ドロップダウン リストから録画スケジュール テンプレートを選択します。
 テンプレートを編集またはカスタマイズする必要がある場合は、録画スケジュール テン プレートの設定を参照してください。
- [詳細設定]をクリックして、事前録画時間、事後録画時間および録画に関するその他のパ ラメータを設定します。

[クォータの設定]をクリックしてストレージ サーバの HDD 管理インターフェイスに入ります。録画、画像および追加情報に対するそれぞれのクォータの比率を設定することができます。

例:録画のクォータを 60%に設定すると、ストレージ容量の 60%がビデオ ファイルの保存に利用されます。

8. [保存]をクリックして設定を保存します。

torage Schedule					📄 Copy to.	🕞 Save
Storage of Encoding Se						
Record Schedule:	Template 01	•	Edit	Advanced Settings	3	
Capture Schedule:	Template 01	•	Edit	Advanced Settings	3	
Storage Server						
storage Server:	Storage Server 01	~	Storage S	erver Management		
storage Content:	Record Schedule		Template 0	I V	Edit	Advanced Settings
	Picture Storage		Storing the a	larm pictures of the	camera	
	Additional Information	ion Storage	VCA Col	nfig		
Storage Quota:	Record Quota:50%		Set Que	ota		
	Picture Quota Ratio:30	%				
	Additional Information (Quota:20%				

注意:ストレージ サーバはライン横断検知アラーム、侵入検知アラーム、領域進入検知アラ ーム、領域退出検知アラーム、高速移動検知アラーム、人物集合検知アラーム、徘徊検知ア ラーム、駐車検知アラーム、物体除去アラームおよび放置荷物検知アラーム録画の保存をサ ポートしています。詳細は第4章 イベント管理を参照してください。

3.2 リモート再生

目的:

ローカル デバイスまたはストレージ サーバに保存されたビデオ ファイルはカメラまたは トリガーしたイベントによって検索でき、リモートから再生することができます。

コントロール パネル上の アイコンをクリックするか、[ビュー]->[リモート再生]をクリ ックしてリモート再生ページを開きます。



- リモート再生ページ
 - 1カメラ リスト
 - 2 再生ウィンドウの表示
 - 3 再生操作ボタン
 - 4 タイムライン
 - 5 カレンダー
 - 6 検索条件

3.2.1 通常再生

目的:

通常再生用のビデオ ファイルはカメラまたはグループ名によって検索できます。

通常再生用のビデオ ファイルの検索

手順:

- 1. リモート再生ページを開きます。
- カメラまたはグループを表示ウィンドウにクリック アンド ドラッグするか、カメラまたはグループをダブル クリックすることで再生を開始できます。
- 選択したグループまたはカメラに対して見つかったビデオ ファイルはインターフェイスの右側に表示されます。[フィルタ]テキスト フィールドを通じて結果をフィルタすることができます。
- 4. (オプション) カレンダー アイコン^{4:41:32-2015.08.05 14:41:32}
 ※ をクリックして、カレンダー ダイアログ ボックスを有効化します。
 開始および終了日付を選択し、正確な時間を設定します。
 [OK]をクリックすると、設定された日付近辺の7日間のビデオ ファイルが検索され、表示されます。



注意:

- 最大 16 までのカメラが同時に検索できます。
- カレンダー上では、スケジュールによる録画がある日は
 でマークされ、イベントによる録画がある日は
 でマークされます。

ビデオ ファイルの再生

通常再生用のビデオ ファイルの検索後、以下の2つの方法でビデオ ファイルを再生することができます。

ファイル リストによる再生
 検索結果リストからビデオ ファイルを選択し、ビデオ ファイル上のロアイコンをクリックするか、ビデオ ファイルをダブルクリックして再生表示ウィンドウにビデオを再生します。

または表示ウィンドウを選択し、ツールバー上の**▶**アイコンをクリックして対応するビ デオ ファイルを再生します。

 タイムラインによる再生 タイムラインはビデオ ファイルの再生時間を表しており、ビデオ ファイルの種別ごと に色分けされます。タイムラインをクリックすることでビデオ ファイルの特定の時間 を再生することができます。
 ■または■をクリックして、タイムライン バーを拡大または縮小することができます。
 タイムライン バーをドラッグすることで、前後の時間帯に移動することができます。

タイムライン バーをドラックすることで、前後の時間帯に移動することができます。 マウス ホイールを利用してタイムラインに対するズーム インまたはズーム アウトを 行うことができます。



通常再生ツールバー:

		•	1x 🗦	4 0			R		M C4			i
→ - →-						2014/11	/18 17:4	43:57				
		12:00										
IP Camera3_Interse												
<u>T</u> -										ē 1	1/18	

通常再生ページでは、以下のツールバー ボタンが利用できます:

~		
4	逆再生	ビデオ ファイルを逆方向に再生します。
11 🕨	再生の一時停止/再開	ビデオ ファイル再生を一時停止/再開します。
	再生を停止	すべてのカメラの再生を停止します。
1	シングル フレーム (逆方向)	ビデオ ファイルを1フレームずつ、逆方向に再生します。
t Þ	シングル フレーム	ビデオ ファイルを1フレームずつ再生します。
*	スロー再生/高速再生	再生速度を遅く/速くします。
4 0 4)	音量	音声のオン/オフの切り替えおよび音量の調整を行います。
	イベント再生	動体検知やビデオ損失、ビデオ干渉などのイベントによっ てトリガーされた録画を検索します。
ATM	ATM 再生	ATM デバイスの録画を検索します。
and and a start of the start o	VCA 再生	VCA 検索、侵入および境界線横断を含む VCA イベントが発生 したビデオ ファイルを検索し、VCA ルールを適用します。
	ウィンドウ分割	ウィンドウ分割を設定します。
jej	全画面	ビデオ再生を全画面モードで表示します。ESC を押して抜 けることができます。
# #	非同期/同期再生	クリックしてビデオ ファイルを同期または非同期で再生 します。
(ダウンロード	カメラのビデオ ファイルをダウンロードします。ビデオ ファイルは PC に保存されます。ファイルごと、日付ごとに ダウンロードが可能です。
	タグ	ビデオ ファイルにデフォルト タグを付与し、ビデオ上の 重要なポイントをマークします。タグを編集すること、ま



再生の表示ウィンドウを右クリックすることで、再生管理メニューが開きます:



右クリックの再生管理メニューでは、以下の項目が利用できます:

	ANK	
\mathbf{P}	逆再生	ビデオ ファイルを逆方向に再生します。
	一時停止/再開	再生を一時停止/再開します。
=	停止	再生を停止します。
77	高速再生	ビデオ ファイルをより速い速度で再生します。
-	スロー再生	ビデオ ファイルをより遅い速度で再生します。
iÞ Ni	シングル フレーム (逆方向)	ビデオ ファイルを1フレームずつ、(逆方向に)再生します。
R	デジタル ズームを開	デジタル ズーム機能を有効化します。再度クリックして、
2	<	機能を無効にします。
		デフォルト(デフォルト タグ名 TAG)またはカスタム タグ
	み お 在11 4m	(カスタマイズされたタグ名)をビデオ ファイルに付与し、
N	ダク制御	ビデオの重要なポイントをマークします。タグを編集する、
		あるいはタグの位置に便利に移動することができます。
٠	精密ポジショニング	ビデオ ファイル再生の正確な時刻ポイントを設定します。
	キャプチャ	再生プロセスの画像をキャプチャーします。
	キャプチャー画像のプ	画像をキャプチャーして印刷します。
	.)	羽左の画色をたわプチャート それたメール通知として1人
1521		現在の回家をイヤノノヤーし、それをハール通知として「大
	Eメール运信	以上の死亡に送信しまり。キャノテャーした画像が添けでき
0 0	録画の開始/停止	于 朝 球 回 を 開 始 / 停 止 し ま す 。 ヒ テ オ フ ァ イ ル は PC に 保 存
_		されます。
2	ダウンロード	カメラのビデオ ファイルをダウンロードします。ビデオ

ファイルは PC に保存されます。ファイルごと、日付ごとに ダウンロードが可能です。

- 🚅 💷 音声の有効化/無効化 クリックして再生の音声を有効化/無効化します。
- フィッシュアイ再生モードに入ります。詳細は 3.2.6 節 フィッシュアイ再生を参照してください。

再生を全画面モードで表示します。再度クリックして終了します。

3.2.2 イベント再生

目的:

動体検知、VCA 検知または行動解析などのイベントによってトリガーされた録画は、イベン ト再生用に検索することができます。この機能は、接続されたデバイスがサポートしている 必要があります。

イベント再生用のビデオ ファイルの検索

手順:

- 1. リモート再生ページを開きます。
- 2. カメラを選択し、通常再生を開始します。3.2.1 章通常再生を参照してください。
- 3. ■をクリックすると、デフォルトで動体検知によってトリガーされた録画が検索されます。
- ドロップダウン リストからイベント種別を選択すると、条件に適合したビデオ ファイ ルが表示されます。[フィルタ]テキスト フィールドを通じて結果をフィルタすることが できます。または、
- 5. (オプション) カレンダー アイコン^{4:41:32-2015.08.05 14:41:32} ダイアログ ボックスを有効化します。 日付を選択し、正確な時間を設定します。[OK]をクリックすると、設定された日付近辺の7日間のビデオ ファイルが検索され、表示されます。 注意:カレンダー上では、スケジュールによる録画がある日は▲でマークされ、イベントによる録画がある日は▲でマークされます。
- 6. 検索結果リストからビデオ ファイルを選択し、ビデオ ファイル上の■アイコンをクリ ックするか、ビデオ ファイルをダブルクリックして、対応する再生表示ウィンドウにビ デオを再生します。



ビデオ ファイルの再生

イベントによってトリガーされた録画の検索後、以下の2つの方法でビデオ ファイルを再 生することができます。

ファイル リストによる再生
 検索結果リストからビデオ ファイルを選択し、ツールバーの
 アイコンをクリックするか、またはビデオ ファイル上の
 アイコンをクリックするかビデオ ファイルをダブ
 ルクリックして、対応する再生表示ウィンドウにビデオを再生します。

タイムラインによる再生
 タイムラインはビデオ ファイルの時間の長さを示しています。タイムラインをクリックすることでビデオ ファイルの特定の時間を再生することができます。

■または■をクリックして、タイムライン バーを拡大または縮小することができます。 タイムライン バーをドラッグすることで、前後の時間帯に移動することができます。 マウス ホイールを利用してタイムラインに対するズーム インまたはズーム アウトを 行うことができます。

イベント再生ツールバー:

	+	*	1x 🕨	•	`					E
					2	014/11/2	4 14:39:00	6		
	04:00					14:00				
IP Camera3_Intersection										
							iā 11/2	4 11/		

リモート再生ページでは、以下のツールバー ボタンが利用できます:

	逆再生	ビデオ ファイルを逆方向に再生します。
11 🕨	再生の一時停止/再開	ビデオ ファイル再生を一時停止/再開します。
	再生を停止	すべてのカメラの再生を停止します。
41	シングル フレーム	ビデオ ファイルを1フレームずつ、逆方向に再生し
	(逆方向)	ます。
11	シングル フレーム	ビデオ ファイルを1フレームずつ再生します。
+	前のイベント	前のイベントの再生に移動します。
>	次のイベント	次のイベントの再生に移動します。
*	スロー再生/高速再生	再生速度を遅く/速くします。



右クリック メニューの説明については 3.2.1 章 通常再生を参照してください。イベント再 生ではいくつかのアイコンは利用できません。

3.2.3 ATM 再生

目的:

ATM、DVR のビデオ ファイルを検索します。

注意:この機能はデバイスによってサポートされており、かつデバイスにはトランザクション ルールが設定されている必要があります。詳細についてはデバイスのユーザ マニュアルを参 照してください。

ATM 再生用のビデオ ファイルの検索

手順:

- 1. リモート再生ページを開きます。
- 2. ATM、DVR カメラを選択し、通常再生を開始します。3.2.1 章通常再生を参照してください。
- 3. 🔤をクリックして ATM 再生インターフェイスに入ります。
- 4. 検索条件を入力します。

 Instant 情報に含まれているカード番号を入力します。

 Instant 情報に含まれているカード番号を入力します。
- 5. [検索]をクリックすると、一致したファイルが表示されます。[フィルタ]テキスト フィ ールドを通じて結果をフィルタすることができます。
- 6. (オプション) カレンダー アイコン^{4:41:32-2015.08.05 14:41:32}
 をクリックして、カレンダー ダイアログ ボックスを有効化します。 日付を選択し、正確な時間を設定します。現在時刻をクリックし、現在の時刻を取得す ることができます。
 [OK]をクリックすると、設定された日付近辺の7日間のビデオ ファイルが検索され、表 示されます。
- 7. ファイルをダブルクリックして再生します。または、[×]をクリックして通常再生に戻り ます。

ビデオ ファイルの再生

録画の検索後、以下の2つの方法でビデオファイルを再生することができます:

- ファイル リストによる再生
 検索結果リストからビデオ ファイルを選択し、ツールバーの
 アイコンをクリックするか、またはビデオ ファイル上の
 アイコンをクリックするかビデオ ファイルをダブ
 ルクリックして、対応する再生表示ウィンドウにビデオを再生します。
- タイムラインによる再生
 タイムラインはビデオ ファイルの時間の長さを示しています。タイムラインをクリックすることでビデオ ファイルの特定の時間を再生することができます。
 ■または■をクリックして、タイムライン バーにズーム インまたはズーム アウトすることができます。
 タイムライン バーをドラッグすることで、前後の時間帯に移動することができます。
 マウス ホイールを利用してタイムラインに対するズーム インまたはズーム アウトを行うことができます。

再生コントロール ツールバーおよび右クリック メニューの説明については 3.2.1 章 通常再 生を参照してください。ATM 再生ではいくつかのアイコンは利用できません。

3.2.4 同期再生

目的:

同期再生ではビデオ ファイルの再生を同期させることができます。

注意:最大16台までのカメラからのビデオファイルが同時に再生できます。

手順:

- 1. 通常再生用のビデオ ファイルを検索します(3.2.1 節 通常再生)。再生には最低でも 2 つ のカメラが含まれます。
- ツールバーの をクリックして、同期再生を有効化します。再生中のカメラが同期再生を開始します。



3. 同期再生を無効化するにはエアイコンをクリックします。

3.2.5 VCA 再生

目的:

VCA 検索、侵入およびライン横断を含む VCA イベントが発生したビデオ ファイルを検索し、 VCA ルールを適用できます。この機能はより関心の高いようなビデオを検索し、赤い色でマ ーキングするのに利用できます。

- VCA 検索:事前定義した領域の中で発生した、すべての関連する動体検知イベントを取得 します。
- **侵入検知**:事前定義した領域に人物、車両、その他の移動するオブジェクトが侵入して きているか検知します。
- ライン横断検知仮想のラインを双方向で横断している人物、車両、その他の移動するオ ブジェクトを検知します。

注意:一部のデバイスでは、人物の性別や年齢、眼鏡着用の有無のような詳細な特徴を設定して、検索したビデオファイルをフィルタできます。

手順:

- 1. リモート再生ページを開きます。
- 2. カメラを選択し、通常再生を開始します。3.2.1 章通常再生を参照してください。
- 3. **図**をクリックして VCA 再生インターフェイスに入ります。
- 4. VCA の種別を選択し、検出領域を指定し、感度を設定します。
 - 注意:
 - VCA 検索では、 をクリックし、そして再生ウィンドウでクリックして移動させることでグリッドの四角形を検出領域として指定します。または
 をクリックしてカメラが撮影するエリア全体を検出領域として指定することができます。
 - 侵入検知では、²をクリックし、そして再生ウィンドウでクリックして移動させる ことで検出領域の頂点を指定します。
 - ライン横断では、 をクリックし、そして再生ウィンドウでクリック アンド ドラ ッグすることで検出ラインを指定します。
 注意:侵入およびライン横断検知では、[詳細特徴]をクリックして人物の性別や年齢、 眼鏡着用の有無のような対象の特徴を設定して、検索したビデオファイルをフィル タできます。この機能はデバイスがサポートしている必要があります。
 - 指定した領域やラインを削除する場合、
 ▲をクリックしてそれを除去します。

5. [検索]をクリックすると、指定したエリアで発生した VCA イベントがタイムライン上で 赤くマークされます。デフォルトでは、該当するビデオの再生速度は1倍、無関係なビ デオの再生速度は8倍になります。

注意:システム設定で VCA 再生中に無関係なビデオをスキップするよう設定すると、VCA 再生中は無関係なビデオが再生されなくなりまうす。14.2.1 章 一般設定を参照してくだ さい。



ビデオ ファイルの再生

録画の検索後、以下の2つの方法でビデオ ファイルを再生することができます:

- ファイル リストによる再生 検索結果リストからビデオ ファイルを選択し、ツールバーの アイコンをクリックするか、またはビデオ ファイル上の アイコンをクリックするかビデオ ファイルをダブ ルクリックして、対応する再生表示ウィンドウにビデオを再生します。
- タイムラインによる再生 タイムラインはビデオ ファイルの時間の長さを示しています。タイムラインをクリッ クすることでビデオ ファイルの特定の時間を再生することができます。
 または タクリックして、タイムライン バーにズーム インまたはズーム アウトす ることができます。
 タイムライン バーをドラッグすることで、前後の時間帯に移動することができます。
 マウス ホイールを利用してタイムラインに対するズーム インまたはズーム アウトを 行うことができます。

再生コントロール ツールバーおよび右クリック メニューの説明については 3.2.1 章 通常再 生を参照してください。VCA 再生ではいくつかのアイコンは利用できません。

3.2.6 フィッシュアイ再生

目的:

ビデオ ファイルはフィッシュアイ拡張モードで再生することができます。

手順:

- 1. リモート再生ページを開きます。
- 2. カメラを選択し、通常再生を開始します。3.2.1 章通常再生を参照してください。
- 再生中のビデオを右クリックして[フィッシュアイ拡張]を選択し、フィッシュアイ拡張モードに入ります。再生の拡張モードを任意に選択できます。
 注意:一部のデバイスについてはデバイスのマウント種別を選択すると関連する拡張モードのリストが表示されます。

- フィッシュアイ:魚眼ビュー モードではカメラの広角ビュー全体が表示されます。このビュー モードは、魚の凸面状の目の視界に似ているため「フィッシュアイ」と呼ばれています。このレンズは広いエリアの曲面的な画像を生成します。画像の中の物体に対するパースペクティブやアングルは湾曲します。
- パノラマ/デュアル-180°パノラマ/360°パノラマ:パノラマ ビュー モードでは、湾曲したフィッシュアイ画像がいくつかのキャリブレーション手法によって通常のパースペクティブを持った画像に変換します。
- PTZ:PTZビューはフィッシュアイ ビューまたはパノラマ ビュー上の一部の定義され たエリアに対するクローズ アップ ビューで、電子的なPTZ機能をサポートしていま す。これはe-PTZとも呼ばれます。

注意:各PTZビューにはフィッシュアイ ビューおよびパノラマ ビュー上で、特定のナ ビゲーション ボックスによってマークされます。ナビゲーション ボックスをフィッ シュアイ ビューまたはパノラマ ビュー上でドラッグしてPTZビューを調整するか、 またはPTZビューをドラッグしてビューを希望の角度に調整してください。



再生中のウィンドウを右クリックすると、選択したウィンドウを全画面モードに切り替えら れます。

キーボードのESCキーを押すか、ウィンドウを右クリックして[全画面モードの終了]を選択すると、全画面モードが終了します。

通常再生ページでは、以下のツールバー ボタンが利用できます:

	逆再生	ビデオ ファイルを逆方向に再生します。
11 🕨	再生の一時停止/再開	ビデオ ファイル再生を一時停止/再開します。
41	シングル フレーム (逆方向)	ビデオ ファイルを1フレームずつ、逆方向に再生します。
t Þ	シングル フレーム	ビデオ ファイルを1フレームずつ再生します。
*	スロー再生/高速再生	再生速度を遅く/速くします。
4 0	音量	音声のオン/オフの切り替えおよび音量の調整を行います。
I	全画面	ビデオ再生を全画面モードで表示します。ESC を押して抜 けることができます。

第4章 イベント管理

目的:

iVMS-4200 クライアント ソフトウェアでは、トリガーとリンク アクションのルールを設定 することができます。ルールを設定することで、トリガーに対してリンク アクションを割り 当てることができます。例えば、動体が検知された場合、警告音を鳴らしたり、その他のリ ンク アクションを起こすことができます。

コントロール パネル上の アイコンをクリックするか、[**ツール]**->[イベント管理]をクリ ックしてイベント管理 ページを開きます。

amera		Select Event Type:	Motion Detection	~		Copy to	Rave
earch	9	Enable					
🖶 3		Enable Dynamic	Analysis				
😂 10.6.6.133		Arming Schedule:		- Edit			
😂 10.6.6.134		Configuration:		~			
😂 10.6.6.135		Trigger Camera:			~		
😂 10.6.6.136		Arming Region					
10.6.6.137				Sensitiv	ity:		
10.6.6.140				1			
10.6.6.142							
10.6.6.143							
10.6.6.146							
Group_1							
2							
Intersection							
10.7.35.223							
10.33.3.159				<u>т</u>			
		Trianas Alarra Cu	laut la s	and the second second	Tierro	Next Adian	*
		Tigger Alarm Ou		ngger Channel Record		Alleni Action	
U. 10. 1.93					Audible V	Varning	

以下のトリガーに対して様々なリンク アクションを設定できます:

注意:この設定を行うためには、デバイスがイベント検知をサポートしている必要があります。
 カメラ イベント

- アラーム入力
- デバイス異常
- ゾーン イベント(デバイス種別セキュリティ コントロール パネルが追加されている場合に利用可能)11.1.1 章 セキュリティ コントロール パネルの追加を参照してください。)

注意:カメラ イベントのイベント種別はデバイスごとに様々です。ここではいくつかのイベ ント種別の設定をサンプルとして取り上げます。その他の種別についてはデバイスのユーザ マニュアルを参照してください。

4.1 動体検知アラームの設定

目的:

動体検知アラームはクライアント ソフトウェアが定義されたエリアの中での動きを検知し た時にトリガーされます。アラーム出力、チャンネル録画およびクライアント アクションを 含むリンク アクションが設定できます。

注意:設定は異なるデバイスごとに様々です。詳細についてはデバイスのユーザ マニュアル

を参照してください。

手順:

- 1. イベント管理ページを開き、[カメラ イベント]タブをクリックします。
- 2. 設定するカメラを選択し、[動体検知]をイベント種別として選択します。
- [有効化]チェックボックスをチェックして動体検知機能を有効化します。[動的解析の有効化]チェックボックスをチェックすると、検知した対象を、ライブ ビューまたは再生中に緑の四角形でマークできます。
- ドロップダウン リストから、監視スケジュール テンプレートを選択します。
 全日テンプレート:すべての日を通じて継続的に監視するためのものです。
 平日テンプレート:日勤帯時間、午前 8 時から午後 8 時まで継続的に監視するためのものです。
 テンプレート 01~09:特別なスケジュールのための固定テンプレートです。必要に応じてテンプレートを編集できます。
 カスタム:自由にカスタマイズすることができます。
 テンプレートを編集またはカスタマイズする必要がある場合は、監視スケジュール テンプレートの設定を参照してください。
 任意の設定を選択してください。
- 注意:一部のカメラでは通常またはエキスパートを設定の種別として選択することがで きます。エキスパート モードは主に、日中/夜間の切り替えが異なる各エリアについて、 検知感度とエリアにおける物体の比率を設定するために利用します。詳細についてはデ バイスのユーザ マニュアルを参照してください。
- トリガーしたカメラを選択します。動体検知アラームが発生すると、トリガーしたカメ ラからの画像やビデオがポップアップまたはビデオ ウォール上に表示されます。
- マウスをクリック アンド ドラッグして、監視領域として定義するエリアを指定します。
 アイコンをクリックしてビデオ エリア全体を検知エリアとして設定するか、または
 アイコンをクリックしてすべての検知エリアをクリアすることができます。
- 8. 検知感度バーのスライダーをドラッグして、動体検知の感度を調整します。値が高いほ ど、検知の感度が高くなります。
- チェックボックスをチェックしてリンク アクションをアクティベートします。詳細については表 4.1 動体検知アラームに対するリンク アクションを参照してください。
- 10. オプションとして、[**コピー先**…]をクリックし、イベント パラメータを他のチャンネル にコピーできます。
- 11. [保存]をクリックして設定を保存します。
| Select Event Type: | Motion Detection | Camera1_1 Event Confi | guration | Copy to | Bave Save |
|--------------------|------------------|---|---|---------|-----------|
| Enable | | | | | |
| 🛃 Enable Dynamic A | nalysis | | | | |
| Arming Schedule: | All-day Template | ~ Edit | | | |
| Configuration: | Normal Mode | ~ | | | |
| Trigger Camera: | Camera1_1 | | | | |
| Arming Region | | | | | |
| | | Sensitivity: | | | |
| Trigger Alarm Outp | ut 🗌 Trigge | er Channel Record | Trigger Client Action | ń | |
| 🗆 A->1 | 🗆 Came | era01 | Audible Warning | 0 | |
| □ A->2 | | | Email Linkage | | |

表 4.1 動体検知アラームに対するリンク アクション

リンク アクション	説明
マニ_/山市	アラーム出力機能を有効化します。アラーム出力ポートを選択しま
уундал	す。ポートに接続された外部デバイスの操作が可能になります。
チャンネル録画	アラームがトリガーされると、選択したカメラの録画が開始されます。
娄 生	アラームがトリガーされると、クライアント ソフトウェアが警告音
	を発します。
メール リンク	アラーム情報のメール通知を1人または複数の宛先に向けて送信します。
E マップ上のアラーム	E マップに上にアラーム情報を表示します。
アラーム トリガーによ	アラームがトリガーされると、アラーム情報を含む画像がポップアッ
るポップアップ画像	プします。
アラーム トリガーによ	アラームがトリガーされると、ビデオ ウォールにビデオが表示され
るビデオ ウォール表示	ます。

監視スケジュール テンプレートの設定

以下の手順を実行して監視スケジュール テンプレートを設定します: ドロップダウン リストでテンプレート 01~09 を選択した場合、ステップ1から実行します; ドロップダウン リストでカスタムを選択した場合、ステップ2から実行します。

- 1. [編集]をクリックし、テンプレート管理インターフェイスに入ります。設定するテンプレートを選択するとテンプレート名が編集できます。
- 選択したテンプレートに対して時間スケジュールを設定します。 カーソルがしていたら、時間帯を設定できます。 カーソルがしていたら、今編集したタイム バーを移動できます。表示された時刻 ポイントを編集して正確な時間帯を設定することができます。 カーソルがしていたら、選択したタイム バーを伸ばしたり縮めたりすることが できます。
- オプションとして、スケジュール タイム バーを選択し、 アイコンをクリックして選択したタイム バーを削除するか、 アイコンをクリックしてすべてのタイム バーを削除するか、 アイコンをクリックしてタイム バーの設定を他の日付にコピーすることができます。

4. [OK]をクリックして設定を保存します。

カスタム スケジュール インターフェイスの**[スケジュール テンプレートとして保存]** をクリックして、カスタム テンプレートをテンプレート 01~09 として保存することが できます。

注意:監視スケジュール テンプレートでは、各日について最大8つの時間帯を設定できます。



4.2 ビデオ干渉アラームの検知

目的:

ビデオ干渉アラームはカメラが遮蔽されたり、監視エリアが見えなくなった場合にトリガー されます。アラーム出力およびクライアント アクションを含むリンク アクションが設定で きます。

- 1. イベント管理ページを開き、[カメラ イベント]タブをクリックします。
- 2. 設定するカメラを選択し、[ビデオ干渉検知]をイベント種別として選択します。
- 3. [有効化]チェックボックスをチェックしてビデオ干渉検知機能を有効化します。
- ドロップダウン リストから、監視スケジュール テンプレートを選択します。
 テンプレートを編集またはカスタマイズする必要がある場合は、監視スケジュール テンプレートの設定を参照してください。

- 5. トリガーしたカメラを選択します。ビデオ干渉アラームが発生すると、トリガーしたカ メラからの画像やビデオがポップアップまたはビデオ ウォール上に表示されます。
- マウスをクリック アンド ドラッグして、監視領域として定義するエリアを指定します。
 アイコンをクリックしてビデオ エリア全体を検知エリアとして設定するか、または アイコンをクリックして検知エリアをクリアすることができます。
- 7. 検知感度バーのスライダーをドラッグして、干渉アラームの感度を調整します。
- チェックボックスをチェックしてリンク アクションをアクティベートします。詳細については表 4.2 干渉アラームに対するリンク アクションを参照してください。
- オプションとして、[コピー先…]をクリックし、イベント パラメータを他のカメラにコ ピーできます。
- 10. [保存]をクリックして設定を保存します。



表 4.2 干渉アラームに対するリンク アクション

リンク アクション	説明
マニー / 山土	アラーム出力機能を有効化します。アラーム出力ポートを選択しま
улал	す。ポートに接続された外部デバイスの操作が可能になります。
被上立	アラームがトリガーされると、クライアント ソフトウェアが警告音
言百日	を発します。
	アラーム情報のメール通知を1人または複数の宛先に向けて送信し
メール リンジ	ます。
E マップ上のアラーム	E マップに上にアラーム情報を表示します。
アラーム トリガーに	アラームがトリガーされると、トリガーしたカメラの画像がポップ
よるポップアップ画像	アップします。
アラーム トリガーに	
よるビデオ ウォール	
表示	あ り。

4.3 PIR アラームの設定

目的:

PIR(受動型赤外線)アラームは、侵入者が検知視界内で動いた際にアラームを起動します。 人や、犬、猫などの血流のある生物によって発せられる熱エネルギーを検知できます。 注意:PIR アラーム機能は接続されたデバイス側でサポートされている必要があります。

- 1. イベント管理ページを開き、[カメラ イベント]タブをクリックします。
- 2. 設定するカメラを選択し、[PIR アラーム]をイベント種別として選択します。
- 3. [有効化]チェックボックスをチェックして PIR アラーム機能を有効化します。
- 4. 内容がわかるようなアラームの名前を入力します。
- トリガーしたカメラを選択します。PIR アラームが発生すると、トリガーしたカメラからの画像やビデオがポップアップまたはビデオ ウォール上に表示されます。
- チェックボックスをチェックしてリンク アクションをアクティベートします。詳細については表 4.3PIR アラームに対するリンク アクションを参照してください。
- オプションとして、[コピー先…]をクリックし、イベント パラメータを他のチャンネル にコピーできます。
- 8. [保存]をクリックして設定を保存します。



表 4.3PIR アラームに対するリンク アクション

リンク アクション	説明
マニ_/山も	アラーム出力機能を有効化します。アラーム出力ポートを選択しま
уундал	す。ポートに接続された外部デバイスの操作が可能になります。
チャンネル録画	アラームがトリガーされると、選択したカメラの録画が開始されます。
<u> </u>	アラームがトリガーされると、クライアント ソフトウェアが警告音
	を発します。
J 1 \	アラーム情報のメール通知を1人または複数の宛先に向けて送信し
メール リング	ます。
E マップ上のアラーム	E マップに上にアラーム情報を表示します。
アラーム トリガーに	アラームがトリガーされると、アラーム情報を含む画像がポップア
よるポップアップ画像	ップします。

アラーム トリガーに	アラームがトリガーされると、ビデオ ウォールにビデオが表示され
よるビデオ ウォール	++
表示	τ9°

4.4 ビデオ損失アラームの検知

目的:

クライアント ソフトウェアがフロント エンド デバイスからのビデオ信号を受信できない 場合、ビデオ損失アラームがトリガーされます。アラーム出力およびクライアント アクショ ンを含むリンク アクションが設定できます。

手順:

- 1. イベント管理ページを開き、[カメラ イベント]タブをクリックします。
- 2. 設定するカメラを選択し、[ビデオ損失]をイベント種別として選択します。
- 3. [有効化]チェックボックスをチェックしてビデオ損失アラーム機能を有効化します。
- ドロップダウン リストから、監視スケジュール テンプレートを選択します。
 テンプレートを編集またはカスタマイズする必要がある場合は、監視スケジュール テンプレートの設定を参照してください。
- 5. トリガーしたカメラを選択します。ビデオ損失アラームが発生すると、トリガーしたカ メラからの画像やビデオがポップアップまたはビデオ ウォール上に表示されます。
- チェックボックスをチェックしてリンク アクションをアクティベートします。詳細については表 4.4 ビデオ損失アラームに対するリンク アクションを参照してください。
- オプションとして、[コピー先…]をクリックし、イベント パラメータを他のカメラにコ ピーできます。
- 8. [保存]をクリックし、新しい設定を保存します。



表 4.4 ビデオ損失アラームに対するリンク アクション

リンク アクション	説明
アラーム出力	アラーム出力機能を有効化します。アラーム出力ポートを選択します。
	ポートに接続された外部デバイスの操作が可能になります。
数生立	アラームがトリガーされると、クライアント ソフトウェアが警告音を
	発します。

メール リンク	アラーム情報のメール通知を1人または複数の宛先に向けて送信します。
E マップ上のアラーム	E マップに上にアラーム情報を表示します。
アラーム トリガーに	アラームがトリガーされると、トリガーしたカメラの画像がポップアッ
よるポップアップ画像	プします。
アラーム トリガーに	
よるビデオ ウォール	アラームがトリガーされると、ビデオ ウォールにビデオが表示されます。
表示	

4.5 音声異常アラームの設定

目的:

無音状態検知、環境ノイズ検知、電流ノイズ検知などの音声の異常を検出することができます。

音声入力検知を有効にすると、音声入力状態についての異常を検出できます。

急激な音量上昇を有効にすると、音量の急激な上昇を検知します。以下の2つの設定から構成されます。

- 感度:範囲は[1から100]で、値が低いほど検知をトリガーするのにより大きな変化が必要になります。
- 音響強度しきい値:範囲は[1から100]で、環境内の音声をフィルタでき、環境音が大きいほど、値を高くする必要があります。実際の環境に合わせて調整できます。

急激な音量低下を有効にすると、音量の急激な低下を検知し、異常な静寂状態を検出することができます。例:発電機は稼働中は大きな音を発生します。この大きな音が突然消えた場合には注意を払う必要があります。

実際の環境に応じて、感度レベルを[0~100]の範囲で設定できます。

注意:音声異常機能は接続されたデバイス側でサポートされている必要があります。

- 1. イベント管理ページを開き、[**カメラ イベント**]タブをクリックします。
- 2. 設定するカメラを選択し、[音声異常検知]をイベント種別として選択します。
- 関連するチェックボックスをチェックし、音声検知アラームの関連機能を有効化し ます。
- 4. 感度と音量閾値を設定します。
- ドロップダウン リストから、監視スケジュール テンプレートを選択します。
 テンプレートを編集またはカスタマイズする必要がある場合は、監視スケジュール
 テンプレートの設定を参照してください。
- トリガーしたカメラを選択します。音声異常アラームが発生すると、トリガーした カメラからの画像やビデオがポップアップまたはビデオ ウォール上に表示されま す。
- チェックボックスをチェックしてリンク アクションをアクティベートします。詳細
 については表 4.5 音声検知アラームに対するリンク アクションを参照してください。
- 8. オプションとして、[**コピー先**…]をクリックし、イベント パラメータを他のカメラに コピーできます。
- 9. [保存]をクリックし、新しい設定を保存します。

	Audio Excepti	on Dete Camera1_1 Ever	nt Configuration	Copy to	🚽 Sav
Enable Audio Lo	ss Detection				
Sudden Increase	of Sound Intensi	ty			
Sensitivity:					
Sound Intensity Thre.					
Sudden Decreas	e of Sound Intens	iity			
Sensitivity:					
	1				
Arming Schedule:	All-day Temp	late V Edit			
Arming Schedule:	All-day Temp	late 🗸			
Arming Schedule: Trigger Camera:	All-day Temp Camera1_1	late 🗸 Edit	~		
Arming Schedule: Trigger Camera:	All-day Temp Camera1_1 Itput	late V Edit Trigger Channel Record	↓ V Trigger	Client Action	•
Arming Schedule: Trigger Camera: Trigger Alarm Ou A->1	All-day Temp Camera1_1 itput	late V Edit	▼ ▼ Trigger ✓ Audible	Client Action (,	ì
Arming Schedule: Trigger Camera: Trigger Alarm Ou A->1 A->2	All-day Temp Camera1_1 Itput	late v Edit	✓ Trigger ✓ Audible ✓ Email L	Client Action Warning nkage	ì
Arming Schedule: Trigger Camera: Trigger Alarm OL A ~1 A ~2	All-day Temp Camera1_1 Itput	late Edit Trigger Channel Record Camera01	V Trigger Audible Email L Alarm o	Client Action Warning nkage n E-map	Î
Arming Schedule: Trigger Camera: Trigger Alarm OL A->1 A->2	All-day Temp Camera 1_1 Itput	late Edit Trigger Channel Record Camera01	V Trigger Audible Email L Alarm o Alarm 1	Client Action Warning nkage n E-map iggered Pop-up Im	Ì

表 4.5 音声検知アラームに対するリンク アクション

リンク アクション	説明
マニ / 山土	アラーム出力機能を有効化します。アラーム出力ポートを選択しま
ГЛТАПЛ	す。ポートに接続された外部デバイスの操作が可能になります。
チャンネル録画	アラームがトリガーされると、選択したカメラの録画が開始されます。
数上立	アラームがトリガーされると、クライアント ソフトウェアが警告音
	を発します。
	アラーム情報のメール通知を1人または複数の宛先に向けて送信し
メール・シング	ます。
E マップ上のアラーム	E マップに上にアラーム情報を表示します。
アラーム トリガーに	アラームがトリガーされると、トリガーしたカメラの画像がポップ
よるポップアップ画像	アップします。
アラーム トリガーに	マリーン ざっこち マケン ひょう こうていせんせい
よるビデオ ウォール	テラームかトリカーされると、ヒナオリオールにヒナオが表示され
表示	ま9。

4.6 焦点逸脱検知アラームの設定

目的:

レンズのフォーカスが外れて映像がぼやけた場合、それを検出して一連のアラーム アクションをトリガーすることができます。

注意:焦点逸脱検知機能は接続されたデバイス側でサポートされている必要があります。 手順:

- 1. イベント管理ページを開き、[カメラ イベント]タブをクリックします。
- 2. 設定するカメラを選択し、[焦点逸脱検知]をイベント種別として選択します。
- 3. [有効化]チェックボックスをチェックして焦点逸脱アラーム機能を有効化します。
- 4. 実際の環境に応じて、感度レベルを[0~100]の範囲で設定できます。
- トリガーしたカメラを選択します。焦点逸脱アラームが発生すると、トリガーした カメラからの画像やビデオがポップアップまたはビデオ ウォール上に表示されま す。

- 5. チェックボックスをチェックしてリンク アクションをアクティベートします。詳細 については表 4.6 焦点逸脱検知アラームに対するリンク アクションを参照してくだ さい。
- オプションとして、[コピー先…]をクリックし、イベント パラメータを他のカメラに コピーできます。
- 8. [保存]をクリックし、新しい設定を保存します。



表 4.6 焦点逸脱検知アラームに対するリンク アクション

リンク アクション	説明
整生主	アラームがトリガーされると、クライアント ソフトウェアが警告音
	を発します。
	アラーム情報のメール通知を1人または複数の宛先に向けて送信し
メール リンジ	ます。
E マップ上のアラーム	E マップに上にアラーム情報を表示します。
アラーム トリガーに	アラームがトリガーされると、トリガーしたカメラの画像がポップ
よるポップアップ画像	アップします。
アラーム トリガーに	
よるビデオ ウォール	アラームかトリカーされると、ヒナオークオールにヒナオか表示され
表示	あ 9 。

4.7 顔検出アラームの設定

目的:

この機能が有効化されていると、カメラは監視エリア内の人間の顔を自動的に検出します。 このアラームがトリガーされた場合、一連のアラーム アクションをトリガーされます。 注意:顔検出機能は接続されたデバイス側でサポートされている必要があります。 手順:

- 1. イベント管理ページを開き、[カメラ イベント]タブをクリックします。
- 2. 設定するカメラを選択し、[顔検出]をイベント種別として選択します。
- 3. [有効化]チェックボックスをチェックして顔検出アラーム機能を有効化します。
- 4. ドロップダウン リストから、監視スケジュール テンプレートを選択します。

テンプレートを編集またはカスタマイズする必要がある場合は、監視スケジュール テンプレートの設定を参照してください。

- トリガーしたカメラを選択します。顔検出アラームが発生すると、トリガーしたカ メラからの画像やビデオがポップアップまたはビデオ ウォール上に表示されます。
- 6. 顔検出の感度を設定します。
- ライブ ビュー上で検出した顔を四角形でマークしたい場合、[顔検出の動的解析を有 効化する]チェックボックスをチェックします。
- チェックボックスをチェックしてリンク アクションをアクティベートします。詳細 については表 4.7 顔検出アラームに対するリンク アクションを参照してください。
- オプションとして、[コピー先…]をクリックし、イベント パラメータを他のカメラに コピーできます。
- 10. [保存]をクリックし、新しい設定を保存します。

Select Event Type:	Face Detection	~ C	Camera1_1 Event C	onfigurat	ion	Copy to	H Save
Enable							
Arming Schedule:	All-day Templa	te 🗸 🗸	Edit				
Trigger Camera:				~			
Sensitivity:							
Enable Dynamic /	Analysis for Face D	etection					
🔲 Trigger Alarm Ou	tput	Trigger	Channel Record		 Trigger Cli 	ent Action	
🗆 A->1		Camera	01		Audible Wa	arning	
A->2					🖌 Email Link	age	
					Alarm on E	E-map	
					🛃 Alarm Trig	gered Pop-up Image	
					🛃 Alarm Trig	gered Video Wall Di	

表 4.7 顔検出アラームに対するリンク アクション

リンク アクション	説明
マニ_/ 山土	アラーム出力機能を有効化します。アラーム出力ポートを選択します。
УЭНДШЛ	ポートに接続された外部デバイスの操作が可能になります。
チャンネル録画	アラームがトリガーされると、選択したカメラの録画が開始されます。
整生主	アラームがトリガーされると、クライアント ソフトウェアが警告音を
	発します。
メール リンク	アラーム情報のメール通知を1人または複数の宛先に向けて送信します。
E マップ上のアラーム	E マップに上にアラーム情報を表示します。
アラーム トリガーによ	アラームがトリガーされると、トリガーしたカメラの画像がポップア
るポップアップ画像	ップします。
アラーム トリガーによ	
るビデオ ウォール表示	「 ノームかトリカー されるこ、 ビナオ ・ワオールに ビナオ が表示されます。

4.8 ライン横断検知アラームの設定

目的:

この機能は、事前定義されたバーチャル ラインを横断する人物、車両およびオブジェクトを 検知するために使用できます。横断検知は、左から右や、右から左の双方向で設定可能です。 何らかの物体が検知された場合は一連のリンク メソッドがトリガーされます。 注意:ライン横断検知機能は接続されたデバイス側でサポートされている必要があります。

- 1. イベント管理ページを開き、[カメラ イベント]タブをクリックします。
- 2. 設定するカメラを選択し、[ライン横断検知]をイベント種別として選択します。
- [有効化]チェックボックスをチェックして機能を有効化します。
 注意:特定のスピード ドームについては、[ロック]をクリックすることで、設定を行っている間、スピード ドームが自動的に動くのを防ぐことができます。
- ドロップダウン リストから、監視スケジュール テンプレートを選択します。
 テンプレートを編集またはカスタマイズする必要がある場合は、監視スケジュール テン プレートの設定を参照してください。
- トリガーしたカメラを選択します。ライン横断検知アラームが発生すると、トリガーしたカメラからの画像やビデオがポップアップまたはビデオ ウォール上に表示されます。
- 監視領域を設定します。
 仮想ライン ID:ドロップダウン リストをクリックして仮想ラインの ID を選択します。
 注意:特定のスピード ドームでは、[PTZ]をクリックし、スピード ドームを仮想ライン ID
 に対応する任意のシーンに移動させることができます。このようにして複数のビューに
 対して異なるライン横断検知アラームを設定することができます。
 仮想ラインの方向:方向を A<->B、A->B、B->A のいずれかから選択できます。
 - A<->B:双方向でラインを横断するオブジェクトを検知でき、アラームを起動するこ
 - とを示しています。
 - A->B:A 側から B 側の方向へ仮想ラインを横断するオブジェクトのみ検知できます。
- **B->A:**B 側から A 側の方向へ仮想ラインを横断するオブジェクトのみ検知できます。 7. 感度を[1 から 100]の間で設定します。
- チェックボックスをチェックしてリンク アクションをアクティベートします。詳細については表 4.8 ライン横断検知アラームに対するリンク アクションを参照してください。
- 10. オプションとして、[**コピー先**…]をクリックし、イベント パラメータを他のカメラにコ ピーできます。
- 11. [保存]をクリックして設定を保存します。

Select Event Type:	Line Crossing Detect.	Camera1_1 Event	Configuration		Copy to	E Save
Enable						
	Unlock(168s)					
Arming Schedule:	All-day Template	- Edit				
rigger Camera:	Camera1_1		~			
rming Region						
/irtual Line ID:	1	- PTZ	Virtual Line Dire	ction:	A<->B	~
		Speed Done				
Trigger Alarm Out	put Triç	Speed Bone	₹ Trigger Clie	ent Action	n i	
 Trigger Alarm Out A>1 	put Trig Car	Speed Bone 2004	✓ Trigger Clie ✓ Audible Wa	ent Action rning	n0	

表 4.8 ライン横断検知アラームに対するリンク アクション

リンク アクション	説明
マニ / 山 上	アラーム出力機能を有効化します。アラーム出力ポートを選択しま
уундал	す。ポートに接続された外部デバイスの操作が可能になります。
チャンネル録画	アラームがトリガーされると、選択したカメラの録画が開始されます。
数生立	アラームがトリガーされると、クライアント ソフトウェアが警告
	音を発します。
JU\/>	アラーム情報のメール通知を1人または複数の宛先に向けて送信し
メール リング	ます。
E マップ上のアラーム	E マップに上にアラーム情報を表示します。
アラーム トリガーに	アラームがトリガーされると、トリガーしたカメラの画像がポップ
よるポップアップ画像	アップします。
アラーム トリガーに	
よるビデオ ウォール	アラームかトリカーされると、ヒナオ リオールにヒナオが衣示さ ゎ + +
表示	れま 9 。

4.9 侵入検知アラームの設定

目的:

監視シーンの中に侵入に関する検知エリアを設定できます。そのエリアへの侵入状態が始ま ってから設定時間以上経過すると、アラーム アクションのセットがトリガーされます。 注意:侵入検知機能は接続されたデバイス側でサポートされている必要があります。 手順:

- 1. イベント管理ページを開き、[カメラ イベント]タブをクリックします。
- 2. 設定するカメラを選択し、[侵入検知]をイベント種別として選択します。
- [有効化]チェックボックスをチェックして侵入検知アラーム機能を有効化します。
 注意:特定のスピード ドームについては、[ロック]をクリックすることで、設定を行っている間、スピード ドームが自動的に動くのを防ぐことができます。
- 4. ドロップダウン リストから、監視スケジュール テンプレートを選択します。

テンプレートを編集またはカスタマイズする必要がある場合は、監視スケジュール テン プレートの設定を参照してください。

- 5. トリガーしたカメラを選択します。侵入検知アラームが発生すると、トリガーしたカメ ラからの画像やビデオがポップアップまたはビデオ ウォール上に表示されます。
- 6. 監視領域を設定します。
 - 領域 ID:ドロップダウン リストをクリックして監視領域の領域 ID を選択します。
 注意:特定のスピード ドームでは、[PTZ]をクリックし、スピード ドームを領域 ID に対応する任意のシーンに移動させることができます。このようにして複数のビューに対して異なる侵入検知アラームを設定することができます。
 - トリガー時間閾値:範囲は[0-10 秒]で、領域内のオブジェクトの移動に対する時間の 閾値です。値を0に設定すると、領域内にオブジェクトが侵入した時点で直ちにア ラームをトリガーします。
 - 感度:範囲は[1から100]です。感度の値はアラームをトリガーするオブジェクトの大きさを定義します。感度が大きい場合、非常に小さいオブジェクトでもアラームをトリガーさせることができます。
- 7.
 をクリックして、プレビュー ウィンドウ上で四角形を指定することができます。オプションとして、
 をクリックして、四角形をドラッグして位置を調整したり、
 をクリックして選択した領域を削除したりできます。
 注意:
 - 四角形を指定する際、プレビューウィンドウをクリックして四角の頂点を設定できます。
 - 別の領域IDを選択して別の四角形を指定します。最大4つの四角形を指定できます。
- チェックボックスをチェックしてリンク アクションをアクティベートします。詳細については表 4.9 侵入アラームに対するリンク アクションを参照してください。
- オプションとして、[コピー先…]をクリックし、イベント パラメータを他のカメラにコ ピーできます。
- 10. [保存]をクリックし、新しい設定を保存します。



リンク アクション	説明
マニ / 山市	アラーム出力機能を有効化します。アラーム出力ポートを選択しま
	す。ポートに接続された外部デバイスの操作が可能になります。
チャンネル録画	アラームがトリガーされると、選択したカメラの録画が開始されます。
数上立	アラームがトリガーされると、クライアント ソフトウェアが警告音
	を発します。
メール リンク	アラーム情報のメール通知を1人または複数の宛先に向けて送信します。
E マップ上のアラーム	E マップに上にアラーム情報を表示します。
アラーム トリガーに	アラームがトリガーされると、トリガーしたカメラの画像がポップア
よるポップアップ画像	ップします。
アラーム トリガーに	
よるビデオ ウォール	テラームかトリカーされると、ヒナオリオールにヒナオが表示され
表示	ው የ መ

表 4.9 侵入アラームに対するリンク アクション

4.10 シーン変化アラームの設定

目的:

シーン変化検知は意図的なカメラの回転など、外的要素の影響による監視環境の変化を検知するために利用します。

注意:シーン検知機能は接続されたデバイス側でサポートされている必要があります。 手順:

- 1. イベント管理ページを開き、[カメラ イベント]タブをクリックします。
- 2. 設定するカメラを選択し、[シーン検知]をイベント種別として選択します。
- [有効化]チェックボックスをチェックしてシーン検知アラーム機能を有効化します。
 感度:範囲は[1から100]です。感度が高いほど、シーンの変化に対してより容易にアラームがトリガーされます。
- ドロップダウン リストから、監視スケジュール テンプレートを選択します。
 テンプレートを編集またはカスタマイズする必要がある場合は、監視スケジュール テンプレートの設定を参照してください。
- 5. トリガーしたカメラを選択します。シーン変化アラームが発生すると、トリガーしたカ メラからの画像やビデオがポップアップまたはビデオ ウォール上に表示されます。
- チェックボックスをチェックしてリンク アクションをアクティベートします。詳細については表 4.10 シーン変化アラームに対するリンク アクションを参照してください。
- オプションとして、[コピー先…]をクリックし、イベント パラメータを他のカメラにコ ピーできます。
- 8. [保存]をクリックし、新しい設定を保存します。

Select Event Type:	Scene Change	Dete 🗸 Ca	mera1_Heat Map E	vent Configuration	Copy to	Save Save
 Enable Sensitivity: Arming Schedule: Trigger Camera: 	All-day Templa Camera 1_1	ite 🗸	Edit	-		
Trigger Alarm Ou	utput	Trigger Cha	annel Record	Trigger Cli	ent Action	
🗍 A->1		Camera01		🛃 Audible Wa	arning	
				Z Email Link	age	
				🛃 Alarm on E	E-map	
				dlarm Trig	gered Pop-up Image	
				🗹 Alarm Trig	gered Video Wall Di	

表 4.10 シーン変化アラームに対するリンク アクション

リンク アクション	説明
アラーム出力	アラーム出力機能を有効化します。アラーム出力ポートを選択しま
	す。ポートに接続された外部デバイスの操作が可能になります。
チャンネル録画	アラームがトリガーされると、選択したカメラの録画が開始されます。
数生立	アラームがトリガーされると、クライアント ソフトウェアが警告音
言百百	を発します。
	アラーム情報のメール通知を1人または複数の宛先に向けて送信し
メール リング	ます。
E マップ上のアラーム	E マップに上にアラーム情報を表示します。
アラーム トリガーに	アラームがトリガーされると、トリガーしたカメラの画像がポップ
よるポップアップ画像	アップします。
アラーム トリガーに	
よるビデオ ウォール	アラームかトリカーされると、ヒナオ リオールにヒナオか衣示され
表示	ま 9 ₀

4.11 VCA 検知アラームの設定

目的:

接続されたデバイスから VCA アラームが発生した場合、一連のリンク アクションをトリガ ーさせることができます。

注意:VCA 検知機能は接続されたデバイス側でサポートされている必要があります。 手順:

- 1. イベント管理ページを開き、[カメラ イベント]タブをクリックします。
- 2. 設定するカメラを選択し、[VCA 検知]をイベント種別として選択します。
- 3. [有効化]チェックボックスをチェックして VCA 検知アラーム機能を有効化します。
- ドロップダウン リストから、監視スケジュール テンプレートを選択します。
 テンプレートを編集またはカスタマイズする必要がある場合は、監視スケジュール テン プレートの設定を参照してください。

- 5. トリガーしたカメラを選択します。VCA 検知アラームが発生すると、トリガーしたカメ ラからの画像やビデオがポップアップまたはビデオ ウォール上に表示されます。
- チェックボックスをチェックしてリンク アクションをアクティベートします。詳細については表 4.11VCA 検知アラームに対するリンク アクションを参照してください。
- オプションとして、[コピー先…]をクリックし、イベント パラメータを他のカメラにコ ピーできます。
- 8. [保存]をクリックし、新しい設定を保存します。



表 4.11VCA 検知アラームに対するリンク アクション

リンク アクション	説明
マニ / 山土	アラーム出力機能を有効化します。アラーム出力ポートを選択しま
уундал	す。ポートに接続された外部デバイスの操作が可能になります。
チャンネル録画	アラームがトリガーされると、選択したカメラの録画が開始されます。
敬止立	アラームがトリガーされると、クライアント ソフトウェアが警告音
言百日	を発します。
	アラーム情報のメール通知を1人または複数の宛先に向けて送信し
メール・リンク	ます。
E マップ上のアラーム	E マップに上にアラーム情報を表示します。
アラーム トリガーに	アラームがトリガーされると、トリガーしたカメラの画像がポップ
よるポップアップ画像	アップします。
アラーム トリガーに	
よるビデオ ウォール	アラームかトリカーされると、ヒナオ・フォールにヒナオが衣小され
表示	ま 9 。

4.12 領域進入検知

目的:

この機能は、事前定義された領域に入ってくる人物、車両およびオブジェクトを検知するために使用できます。

注意:領域進入機能は接続されたデバイス側でサポートされている必要があります。

- 1. イベント管理ページを開き、[カメラ イベント]タブをクリックします。
- 2. 設定するカメラを選択し、[領域進入]をイベント種別として選択します。
- [有効化]チェックボックスをチェックして領域進入機能を有効化します。
 注意:特定のスピード ドームについては、[ロック]をクリックすることで、設定を行っている間、スピード ドームが自動的に動くのを防ぐことができます。
- ドロップダウン リストから、監視スケジュール テンプレートを選択します。
 テンプレートを編集またはカスタマイズする必要がある場合は、監視スケジュール テン プレートの設定を参照してください。
- 5. トリガーしたカメラを選択します。領域進入アラームが発生すると、トリガーしたカメ ラからの画像やビデオがポップアップまたはビデオ ウォール上に表示されます。
- 監視領域を設定します。
 領域 ID:ドロップダウン リストをクリックして監視領域の領域 ID を選択します。
 注意:特定のスピード ドームでは、[PTZ]をクリックし、スピード ドームを領域 ID に対応する任意のシーンに移動させることができます。このようにして複数のビューに対して異なる領域進入検知アラームを設定することができます。
- 7.
 をクリックして、プレビュー ウィンドウ上で四角形を指定することができます。オプションとして、
 をクリックして、四角形をドラッグして位置を調整したり、
 をクリックして選択した領域を削除したりできます。

 注意:
 - 四角形を指定する際、プレビューウィンドウをクリックして四角の頂点を設定できます。
 - 別の領域 ID を選択して別の四角形を指定します。最大4つの四角形を指定できます。
- チェックボックスをチェックしてリンク アクションをアクティベートします。詳細については表 4.12 領域進入アラームに対するリンク アクションを参照してください。
- オプションとして、[コピー先…]をクリックし、イベント パラメータを他のカメラにコ ピーできます。
- 10. [保存]をクリックし、新しい設定を保存します。

Select Event Type:	Region Entrance Det	 Camera1_1 Event Cor 	figuration	Copy to	Save
Enable					
	Lock				
Arming Schedule:	All-day Template	- Edit			
Trigger Camera:	Camera1_1		~		
Arming Region					
Region ID:	1	- PTZ			
2015-08-05 17:	.04:31	TDone			
2015-08-05 17:	104:31	pred lone			
2015-08-05 17:	104:31	ppedel Done	I Trigger Client	Action	
2015-08-05 17:	ut Can	speed Done	✓ Trigger Client ✓ Audible Warn	Action ing	

リンク アクション	説明
マニ / 山上	アラーム出力機能を有効化します。アラーム出力ポートを選択しま
УУ-дал	す。ポートに接続された外部デバイスの操作が可能になります。
チャンネル録画	アラームがトリガーされると、選択したカメラの録画が開始されます。
数 上 立	アラームがトリガーされると、クライアント ソフトウェアが警告音
	を発します。
	アラーム情報のメール通知を1人または複数の宛先に向けて送信し
メール リンジ	ます。
E マップ上のアラーム	E マップに上にアラーム情報を表示します。
アラーム トリガーに	アラームがトリガーされると、トリガーしたカメラの画像がポップ
よるポップアップ画像	アップします。

表 4.12 領域進入アラームに対するリンク アクション

4.13 領域退出検知

目的:

この機能は、事前定義された領域から出ていく人物、車両およびオブジェクトを検知するために使用できます。

注意:領域退出機能は接続されたデバイス側でサポートされている必要があります。

- 1. イベント管理ページを開き、[カメラ イベント]タブをクリックします。
- 2. 設定するカメラを選択し、「領域退出]をイベント種別として選択します。
- [有効化]チェックボックスをチェックして領域退出機能を有効化します。
 注意:特定のスピード ドームについては、[ロック]をクリックすることで、設定を行っている間、スピード ドームが自動的に動くのを防ぐことができます。
- ドロップダウン リストから、監視スケジュール テンプレートを選択します。
 テンプレートを編集またはカスタマイズする必要がある場合は、監視スケジュール テンプレートの設定を参照してください。
- トリガーしたカメラを選択します。領域退出アラームが発生すると、トリガーしたカメ ラからの画像やビデオがポップアップまたはビデオ ウォール上に表示されます。
- 監視領域を設定します。
 領域 ID:ドロップダウン リストをクリックして監視領域の領域 ID を選択します。
 注意:特定のスピード ドームでは、[PTZ]をクリックし、スピード ドームを領域 ID に対応する任意のシーンに移動させることができます。このようにして複数のビューに対して異なる領域退出検知アラームを設定することができます。
- 7. Eをクリックして、プレビュー ウィンドウ上で四角形を指定することができます。オプションとして、をクリックして、四角形をドラッグして位置を調整したり、をクリックして選択した領域を削除したりできます。
 注意:
 - 四角形を指定する際、プレビューウィンドウをクリックして四角の頂点を設定できます。
 - 別の領域 ID を選択して別の四角形を指定します。最大4つの四角形を指定できます。
- チェックボックスをチェックしてリンク アクションをアクティベートします。詳細については表 4.13 領域退出アラームに対するリンク アクションを参照してください。

- オプションとして、[コピー先…]をクリックし、イベント パラメータを他のカメラにコ ピーできます。
- 10. [保存]をクリックし、新しい設定を保存します。



表 4.13 領域退出アラームに対するリンク アクション

リンク アクション	説明
フニ /山土	アラーム出力機能を有効化します。アラーム出力ポートを選択しま
ГЭТАПЛ	す。ポートに接続された外部デバイスの操作が可能になります。
チャンネル録画	アラームがトリガーされると、選択したカメラの録画が開始されます。
数生立	アラームがトリガーされると、クライアント ソフトウェアが警告音
	を発します。
	アラーム情報のメール通知を1人または複数の宛先に向けて送信し
メール リンク	ます。
E マップ上のアラーム	E マップに上にアラーム情報を表示します。
アラーム トリガーに	アラームがトリガーされると、トリガーしたカメラの画像がポップ
よるポップアップ画像	アップします。

4.14 徘徊検知

目的:

監視シーンの中に徘徊に関する検知エリアを設定できます。人物の徘徊が始まってから設定 時間以上経過すると、アラーム アクションのセットがトリガーされます。 注意:徘徊検知機能は接続されたデバイス側でサポートされている必要があります。

- 1. イベント管理ページを開き、[カメラ イベント]タブをクリックします。
- 2. 設定するカメラを選択し、[徘徊検知]をイベント種別として選択します。
- [有効化]チェックボックスをチェックして徘徊検知アラーム機能を有効化します。
 注意:特定のスピード ドームについては、[ロック]をクリックすることで、設定を行っている間、スピード ドームが自動的に動くのを防ぐことができます。
- 4. ドロップダウン リストから、監視スケジュール テンプレートを選択します。

テンプレートを編集またはカスタマイズする必要がある場合は、監視スケジュール テン プレートの設定を参照してください。

- 5. トリガーしたカメラを選択します。徘徊検知アラームが発生すると、トリガーしたカメ ラからの画像やビデオがポップアップまたはビデオ ウォール上に表示されます。
- 6. 監視領域を設定します。
 - 領域 ID:ドロップダウン リストをクリックして監視領域の領域 ID を選択します。
 注意:特定のスピード ドームでは、[PTZ]をクリックし、スピード ドームを領域 ID に対応する任意のシーンに移動させることができます。このようにして複数のビューに対して異なる徘徊検知アラームを設定することができます。
 - トリガー時間閾値:範囲は[0-10 秒]で、領域内のオブジェクトの移動に対する時間の 閾値です。値を0に設定すると、領域内にオブジェクトが侵入した時点で直ちにア ラームをトリガーします。
 - 感度:範囲は[1から100]です。感度の値はアラームをトリガーするオブジェクトの大きさを定義します。感度が大きい場合、非常に小さいオブジェクトでもアラームをトリガーさせることができます。
- 7.
 をクリックして、プレビュー ウィンドウ上で四角形を指定することができます。オプションとして、
 をクリックして、四角形をドラッグして位置を調整したり、
 をクリックして選択した領域を削除したりできます。
 注意:
 - 四角形を指定する際、プレビューウィンドウをクリックして四角の頂点を設定できます。
 - 別の領域IDを選択して別の四角形を指定します。最大4つの四角形を指定できます。
- チェックボックスをチェックしてリンク アクションをアクティベートします。詳細については表 4.14 徘徊検知アラームに対するリンク アクションを参照してください。
- オプションとして、[コピー先…]をクリックし、イベント パラメータを他のカメラにコ ピーできます。
- 10. [保存]をクリックし、新しい設定を保存します。



リンク アクション	説明
75/.山力	アラーム出力機能を有効化します。アラーム出力ポートを選択しま
уутдал	す。ポートに接続された外部デバイスの操作が可能になります。
チャンネル録画	アラームがトリガーされると、選択したカメラの録画が開始されます。
楼 上 立	アラームがトリガーされると、クライアント ソフトウェアが警告音
	を発します。
	アラーム情報のメール通知を1人または複数の宛先に向けて送信し
メール リンク	ます。
E マップ上のアラーム	E マップに上にアラーム情報を表示します。
アラーム トリガーに	アラームがトリガーされると、トリガーしたカメラの画像がポップ
よるポップアップ画像	アップします。
アラーム トリガーに	
よるビデオ ウォール	
表示	あ 9。

表 4.14 徘徊検知アラームに対するリンク アクション

4.15 高速移動検知

目的:

監視シーンの中に高速移動に関する検知エリアを設定できます。オブジェクトの高速移動状 態が始まると、アラーム アクションのセットがトリガーされます。

注意:高速移動検知機能は接続されたデバイス側でサポートされている必要があります。 手順:

- 1. イベント管理ページを開き、[カメラ イベント]タブをクリックします。
- 2. 設定するカメラを選択し、[高速移動検知]をイベント種別として選択します。
- [有効化]チェックボックスをチェックして高速移動検知アラーム機能を有効化します。
 注意:特定のスピード ドームについては、[ロック]をクリックすることで、設定を行っている間、スピード ドームが自動的に動くのを防ぐことができます。
- ドロップダウン リストから、監視スケジュール テンプレートを選択します。
 テンプレートを編集またはカスタマイズする必要がある場合は、監視スケジュール テンプレートの設定を参照してください。
- トリガーしたカメラを選択します。高速移動検知アラームが発生すると、トリガーした カメラからの画像やビデオがポップアップまたはビデオ ウォール上に表示されます。
- 6. 監視領域を設定します。
 - 領域 ID:ドロップダウン リストをクリックして監視領域の領域 ID を選択します。
 注意:特定のスピード ドームでは、[PTZ]をクリックし、スピード ドームを領域 ID に対応する任意のシーンに移動させることができます。このようにして複数のビューに対して異なる高速移動検知アラームを設定することができます。
 - 感度:感度は、アラームをトリガーしうるオブジェクトの移動スピードを定義します。
 値が高ければ、移動オブジェクトがアラームを起動しやすくなります。
- 7. 尽をクリックして、プレビュー ウィンドウ上で四角形を指定することができます。オプションとして、をクリックして、四角形をドラッグして位置を調整したり、をクリックして選択した領域を削除したりできます。

注意:

- 四角形を指定する際、プレビューウィンドウをクリックして四角の頂点を設定できます。
- 別の領域IDを選択して別の四角形を指定します。最大4つの四角形を指定できます。
- チェックボックスをチェックしてリンク アクションをアクティベートします。詳細に ついては表 4.15 高速移動検知アラームに対するリンク アクションを参照してください。
- 9. オプションとして、[**コピー先**…]をクリックし、イベント パラメータを他のカメラにコ ピーできます。
- 10. [保存]をクリックし、新しい設定を保存します。

	ast moving Detection + c	vaniera r_ristieye Eveni	Comgulation	iii copy to	a Sal
Enable Arming Schedule:	All-day Template	Edit			
Trigger Camera: Arming Region	Camera1_1		~		
Region ID:	1	v			
and the second	1 1100	÷			
		Digner			
Trigger Alarm Oulput	Super	buret	1 🧭 Trigger Cli	ent Action	1
Trigger Alarm Output	Such Carrendo	a bore	✓ Trigger Cliv ✓ Audible Water State	ent Action arning	1
Trigger Alarm Output	Siebo	thannel Record	 ✓ Trigger Cliv ✓ Audible Wa ✓ Email Link 	ent Action arning age	
Trigger Alarm Culput	Cameral Cameral Cameral	bannel Record	 ✓ Trigger Cli ✓ Audible Wa ✓ Email Link ✓ Alarm on E 	ent Action aming age :-map	
Trigger Alarm Output	Trigger C Cameral Cameral Cameral Cameral	bone 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 50 5	✓ Trigger Cli ✓ Audible W ✓ Email Link ✓ Alarm on E ✓ Alarm Trig	ent Action arning age -map gered Pop-up Image	

表 4.15 高速移動検知アラームに対するリンク アクション

リンク アクション	説明
マニー/山市	アラーム出力機能を有効化します。アラーム出力ポートを選択しま
ГЛ-ДШЛ	す。ポートに接続された外部デバイスの操作が可能になります。
チャンネル録画	アラームがトリガーされると、選択したカメラの録画が開始されます。
数上立	アラームがトリガーされると、クライアント ソフトウェアが警告音
言百日	を発します。
	アラーム情報のメール通知を1人または複数の宛先に向けて送信し
メール・リンク	ます。
E マップ上のアラーム	E マップに上にアラーム情報を表示します。
アラーム トリガーに	アラームがトリガーされると、トリガーしたカメラの画像がポップ
よるポップアップ画像	アップします。
アラーム トリガーに	
よるビデオ ウォール	アラームかトリカーされると、ヒナオ ウオールにヒナオか衣示され ++
表示	ます。

4.16 人物集合検知

目的:

監視シーンの中に人物集合に関する検知エリアを設定できます。人の集まりが指定したパー センテージを超えると、アラーム アクションのセットがトリガーされます。 注意:人物集合検知機能は接続されたデバイス側でサポートされている必要があります。 手順:

- 1. イベント管理ページを開き、[カメラ イベント]タブをクリックします。
- 2. 設定するカメラを選択し、[人物集合検知]をイベント種別として選択します。
- [有効化]チェックボックスをチェックして人物集合検知アラーム機能を有効化します。
 注意:特定のスピード ドームについては、[ロック]をクリックすることで、設定を行っている間、スピード ドームが自動的に動くのを防ぐことができます。
- ドロップダウン リストから、監視スケジュール テンプレートを選択します。
 テンプレートを編集またはカスタマイズする必要がある場合は、監視スケジュール テンプレートの設定を参照してください。
- 5. トリガーしたカメラを選択します。人物集合検知アラームが発生すると、トリガーした カメラからの画像やビデオがポップアップまたはビデオ ウォール上に表示されます。
- 6. 監視領域を設定します。
 - 領域 ID:ドロップダウン リストをクリックして監視領域の領域 ID を選択します。
 注意:特定のスピード ドームでは、[PTZ]をクリックし、スピード ドームを領域 ID に対応する任意のシーンに移動させることができます。このようにして複数のビューに対して異なる人物集合検知アラームを設定することができます。
 - パーセンテージ:範囲は[1 から 100]です。パーセンテージはアラームをトリガーしうる群衆の密度を定義します。
- 尽をクリックして、プレビュー ウィンドウ上で四角形を指定することができます。オプションとして、Sepherence ションとして、Sepherence ションとして、Sepherence ションとして、Sepherence ションとして、Sepherence ションとして、Sepherence Sepherence Se
 - 四角形を指定する際、プレビューウィンドウをクリックして四角の頂点を設定できます。
 - 別の領域 ID を選択して別の四角形を指定します。最大 4 つの四角形を指定できます。

8. チェックボックスをチェックしてリンク アクションをアクティベートします。
 ついては

- 9. 表 4.16 人物集合検知アラームに対するリンク アクションを参照してください。
- 10. オプションとして、[**コピー先**…]をクリックし、イベント パラメータを他のカメラにコ ピーできます。
- 11. [保存]をクリックし、新しい設定を保存します。

bereck Event Type.	People Gathering De.	Came	era1_1 Event C	onfiguration		Copy to	Save
Enable							
	Lock						
Arming Schedule:	All-day Template	-	Edit				
Trigger Camera:	Camera1_1			~			
Arming Region							
Region ID:	1	~	PTZ	Perc	entage:	10	
		and the second					
		and the second second					
			1				
-	1 1						
	10	₩ •	1				
		1 - S					
		Speld Ip					
Trigger Alarm Outp	ut Tr	Speed Do	el Record	✓ Trig	ger Client A	ction -	
Trigger Alarm Outp A>1	ut Tr	Speed Do	ne le Record	v Trig ✓ Aud	ger Client Ar	tion 0	Ĵ

リンク アクション	説明
75/.出力	アラーム出力機能を有効化します。アラーム出力ポートを選択しま
	す。ポートに接続された外部デバイスの操作が可能になります。
チャンネル録画	アラームがトリガーされると、選択したカメラの録画が開始されます。
一 一 一 一 一 一	アラームがトリガーされると、クライアント ソフトウェアが警告音
	を発します。
	アラーム情報のメール通知を1人または複数の宛先に向けて送信し
メール リンク	ます。
E マップ上のアラーム	E マップに上にアラーム情報を表示します。
アラーム トリガーに	アラームがトリガーされると、トリガーしたカメラの画像がポップ
よるポップアップ画像	アップします。
アラーム トリガーに	
よるビデオ ウォール	
表示	- あ 9 。

表 4.16 人物集合検知アラームに対するリンク アクション

4.17 駐車検知

目的:

監視シーンの中に駐車に関する検知エリアを設定できます。車両が駐車されてから設定時間 以上経過すると、アラーム アクションのセットがトリガーされます。

注意:駐車検知機能は接続されたデバイス側でサポートされている必要があります。 手順:

- 1. イベント管理ページを開き、[カメラ イベント]タブをクリックします。
- 2. 設定するカメラを選択し、[駐車検知]をイベント種別として選択します。
- [有効化]チェックボックスをチェックして駐車検知アラーム機能を有効化します。
 注意:特定のスピード ドームについては、[ロック]をクリックすることで、設定を行っている間、スピード ドームが自動的に動くのを防ぐことができます。
- ドロップダウン リストから、監視スケジュール テンプレートを選択します。
 テンプレートを編集またはカスタマイズする必要がある場合は、監視スケジュール テンプレートの設定を参照してください。
- 5. トリガーしたカメラを選択します。駐車検知アラームが発生すると、トリガーしたカメ ラからの画像やビデオがポップアップまたはビデオ ウォール上に表示されます。
- 6. 監視領域を設定します。
 - 領域 ID:ドロップダウン リストをクリックして監視領域の領域 ID を選択します。
 注意:特定のスピード ドームでは、[PTZ]をクリックし、スピード ドームを領域 ID に対応する任意のシーンに移動させることができます。このようにして複数のビューに対して異なる駐車検知アラームを設定することができます。
 - トリガー時間閾値:範囲は[0-10 秒]で、領域内の車両の駐車に対する時間の閾値です。
 値を0に設定すると、領域内に車両が入った時点で直ちにアラームをトリガーします。

- 感度:範囲は[1から 100]です。感度の値はアラームをトリガーするオブジェクトの 大きさを定義します。感度が大きい場合、非常に小さいオブジェクトでもアラーム をトリガーさせることができます。
- 7. 7. 5.
 - 四角形を指定する際、プレビューウィンドウをクリックして四角の頂点を設定できます。
 - 別の領域IDを選択して別の四角形を指定します。最大4つの四角形を指定できます。
- 8. チェックボックスをチェックしてリンク アクションをアクティベートします。詳細に ついては表 4.17 駐車検知アラームに対するリンク アクションを参照してください。
- オプションとして、[コピー先…]をクリックし、イベント パラメータを他のカメラにコ ピーできます。
- 10. [保存]をクリックし、新しい設定を保存します。

| Select Event Type: | Parking Detection | ~ Camera | 1_1 Event Co | nfiguration | (i) Co | opy to | Save |
|--|--------------------------|------------|---|--------------------------|-----------------------|--------|---------|
| Enable Arming Schedule: | Lock
All-day Template | | Edit | | | | |
| Arming Region | Camera1_1 | | | ~ | | | |
| Region ID: | 1 | | PTZ | Trigger Tim | e Threshold: 5 | | Seconds |
| | | | | | | | |
| | | Speed Dan | 50 | | | | |
| Tinger Alarm Output | ut Th | Speed Dom | 50
50
8
8
8
8
8
8
8
8
8
8
8
8
8
8
8
8
8 | 🥑 Trigger (| Client Action | · · | |
| Trigger Alarm Output A>1 | ut TT | Speed Done | 50
50
Record | ✓ Trigger (
✓ Audible | Client Action Warning | Ó | |

表 4.17 駐車検知アラームに対するリンク アクション

| リンク アクション | 説明 |
|-------------|----------------------------------|
| マラー 4 出力 | アラーム出力機能を有効化します。アラーム出力ポートを選択しま |
| ГЭ-дшл | す。ポートに接続された外部デバイスの操作が可能になります。 |
| チャンネル録画 | アラームがトリガーされると、選択したカメラの録画が開始されます。 |
| 数上立 | アラームがトリガーされると、クライアント ソフトウェアが警告 |
| 言百日 | 音を発します。 |
| | アラーム情報のメール通知を1人または複数の宛先に向けて送信 |
| メール リンク | します。 |
| E マップ上のアラーム | E マップに上にアラーム情報を表示します。 |
| アラーム トリガーによ | アラームがトリガーされると、トリガーしたカメラの画像がポップ |
| るポップアップ画像 | アップします。 |
| アラーム トリガーによ | アラームがトリガーされると、ビデオ ウォールにビデオが表示さ |
| るビデオ ウォール表示 | れます。 |

4.18 放置荷物検知

目的:

監視シーンの中に放置荷物に関する検知エリアを設定できます。そのエリアで荷物の放置が 始まってから設定時間以上経過すると、アラーム アクションのセットがトリガーされます。 注意:放置荷物検知機能は接続されたデバイス側でサポートされている必要があります。

- 手順:
- 1. イベント管理ページを開き、[カメラ イベント]タブをクリックします。
- 2. 設定するカメラを選択し、[放置荷物検知]をイベント種別として選択します。
- [有効化]チェックボックスをチェックして放置荷物検知アラーム機能を有効化します。
 注意:特定のスピード ドームについては、[ロック]をクリックすることで、設定を行っている間、スピード ドームが自動的に動くのを防ぐことができます。
- ドロップダウン リストから、監視スケジュール テンプレートを選択します。
 テンプレートを編集またはカスタマイズする必要がある場合は、監視スケジュール テンプレートの設定を参照してください。
- 5. トリガーしたカメラを選択します。放置荷物検知アラームが発生すると、トリガーした カメラからの画像やビデオがポップアップまたはビデオ ウォール上に表示されます。
- 6. 監視領域を設定します。
 - 領域 ID:ドロップダウン リストをクリックして監視領域の領域 ID を選択します。
 注意:特定のスピード ドームでは、[PTZ]をクリックし、スピード ドームを領域 ID に対応する任意のシーンに移動させることができます。このようにして複数のビューに対して異なる放置荷物検知アラームを設定することができます。
 - トリガー時間閾値:範囲は[0-10 秒]で、領域内のオブジェクトの放置に対する時間の
 閾値です。値を0に設定すると、領域内にオブジェクトが侵入した時点で直ちにア
 ラームをトリガーします。
 - 感度:範囲は[1から 100]です。感度の値はアラームをトリガーするオブジェクトの 大きさを定義します。感度が大きい場合、非常に小さいオブジェクトでもアラーム をトリガーさせることができます。
- マレビュー ウィンドウ上で四角形を指定することができます。オプションとして、Set をクリックして、四角形をドラッグして位置を調整したり、Set をクリックして選択した領域を削除したりできます。
 注意:
 - 四角形を指定する際、プレビューウィンドウをクリックして四角の頂点を設定できます。
 - 別の領域 ID を選択して別の四角形を指定します。最大 4 つの四角形を指定できます。
- チェックボックスをチェックしてリンク アクションをアクティベートします。詳細に ついては表 4.18 放置荷物検知アラームに対するリンク アクションを参照してください。
- オプションとして、[コピー先…]をクリックし、イベント パラメータを他のカメラにコ ピーできます。
- 10. [保存]をクリックし、新しい設定を保存します。

| Select Event Type: | Unattended Baggag | Camera1_1 Event | Configuration | Copy to | Save Save |
|--|-------------------|---|--------------------------------|------------|-----------|
| Enable | | | | | |
| | Lock | | | | |
| Arming Schedule: | All-day Template | - Edit | | | |
| Trigger Camera: | Camera1_1 | | ~ | | |
| Arming Region | | | | | |
| Region ID: | 1 | ✓ PTZ | Trigger Time Th | nreshold: | Second |
| | | | | | |
| | | Speed Done | | | |
| Tigger Alarm Out; | Aut Th | Speed Done | 🖉 Trigger Clie | nt Action | |
| Trigger Alarm Outget A>1 | nut Thi | Speed Done
Speed Done
Comparison
Speed Done
Speed Done
Comparison
Speed Done
Speed | ✓ Trigger Clie
✓ Audible Wa | int Action | |

表 4.18 放置荷物検知アラームに対するリンク アクション

| リンク アクション | 説明 |
|-------------|----------------------------------|
| マニー / 山市 | アラーム出力機能を有効化します。アラーム出力ポートを選択しま |
| уртаци | す。ポートに接続された外部デバイスの操作が可能になります。 |
| チャンネル録画 | アラームがトリガーされると、選択したカメラの録画が開始されます。 |
| 数生立 | アラームがトリガーされると、クライアント ソフトウェアが警告音 |
| | を発します。 |
| | アラーム情報のメール通知を1人または複数の宛先に向けて送信し |
| メール リンワ | ます。 |
| E マップ上のアラーム | E マップに上にアラーム情報を表示します。 |
| アラーム トリガーに | アラームがトリガーされると、トリガーしたカメラの画像がポップ |
| よるポップアップ画像 | アップします。 |
| アラーム トリガーに | |
| よるビデオ ウォール | テラームかトリカーされると、ヒナオ リオールにヒナオ か衣示され |
| 表示 | |

4.19 物体除去検知

目的:

監視シーンの中に物体の除去に関する検知エリアを設定できます。そのエリアで物体が除去 されてから設定時間以上経過すると、アラーム アクションのセットがトリガーされます。 注意:物体除去検知機能は接続されたデバイス側でサポートされている必要があります。 手順:

- 1. イベント管理ページを開き、[カメラ イベント]タブをクリックします。
- 2. 設定するカメラを選択し、[物体除去検知]をイベント種別として選択します。
- [有効化]チェックボックスをチェックして物体除去検知アラーム機能を有効化します。
 注意:特定のスピード ドームについては、[ロック]をクリックすることで、設定を行っている間、スピード ドームが自動的に動くのを防ぐことができます。
- 4. ドロップダウン リストから、監視スケジュール テンプレートを選択します。

テンプレートを編集またはカスタマイズする必要がある場合は、監視スケジュール テ ンプレートの設定を参照してください。

- 5. トリガーしたカメラを選択します。物体除去検知アラームが発生すると、トリガーした カメラからの画像やビデオがポップアップまたはビデオ ウォール上に表示されます。
- 6. 監視領域を設定します。
 - 領域 ID:ドロップダウン リストをクリックして監視領域の領域 ID を選択します。
 注意:特定のスピード ドームでは、[PTZ]をクリックし、スピード ドームを領域 ID に対応する任意のシーンに移動させることができます。このようにして複数のビューに対して異なる物体除去検知アラームを設定することができます。
 - トリガー時間閾値:範囲は[0-10 秒]で、物体の除去に対する時間の閾値です。値を0
 に設定すると、物体が元の位置から除去された時点で直ちにアラームをトリガーします。
 - 感度:範囲は[1から100]です。感度の値はアラームをトリガーするオブジェクトの 大きさを定義します。感度が大きい場合、非常に小さいオブジェクトでもアラーム をトリガーさせることができます。
- 7. Øをクリックして、プレビュー ウィンドウ上で四角形を指定することができます。オプションとして、
 をクリックして、四角形をドラッグして位置を調整したり、
 ●をクリックして選択した領域を削除したりできます。
 注意:

 注意:
 - 四角形を指定する際、プレビューウィンドウをクリックして四角の頂点を設定できます。
 - 別の領域 ID を選択して別の四角形を指定します。最大 4 つの四角形を指定できます。
- チェックボックスをチェックしてリンク アクションをアクティベートします。詳細に ついては表 4.19 物体除去検知アラームに対するリンク アクションを参照してください。
- オプションとして、[コピー先…]をクリックし、イベント パラメータを他のカメラにコ ピーできます。
- 10. [保存]をクリックし、新しい設定を保存します。

| Select Event Type: | Object Removal Dete. | Camera1_1 Even | Configuration | Copy to | Save Save |
|---|----------------------|-----------------|-------------------------------|------------|-----------|
| Enable | Lock | | | | |
| Arming Schedule: | All-day Template | - Edit | | | |
| Trigger Camera: | Camera1_1 | | ~ | | |
| Arming Region | | | | | |
| Region ID: | 1 | ~ PTZ | Trigger Time T | hreshold: | Second |
| 2015-08-05 17: | 04:31 | Sens | dvity: | | |
| 2015-08-05 17: | 04:31 | Speed Done | divity: | | |
| 2015-08-05 17: | 01:31
ut - Tri | Speed Done | ✓ Trigger Cil | ent Action | |
| 2015-08-05 17:
Trigger Alarm Outp
A>1 | 01:31
ut . Tri | Speed Done Sens | ✓ Trigger Cii
✓ Audible W: | ent Action | |

| リンク アクション | 説明 |
|-------------|----------------------------------|
| マニー / 出力 | アラーム出力機能を有効化します。アラーム出力ポートを選択しま |
| | す。ポートに接続された外部デバイスの操作が可能になります。 |
| チャンネル録画 | アラームがトリガーされると、選択したカメラの録画が開始されます。 |
| 数生立 | アラームがトリガーされると、クライアント ソフトウェアが警告音 |
| | を発します。 |
| メニル. ロシカ | アラーム情報のメール通知を1人または複数の宛先に向けて送信し |
| メール リンジ | ます。 |
| E マップ上のアラーム | E マップに上にアラーム情報を表示します。 |
| アラーム トリガーに | アラームがトリガーされると、トリガーしたカメラの画像がポップ |
| よるポップアップ画像 | アップします。 |
| アラーム トリガーに | |
| よるビデオ ウォール | テラームかトリカーされると、ヒナオ リオールにヒナオか衣示され |
| 表示 | ま 9 。 |

表 4.19 物体除去検知アラームに対するリンク アクション

4.20 アラーム入力リンクの設定

目的:

デバイスのアラーム入力ポートが煙感知器、ドア ベルなどの外部のアラーム デバイスから 信号を受けた場合、通知のためにアラーム入力リンク アクションがトリガーされます。 始める前に:

クライアントにアラーム入力を追加し、グループ管理インターフェイスで[インポート]をク リックし、[アラーム入力]タブをクリックしてアラーム入力をグループの管理用にインポー トします。

- 1. イベント管理ページを開き、[アラーム入力]タブをクリックします。
- 2. 設定するアラーム入力チャンネルを選択します。
- 3. [有効化]チェックボックスをチェックします。
- 4. 内容がわかるようなアラームの名前を入力します。
- 5. アラーム入力デバイスに応じてアラーム ステータスを設定します。
- ドロップダウン リストから、監視スケジュール テンプレートを選択します。
 テンプレートを編集またはカスタマイズする必要がある場合は、監視スケジュール テン プレートの設定を参照してください。
- 7. トリガーしたカメラを選択します。アラームが発生すると、トリガーされたカメラからの画像やビデオがポップアップまたはビデオ ウォール上に表示されます。
- チェックボックスをチェックしてリンク アクションをアクティベートします。詳細については表 4.20 アラーム入力用に対するリンク アクションを参照してください。
- オプションとして、[コピー先…]をクリックし、イベント パラメータを他のアラーム入 カにコピーできます。
- 10. [保存]をクリックして設定を保存します。

| A1_Intersection Event | Configuration | | 📄 Copy to | H Save |
|---|--|------------------------|---------------------------------|--------|
| Enable Alarm Name: Alarm Status: Arming Schedule: | Norma All-day Ter | I Open O Normal Closed | | |
| Trigger Camera: | | · | | |
| 🔲 Trigger Alarm Ou | tput | Trigger Channel Record | Trigger Client Action | |
| 🗆 A->1 | | IP Camera01 | ✓ Audible Warning | |
| 🗆 A->2 | | IP Camera02 | Email Linkage | |
| A->3 | | IP Camera03 | Alarm on E-map | |
| A->4 | | IP Camera04 | Alarm Triggered Pop-up Image | |
| 🗆 D1->1 | | IP Camera05 | ✓ Alarm Triggered Video Wall Di | |
| D2->1 | | | | |
| D2->2 | | | | |
| 🗖 D3->1 | | | | |
| D4->1 | | | | |
| D5->1 | | | | |
| D5->2 | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

表 4.20 アラーム入力用に対するリンク アクション

| リンク アクション | 説明 |
|-----------------------|----------------------------------|
| マニ_/ 山も | アラーム出力機能を有効化します。アラーム出力ポートを選択しま |
| уундал | す。ポートに接続された外部デバイスの操作が可能になります。 |
| チャンネル録画 | アラームがトリガーされると、選択したカメラの録画が開始されます。 |
| 娄 <u></u>
一 | アラームがトリガーされると、クライアント ソフトウェアが警告音 |
| | を発します。 |
| メニル ロシカ | アラーム情報のメール通知を1人または複数の宛先に向けて送信し |
| メール・リンジ | ます。 |
| E マップ上のアラーム | E マップに上にアラーム情報を表示します。 |
| アラーム トリガーに | アラームがトリガーされると、アラーム情報を含む画像がポップア |
| よるポップアップ画像 | ップします。 |
| アラーム トリガーに | |
| よるビデオ ウォール | アラームかトリカーされると、ヒナオ リオールにヒナオか衣示され |
| 表示 | ま 9 ₀ |

4.21 デバイス異常リンクの設定

- 1. イベント管理ページを開き、[デバイス異常]タブをクリックします。
- 2. 設定するデバイスを選択します。
- 3. HDD 残量なし、HDD 容量異常、不正ログインなど、デバイス異常の種別を選択します。
- 4. [有効化]チェックボックスをチェックします。
- 5. チェックボックスをチェックしてリンク アクションをアクティベートします。詳細につ いては表 4.21 デバイス異常に対するリンク アクションを参照してください。
- 6. オプションとして、[**コピー先…**]をクリックし、イベント パラメータを他のデバイスに コピーできます。
- 7. [保存]をクリックして設定を保存します。

| ntersection Event Co | nfiguration | | Copy to | Save |
|----------------------|-------------|-----------------------|---------|------|
| Exception Type: | HDD Full | ~ | | |
| Enable | | | | |
| inkage Action | | | | |
| Trigger Alarm O | utput | Trigger Client Action | | |
| A->1 | | ✓ Audible Warning | | |
| A->2 | | Email Linkage | | |
| A->3 | | | | |
| A->4 | | | | |
| D1->1 | | | | |
| D2->1 | | | | |
| D2->2 | | | | |
| D3->1 | | | | |
| D4->1 | | | | |
| D5->1 | | | | |
| D5->2 | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

表 4.21 デバイス異常に対するリンク アクション

| リンク アクション | 説明 |
|-----------|-----------------------------------|
| マニ_/ 山土 | アラーム出力機能を有効化します。アラーム出力ポートを選択します。 |
| уундал | ポートに接続された外部デバイスの操作が可能になります。 |
| 数上立 | アラームがトリガーされると、クライアント ソフトウェアが警告音を |
| 言百日 | 発します。 |
| メール リンク | アラーム情報のメール通知を1人または複数の宛先に向けて送信します。 |

4.22 ゾーン イベント リンク設定

目的:

セキュリティ コントロール パネルに対しては、サイレン、トリガー、クライアント リンク およびトリガーしたカメラなどのゾーン リンクを設定することができます。

手順:

- 1. イベント管理ページを開き、[ゾーン イベント]タブをクリックします。
- 2. 設定するセキュリティ コントロール パネルとゾーンを選択します。
- 3. ゾーン名とゾーン種別を編集できます。
- 4. [リンク トリガー]パネル上でリンク トリガーを選択します。
- 5. [リンク サイレン]パネル上でリンク サイレンを選択します。
- チェックボックスをチェックしてリンク アクションをアクティベートします。詳細については表 4.22 ゾーン イベントに対するリンク アクションを参照してください。
- アラーム トリガー時に映像のポップアップやビデオ ウォールへの表示を行わせるには、 カメラ リストからトリガーされるリンク済みカメラを選択してください。セキュリティ コントロール パネルからライブ ビデオを確認することもできます。
 注意:最大4台のカメラがトリガー カメラとして設定できます。
- 8. オプションとして、[**コピー先**…]をクリックし、イベント パラメータを他のゾーンにコ ピーできます。
- 9. [保存]をクリックして設定を保存します。

注意:ゾーン イベント リンクを設定する前に、ゾーンの監視を解除しておく必要があります。

| arch P | | | | | |
|----------------------------|--------------------------|-----------------------|-------------------------------------|-------------------------|--|
| MI 7 | Zone Name:
Zone Type: | Zone 8
Shield Zone | × | | |
| Zone 2 10.7.35.223 | Linked Trigger | Linked Siren | ✓ Trigger Client Action | Trigger Camera: | |
| Zone 3_10.7.35.223 | Trigger1 | Siren1 | Audible Warning | Search | |
| W Zone 4_10.7.35.223 | Trigger2 | | Email Linkage | All | |
| Zone 5_10.7.35.223 | Trigger3 | | Alarm Triggered Pop-up I. | . 🗇 😂 10.6.6.134 | |
| Zone 6_10.7.35.223 | Trigger4 | | Alarm Triggered Video W | 0 🗇 10.6.6.135 | |
| Zone 7_10.7.35.223 | Trigger5 | | | 🗆 😂 10.6.6.136 | |
| Zone 8_10.7.35.223 | Trigger6 | | | 🔲 😂 10.6.6.137 | |
| Zone 9_10.7.35.223 | Trigger7 | | | 🗆 🔤 10.6.6.140 | |
| Zone 10_10.7.35.223 | Trigger8 | | | 🗆 😂 10.6.6.142 | |
| Zone 11_10.7.35.223 | Trigger9 | | | 🗆 😂 10.6.6.143 | |
| Zone 12_10.7.35.223 | Trigger10 | | | 🔲 😂 10.6.6.146 | |
| Zone 13_10.7.35.223 | Trigger11 | | | 📄 😂 Group_1 | |
| Zone 14_10.7.35.223 | Trigger12 | | | 🗆 😂 2 | |
| Zone 15_10.7.35.223 | Trigger13 | | | 🗆 😂 Intersection | |
| Zone 16_10.7.35.223 | Trigger14 | | | 0 10.7.35.223 | |
| 10.33.3.159 | Ingger15 | | | 0 10.33.3.159 | |

表 4.22 ゾーン イベントに対するリンク アクション

| リンク アクション | 説明 |
|------------|----------------------------------|
| 教生主 | アラームがトリガーされると、クライアント ソフトウェアが警告音を |
| 言古日 | 発します。 |
| | アラーム情報のメール通知を1人または複数の宛先に向けて送信しま |
| メール・リンク | す。 |
| アラーム トリガーに | アラームがトリガーされると、アラーム情報を含む画像がポップアッ |
| よるポップアップ画像 | プします。 |
| アラーム トリガーに | |
| よるビデオ ウォール | アリームがドリカーされると、ビデオ リオールにヒナオが表示されま |
| 表示 | ۷ o |

4.23 アラームおよびイベント情報の表示

直近のアラームおよびイベントの情報を表示することができます。アラームおよびイベント ツールバーで☆アイコンをクリックして、アラームおよびイベント パネルを表示します。ま たは■をクリックしてアラーム イベント インターフェイスを表示します。

| (|) 👃 🐼 🍁 Motion | Detection Alarm | | | | * | - | × |
|------|---------------------|-----------------------------|-------------------------------|--------------------------------|------------------------------|-------------------------|--------|-----|
| Ine. | Alarm Time | Alarm Source | Alarm Details | Alarm Content | Live View Send E Note | | | |
| 3 | 2015-08-31 16:02:13 | Encoding Device:10.99.105.1 | Trigger Camera: IP Camera1_10 | Motion Detection Alarm Start | | | | |
| 2 | 2015-08-31 16:00:26 | Encoding Device:10.99.105.1 | | Motion Detection Alarm Stop | | | | |
| 2 | 2015-08-31 16:00:26 | Encoding Device:10.99.105.1 | Trigger Camera: IP Camera1_10 | Motion Detection Alarm Start | | | | |
| 1 | 2015-08-31 15:59:08 | Encoding Device:10.99.105.1 | | Motion Detection Alarm Stop | | | | |
| | Alarm Event | _ | ✓ Motion Detection ✓ Video/Au | udio Exception 🥑 Alarm Input 🥃 | Device Exception 🥑 VCA Alarm | Oth | er Ala | irm |

| (| 🙆 🕭 🚰 🍁 Motion | Detection Alarm | | | | |
|----|---------------------|-----------------------------|-------------------------------|--------------------------------|--------------|---------------------------------|
| In | T. Alarm Time | Alarm Source | Alarm Details | Alarm Content | Live View | Send E Note |
| 4 | 2015-08-31 16:03:06 | Encoding Device:10.99.105.1 | Trigger Camera: IP Camera1_10 | Motion Detection Alarm Start | | |
| 3 | 2015-08-31 16:02:13 | Encoding Device:10.99.105.1 | | Motion Detection Alarm Stop | | |
| 3 | 2015-08-31 16:02:13 | Encoding Device:10.99.105.1 | Trigger Camera: IP Camera1_10 | Motion Detection Alarm Start | | |
| 2 | 2015-08-31 16:00:26 | Encoding Device:10.99.105.1 | | Motion Detection Alarm Stop | | |
| 2 | 2015-08-31 16:00:26 | Encoding Device:10.99.105.1 | Trigger Camera: IP Camera1_10 | Motion Detection Alarm Start | | |
| 1 | 2015-08-31 15:59:08 | Encoding Device:10.99.105.1 | | Motion Detection Alarm Stop | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| i. | Alarm Event | | ✓ Motion Detection ✓ Video/Au | udio Exception 🗸 Alarm Input 🗸 | Device Excep | otion 🗸 VCA Alarm 🖌 Other Alarm |

注意:デバイスからアラーム情報を受け取れるようにするには、[ツール]->[デバイス監視制 御]をクリックし、対応するチェックボックスをチェックしてデバイスの監視を有効化する必 要があります。

| Device A | |
|------------------------------------|---------------|
| ncoding Device Decoding Device Sto | rage Server |
| ✓ All | Arming Status |
| ✓ 1 | A |
| ✓ 2 | B |
| ✓ Intersection | |
| ✓ 3 | |
| ✓ 10.6.6.133 | |
| ✓ 10.6.6.134 | |
| ✓ 10.6.6.135 | |
| ✓ 10.6.6.136 | A . |
| | |
| | |

アラームおよびイベント パネルでは、以下のツールバー ボタンが利用できます:

| ß | 情報のクリア | リスト上に表示されたアラームおよびイベントの情報をク
リアします。 |
|------------|--------------------------------------|--|
| 2 | アラーム トリガーに
よるポップアップ画像
の有効化/無効化 | クリックしてアラーム発生時の画像のポップアップを有効
化/無効化します。 |
| 1 2 | 音声の有効化/無効化 | クリックしてアラームの警告音を有効化/無効化します。 |
| * * | 自動非表示/ロック | クリックしてアラームおよびイベント パネルを自動的非表
示/ロックします。 |
| ٥ | 最大化 | アラームおよびイベント パネルを新しいタブ ページで最
大表示します。 |
| × × | 表示/非表示 | クリックしてアラームおよびイベント パネルを表示/非表
示します。 |

アラーム情報の表示

パネルには異なるアラーム種別が表示できます:動体検知、映像/音声異常、アラーム入力、 デバイス異常、VCA アラームおよびその他のアラームなど。チェックボックスをチェックす ることで、そのタイプのアラームを有効にできます。

始める前に:

アラームを表示するにはイベント パラメータの設定が必要です。

手順:

- 1. [アラーム]タブをクリックします。
- 2. 異なるアラーム種別のチェックボックスをチェックします。
- アラームが発生すると、「ロアイコンが点滅して注意を喚起します。時刻、発生源、詳細 および内容を含むアラーム情報が表示されます。

↓
●
をクリックしてアラームをトリガーしたカメラのライブ ビューを取得します。(利用 可能な場合)アラーム 30 秒前のインスタント再生がライブビデオの再生前に左側のウィ ンドウで開始されます。右のウィンドウではアラーム画像が表示されます。

注意:カメラのアラーム画像をストレージ サーバに保存する場合、[画像ストレージ]をチェックしておく必要があります。[設定]をクリックするとパラメータを設定できます。詳細は 3.1.2 節 ストレージ デバイスへの保存を参照してください。



メール設定が正しく行われていれば(14.2.6 節 メール設定)、 をクリックして、1 人または複数の宛先にアラームのメール通知を送ることができます。

をクリックして、アラームをトリガーしたカメラのビデオをビデオ ウォール上に表示します。ビデオ ウォール インターフェイスに入り、アラーム ウィンドウとして設定された画面で表示されるアラーム トリガー ビデオをチェックできます。物理的なビデオ ウォールにもビデオが表示されます。

注意:デコーディング デバイスを追加し、ビデオ ウォールを設定する必要があります。 詳細については 10 章 ビデオ ウォール上でのビデオのデコーディングと表示を参照し てください。

[注記]欄の下をクリックしてアラームの説明文を入力します。

 アラーム情報をクリアするには、
 アイコンをクリックするか、アラーム ログ上で右 クリックし、[クリア]をクリックします。

イベント情報の表示

目的:

ライブ ビューの失敗、デバイスの切断を含む、クライアント ソフトウェアの異常イベント も表示できます。

手順:

1. **[イベント]**タブをクリックします。

時刻と詳細な説明を含むイベント情報が表示されます。

2. イベント情報をクリアするには、
四アイコンをクリックするか、イベント ログ上で右 クリックし、[クリア]をクリックします。

| 🙆 🕭 🖼 🕯 | Motion Detection Alarm |
|--------------------|--|
| Time | Description |
| 2015-08-06 16:01:4 | 2: Connection failed: device off-line or connection timeout. |
| 2015-08-06 15:36:4 | 7 Camera1_2: Connection failed: device off-line or connection timeout. |
| 2015-08-06 15:13:1 | 4 Camera1_2: Connection failed: device off-line or connection timeout. |
| 2015-08-06 15:13:0 | 7 Camera1_2: Connection failed: device off-line or connection timeout. |
| 2015-08-06 14:59:5 | 5 Camera1_2: Connection failed: device off-line or connection timeout. |
| 2015-08-06 14:58:2 | Camera1_2: Connection failed: device off-line or connection timeout. |
| 2015-08-06 14:58:2 | 0 Camera1_2: Connection failed: device off-line or connection timeout. |
| 2015-08-06 14:58:1 | 2 Camera1_2: Connection failed: device off-line or connection timeout. |
| 2015-08-06 14:55:3 | 1 Camera1_2: Connection failed: device off-line or connection timeout. |
| 2015-08-06 14:55:1 | 7 Camera1_2: Connection failed: device off-line or connection timeout. |
| 2015-08-06 14:55:1 | 0 Camera1_2: Connection failed: device off-line or connection timeout. |
| 2015-08-06 14:55:0 | 4 Camera1_2: Connection failed: device off-line or connection timeout. |
| 2015-08-06 14:48:1 | 4 Camera1_2: Connection failed: device off-line or connection timeout. |
| 2015-08-06 14:37:0 | 0 Camera1_2: Connection failed: device off-line or connection timeout. |
| 2015-08-06 14:17:3 | Camera1_2: Connection failed: device off-line or connection timeout. |
| 2015-08-06 14:17:2 | 4 Camera1_2: Connection failed: device off-line or connection timeout. |
| 2015-08-06 14:17:1 | 9 Camera1_2: Connection failed: device off-line or connection timeout. |
| 2015-08-06 14:17:1 | 0 Camera1_2: Connection failed: device off-line or connection timeout. |
| 2015-08-06 14:16:4 | Camera1_2: Connection failed: device off-line or connection timeout. |
| 2015-08-06 13:35:2 | IP Camera2_Intersection Connecting to the device. Error Code iVINS-4200.exe[302] (Camera is disabled or not connected .) |
| 2015-08-06 13:35:2 | IP Camera2_Intersection Failed to get stream, start reconnection. Error Code iVMS-4200.exe[302].(Camera is disabled or not connected.) |
| Alarm | Event S Motion Detection S Video/Audio Exception S Alarm Input S Device Exception S VCA Alarm S Other Alarm |

第5章 Eマップ管理

目的:

E マップ機能は設置されたカメラおよびアラーム入力デバイスの位置や分布についての視覚 的な全体像を提供します。地図上でカメラのライブ ビューを確認することができ、アラーム がトリガーされた場合には地図から通知メッセージが受け取れます。

コントロール パネル上の アイコンをクリックするか、または[ビュー]-> [E マップ]をク リックして E マップ ページを開きます。

| Search | P |
|----------------------|-----------------------------------|
| 🖭 😂 7604 | Add Map |
| 10.7.52.64 | |
| 🖭 😂 test | |
| 🖭 ៉ 9022 | |
| 🖭 😂 66 | |
| 🖭 😂 77 | |
| 🖭 📹 Intersection | |
| 1 | 2 |
| Map Preview Edit Map | 🔒 🖉 🖓 🕞 🕑 💐 🖋 🖉 Search Hot Spot 👂 |

```
E マップ ページ
```

1 グループ リスト 2 マップ表示エリア

3Eマップ ツールバー

5.1 E マップの追加

目的:

ホット スポットとホット リージョン用の親マップとして、Eマップを追加する必要があり ます。

- 1. E マップ ページを開きます。
- 2. マップを追加したいグループを選択します。
- マップ表示エリアの
 3. マップ表示エリアの
 3. マップ追加ダイアログ ボックスを開きます。
- 4. 追加したマップの内容がわかるような名前を自由に入力します。
- 5. アイコンをクリックして、ローカル パス上のマップ ファイルを選択します。
- 6. [OK]をクリックして設定を保存します。
注意:

- マップの画像フォーマットは*.png、*.jpg または*.bmp のみが利用可能です。
- 1つのグループに追加できるマップは1つだけです。

| | E-map Info | × |
|-----------|-------------------------------|------|
| | | |
| | | |
| Man Nama: | Hein Han1 | |
| Map Name. | main map i | |
| Path: | C:/Users/zhangxiu/Desktop/Ma. | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | ОК Са | ncel |

追加されたマップはマップ表示エリアに表示されます。マウス ホイールを使うか または をクリックしてマップにズーム インまたはズーム アウトできます。右下の隅の黄色のウ ィンドウをクリック アンド ドラッグするか、方向ボタンとズーム バーを利用してマップ エリアの表示を調整できます。



E マップ ツールバーの[マップ編集]ボタンをクリックするか、[マップ プレビュー]をクリッ クしてマップ編集モードもしくはマップ プレビュー モードに入ります。

マップ編集モードでの E マップ ツールバー:

| Map Preview | Edit Map | 🌌 🦓 👧 😃 🛤 💉 🔶 | Search Hot Spot | 9 | |
|-------------------------------------|----------|-------------------|-----------------|---|--|
| マップ プレビュー モードでの ε マップ ツールパー: | | | | | |
| Map Preview | Edit Map | 🕒 🔉 | Search Hot Spot | 9 | |

Eマップ ページでは、以下のツールバー ボタンが利用できます:

| マップの編集 | マップの名前はファイル パスを含む、マップ情報を編集します。 |
|-----------|---|
| マップの削除 | 現在のマップを削除します。 |
| カメラの追加 | カメラをマップのホット スポットとして追加します。 |
| アラーム入力の追加 | アラーム入力センサーをマップのホット スポットとして追加し
ます。 |
| | マップの編集
マップの削除
カメラの追加
アラーム入力の追加 |

🌆 **親マップへ戻る** 親マップに戻ります。

5.2 ホット スポット機能

目的:

カメラおよびアラーム入力はマップ上に追加でき、ホット スポットと呼ばれます。ホット ス ポットはカメラおよびアラーム入力の位置を示します。またホット スポットを通じて、監視 シナリオに含まれるライブ ビューやアラーム情報を取得できます。

5.2.1 ホット スポットの追加

カメラをホット スポットとして追加する

手順:

- 1. E マップ ツールバーの[マップ編集]ボタンをクリックしてマップ編集モードに入ります。
- ツールバーの アイコンをクリックして、ホット スポット追加ダイアログ ボックスを 開きます。
- 3. チェック ボックスをチェックし、追加するカメラを選択します。
- オプションとして、対応するフィールドをダブルクリックすることで、ホット スポット 名を編集したり、名前の色を選択したり、ホット スポット アイコンを選択したりでき ます。
- [OK]をクリックして設定を保存します。マップ上にカメラ アイコンがホット スポット として追加され、追加したカメラのアイコンはグループ リスト上でのからのに変わり ます。カメラ アイコンをクリック アンド ドラッグしてホット スポットを任意の場所 に移動することができます。 グループ リストからカメラ アイコンをマップに直接クリック アンド ドラッグし、ホ

クループ リストからカメラ アイコンをマツノに直接クリック アント トラックし、ホ ット スポットを追加することもできます。

| | Add Hot Spot | | × |
|---------------|---------------|------------------------------|---|
| Linked Camera | Hot Spot Name | Hot Spot Color Hot Spot Icon | Â |
| DVR_Camera1 | DVR_Camera1 | 📕 Green 🙆 | |
| DVR_Camera2 | DVR_Camera2 | 📕 Green 🙆 | U |
| DVR_Camera3 | DVR_Camera3 | 📕 Green 🙆 | |
| DVR_Camera4 | DVR_Camera4 | 📕 Green 🙆 | |
| DVR_Camera5 | DVR_Camera5 | 📕 Green 🙆 | |
| DVR_Camera6 | DVR_Camera6 | 📕 Green 🙆 | |
| DVR_Camera7 | DVR_Camera7 | 📕 Green 🙆 | |
| DVR_Camera8 | DVR_Camera8 | 📕 Green 🙆 | |
| DVR_Camera9 | DVR_Camera9 | 📕 Green 🙆 | |
| DVR_Camera10 | DVR_Camera10 | 📕 Green 🙆 | |
| DVR_Camera11 | DVR_Camera11 | 📕 Green 🙆 | ÷ |
| • (| |) , | |
| | | | |
| | | OK Cance | 1 |

アラーム入力をホット スポットとして追加する

手順:

- 1. E マップ ツールバーの[マップ編集]ボタンをクリックしてマップ編集モードに入ります。
- 2. ツールバーの上アイコンをクリックして、ホット スポット追加ダイアログ ボックスを 開きます。
- 3. チェック ボックスをチェックし、追加するアラーム入力を選択します。
- オプションとして、対応するフィールドをダブルクリックすることで、ホット スポット 名を編集したり、名前の色を選択したり、ホット スポット アイコンを選択したりでき ます。
- [OK]をクリックして設定を保存します。マップ上にアラーム入力アイコンがホット スポットとして追加され、追加したアラーム入力のアイコンはグループ リスト上でふから に変わります。アラーム入力アイコンをクリック アンド ドラッグしてホット スポットを任意の場所に移動することができます。

アラーム入力リストからアラーム入力アイコンをマップに直接クリック アンド ドラッ グし、ホット スポットを追加することもできます。

| | Add Hot Spo | t | × |
|----------------------|---------------|------------------------------|----|
| 🗆 Linked Alarm Input | Hot Spot Name | Hot Spot Color Hot Spot Icon | Â |
| DVR_A1 | DVR_A1 | 📕 Green 🛛 🚇 | |
| DVR_A2 | DVR_A2 | 📕 Green 🛛 🚇 | |
| DVR_A3 | DVR_A3 | 📕 Green 🛛 🚇 | |
| DVR_A4 | DVR_A4 | 📕 Green 🛛 🚇 | |
| DVR_A5 | DVR_A5 | 📕 Green 🛛 🚇 | U |
| DVR_A6 | DVR_A6 | 📕 Green 🛛 🚇 | |
| DVR_A7 | DVR_A7 | 📕 Green 🛛 🚇 | |
| DVR_A8 | DVR_A8 | 📕 Green 🛛 🚇 | |
| DVR_A9 | DVR_A9 | 📕 Green 🛛 🚇 | |
| DVR_A10 | DVR_A10 | 📕 Green 🛛 🚇 | |
| DVR_A11 | DVR_A11 | 📕 Green 🛛 🚇 | - |
| + (| | | • |
| | | | |
| | | OK Canc | el |

5.2.2 ホット スポットの編集

目的:

名前、色、アイコンなどの、マップに追加したホット スポットの情報を編集することができます。

手順:

- 1. E マップ ツールバーの[マップ編集]ボタンをクリックしてマップ編集モードに入ります。
- マップのホット スポット アイコンを選択し、ツールバーの をクリックするか、ホット スポット アイコンを右クリックして[編集]を選択するか、またはマップ上のホット スポット アイコンをダブルクリックして、ホット スポット編集ダイアログ ボックスを 開きます。
- テキスト フィールドでホット スポットの名前を編集したり、色やアイコン、リンクさ れたカメラまたはアラーム入力を選択したりできます。
- [OK]をクリックし、新しい設定を保存します。
 ホット スポットを削除するには、ホット スポット アイコンを選択し、ツールバーの
 をクリックするか、ホット スポット アイコンを右クリックして[削除]を選択します。

| Modify Hot Spot × | Modify Hot Spot × |
|--|--|
| Hot Spot Name: DVR_Camera1 | Hot Spot Name: DVR_D2 |
| Linked Camera: | Linked Alarm Input: |
| ✓ DVR_Camera1 | DVR_A1 |
| DVR_Camera4 | DVR_A2 |
| DVR_Camera5 | DVR_A3 |
| DVR_Camera6 | DVR_A4 |
| DVR_Camera7 | DVR_A5 |
| DVR_Camera8 | DVR_A6 |
| DVR_Camera9 | DVR_A7 |
| DVR_Camera10 | DVR_48 |
| DVR_Camera11 | DVR_A9 |
| DVR Camera12 | DVR A10 |
| Hot Spot Color: 🧰 Green 🗸 Hot Spot Icon: 🝙 🗸 | Hot Spot Color: 🧱 Green 🗸 Hot Spot Icon: 💂 🗸 |
| OK Cancel | OK Cancel |

5.2.3 ホット スポットのプレビュー

手順:

- E マップ ツールバーの[マップ プレビュー]ボタンをクリックしてマップ プレビュー モードに入ります。
- カメラ ホット スポットをダブルクリックするか、それを右クリックして[リスト ビュ 一]を選択し、カメラのライブ ビューを見ることができます。
- アラームがトリガーされている場合、 アイコンが表示され、ホット スポットのそば で点滅します。アラーム アイコンをクリックすると、アラーム種別やトリガー時刻を含 むアラーム情報をチェックすることができます。

注意:マップにアラーム情報を表示するには、アラーム リンク アクションとして E マップ上 アラーム機能を設定する必要があります。詳細は第4章 イベント管理を参照してください。



5.3 ホット リージョン機能

目的:

ホット リージョン機能はマップを別のマップにリンクさせます。マップを別のマップにホット リージョンとして追加する場合、追加されるマップへのリンクのアイコンがメイン マップ の上に表示されます。追加されたマップは子マップと呼ばれ、ホット リージョンを追加した 先のマップは親マップとなります。

注意:マップは一度だけ、ホット リージョンとして追加できます。

5.3.1 ホット リージョンの追加

始める前に:

マップを別のグループに追加します。

- 1. E マップ ツールバーの[マップ編集]ボタンをクリックしてマップ編集モードに入ります。
- 2. 追加されたマップを親マップとして選択します。
- ツールバーの アイコンをクリックして、ホット リージョン追加ダイアログ ボックス を開きます。
- 4. チェック ボックスをチェックし、リンクする子マップを選択します。
- オプションとして、対応するフィールドをダブルクリックすることで、ホット リージョン名を編集したり、ホット リージョンの色やアイコンを選択したりできます。
- [OK]をクリックして設定を保存します。親マップに、子マップ アイコンがホット リージョンとして追加されます。子マップ アイコンをクリック アンド ドラッグしてホット リージョンを任意の場所に移動することができます。

| | Add Hot Region | |
|--------------|-----------------|----------------------------|
| 🗆 Linked Map | Hot Region Name | Hot Region Hot Region Icon |
| 🗌 Map1 | Map1 | 📕 Green 🔣 |
| 🗇 Map2 | Map2 | 📕 Green 🔣 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | OK Cancel |

5.3.2 ホット リージョンの編集

目的:

名前、色、アイコンなどの、親マップ上のホット リージョンの情報を編集することができます。

- 1. E マップ ツールバーの[マップ編集]ボタンをクリックしてマップ編集モードに入ります。
- 親マップ上のホット リージョン アイコンを選択し、ツールバーの▲をクリックするか、 ホット リージョン アイコンを右クリックして[編集]を選択するか、またはホット リー ジョン アイコンをダブルクリックして、ホット リージョン編集ダイアログ ボックスを 開きます。
- 3. テキスト フィールドでホット リージョンの名前を編集したり、色やアイコン、リンク された子マップを選択したりできます。
- [OK]をクリックし、新しい設定を保存します。
 ホット リージョンを削除するには、ホット リージョン アイコンを選択し、ツールバーの
 の
 をクリックするか、ホット リージョン アイコンを右クリックして[削除]を選択します。

| | Modify Ho | ot Region | × |
|------------------|-----------|------------------|--------|
| Hot Region Name: | Map1 | | |
| Linked Map: | | | |
| ✓ Map1 | | | |
| 🗆 Map2 | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| Hot Region Color | Green | Hot Region Icon: | |
| | | | |
| | | ОК | Cancel |

5.3.3 ホット リージョンのプレビュー

- 1. Eマップ ツールバーの[マップ プレビュー]ボタンをクリックしてマップ プレビュー モードに入ります。
- 2. ホット リージョン アイコンをクリックし、リンクされた子マップに移動します。
- 3. ホット スポットもホット リージョンに追加することができます。
- ツールバーの
 アイコンをクリックして、親マップに戻ることができます。
 ツールバーの
 アイコンをクリックして、アラーム情報をクリアすることもできます。



第6章 EZVIZ クラウド P2P

目的:

本ソフトウェアは、EZVIZ クラウド P2P アカウントの登録、EZVIZ クラウド P2P へのログイン、 EZVIZ クラウド P2P サービスをサポートするデバイスの管理も支援します。

6.1 EZVIZ クラウド P2P アカウントの登録

目的:

EZVIZ クラウド P2P アカウントをお持ちでない場合には登録することができます。 手順:

- 1. デバイス管理ページを開き、[サーバ]タブをクリックします。
- [新しいデバイス種別の追加]をクリックし、[EZVIZ クラウド P2P デバイス]を選択し、[OK] をクリックします。
- 3. リスト上で[EZVIZ クラウド P2P アカウント]をクリックし、[登録]をクリックします。

| Device for Management(0) | |
|--|--|
| EZVIZ Cloud P2P Account: Not Logged in | |
| C Login 🔟 Register | Register EZVIZ Cloud P2P Account × |
| | EZVIZ Cloud P2P Account Password: Confirm Password: Email: Verification Code: Cet Verification Code Email Verification Code: Please input the received verificat |
| | Register Cancel |

4. 必要な情報を入力してアカウントを登録します。

EZVIZ **クラウド P2P アカウント**:任意のアカウント名を編集します。

パスワードおよび確認:アカウントのパスワードを入力して確認します。

メール:アカウント登録を行うメール アカウントを入力します。

認証コード:画像内に表示されている認証コードを入力します。はっきりしない場合には、 更新をクリックすると新規画像を取得することができます。

メール認証コード:[認証コードを取得]をクリックして、メールで受信した認証コードを 入力します。



- ◆ プライバシーのために、製品のセキュリティを向上できるように、パスワードをあなた自身が決めたもの(大文字、小文字、数字と記号を含め、最低でも8文字以上)に変更することを強く推奨します。
- ◆ すべてのパスワードやその他のセキュリティの適切な設定は、設置者および/または エンドユーザの責任です。

5. [登録]をクリックして EZVIZ クラウド P2P アカウントを取得します。

6.2 EZVIZ クラウド P2P アカウントへのログイ ン

手順:

- 1. [**ログイン**]をクリックして EZVIZ クラウド P2P アカウントとパスワードを入力します。
- 2. [**ログイン**]をクリックしてアカウントにログインします。

注意:

- 次回以降、ソフトウェアは EZVIZ クラウド P2P アカウントに自動的にログインします。
- パスワードをお忘れの場合、[パスワードを忘れた場合]をクリックすると、アカウントが検証されパスワードがリセットされます。
 EZVIZ クラウド P2P アカウント:アカウントのユーザ名を任意に編集します。
 認証コード:画像内に表示されている認証コードを入力します。はっきりしない場合には、更新をクリックすると新規画像を取得することができます。
 メール認証コード:[認証コードを取得]をクリックして、メールで受信した認証コードを入力します。
 パスワードお上げ確認:[次へ]をクリックして、アカウントの新しいパスワードを入

パスワードおよび確認:[次へ]をクリックして、アカウントの新しいパスワードを入 力して確認します。

| Forgot Password × | Modify Password | × |
|---|--------------------------------|--------|
| EZVIZ Cloud P2P Account
Verification Code:
Get Verification Code
Email Verification Code:
Please input the receiv | Password:
Confirm Password: | |
| Next Cancel | ОКС | Cancel |

- ◆ プライバシーのために、製品のセキュリティを向上できるように、パスワードをあなた自身が決めたもの(大文字、小文字、数字と記号を含め、最低でも 8 文字以上)に変更することを強く推奨します。
- ◆ すべてのパスワードやその他のセキュリティの適切な設定は、設置者および/または エンドユーザの責任です。
- 3. ログイン後、[**ログイン**]をクリックして別のアカウントに切り替えるか、[**ログアウト**] をクリックして EZVIZ クラウド P2P アカウントからログアウトできます。

6.3 デバイス管理

手順:

1. [デバイス追加]をクリックしてデバイスのシリアル番号と認証コードを入力します。

注意:

- EZVIZ クラウド P2P サービスをサポートするデバイスのみが追加できます。
- シリアル番号と認証コードはデバイスのラベルに記載されています。
- デバイスは、1 つの EZVIZ クラウド P2P アカウントにしか追加できません。
- [OK]をクリックし、デバイスを追加します。正常に追加されたデバイスはデバイス管理 インターフェイス上にリストされます。
 注意:アカウント名と同じ名前のグループがデフォルトで作成されます。追加されたデバ イスのカメラをデフォルト グループまたはその他のグループにインポートできます。 グループ管理については 2.3 章 グループ管理を参照してください。
- ライブビューについては 2.4 章 ライブ ビューでの基本操作を参照してください; 再生については 3.2 章 リモート再生を参照してください; E マップ設定については 5 章 E マップ管理を参照してください。
- デバイスを選択してクリックし、[設定]をクリックすると、デバイスのリモート設定インターフェイスがポップアップします。デバイスのリモート設定の一部が実行できます。 リモートの設定についての詳細な設定については、デバイスのユーザマニュアルを参照してください。

注意:この機能はデバイスがサポートしている必要があります。

 デバイスを削除したい場合、デバイスを選択して[デバイス削除]をクリックします。[フ ィルタ]フィールドでデバイス名のキーワードを入力して、必要なデバイスをフィルタす ることができます。

| Device for Management (4) | | | | |
|-----------------------------|-------------|----------------|----------|--------|
| EZVIZ Cloud P2P Account mai | 17 | | | |
| + Add Device 🗙 Delete Devi | ce 🏾 🏶 Cont | fig (Login | ≽ Logout | Filter |
| Device Name | IP | A Serial No. | | |
| DS-7108NI-SN-P(47 8) | 107 16 | 4 47 | 8 | |
| DS-7608NI-SE-P(44 0) | 52. 22 | 44 | 0 | |
| 2332-I | 52. 22 | 45 | 4 | |
| DS-7204HGHI-SH-A(47 7) | 52. 27 | 47 | 7 | |
| | | | | |

第7章 VCA デバイス管理

目的:

VCA(Video Content Analysis; ビデオ コンテンツ 解析)デバイスをクライアントに追加して、 VCA リソース割当、VQD(Video Quality Diagnostics; ビデオ品質診断)などを含む VCA 設定を行 えます。

VCA リソース割り当て

始める前に:VCA デバイスをソフトウェアに追加しておく必要があります。VCA デバイスをエ ンコーディング デバイスとして追加するには、2.2 章 デバイスの追加を参照してください。 目的:追加したデバイスの VCA 設定を行う前に、デバイスの VCA リソースを設定する必要が あります。これは対応するカメラの VCA 機能の有効化を意味します。

オプション1

手順:

- 1. デバイス管理設定インターフェイスから[サーバ]タブを選択します。
- 2. VCA デバイスをクリックして選択し、[VCA 割当]をクリックして VCA リソース割り当て ウィンドウを起動します。

リソース情報エリアでデバイスの VCA 種別および VCA リソース利用方式を確認できます。 例:以下に示す図では、デバイスの VCA 種別は行動解析で、カメラの VCA 設定が利用可 能です。またこのカメラは VCA 機能が有効化されています。

| ivms-4200 | ? 💌 |
|-----------------------------|-------------------|
| Resource Information: | |
| -5 Behavior Analysis | 1/1 |
| VCA Resource Allocation: | |
| Camera No. | Behavior Analysis |
| Camera1
(Current Camera) | |
| | * |
| | Done |

- VCA リソース割り当てパネルでは、
 ③チェックボックスをチェックしてカメラの VCA 機能を有効化できます。または
 ③チェックボックスのチェックを外して VCA 機能を無効化できます。
- 4. [完了]をクリックして設定を保存し、 🔤をクリックして終了します。

オプション 2:

- デバイス管理設定インターフェイスから[グループ]タブを選択します。
 注意:デバイスの VCA 設定を行う前に、そのデバイスのグループ設定を行っておく必要 があります。詳細については 2.3 章 グループ管理を参照してください。
- 設定のため、VCA デバイスのカメラを選択し、[CA 設定]をクリックし、VCA 設定インタ ーフェイスに入ります。デバイスに、VCA 機能を設定してあるカメラがない場合、以下 のウィンドウがポップアップします。

注意:カメラの VCA 機能が設定してある場合、VCA 情報ページが表示されます。

| 🕍 VCA Config | |
|--------------------------|-------------------|
| Resource Information: | |
| 🗳 Behavior Analysis 0/1 | |
| | |
| VCA Resource Allocation: | |
| Camera No.
Camera 1 | Behavior Analysis |
| (Current Camera) | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | Done |

- VCA リソース割り当てパネルでは、
 ✓ チェックボックスをチェックしてカメラの VCA 機能を有効化できます。または
 ● チェックボックスのチェックを外して VCA 機能を無効化できます。
- 4. [完了]をクリックして設定を保存し、VCA 情報ページに入ります。

VCA 設定

VCA リソースを割り当てると、カメラの VCA 設定を行えるようになります。

手順:

- デバイス管理設定インターフェイスから[グループ]タブを選択します。
 注意:デバイスの VCA 設定を行う前に、そのデバイスのグループ設定を行っておく必要 があります。詳細については 2.3 章 グループ管理を参照してください。
- 2. 設定のため、VCA デバイスのカメラを選択し、[CA 設定]をクリックし、VCA 設定インタ ーフェイスに入ります。

注意:インターフェイスは異なる VCA デバイスごとに様々です。

対応するパラメータと関連する設定の手順は[指示]パネルに表示されます。カメラの VCA 設定はここで提供される指示にしたがって行うことができます。

[**ウィザードの有効化**]をクリックすると、ウィザードのガイドによってカメラの VCA 設定を 迅速に行えます。

| 🕍 VCA Config | | | |
|---|----------------------------|---------------------------|------|
| 🔊 Camera 1 👻 | Basic Information | | |
| ··· 🚹 VCA Information | Parent Device: | 10.16.1.187 | |
| 💿 Capture and Display | Device Model: | iDS-2CD6812F-IS/B20140730 | |
| ዀ Scene and Calibration | Camera Number: | 1 | |
| Rule | VCA Version: | V1.0.1 build20140627 | |
| 🗈 🔅 Advanced Configuration | Device Version: | V5.2.1 build20140805 | |
| | Configuration Control Vers | ion: V3.2.0 build20141103 | |
| | VCA Туре | | |
| | Configured VCA Type: | 券 Behavior Analysis | Edit |
| | | | |
| | | | |
| 1 Instruction | | | |
| Basic Information: Display the parent | | | |
| device of the camera, the device model and
VCA version, etc. | | | |
| VCA Type: Show the allocated VCA | | | |
| resource for the camera. You can click Edit
to edit the VCA type for the camera. To edit | | | |
| the VCA type for other cameras, select the
corresponding camera from the drop-down | | | |
| select the device to allocate the VCA | | | |
| resource for the cameras in batch. | | | |
| Enable Wizard | | | Save |

第8章 トランスコーダ管理

目的:

トランスコーダは異なるストリームをリアルタイムでトランスコードするために設計されて います。トランスコーダのりようによって、異なるメーカー、異なる監視システムのストリ ームと制御信号を効率的に統合し、標準化することができます。iVMS-4200 クライアント ソ フトウェアはトランスコーダの追加と、そのトランスコーディング機能の設定をサポートし ています。

8.1 エンコーディング デバイスのトランス コーダへの追加

8.1.1 トランスコーダのクライアント ソフトウェアへの 追加

手順:

 コントロール パネルの アイコンをクリックし、デバイス管理インターフェイスに 入って[サーバ]タブをクリックします。

| Activate Refresh All Filter | Organization | Device for Management (0) | | | | |
|--|---|---------------------------|-----------------------------------|-----------------------|-----------------|------------|
| I Security Net Status | 📾 Encoding Device/Outdoor | 🕂 Add Device 🖸 Modify 💥 D | elete 🎄 Remote Configuration 🐰 | 🕯 QR Code 🔮 Activate | 🕂 Refresh All | Filter |
| ,
Ite Filter
 Server Port Start Time Adde | Becoding Device | Nickname 🔺 Device Type | IP Device Serial No. | | Security | Net Status |
| tte Filter | + Add New Device Type | | | | | |
| •
Ite Filter
 Server Port Start Time Adde | | | | | | |
| •
Ite Filter
 Server Port Start Time Adde | | | | | | |
| •
Ite Filter
 Server Port Start Time Adde | | | | | | |
| , start Time Adde | | | | | | |
| ,
ite Filter
 Server Port Start Time Adde | | | | | | |
| ,
te Filter
 Server Port Start Time Adde | | | | | | |
| ,
te Filter
 Server Port Start Time Adde | | | | | | |
| ,
te Filter
 Server Port Start Time Adde | | | | | | |
| te Filter
 Server Port Start Time Adde | | | | | | , |
| ite Filter
 Server Port Start Time Adde | | Online Device (0) | O Defeath Event 60a | | | |
| Ite Filter | | Online Device (0) | C Reliesh Every ous | | | |
| Server Port Start Time Adde | | + Add to Client + Add All | 🛛 Modify Netinfo 🛛 🦘 Reset Passwo | ord 🔮 Activate | Filte | |
| | | IP A Device Type | Firmware Version S | Security Server Po | rt Start Time | Adde |
| | | | | | | |
| | anding device/Outdoor Device | | | | | |
| | | IP A Device Type | Firmware Version S | Security Server Po | rt Start Time | |
| | ice/Outdoor Devic:
RIPC/IPD/IVMS-4200
4200 EncodeCard
or Device/Door Station | | | | | |

- 2. 整理リストにある[新しいデバイス種別]をクリックし、[トランスコーダ]を選択します。
- 3. [OK]をクリックして設定を保存すると、追加したトランスコーダ種別が整理リストに表示されます。



4. **[トランスコーダ]**をクリックし、**[デバイス追加]**をクリックしてソフトウェアの管理リストにトランスコーダを追加します。

| | Add | | × |
|--------------|-------|--------------------------------|--------|
| Adding Mode: | | | |
| IP/Domain | | IP Segment | |
| Nickname: | | | |
| Address: | | | |
| Port: | 8000 | | |
| User Name: | admin | | |
| Password: | ••••• | | |
| | | | |
| | | Add | Cancel |

追加モードを IP/ドメインによるものか、IP セグメントによるものから選択し、関連する デバイス設定を行います。

追加モードに関する詳細な設定については、以下の節を参照してください:

- デバイスの IP/ドメイン名で指定する方法については、2.2.3 節 デバイスの手動追加
 を参照してください。
- IP セグメントを指定する方法については、2.2.4 節 IP セグメントによるデバイスの 追加を参照してください。
- 5. 正常に追加されたトランスコードはリスト上で確認できます:

| Add Device Modify X Delete Remote Config Settings Filter | Filter |
|--|--------|
| Nickname IP Device Serial No. Net Status | |
| | |
| Transcoder 10.7.36.222 DS-6864T0020140108BCRR428258400WU | |

8.1.2 エンコーディング デバイスのトランスコーダへの インポート

始める前に:

エンコーディング デバイスのカメラは、トランスコードにインポートするためにはグループ で整理されている必要があります。詳細な設定については 2.3 章 グループ管理を参照してく ださい。 手順:

- 1. デバイス管理インターフェイス上で、トランスコーダをデバイス リストから選択し、[設 定]をクリックしてトランスコーダ設定インターフェイスに入ります。
- グループ リストからグループまたはカメラを選択し、[インポート]ボタンをクリックして選択したカメラまたはグループのカメラをインポートするか、または[すべてインポート]をクリックしてすべてのグループのカメラを右側のトランスコーダにインポートします。
- オプションとして、ストリームをクリックして選択し、,[×]をクリックしてトランスコー ディング リストから削除します。

| | | Settings | | | | |
|--|---------------------------|-----------------------------|-------------------------|-------------|----------------|------------------|
| You can live view the camera on the Main \ | View interface after impo | rting it to the transcoder. | | | | |
| Camera Group | | Transcoding Stream(6) | × | | Filter | |
| Search P | | Source 🔺 | In Resolution | Bitrate | Package Format | Video Encoding T |
| - 😂 8464 | | Channel Zero1_Interse | 1 Auto | 2048Kbps | PS | STD_H264 |
| 📽 Camera1_8464 | | IP Camera16_Intersection | n 1 Auto | 2048Kbps | PS | STD_H264 |
| 3 🚭 8106 | | IP Camera1_Intersection | 1 Auto | 2048Kbps | PS | STD_H264 |
| 🖄 Intersection | | IP Camera2_Intersection | 1 Auto | 2048Kbps | PS | STD_H264 |
| IP Camera1_Intersecti | | IP Camera3_Intersection | 1 Auto | 2048Kbps | PS | STD_H264 |
| 👩 IP Camera2_Intersecti | Import | IP Camera4_Intersection | 1 Auto | 2048Kbps | PS | STD_H264 |
| IP Camera3_Intersecti | | | | | | |
| IP Camera4_Intersecti | Import All | | | | | |
| Channel Zero1_Inters | | | | | | |
| IP Camera16_Interse | | | | | | |
|) 🔤 Heat Map 🕓 | | Selected Transcoded Stre | eam | | | |
| 🔄 🗀 IDS6024 | | Resolution: | | Auto | ~ | |
| 🗎 People Counting | | Ditroto: | | 2049Kbps | | |
| ATM DVR | | Siddle. | | | | |
| 0 10.7.52.33 | | Package Format | | PS | ~ | |
| ڬ 10.7.52.36 | | Video Encoding Type: | | STD_H264 | ~ | |
| 😂 test4500 | | Protocol Type: | | TCP | ~ | Advanced Setting |
| 15958010966 | | Video Stream: | | Main Stream | ~ | Copy to |
|) 🖆 yff1 | | Obtain Video Stream | Via Stream Media Server | | ~ | Paula
Roma |
| - Charas Comoro | | | | | | Save |

8.2 トランスコーディッド ストリーム パラ メータの設定

手順:

トランスコーダ設定インターフェイス上で、リストからストリームを選択し、選択済み
 トランスコーディッド ストリーム エリアでそのパラメータを設定することができます。

| Selected Transcoded Stream | | |
|---|---------------|-------------------|
| Resolution: | Auto ~ | |
| Bitrate: | 2048Kbps ~ | |
| Package Format | PS ~ | |
| Video Encoding Type: | STD_H264 ~ | |
| Protocol Type: | TCP ~ | Advanced Settings |
| Video Stream: | Main Stream ~ | Copy to |
| Obtain Video Stream Via Stream Media Server | ~ | Save |

解像度、ビットレート、パッケージ フォーマット、ビデオ エンコーディング種別、プロトコル種別およびビデオ ストリームを含むトランスコーディッド ストリームのパラメータをドロップダウン リストから必要に応じて設定できます。

- (オプション) ストリーム メディア サーバをビデオ ストリームの転送に使用する場合 は、[ストリーム メディア サーバ経由でビデオ ストリームを取得する]のチェックボッ クスをチェックします。 注意:ストリーム メディア サーバを選択するにはストリーム メディア サーバをソフト ウェアに追加しておく必要があります。
- [詳細設定]をクリックし、選択したトランスコーディッド ストリームの詳細設定に入り ます。
 - (1) ストリーム種別、ビデオ品質、ビットレート種別、フレームレート、フレーム種別、 音声エンコーディング種別、プロファイルおよびIフレーム間隔を含むトランスコー ディッド ストリームのパラメータを必要に応じて編集します。 ストリームのデフォルト パラメータを保持することもできます。

| Advand | ced Parameters | × |
|----------------------|----------------|----|
| Stream Type: | Auto | ~ |
| Video Quality: | Auto | ~ |
| Bitrate Type: | Constant | ~ |
| Frame Rate: | Auto | ~ |
| Frame Type: | Ρ | ~ |
| Audio Encoding Type: | G722.1 | ~ |
| Profile: | Auto | ~ |
| I Frame Interval: | 30 | |
| | OK Canc | el |

(2) [OK]をクリックして設定を保存します。

5. (オプション) 選択したトランスコーディッド ストリーム設定エリア上で [コピー先...] をクリックし、現在のストリームの設定を他のストリーム(複数可)にコピーします。

| ΔII | Index | Resolution | Bitrate | Package Form | at I Video Enc |
|-----------|-------|------------|----------|--------------|----------------|
| IP Camera | 1 | Auto | 2048Kbps | PS | STD_H264 |
| IP Camera | 1 | Auto | 2048Kbps | PS | STD_H264 |
| IP Camera | 1 | Auto | 2048Kbps | PS | STD_H264 |
| IP Camera | 1 | Auto | 2048Kbps | PS | STD_H26 |
| IP Camera | 1 | Auto | 2048Kbps | PS | STD_H26 |
| | | | | | |
| | | | | | |

6. [保存]をクリックして設定を保存します。

8.3 トランスコーディッド ストリームの操 作

目的:

トランスコードが正しく完了すると、カメラのライブ ビューはトランスコーディッド スト リームを使うようになります。 手順:

 メイン ビュー インターフェイスに入り、ライブ ビューを見るトランスコーディッド カメラを確認します。詳細な設定については 2.4 章 ライブ ビューでの基本操作を参照 してください。

注意:ライブ ビュー中のカメラがトランスコーディング前である場合、トランスコーディッド ストリーム経由でカメラのライブ ビデオを表示するには、最初にライブ ビュー を停止し、再度ライブ ビューを開始してください。

 ライブ ビュー実行中にカメラ ノードを右クリックし、[トランスコーディング ステー タス]を選択することで、トランスコーディングのステータスを確認できます。



Eマップ設定については5章 Eマップ管理を参照してください; ビデオ ウォールへの表示については10章 ビデオ ウォール上でのビデオのデコーディングと表示を参照してください。

注意:トランスコーディッド ストリームをビデオ ウォール上に表示する場合、デコーダのサポートが必要です。

第9章 ストリーム メディア サーバを 経由したビデオ ストリームの転送

目的:

デバイスのリモート アクセスの数には常に上限があります。ライブ ビューを表示するため にデバイスにリモート アクセスしようとしているユーザが多くいる場合、ストリーム メデ ィア サーバを追加して、ストリーム メディア サーバからビデオ データ ストリームを取得 することで、デバイスへの負荷を下げることができます。

9.1 ストリーム メディア サーバの追加

始める前に:

ストリーム メディア サーバのアプリケーション ソフトウェアがインストールされており、 それは iVMS-4200 ソフトウェア パッケージに同梱されているものである必要があります。 iVMS-4200 ソフトウェアのインストール時に、[ストリーム メディア サーバ]チェックボック スをチェックし、ストリーム メディア サーバのインストールを有効にしてください。 手順:

 デスクトップの ショートカット アイコンをダブルクリックし、ストリーム メディ ア サーバを起動します。

注意:

- ビデオ ファイルを別の PC にインストールされたストリーム メディア サーバを経 由して転送することもできます。
- ストリーム メディア サーバのポート番号(値:554)が他のサービスに占有されている場合、ダイアログ ボックスがポップアップします。ポート番号を他の数字に変更し、ストリーム メディア サーバが適正に動作するようにしてください。
- 2. デバイス管理ページを開き、[サーバ]タブをクリックします。
- 3. **[新しいデバイス種別の追加]**をクリックし、**[ストリーム メディア サーバ]**を選択し、 **[OK]**をクリックします。
- リスト上で[ストリーム メディア サーバ]をクリックし、[デバイス追加]をクリックします。

以下の方法でストリーム メディア サーバを追加することができます:

- **ストリーム メディア サーバを IP アドレスで追加する** ストリーム メディア サーバを追加するには以下の手順を実行します:
 - 1) **[IP アドレス**]を追加モードとして選択します。
 - ストリーム メディア サーバのニックネームと IP アドレスを入力します。デフ オルトのポート番号は 554 です。
 - 3) [追加]をクリックしてストリーム メディア サーバをクライアント ソフトウ ェアに追加します。

| _ | _ | Add | × |
|--------------|--------|--------------------------------|--------|
| Adding Mode: | | | |
| • IP A | aaress | IP Segment | |
| Nickname: | | | |
| IP Address: | | | |
| Port | 554 | | |
| | | | |
| | | Add | Cancel |

- ストリームメディアサーバをIPセグメントで追加する
 ストリームメディアサーバをIPセグメントで追加するには以下の手順を実行します:
 - 1) [IP セグメント]を追加モードとして選択します。
 - 2) 始点 IP と終点 IP を入力します。デフォルトのポート番号は 554 です。
 - [追加]をクリックしてストリーム メディア サーバをクライアント ソフトウェアに追加します。IP アドレスが始点 IP と終点 IP の間にあるストリーム メディア サーバが、クライアントに追加されます。

| | | Add | × |
|--------------|---------|--------------------------------|--------|
| Adding Mode: | | | |
| O IP/ | Address | IP Segment | |
| Start IP: | | | |
| End IP: | | | |
| Port | 554 | | |
| | | | |
| | | Add | Cancel |

注意:1 つのクライアントに、最大 16 のストリーム メディア サーバーを追加することができます。

9.2 ビデオ ストリーム転送のためのストリ ーム メディア サーバへのカメラ追加

目的:

カメラのビデオ ストリームをストリーム メディア サーバ経由で取得するには、カメラをス トリーム メディア サーバに接続する必要があります。

手順:

- 1. リストから、ストリーム メディア サーバを選択します。
- 2. [設定]を選択してストリーム メディア サーバ設定インターフェイスに入ります。
- 3. ビデオ ストリームをストリーム メディア サーバ経由で転送したいカメラを選択しま す。
- 4. [OK]をクリックし、新しい設定を保存します。
- メイン ビュー ページに移動し、カメラのライブ ビューを再度開始します。ストリーム メディア サーバから転送または送信されたビデオ ストリームのチャンネル番号を確認 します。

注意:1 つのストリーム メディア サーバに対して、最大 64 チャンネルまでのビデオ ストリ ームが転送可能で、最大 200 チャンネルまでのビデオ ストリームがクライアントに対して 送信可能です。

| | | | Str | eam Media Server | | | - × |
|---|-----------|-----------|-------------|--|--------|------------------------|-----|
| Stream Media Server Settings × | Configure | e About | | Incoming Stream Number:
Outgoing Stream Number: | 0
0 | 15:15:48
2014-12-09 | |
| All DVR-Encoding Channel DVR-Camera1 DVR_Camera3 DVR_Camera4 DVR_Camera5 DVR_Camera5 DVR_Camera6 DVR_Camera7 DVR_Camera8 DVR_Camera8 DVR_Camera10 DVR_Camera11 V CK Cancel | Operation | Client IP | Client Port | Time | | | |

第 10 章 ビデオ ウォール上でのビデオの デコーディングと表示

目的:

ビデオ ウォール モジュールはビデオ デコーディング機能を提供し、デコードされたビデオ は注意を惹きつけるようにビデオ ウォール上に表示させることができます。

コントロール パネル上の フリックしてビデオ ウォール ページを開きます。



10.1 エンコーディング デバイスの追加

目的:

ビデオ ウォール上でのデコーディングと表示を行うには、エンコーディング デバイスの追加が必要です。デバイス管理ページでエンコーディング デバイスを追加していない場合、ビデオ ウォール ページから追加することができます。 手順:

1. カメラ エリアで 🖿 をクリックし、デバイス追加ウィンドウを起動します。

| | A | dd | _ | × |
|---|----------------------------|-------------------------------|------------|---|
| Adding Mode:
IP/Domain I | P Segment | IP Server | | |
| Add Offline Device Nickname: Address: Port: User Name: | 8000 | | | |
| Password:
Export to group
Set the device name as th
connected to the device to | e group name
the group. | and add all the chan | nels | |
| Adding encoding device in De | vice Managen | nent interface is also | available. | |
| | | A | dd Cancel | |

2. 追加モードを選択し、関連するデバイス設定を行います。

4 つの追加モードに関する詳細な設定については、以下の節を参照してください:

- デバイスを IP で指定する方法については、2.2.3 節 デバイスの手動追加を参照して ください。
- IP セグメントを指定する方法については、2.2.4 節 IP セグメントによるデバイスの 追加を参照してください。
- IP サーバを利用する方法については、2.2.5 節 IP サーバによるデバイスの追加を参 照してください。
- HiDDNS を利用する方法については、2.2.6 節 HiDDNS によるデバイスの追加を参照 してください。

(オプション) サードパーティ製のエンコーディング デバイスを追加したい場合、以下の手順を実行してください:

- 1. デバイス管理ページに移動し、[サーバ]タブをクリックします。
- [新しいデバイス種別の追加]をクリックし、[サードパーティ エンコーディング デバイ ス]を選択し、[OK]をクリックします。
- 3. 整理パネルからサードパーティ エンコーディング デバイスを選択し、[デバイス追加] をクリックしてデバイス追加ウィンドウを起動します。
 - IP/ドメインの場合:ニックネーム、IP アドレス/ドメイン名、ポート番号、ユーザ名、 パスワード、チャンネル番号、起点、およびデバイスのメーカーを編集します。
 - IP セグメントの場合:ニックネーム、始点 IP、終点 IP、ポート番号、ユーザ名、パ スワード、チャンネル番号、起点、およびデバイスのメーカーを編集します。

注意:[起点]フィールドを4に変更した場合、チャンネル番号は4から始まることを意味します。

| | Add | × | | Add | × |
|---|---|--------|-------------------------------------|------------|--------|
| Adding Mode: | | | Adding Mode: | | |
| IP/Domain | O IP Segment | | 🔿 IP/Domain | IP Segment | |
| Nickname: | | | Start IP: | | |
| Address: | | | End IP: | | |
| Port: | 8000 | | Port: | 8000 | |
| User Name: | | | User Name: | | |
| Password: | | | Password: | | |
| Channel Number: | 1 | | Channel Number: | 1 | |
| Start From: | 1 | | Start From: | 1 | |
| Manufacturer: | Panasonic v | | Manufacturer: | Panasonic | ~ |
| Export to Group | | | Export to Group | | |
| Set the device name as the
connected to the device to the device to the terms of terms | e group name and add all the channels
the group. | | Create group with device IP. | | |
| | Add | Cancel | | Add | Cancel |

10.2 デコーディング デバイスの追加

目的:

エンコーディング デバイスのビデオをデコードし、ビデオ ウォールにデコードされたビデ オとして表示するには、デコーディング デバイスがクライアントに追加されている必要があ ります。

手順:

- 1. [ビデオ ウォール設定に入る]をクリックし、デコーディング デバイスおよびビデオ ウ ォールの設定インターフェイスに入ります。
- 2. デコード出力エリアで 🖿 をクリックし、デコーディング デバイスの簡易追加ウィンド

ウを起動します。

| | Add | × |
|---------------------------------|---|--------|
| Device Type: | Decoder | |
| Adding Mode: | | |
| IP/Domain | IP Segment | |
| Nickname: | | |
| Address: | | |
| Port | 8000 | |
| User Name: | admin |] |
| Password: | ••••• | |
| | | |
| | | |
| Adding decoding device in Devic | e Management interface is also availabl | e. |
| | Add | Cancel |

デバイス種別をデコーダまたはカスケーディング サーバとしてください。
 注意:カスケーディング サーバをここで追加する場合、デバイス管理ページに入り、[サーバ]タブをクリックします。[新しいデバイス種別の追加]をクリックし、[カスケーディング サーバ]を選択し、[OK]をクリックします。
 デコーダの場合、2 つの追加モードが利用できます。追加モードを選択し、関連するデバイス設定を行います。

2つの追加モードに関する詳細な設定については、以下の節を参照してください:

- デバイスの IP アドレスまたはドメインを指定する方法については、2.2.3 節 デバイ スの手動追加を参照してください。
- IP セグメントを指定する方法については、2.2.4 節 IP セグメントによるデバイスの 追加を参照してください。

カスケーディング サーバの場合、デバイスを IP アドレスで追加することができます。 詳細な設定については、2.2.3 節 デバイスの手動追加を参照してください。

デコーディング デバイスの出力の編集

手順:

- デコーディング デバイスが出力のリストを表示する前に、デコーディング出力エリア で
 ● をクリックしてください。
- 出力をダブルクリックすると、そのパラメータを編集できます。または、ビデオ ウォール エリアでデコーディング出力を右クリックし、[デコーディング出力設定]を選択してそのパラメータを編集します。
 注意:HDMI および VGA 出力については、解像度の設定が可能です。BNC 出力については

ビデオ規格が設定できます。 3. (オプション)[**一括設定]**チェックボックスをチェックして、その他の出力を選択し、設

- 定をコピーすることができます。
- 4. [OK]をクリックして設定を保存します。



注意:

拡張 HDMI 出力ボードがある場合、NVR もデコーディング機能をサポートします:

- ビデオ入力をリンクし、デコード デバイスを経由せずに、ビデオ ウォール上に表示することができます。
- HDMI 出力を直接経由したカメラの映像のビデオ ウォール表示、ウィンドウ表示、浮動 ウィンドウを実現できます。
- デコーディング出力のパラメータを変更することもできます。
- 詳細については NVR のユーザ マニュアルを参照してください。

10.3 ビデオ ウォールの設定

目的:

エンコーディング デバイスおよびデコーディング デバイスを追加した場合、ビデオ表示の ためにビデオ ウォールのパラメータを設定する必要があります。

10.3.1ビデオ ウォールへのデコーディング出力のリンク

手順:

- 1. [ビデオ ウォール設定に入る]をクリックし、デコーディング デバイスおよびビデオ ウ ォールの設定インターフェイスに入ります。
- デフォルト ビデオ ウォール ビューは 4x4 に分割されたウィンドウを提供します。デフ オルト ビデオ ウォールを編集したり、必要に応じて新しいビデオ ウォールを追加した りできます。

タスク 1:ビデオ ウォールの追加

- 2) ビデオ ウォールの名前、行数、列数および比率を入力します。

| | | Add Vi | deo Wall | | | | × |
|----------------------|----------------|-----------|----------|---|-----|--------|---|
| Use the mouse to sel | ect the rows a | and colur | nns | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| L | | | | | | | |
| Video Wall Name: | 3 x 3 | | | | | | |
| Row: | 3 | | | | | | |
| Column | 3 | | | | | | |
| Column. | | | | _ | | | |
| Proportion: | 4:3 | | | ~ | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | Add | Cancel | |

3) [追加]をクリックします。

タスク 2:ビデオ ウォールの編集

- 1) ビデオ ウォールを右クリックし、[ビデオ ウォールの編集]を選択して編集します。
- ポップアップ ウィンドウで、ビデオ ウォールの名前、行数、列数および比率を入 力します。

注意:マウスをドラッグして必要なビデオ ウォールを設定することもできます。

3) [保存]をクリックして設定を保存します。

タスク 3:ビデオ ウォールの削除

ビデオ ウォールを削除する場合、ビデオ ウォールを右クリックし、[ビデオ ウォール の削除]を選択するか、ビデオ ウォールの^図をクリックします。

 左側のリストからデコーディング出力をビデオ ウォールの表示ウィンドウにクリック アンド ドラッグし、1対1の関連付けを設定します。Ctrl を押したままクリックするか、 Shift キーを押したまま複数の出力をクリックで選択して、それらをビデオ ウォールにド ラッグして、一括で関連付けを設定することもできます。表示ウィンドウの右上の■を クリックしてリンクを解除することができます。

注意:

- 最大4つまでのビデオ ウォールをクライアントソフトウェアに追加できます。
- ビデオ ウォールの表示ウィンドウの合計数は 100 より多くはできません。
- 列数と行数の範囲はどちらも1から10までです。



10.3.2マルチ スクリーン表示

目的:

DS-6400HDI-T シリーズのデコーダの場合、複数のスクリーンを一つのスクリーンに結合でき ます。このようにして、1 台のカメラのデコードされたビデオを結合されたウィンドウに表 示することができます。

始める前に:

DS-6400HDI-T シリーズ デコーディング デバイスをクライアントに追加する必要があります。 デコーディング デバイスの追加の詳細な設定については第 10.2 章 デコーディング デバイ スの追加を参照してください。

手順:

- 1. 10.3.1 章 ビデオ ウォールへのデコーディング出力のリンクのステップ3を実行して、 デコーダとビデオウォールのリンクを設定してください。
- マウスをクリック アンド ドラッグして隣り合った表示ウィンドウを結合のために選択 します。

注意:

- 同じ出力インターフェイスだけが1つのウィンドウに結合できます。例:4つのVGA インターフェイスだけ、またはHDMIインターフェイスだけが結合できます。
- BNC インターフェイスは結合をサポートしていません。



3. ■をクリックしてスクリーンの結合を確認します。

| 6404HD-T:VGA 1 | 6404HD-T:VGA 2 | E IO JUD Téoroard |
|----------------|----------------------|-------------------|
| 6404HD-T:VGA 4 | 6404HD-T:VGA 3
ጅਿ | |

4. (オプション) 結合されたウィンドウの解像度は、それを右クリックして[デコーディング 出力設定]を選択することで設定できます。

マルチ スクリーン表示をキャンセルうするには、表示ウィンドウの右上隅にある**国**をク リックします。

| | Modify Video Wall | × |
|-------------|-------------------|----|
| Nickname: | Screen1 | |
| Resolution: | XGA(1024*768)60HZ | ~ |
| | | |
| | OK Canc | el |

10.3.3背景設定

目的:

ビデオ ウィンドウの背景として表示する画像をアップロードできます。 <mark>注意</mark>:この機能はデバイスがサポートしている必要があります。

- 1. をクリックして背景画像パネルを展開します。
- 2. 背景画像を選択してダブルクリック(または右クリックして [背景設定]を選択)し、背景 アップロード ウィンドウを起動します。

| Background Picture | ~ | | |
|--------------------|---|---------------------|----------------------|
| 🖃 🛲 6400-S | | | |
| 🔤 Basemap | | | Upload Background × |
| | | Name:
File Path: | Background
Upload |

- 3. 背景画像にユーザ定義名を設定し、 をクリックして画像ファイルを選択します。
- 4. [**アップロード**]をクリックして画像をアップロードします。
- 5. 設定した背景画像をクリック アンド ドラッグして、ビデオ ウォールの任意の位置に移 動します。
- 6. カーソルが🌄になったらウィンドウを移動できます。カーソルが方向矢印になったらサ

イズの調整ができます。背景画像を右クリックし、[**表示**]または[**非表示**]を選択して背景 画像を表示または非表示にします。

注意:背景をアップロードすると、物理的なビデオ ウォールに画像が表示されます。



10.3.4バーチャル LED の設定

目的:

バーチャル LED を利用して、ビデオ ウォール上に必要なコンテンツを表示できます。 注意:この機能はデバイスがサポートしている必要があります。

- 1. [ビデオ ウォール設定に入る]をクリックし、設定インターフェイスに入ります。
- をクリックしてバーチャル LED パネルを表示し、
 をクリックして追加されたビデオ ウォール コントローラを展開します。
- 3. ビデオ ウォールにバーチャル LED をクリック アンド ドラッグします。
- 4. カーソルが^いになったらウィンドウを移動できます。カーソルが方向矢印になったらサ イズの調整ができます。
- 5. パネル上のバーチャル LED を右クリックしてバーチャル LED 設定を選択し、パラメータ を設定します。
 - コンテンツ:ビデオ ウォールに表示したいコンテンツを設定します。
 - **表示モード**:バーチャル LED のモードを任意に選択します。
 - 移動モード:表示テキストのスクロール効果を設定します。
 - 移動方向:表示テキストのスクロール方向を設定します。

- 移動速度:表示テキストの移動速度を設定します。
- フォント サイズ:表示テキストのフォントサイズを設定します。
- フォント表示色:[色]をクリックして表示テキストの色を設定します。
- 背景色:[色]をクリックして背景の色を設定します。

| | Virtual LED Settings | | × |
|-------------------|----------------------|---|--------|
| Content: | 123 | | |
| Show Mode: | Transparent | ~ | |
| Moving Mode:: | Normal | ~ | |
| Moving Direction: | Left<-Right | ~ | |
| Moving Speed: | 1X | ~ | |
| Font Size: | 1X | ~ | |
| Font Color: | | | Color |
| Background Co | | | Color |
| | ОК | : | Cancel |

10.4 ビデオ ウォール上でのビデオ表示

目的:

エンコーディング デバイス、デコーディング デバイスおよびビデオ ウォールの設定後、エ ンコーディング デバイスからのビデオ ストリームがデコードされ、ビデオ ウォールに表示 できるようになります。

注意:

- デコーディングと表示を有効化すると、エンコーディング デバイスからのビデオのキャプチャー画像がビデオ ウォール インターフェイスに表示されます。物理的なビデオウォールにはリアルタイム ライブ ビューが表示されます。
- 一部のデコーダでは、シグナル ソース(ローカル インターフェイスを通じてデコーダに 接続されるビデオ信号(例: PC)のこと)からのビデオ ストリームをビデオ ウォールに表 示することもできます。設定の詳細についてはデバイスのユーザ マニュアルを参照し てください。

10.4.1デコーディングと表示

- 1. [操作ページに戻る]をクリックしてビデオウォール操作インターフェイスに戻ります。
- 2.

 をクリックして現在のシーンに対するリンク設定を保存します。または

 をクリックして(

 の横)、設定を保存したいシーンを選択します。
 - <u>注意</u>:
 - シーン設定はカスケーディングサーバでのみサポートされています。デコーダの設定の場合、ステップ2と3を飛ばしてください。
 - ビデオ ウォールには8シーンまで設定できます。各シーンについて、それぞれ異なる リンク設定とウィンドウ分割を設定できます。

- シーン名の編集を行う場合、シーンを選択して
 をクリックし、新しい名前を定義してください。また
 をクリックしてシーンについてのすべての設定をクリアすることもできます。
- 3. リンク設定のあるシーンを選択して、▶をクリックするとシーンを有効化できます。
- 左側のリストからカメラをビデオ ウォールの表示ウィンドウにクリック アンド ドラ ッグします。カメラからのビデオ ストリームはデコードされ、ビデオ ウォール上に表 示されます。デコーディング ウィンドウを選択し、カメラをダブルクリックしてデコー ドし、ビデオを表示することもできます。Ctrl を押したままクリックするか、Shift キー を押したまま複数のカメラをクリックで選択して、それらをビデオ ウォールにドラッグ することもできます。

注意:DS-6400HDI-T デコーダの場合、ビデオ ウォールに表示するシグナル ソースをシグ ナル ソース パネルから選択できます。

- 5. 再生するウィンドウを選択し、アイコンをクリックしてビデオのプレビューを画面の右 下隅に表示します。または、カメラを直接、ライブ ビュー用のプレビュー ウィンドウ にドラッグすることもできます。プレビュー ウィンドウをダブルクリックして全画面表 示にすることもできます。 <u>注意</u>:マウスをウィンドウに動かし、右下隅の をクリックしてデコーディングを停止で
- 6. (オプション) デコーディング ウィンドウを選択し、
 ■をクリックしてウィンドウ分割 を設定します。
 ●をクリックして現在のシーンに対する設定を保存します。または●を クリックして(■の横)、設定を保存したいシーンを選択します。
- デコードされるカメラが PTZ 操作をサポートしている場合、[PTZ]の横にある▲をクリックして、PTZ 操作パネルを起動できます。詳細な設定については 2.4.3 章 ライブ ビューでの PTZ 操作を参照してください。
- 再生中のウィンドウを右クリックして、以下のようなデコーディング管理メニューを起動します:

注意:メニューはデバイスごとに異なります。

きます。



デコーディングの停止/開始:デコーディングを停止/開始します。

連続デコーディングの開始/一時停止:周期的デコーディングを開始/一時停止します。この機 能はデコーダでのみサポートされます。

更新:デコーディングを更新します。

デジタルズームを開く/閉じる:デジタルズームを有効化/無効化します。

音声有効化:デコーディング ビデオの音声をオン/オフにします。

ウィンドウ拡大:ウィンドウを全画面モードで表示します。

デコーディング チャンネル ステータス:デコーディング ステータス、ストリーム種別など のデコーディング チャンネルのステータスを表示します。

ロゴのアップロード:ビデオ ウィンドウのロゴとなる画像をアップロードし、その表示パラ メータを設定します。設定後、ロゴが物理ビデオ ウォール上のウィンドウの指定した位置に 表示されます。

ロゴの表示/非表示:ロゴを表示/非表示にします。

トップに固定:ウィンドウを常に一番上のレイヤーに固定します。この機能はカスケーディング サーバでのみサポートされます。

ボトムに固定:ウィンドウを常に一番下のレイヤーに固定します。この機能はカスケーディン グ サーバでのみサポートされます。

ロック:ウィンドウをロックし、浮動化機能を無効化します。

アラーム ウィンドウの設定:イベントまたはアラーム出力によってトリガーされたビデオを、 ビデオ ウォール上に表示します。

デコーディング遅延:実際の必要に応じて、デコーディングの遅延の度合いを設定します。この機能はカスケーディングサーバでのみサポートされます。

再生に移動:再生モードに入ります。この機能はデコーダでのみサポートされます。



アイコン 説明

| • | すべてのデコーディングを開始 |
|-----|----------------------|
| - | すべてのデコーディングを停止 |
| l⊡k | すべての浮動化ウィンドウを停止 |
| 0 | すべてのデコーディング ウィンドウを更新 |
| 0 - | 周期デコーディングと切り替え周期を設定 |

10.4.2 ウィンドウ化および浮動化設定

目的:

ウィンドウ化とは、画面(複数可)上に新しいウィンドウを開くことです。ウィンドウは1つ の画面内に収まるか、または複数の画面にまたがることができます。ビデオ ウォール内で、 再生ウィンドウを自由に移動することができます。この機能を浮動化と呼びます。 注意:ウィンドウ化および浮動化機能はデコーディング デバイスがサポートしている必要が あります。

手順:

 デコーディング出力にリンクされた画面上でクリック アンド ドラッグし、ウィンドウ を開きます。ウィンドウは1つの画面内に収まるか、または複数の画面にまたがること ができます。開いたウィンドウ上でウィンドウを開きたい場合、Ctrl キーを押したままク リック アンド ドラッグすることで新規作成できます。ロックされたウィンドウでは(ス テップ6参照)、クリック アンド ドラッグで新しいウィンドウを作成できます。 注意:ウィンドウを開く前に、少なくとも1つのカメラを選択しておく必要があります。



- カーソルが
 Carlot たらウィンドウを移動できます。カーソルが方向矢印になったらサイズの調整ができます。Shift キーを押したままにして、ウィンドウの比率を保ってサイズを変えることもできます。
- ウィンドウを動かしている間、境界線が点線で表示されます。ウィンドウは点線表示の 境界線の近くに移動された場合、境界線に沿って調整されます。



ウィンドウをダブルクリックすると、ウィンドウはまたがっている画面を埋め尽くすように拡大され、一番上のレイヤーに表示されます。再度ダブルクリックすると元に戻せます。



5. (オプション) ウィンドウを選択し、[■]をクリックしてウィンドウ分割を設定します。[■] をクリックしてその設定を保存します。

- ウィンドウを右クリックし、右クリックメニューから[ロック]を選択して浮動化機能を 無効にします。アイコンがウィンドウの右上隅に表示されます。このようにすると、 ウィンドウは移動もサイズ変更もできません。ウィンドウを右クリックして、右クリッ クメニューから[アンロック]を選択すると、浮動化機能を有効にできます。
- ウィンドウを右クリックして、右クリックメニューから[デコーディングの停止]を選択 するか、マウスをウィンドウに動かして、右上隅の■をクリックすると、ウィンドウの デコーディングが停止され、ウィンドウが閉じられます。■をクリックしてすべての浮 動ウィンドウを閉じることができます。
- ウィンドウはデコードされたビデオからキャプチャーした画像のみを表示します。ウィンドウを右クリックして、右クリックメニューから[更新]を選択するか、マウスをウィンドウに動かして、右下隅の をクリックすると、デコードされたビデオの最新の画像がキャプチャーされ、ウィンドウに表示されます。
- ビデオの特定の部分を詳細に見たい場合は、ウィンドウを右クリックし、右クリックメニューから(利用可能な場合)[デジタルズームを開く]を選択すると、カーソルが になります。マウスをビデオ上でドラッグして、デジタルズームを有効にします。物理的ビデオウォール上で効果を確認できます。
- 再生するウィンドウを選択し、「アイコンをクリックしてビデオのプレビューを画面の右 下隅に表示します。または、カメラを直接、ライブ ビュー用のプレビュー ウィンドウ にドラッグすることもできます。プレビュー ウィンドウをダブルクリックして全画面表 示にすることもできます。
- 11. 再生中のウィンドウで右クリックし、右クリック メニューからデコーディング管理を操 作できます。

10.4.3再生設定

目的:

ビデオ ファイルはビデオ ウォール上で再生できるようになっています。

注意:再生機能はデコーダでのみサポートされます。

手順:

- 1. 左側のリストからカメラをビデオ ウォールの表示ウィンドウにクリック アンド ドラ ッグします。または、サポートされている場合、ウィンドウを開くこともできます。
- マウスをウィンドウに動かし、右上隅の20をクリックします。または、ウィンドウを右 クリックし、右クリックメニューから[再生に移動]を選択します。
- 再生ウィンドウを右クリックし、右クリックメニューから一時停止、停止、高速再生、 スロー再生、キャプチャー、録画開始、全画面再生などの再生操作を行うことができます。

注意:キャプチャー画像および録画ファイルの保存パスはシステム設定ページで設定で きます。詳細な設定については 14.2.3 章 ファイル保存先パス設定を参照してください。 マウスを画面に移動すると、以下のようなアイコンが表示されます。



アイコン 説明

- 再生の一時停止
- 再生の停止
- 再生中のビデオのキャプチャー
- 🖸 再生中のビデオの録画
- 📓 ライブ ビュー モードへの復帰

📲 1 x 再生速度

10.4.4 周期的デコーディングの設定

目的:

周期的デコーディングでは、エンコーディング デバイスの複数のビデオ ストリームを一つ のデコーディング出力に設定し、デコーディングの切り替え周期を設定できます。 注意:周期的デコーディング機能はデコーダでのみサポートされます。 手順:

- 1. 2の横にある をクリックし、周期的デコーディングの切り替え周期を設定します。
- 左側のリストからカメラをビデオ ウォールの表示ウィンドウにクリック アンド ドラ ッグします。または、サポートされている場合、ウィンドウを開くこともできます。
 注意:周期的デコーディングは、DS-6400HDI-T のシグナル ソースではサポートされません。
- マウスをグループ ノードに動かし、◎をクリックして周期的デコーディング(周期的デコ ーディングに含まれるデコーディング出力は◎でマークされます)を開始します。ウィン ドウで右クリックし、右クリック メニューからデコーディング管理を操作できます。



10.5 ビデオ ウォール コントローラの設定

目的:

クライアントは追加されたビデオ ウォール コントローラの管理を行う機能を提供します。

10.5.1ビデオ ウォール コントローラの追加

目的:

管理のために、クライアントにビデオ ウォール コントローラを追加する必要があります。 手順:

- 1. デバイス管理ページに移動し、[サーバ]タブをクリックします。
- [新しいデバイス種別の追加]をクリックし、[ビデオ ウォール コントローラ]を選択し、 [OK]をクリックします。
- 3. 整理パネルからビデオ ウォール コントローラを選択し、[**デバイス追加**]をクリックし てデバイス追加ウィンドウを起動します。
- デバイスのニックネーム、IP アドレス/ドメイン名、ポート番号、ユーザ名、パスワード を編集してください。
- 5. [追加]をクリックして設定を保存します。

| | Add | ł |
|------------|------------|---|
| | | |
| Nickname: | | |
| Address: | | |
| Port: | 8000 | |
| User Name: | | |
| Password: | | |
| | | |
| | Add Cancel | |

6. 出力の編集については 10.2 章 デコーディング デバイスの追加を参照してください。

10.5.2ビデオ ウォールへの出力のリンク

手順:

- 1. [ビデオ ウォール設定に入る]をクリックし、設定インターフェイスに入ります。
- 追加されたビデオ ウォール コントローラの名前を持ったデフォルト ビデオ ウォール が提供されます。デフォルト ビデオ ウォールを任意に編集できます。詳細は 10.3.1 節 ビデオ ウォールへのデコーディング出力のリンクを参照してください。
- 左側のリストから追加したビデオ ウォール コントローラの出力をビデオ ウォールの 表示ウィンドウにクリック アンド ドラッグし、1対1の関連付けを設定します。Ctrl を押したままクリックするか、Shift キーを押したまま複数の出力をクリックで選択して、 それらをビデオ ウォールにドラッグして、一括で関連付けを設定することもできます。 表示ウィンドウの右上のSMEをクリックしてリンクを解除することができます。
- 4. 背景の設定については 10.3.3 節 背景設定を参照してください。

注意:

- ビデオ ウォールの表示ウィンドウの合計数は 100 より多くはできません。
- 列数と行数の範囲はどちらも1から10までです。


10.5.3バーチャル LED の設定

目的:

バーチャル LED を利用して、ビデオ ウォール上に必要なコンテンツを表示できます。 **手順**:

- 1. [ビデオ ウォール設定に入る]をクリックし、設定インターフェイスに入ります。
- ▲をクリックしてバーチャル LED パネルを表示し、●をクリックして追加されたビデオ ウォール コントローラを展開します。
- 3. ビデオ ウォールにバーチャル LED をクリック アンド ドラッグします。
- カーソルが
 になったらウィンドウを移動できます。カーソルが方向矢印になったらサイズの調整ができます。
- 5. パネル上のバーチャル LED を右クリックしてバーチャル LED 設定を選択し、パラメータ を設定します。
 - **コンテンツ**:ビデオ ウォールに表示したいコンテンツを設定します。
 - 表示モード:バーチャル LED のモードを任意に選択します。
 - 移動モード:表示テキストのスクロール効果を設定します。
 - フォント サイズ:表示テキストのフォントサイズを設定します。
 - フォント表示色:[色]をクリックして表示テキストの色を設定します。
 - **背景色:[色]**をクリックして背景の色を設定します。

| | Virtual LED Settings | | × |
|---------------|----------------------|---|--------|
| Content: | 12345 | | |
| Show Mode: | Transparent | ~ | |
| Moving Mode:: | Normal | ~ | |
| Font Size: | 2X | ~ | |
| Font Color: | | | Color |
| Background Co | | | Color |
| | ОК | | Cancel |

10.5.4ビデオ ウォール画面の設定

目的:

ビデオ ウォールの画面は、画面種別、画面のオープン、画面のクローズ、入力ソースおよび 画像パラメータなどが設定できます。

手順:

- 1. [操作ページに戻る]をクリックしてビデオウォール操作インターフェイスに戻ります。
- 2. ■をクリックし、画面コントロール ウィンドウを起動します。
- 3. ビデオ ウォール上でクリック アンド ドラッグし、画面を選択してそのパラメータを 設定します。

画面種別:選択した画面に対し、異なる通信プロトコルを適用した異なる画面種別を選択 します。

画面のオープン/画面のクローズ:選択した画面をオープンまたはクローズします。 **すべてオープン/すべてクローズ**:すべての画面をオープンまたはクローズします。 入カソース種別:画面の入力ソースを選択し、[設定]をクリックして設定を保存します。 画像パラメータおよび位置調整:輝度またはコントラストを選択し、または。をクリ ックして画像パラメータを調整します。水平または垂直を選択し、または。をクリッ クして画面上の画像の位置を調整します。

| | | Screen Type: |
|-------------------------|-------------------|--------------------------|
| | | DLP |
| | | Open Screen Close Screen |
| | | Open All Close All |
| | | VGA Set |
| Image Parameters and Po | sition Adjustment | |

10.5.5ビデオ ウォール上でのビデオ表示

目的:

ビデオ ウォール コントローラを追加し、ビデオ ウォールに出力をリンクすると、エンコー ディング デバイスまたはシグナル ソースからのビデオ ストリームがビデオ ウォール上に 表示できます。

注意:

- エンコーディング デバイスとは、iVMS-4200 クライアントにネットワークを通じて接続 されたデバイスのことを指します。
- エンコーディング デバイスのビデオをデコードして表示するためには、デコーディン グ モジュールをビデオ ウォール コントローラに接続しておく必要があります。
- シグナル ソースとは、コントローラのローカル インターフェイスを通じてビデオ ウ オール コントローラに接続されたビデオ信号(例: アナログ カメラ)のことを指します。
- デコーディングと表示を有効化すると、エンコーディング デバイスからのビデオのキャプチャー画像がビデオ ウォール インターフェイスに表示されます。物理的なビデオウォールにはリアルタイム ライブ ビューが表示されます。
- シグナル ソースについては、出力ウィンドウにキャプチャー画像が表示されません。
 物理的ビデオ ウォール上でライブ ビューを確認できます。

手順:

- 1. [操作ページに戻る]をクリックしてビデオウォール操作インターフェイスに戻ります。
- 2. リンク設定のあるシーンを選択して、 をクリックするとシーンを有効化できます。
- 左側のリストからカメラまたはシグナル ソースをビデオ ウォールの表示ウィンドウに クリック アンド ドラッグします。カメラまたはシグナル ソースからのビデオ ストリ ームがビデオ ウォール上に表示されます。デコーディング ウィンドウを選択し、カメ ラをダブルクリックしてデコードし、ビデオを表示することもできます。Ctrl を押したま まクリックするか、Shift キーを押したまま複数のカメラをクリックで選択して、それら をビデオ ウォールにドラッグすることもできます。
- 4. または、カメラまたはシグナル ソースを選択し、出力にリンクされた画面上でクリック アンド ドラッグしてウィンドウを開くこともできます。ウィンドウは1つの画面内に収 まるか、または複数の画面にまたがることができます。開いたウィンドウ上でウィンド ウを開きたい場合、Ctrl キーを押したままクリック アンド ドラッグすることで新規作成 できます。詳細については 10.4.2 章 ウィンドウ化および浮動化設定を参照してください。
- 5. 再生するウィンドウを選択し、「アイコンをクリックしてビデオのプレビューを画面の右 下隅に表示します。または、カメラを直接、ライブ ビュー用のプレビュー ウィンドウ にドラッグすることもできます。プレビュー ウィンドウをダブルクリックして全画面表 示にすることもできます。
- 6. ■をクリックして現在の設定をシーンとして保存します。または¹をクリックして([■]の 横)、シーンを選択するか、新しいシーンを作成して設定を保存します。
 注意:
 - ビデオ ウォール コントローラには 32 シーンまで設定できます。

- シーン名の編集を行う場合、シーンを選択して図をクリックし、新しい名前を定義してください。また■をクリックしてシーンについてのすべての設定をクリアすることもできます。シーンを呼び出す場合、シーンを選択して、■をクリックしてシーンを有効化します。
- 再生中のウィンドウを右クリックして、デコーディング管理メニューを起動します。
 注意:メニューはデバイスごとに異なります。詳細な導入については 10.4.1 章 デコーディングと表示を参照してください。
- エンコーディング デバイスのビデオ ファイルをビデオ ウォール上に表示する場合、
 10.4.3 章 再生設定を参照してください。

10.5.6 プランの設定

目的:

ビデオ ウォール コントローラのプラン機能は、設定されたシーンを切り替え、一定時間で シーンをオンまたはオフにすることができます。切り替え操作(シーンや画面のクローズな ど)の時間スケジュールを設定することもできます。プランの自動切り替えも可能です。 始める前に:ビデオ ウォール コントローラにシーンが追加されている必要があります。シー ンの追加については 10.5.5 章 ビデオ ウォール上でのビデオ表示を参照してください。 手順:

- 1. [操作ページに戻る]をクリックしてビデオウォール操作インターフェイスに戻ります。
- 2. ▲をクリックしてプラン パネルを表示し、[プラン追加]をクリックするか、パネル上で 右クリックして[プラン追加]を選択すると、プラン追加ウィンドウがポップアップしま す。

| <u>注意</u> :ビデオ | ウォール | コントロ- | - ラには 16 ? | プランま | で設定できます。 |
|----------------|------|-------|------------|------|----------|
|----------------|------|-------|------------|------|----------|

| | | Add Plan | | × |
|-----------|------------|----------|---------------|--------|
| Nickname: | | Mode: | Manual | ~ |
| Plan Task | Parameters | | | |
| | | Add Up | Down | Delete |
| Index | Task Type | Object | Dwell Time(s) | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | ОК | Cancel |
| | | | | |

3. プランのパラメータを設定します:

ニックネーム:任意のプラン名を編集します。

モード:プランを実行するモードを選択します。マニュアル、オート、自動切り替えが選択できます。

- マニュアル:プランの呼び出しを手動で停止するまで自動的にプランを実行します。
- オート:パラメータ パネルで設定した開始時間および実行回数にしたがってプラン を実行します。

 自動切替:パラメータ パネルで設定した時間スケジュールおよび実行回数にしたが ってプランを実行します。

プラン タスク:プランの操作を設定します。プランは追加された操作を順番に実行しま す。

- 追加:プランに操作を追加します。タスク種別としてシーンの表示を選択した場合、
 シーンドロップダウンリストから設定したシーンを選択し、滞留時間を設定します。タスク種別として画面のオープンまたは画面のクローズを選択した場合、オープンないしクローズする画面の種別を選択し、滞留時間を設定します。
- 上に:選択した操作を上に移動します。
- 下に:選択した操作を下に移動します。
- 削除:選択した操作を削除します。
- パラメータ:

モードとしてオートを選択している場合、開始時間と実行回数を設定できます。

例えば、開始時間を2014-06-0400:00、実行回数を4と設定すると、プランは2014-06-04 00:00:00から連続して4回実行されて停止します。

モードとして自動切り替えを選択している場合、曜日設定と実行回数を設定できます。 例えば、曜日設定を月曜日の10:30:00 および水曜日の08:30:00、実行回数を6と設定す ると、プランは月曜日の10:30:00 から連続して6回実行され、水曜日の08:30:00 から連 続して6回実行されます。

次の週、プランは設定された時間に実行されます。

- 4. [OK]をクリックして設定を保存します。
- プランを呼び出す場合、プランを選択して■をクリックしてプランを有効化します。プランを編集する場合、プランを選択して■をクリックしてその設定を編集します。また■ をクリックしてプランについてのすべての設定をクリアすることもできます。プランを 停止するには、プランを右クリックして[プランの停止]を選択します。 注意:ビデオ ウォール コントローラを設定する場合、事前にプランを停止しておいてく

ださい。

第 11 章 セキュリティ コントロール パ ネル

目的:

セキュリティ コントロール パネル モジュールは iVMS-4200 クライアント ソフトウェアを 通じてリモート操作と設定を提供します。

セキュリティ コントロール パネルのリモート設定および操作を行うには、最初にデバイス をソフトウェアに追加しておく必要があります。11.1 章 デバイス管理を参照してください。 iVMS-4200 クライアント ソフトウェアを通じてセキュリティ コントロール パネルのリモ ート設定を行う場合、セキュリティ コントロール パネルのユーザ マニュアルを参照してく ださい。

iVMS-4200 クライアント ソフトウェアを通じてセキュリティ コントロール パネルのリモ ート操作を行う場合、11.2 章 リモート操作を参照してください。

11.1 デバイス管理

目的:

この節では、セキュリティ コントロール パネルの基本パラメータ(システム情報、アラーム 情報、ネットワーク データ、デバイス ステータスなど)の設定や確認を行うことができます。

11.1.1セキュリティ コントロール パネルの追加

手順:

 コントロール パネルの アイコンをクリックし、デバイス管理インターフェイスに 入って[サーバ]タブをクリックします。

| rganization | Device for Manage | ment (1) | | | | | | |
|-------------------------|-------------------------------------|---------------------|-------------|--|-------------------------|----------------|------------|--------|
| Encoding Device/Outdoor | + Add Device | Modify | × Remove | Remote Configuration | Active | 📀 Refresh All | Filter | |
| Ecoding Device | Nickname 🔺 | P | Device Seri | ial No. | | Security | Net Status | Refres |
| 🛃 Transcoder | 10.17.138.222 | 10.17.138.222 | DS-19508N | N-04S0420150408AARR51 | 1813603WCVU | Strong | 0 | 0 |
| Security Control Panel | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | • | | | | | | | |
| | Online Device (0) | | € Refr | esh Every 60s | | | | |
| | Online Device (0) Add to Client | + Add All | Refr | esh Every 60s
titnfo 🆘 Reset Passwo | rd 🔮 Active | | Filter | |
| | Online Device (0) Add to Client | Add All Device Type | Modify Ne | esh Every 60s
tinfo *} Reset Passwo
imware Version { | rd 🔮 Active
Security | Server Port SI | Filter | Added |

- 整理リストにある[新しいデバイス種別]をクリックし、[セキュリティ コントロール パネル]を選択します。
- [OK]をクリックして設定を保存すると、追加したセキュリティ コントロール パネル種 別が整理リストに表示されます。
- [セキュリティ コントロール パネル]をクリックし、[デバイス追加]をクリックしてソフ トウェアの管理リストにセキュリティ コントロール パネルを追加します。
- 5. 追加モードを IP/ドメインによるものか、IP セグメントによるものから選択し、関連する デバイス設定を行います。

追加モードに関する詳細な設定については、以下の章を参照してください:

- IP/ドメイン アドレスを指定する方法については、2.2.3 章 デバイスの手動追加を参照してください。
- IP セグメントを指定する方法については、2.2.4 章 IP セグメントによるデバイスの 追加を参照してください。
- オプションとして、[グループにエクスポートする]チェックボックスをチェックして、デバイス名によってグループを作成することができます。デバイスのすべてのチャンネルおよびアラーム入力は、デフォルトで対応するグループにインポートされます。
- 7. [追加]をクリックし、デバイスを追加します。



11.1.2セキュリティ コントロール パネルの編集

目的:

この節ではデバイス名、アドレスおよびポート番号などのデバイス情報を編集できます。 手順:

- [デバイス管理]インターフェイス上で、デバイス リストからセキュリティ コントロール パネルをクリックして選択します。
- 2. リストの上部にある[編集]ボタンをクリックし、デバイス編集インターフェイスに入りま す。

| | Modify × |
|-------------------------------|------------------------|
| Adding Mode:
IP / Domain N | lame 🔿 IP Segment |
| Nickname: | Security Control Panel |
| Address: | XXX.XXX.XXXX |
| Port | 8000 |
| User Name: | admin |
| Password: | ••••• |
| | |
| | |
| | Modify Cancel |

- 3. 必要なニックネーム、アドレスおよびポート番号を入力し、管理者ユーザ名とパスワー ドを入力します。
- 4. [編集]をクリックして変更を保存します。

11.1.3セキュリティ コントロール パネルの削除

デバイスをリストから選択し、[削除]をクリックすると、選択したデバイスの情報を編集/削除できます。

11.2 リモート操作

目的:

この節では、コントロール パネルをリモート操作してパーティションおよびゾーンの両方に ついて、監視開始、監視解除、バイパス、グループ バイパスなどを操作することができます。



追加されたセキュリティ コントロール パネルは左側のセキュリティ コントロール パネル にリストされます。1つ選択して、以降の操作を実施してください。

11.2.1パーティション システム リモート操作

目的:

この節では、設定したパーティションに対して、不在監視、滞在監視、即時監視、監視解除、 アラーム クリア、グループ バイパス、グループ バイパスの解除などの操作をリモートから 実施できます。

手順:

- [パーティション]ページ上で、操作を行う1つ以上のパーティションを選択するか、またはページの右上部分にある[すべて選択]のチェックボックスをチェックしてすべてのパーティションを選択します。
- ページの上部にある操作ボタン(不在監視、滞在監視、即時監視、監視解除、アラーム クリア、グループ バイパス、グループ バイパスの解除)をクリックします。
 注意: アイコンをクリックして各パーティションの操作メニューを開くこともできま
 - す。

| 8 Partition(s), 16 Zone(s). | Total 8 F | | | | Zone | Partition |
|-----------------------------|-------------------------|-----------|---------|-------------------|---------------|-------------|
| Select All | Group Byp | Group Byp | n Clear | Instant Ar Disarm | Stay Arming | Away Arming |
| | 10.7.35.223_Sub-system2 | · · · | | Sub-system1 | 10.7.35.223_9 | · · · · |
| | Unused | Ŵ | | | Disarm | Ŵ |
| = | | | = | one | Associated Zo | |
| | 10.7.35.223_Sub-system4 | | | Sub-system3 | 10.7.35.223_9 | |
| | Unused | | | | Unused | |
| = | | | = | | | |
| | 10.7.35.223_Sub-system6 | | | Sub-system5 | 10.7.35.223_5 | |
| | Unused | | | | Unused | |
| = | | | = | | | |
| | 10.7.35.223_Sub-system8 | | | Sub-system7 | 10.7.35.223_5 | |
| | Unused | | | | Unused | |
| | | - 67 | | | | - 6 - |

3. [関連付けされたゾーン]をクリックして、現在のパーティションのゾーンを確認すること ができます。

| Zone No. | ▲ Zone Name | Bypass Group | Zone Status | Live View |
|----------|---------------|--------------|-------------|-----------|
| 1 | Zone 1 | Not Added | View | • |
| 2 | Zone 2 | Not Added | View | • |
| 3 | Zone 3 | Not Added | View | • |
| 4 | Zone 4 | Not Added | View | • |
| 5 | Zone 5 | Not Added | View | • |
| 6 | Zone 6 | Not Added | View | • |
| 7 | Zone 7 | Not Added | View | • |
| 8 | Zone 8 | Not Added | View | • |
| 9 | Zone 9 | Not Added | View | • |
| 🗆 10 | Zone 10 | Not Added | View | • |
| 11 | Zone 11 | Not Added | View | • |
| 12 | Zone 12 | Not Added | View | • |
| | | | | |

選択したゾーンをグループに追加またはグループから削除することができます。 [表示]をクリックすると、ゾーンのステータスを表示することができます。 ▶ をクリックしてゾーンにリンクされたカメラのライブ ビューを表示します。 注意:イベント管理からゾーンにリンクするカメラを設定できます。4.22 章 ゾーン イベ ント リンク設定を参照してください。

11.2.2 ゾーン リモート操作

目的:

この節では、ゾーンのバイパスの指定またはバイパスの解除をリモートから行うことができます。

手順:

1. [**ゾーン**]タブをクリックしてインターフェイスに入ります。

| Partition | Zone | | | | | Total 8 Partitio | n(s), 16 Zone(s). |
|-----------------|-----------------------|----------------|-------------|----------|----------------------|------------------|-------------------|
| Bypass | Bypass Rec | | | | Filter | | |
| Zone No. | 🔺 Zone Name | Partition | Zone Status | Bypass/F | Recovery Arming/DisA | r Live View | |
| 🗆 1 | Zone 1 | Partition1 | View | - 🛧 | 0 | ► | |
| 2 | Zone 2 | Partition1 | View | • | 0 | • | |
| 3 | Zone 3 | Partition2 | View | - 🛧 👘 | 0 | • | |
| 4 | Zone 4 | Partition2 | View | - 🛧 👘 | 0 | • | |
| 5 | Zone 5 | Partition0 | View | • | 0 | • | |
| 6 | Zone 6 | Partition0 | View | T | 0 | • | |
| 7 | Zone 7 | Partition0 | View | T | 0 | • | |
| 8 | Zone 8 | Partition0 | View | T | 0 | • | |
| 9 | Zone 9 | Partition0 | View | • | 0 | • | |
| 🗆 10 | Zone 10 | Partition0 | View | T | 0 | • | |
| 🗆 11 | Zone 11 | Partition0 | View | T | 0 | • | |
| 12 | Zone 12 | Partition0 | View | • | 0 | • | |
| 13 | Zone 13 | Partition0 | View | • | 0 | • | |
| 14 | Zone 14 | Partition0 | View | T | 0 | • | |
| 15 | Zone 15 | Partition0 | View | T | 0 | • | |
| 16 | Zone 16 | Partition0 | View | • | 0 | • | |
| | | | | | | | |
| Total:16 Page:1 | 1/1 Item Per Page: Se | elf-adaptive 🗸 | | | 4 | ▶ Page | Go |

- 2. コントロールするゾーンを1つ以上クリックして選択します。
- 3. ページの上部にある[**バイパス/バイパス解除**]をクリックし、選択したゾーンをコントロ ールします。
- 4. [表示]をクリックすると、ゾーンのステータスを表示することができます。
- 6. ◎ および ▼ アイコンはゾーンの監視/監視解除ステータスを表します。
 ◎ :監視解除ステータスです。
 ▼ :監視ステータスです。
- アイコンをクリックしてゾーンにリンクされたカメラのライブ ビューを表示します。
 注意:イベント管理からゾーンにリンクするカメラを設定できます。4.22 章 ゾーン イベント リンク設定を参照してください。

第12章 ビデオ インターコム

目的:

ビデオ インターコム モジュールは iVMS-4200 クライアント ソフトウェアを通じてリモー ト操作と設定を提供します。

ビデオ インターコムのリモート設定および操作を行うには、最初にデバイスをソフトウェア に追加しておく必要があります。12.1 章 デバイス管理を参照してください。

iVMS-4200 クライアント ソフトウェアを通じてビデオ インターコムのリモート操作を行う 場合、12.2 章 リモート設定を参照してください。

iVMS-4200 クライアント ソフトウェアを通じてビデオ インターコムのライブ ビューを見 る場合、12.3 章 ライブ ビューを参照してください。

ストレージ サーバへの画像保存については 12.4 章 画像ストレージを参照してください。 ビデオ インターコムのリモート操作については 12.5 章 12.8 を参照してください。

12.1 デバイス管理

目的:

デバイス管理には、デバイスの起動、デバイスの追加、デバイスの編集、デバイスの削除お よびリモート設定が含まれます。

リモート設定および管理を行うには、iVMS-4200 を起動した後、ドア ステーション、インド ア ステーション、マスター ステーションおよびその他のビデオ インターコム デバイスを クライアントに追加する必要があります。

手順:

- コントロール パネル上のディコンをクリックするか、[ツール]->[デバイス管理]を クリックしてデバイス管理ページを開きます。
- 2. **[サーバ]**タブをクリックします。

インドア ステーションまたはマスターステーションを追加するには:

1) [**デバイス種別の新規追加**]をクリックして、デバイス種別の新規追加インターフェイ スに入ります。

[インドア ステーション/マスター ステーション]を選択して[OK]をクリックします。

| | Add New Device Type | × |
|------------------------------------|-------------------------------|------|
| Select Device Type for the Client: | | |
| Device Type: | | |
| Encoding Device | Storage Server | |
| Stream Media Server | Decoding Device | |
| Cascading Server | ✓ Transcoder | |
| EZVIZ Cloud P2P Device | Video Wall Controller | |
| Security Control Panel | Indoor Station/Master Station | |
| Third-party Encoding Device | | |
| Device Type Instruction | | × |
| | OK Car | icel |

 [サーバ]タブにビデオ インターコム デバイスが表示されます。[ビデオ インターコ ム デバイス]を選択して、インドア ステーションおよびマスター ステーションを追 加します。 ドア ステーションを追加するには:

[サーバ]タブで**[エンコーディング デバイス/屋外デバイス]**を選択して、ドア ステー ションを追加します。

 クライアント ソフトウェアと同じローカル サブネットに属するアクティブなオンライン デバイスは[オンライン デバイス]エリアに表示されます。[60 秒ごとに更新]ボタンを クリックし、オンライン デバイスの情報を更新することができます。

| Online device (2) | | 📀 Refresh Ev | ery 15s | |
|-------------------|---------------|----------------|-------------------------------------|----------|
| + Add to client | 🕂 Add all 🛛 🖸 | Modify netinfo | Someback | Filter |
| IP 🔺 | Device Type | Port | Serial No. | Be Added |
| 10.16.1.25 | DS-KH8301-A | 8000 | DS-KH8301-A0120150330CCRR201503301 | No |
| 10.16.1.24 | DS-KV8102-2C | 8000 | DS-KV8102-2C0120150401CCRR201504011 | No |
| | | | | |

- 4. リストから、追加したいデバイスを選択します。
- 5. [クライアントに追加]をクリックしてデバイス追加ダイアログボックスを開きます。
- 必要な情報を入力します。
 ニックネーム:好みに合わせてデバイスの名前を編集します。
 アドレス:デバイスの IP アドレスを入力します。この追加モードではデバイスの IP アドレスは自動的に取得されます。
 ポート:デバイスのポート番号を入力します。デフォルトの値は 8000 です。

ユーザ名:デバイスのユーザ名を入力します。デフォルトでは、ユーザ名は admin です。 パスワード:デバイスのパスワードを入力します。デフォルトでは、パスワードは 12345 です。

- オプションとして、[グループにエクスポートする]チェックボックスをチェックして、デバイス名によってグループを作成することができます。デバイスのすべてのチャンネルは、デフォルトで対応するグループにインポートされます。
 注意:iVMS-4200 はオフライン デバイスを追加する方法も提供しています。[オフライン デバイスの追加]チェックボックスをチェックし、必要な情報とデバイスのチャンネル番号とアラーム入力番号を入力し、「追加]をクリックします。オフライン デバイスがオン
- 8. [追加]をクリックし、デバイスを追加します。

ラインになるとソフトウェアはそれを自動的に接続します。

| | Add | × |
|---|--|------------------|
| Adding Mode: | | |
| IP/Domain IP Segmen | t 🔿 IP Server 🔿 HiDD | NS OBatch Import |
| Add Offline Device | | |
| Nickname: | Door Station | |
| Address: | 10.16.1.24 | |
| Port | 8000 | |
| User Name: | admin | |
| Password: | ••••• | |
| Export to Group | | |
| Set the device name as t
connected to the device t | he group name and add all the cl
o the group. | nannels |
| | | |
| | | |
| | | Add Cancel |

複数のオンライン デバイスの追加

クライアント ソフトウェアに複数のオンライン デバイスを追加したい場合、Ctrl キーを押したままクリックして複数のデバイスを選択し、[クライアントに追加]をクリックしてデバ イス追加ダイアログ ボックスを開きます。ポップアップ メッセージ ボックスに、追加する デバイスのユーザー名とパスワードを入力します。

すべてのオンライン デバイスの追加

クライアント ソフトウェアにすべてのオンライン デバイスを追加したい場合、[すべて追加]をクリックし、ポップアップ メッセージ ボックスの[OK]をクリックします。そしてポップアップ メッセージ ボックスに、追加するデバイスのユーザー名とパスワードを入力します。

ネットワーク情報の変更

デバイスをリストから選択し、[**ネット情報の編集**]をクリックすると、選択したデバイスの ネットワーク情報を編集できます。

注意:パラメータを編集するには、ポップアップウィンドウの[パスワード]フィールドにデバイスの管理者パスワードを入力する必要があります。

デフォルト パスワードの復元

デバイスをリストから選択し、[デフォルト パスワードの復元]をクリックしてセキュリティ コードを入力することで、選択したデバイスのデフォルト パスワードを復元できます。 注意:セキュリティ コードはデバイスのデータとシリアル番号をメーカーに送ると返信され てきます。

12.2 リモート設定

目的:

この節では、デバイス パラメータのリモート設定を行います。

ビデオ インターコム デバイスを追加した後、デバイス リスト エリアからデバイスを選択 し、[**リモート設定**]ボタンをクリックしてリモート設定インターフェイスに入ります。

| Server 🗃 Group | | | | |
|---|---------------------------|---|-------------|---------------------------|
| Organization | Device for Management (1) | | | |
| Encoding Device | 🕂 Add Device 🛛 Modify | 🗙 Delete 🔹 Remote Configuration Activate | Ð | Filter |
| 📇 Decoding Device | Nickname 🔺 IP | Device Serial No. | Safe Status | Resource Usa Device Typ |
| 🜉 Cascading Server | 10.16.2.12 10.16.2.12 | DS-KH6310-W0120150708WR201503212CL | Strong | Indoor Stat |
| Transcoder | | | | |
| EZVIZ Cloud P2P Device | | | | |
| 🔛 Video Wall Controller | | | | |
| Third-party Encoding Device | | | | |
| Security Control Panel | | | | |
| 🔜 Video Intercom Device | | | | |
| 🛃 Storage Server | | | | |
| 📓 Stream Media Server | | | | |
| | | | | |
| | • (| | | |
| | Online device (0) | Refresh Every 60s | | |
| | + Add to Client + Add All | 🖾 Modify Netinfo 👘 Restore Default Password | Activate | Filter |
| | IP 📥 Device Type | Safe Status Port Device Ser | ial No. | Added |
| Video Intercom Device: Indoor
Station/Master Station | • (| | | |

12.2.1 システム

リモート設定インターフェイスの[**システム**]をクリックしてデバイス情報を表示します:デバ イス情報、一般、時刻、システム メンテナンス、ユーザ、RS485。

デバイス情報:

[デバイス情報]をクリックし、デバイス基本情報インターフェイスに入ります。デバイス種別、シリアル番号およびバージョン情報が表示されます。

| Display device information. | | | |
|-----------------------------|--|--|--|
| Basic Information | | | |
| Device Type: | DS-KH8301-A | | |
| Device Serial No.: | DS-KH8301-A0120141128AACH201411281CVLU | | |
| Version Information | | | |
| Version: | V1.0.0 build 141204 | | |
| Hardware Version: | 0xed00 | | |

一般

[一般]をクリックし、デバイス情報インターフェイスに入ります。デバイス名およびデバイス ID の表示と編集ができます。

| Configure general parameters of device. | | | | |
|---|------------------|--|--|--|
| Device Information | | | | |
| Device Name: | Embedded Net VIS | | | |
| Device No.: | 255 | | | |
| | Save | | | |

時刻

手順:

- 1. [時刻]をクリックし、時刻設定インターフェイスに入ります。
- [NTP を有効化] チェックボックスをチェックして NTP を有効にします。サーバ アドレス、 NTP ポートおよび同期間隔を入力します。

| Time, e.g. NTP,DST. | |
|---|--------------------|
| Time Zone | |
| Select Time Zone: (GMT+08:00) Beijing, Urun | nqi, Singapore 🗸 👻 |
| Enable NTP | |
| Server Address: time.windows.com | |
| NTP Port 123 | |
| Synchronization Interval: 1440 | Minute(s) |
| Test | |
| Enable DST | |
| Start Time: Apr. V First V | Sun. 👻 2 🔶 : 00 |
| End Time: Oct. v The Last v | Sun. 🗸 🗘 : 00 |
| DST Bias: 60min. 🗸 🗸 | |
| | Apply |

3. [適用]をクリックし、時刻設定を完了します。

注意:デフォルトのポート番号は 123 です。デフォルトの同期間隔は 60 分です。

システム メンテナンス

目的:

システム管理およびリモート アップグレードを実施できます。

手順:

 [システム メンテナンス]をクリックし、システム メンテナンス インターフェイス に入ります。

| System Maintenance | | |
|--------------------|---------------------------|---------|
| System Management | | |
| | Reboot | |
| | Restore Default Settings | |
| | Restore All | |
| | Import Configuration File | |
| | Export Configuration File | |
| Remote Upgrade | | |
| Upgrade File | | Upgrade |
| | | |

- [リブート]をクリックするとシステム リブート ダイアログ ボックスがポップアップし ます。[はい]をクリックしてシステムをリブートします。
- 3. [デフォルト設定の復元]をクリックしてデフォルト パラメータを復元します。
- 4. [**すべて復元**]をクリックしてデバイスのすべてのパラメータを復元し、デバイスを非アク ティブ ステータスにします。
- 5. [設定ファイルのインポート]をクリックすると、ファイル インポート ウィンドウがポッ プアップします。リモート設定ファイルのパスを選択します。
- 6. [**開く**]をクリックし、リモート設定ファイルをインポートします。設定ファイルがインポートされ、デバイスが自動的にリブートします。



 [設定ファイルのエクスポート]をクリックすると、ファイル エクスポート ウィンドウが ポップアップします。リモート設定ファイルの保存先パスを選択し、[保存]をクリックし て設定ファイルをエクスポートします。

| Export Config File | | | | | | | × |
|--|-----------------------|----------------|-------------|------------------------|---------------|------|------|
| Co | mputer 🕨 Local Disk (| C:) 🕨 ivms4200 | ▶ config | ▼ ⁴7 | Search config | | Q |
| Organize 👻 Ne | w folder | | | | | - | (?) |
| Image: Second Place Image: Autodex 360 Image: Desktop Image: Second Place Image: Desktop Image: Desktop | * Name | * | No items ma | Date modified | Туре | | Size |
| F Computer
Local Disk (C
File name:
Save as type: | Config File(*.bin) | | m | | | | • |
| Aide Folders | | | | (| Save | Cano | el |

8. をクリックしてアップグレード ファイルを選択し、[アップグレード]をクリックして デバイスをリモート アップグレードします。リモート アップグレードの進行状況はプ ロセス バーで表示されます。

| Remote Upgrade | |
|----------------|-------------|
| Upgrade File | ··· Upgrade |
| Process: | |

注意:

- [デフォルト設定の復元]をクリックすると、デバイスはデフォルト設定に復元されます。
 しかし、ネットワーク パラメータは復元されません。
- [**すべて復元**]をクリックすると、デバイスはデフォルト設定に復元され、ネットワーク パ ラメータも復元されます。デバイスは非アクティブ ステータスにリセットされます。

ユーザ

目的:

デバイスにログインするためのパスワードを編集できます。

手順:

1. [ユーザ]をクリックして、ユーザ削除、追加および編集インターフェイスに入ります。

| Delete, add o | r edit user. |
|---------------|-----------------|
| Add | Modify 💼 Delete |
| Name | Priority |
| admin | Operator |

2. 編集するユーザを選択して[編集]をクリックし、ユーザ パラメータ インターフェイスに 入ります。

| | User Information | 1 | |
|--------------------------|------------------|-------------------|-------------------|
| User Type: | Guest | Name: | admin |
| Password(Low Efficiency; | ***** | Confirm Password: | ***** |
| IP address: | | MAC Address: | 00:00:00:00:00:00 |
| | | | |
| | | | |

3. テキストボックスで新しいパスワードを入力し、パスワードを確認して[**適用**]をクリック し、パスワード編集を完了します。

注意:

- 新しいパスワードと確認用パスワードは一致する必要があります。
- デバイスのパスワード編集後、デバイス リストから 『ボタンをクリックすると、追加されたデバイスはそこには表示されません。リモート設定の操作を行うためには新しいパスワードで再度デバイスを追加する必要があります。

RS485

[RS485]をクリックし、RS485 設定インターフェイスに入ります。デバイスの RS485 パラメー タを表示および編集できます。

| R\$485 | |
|---------------|-------------|
| RS485: | 1 ~ |
| Bitrate: | 9600 🗸 |
| Data Bit: | 8 🗸 |
| Stop Bit: | 1 🔍 |
| Parity: | None |
| Flow Control: | None |
| Working Mode: | Disable 🗸 🗸 |
| | Apply |

12.2.2ビデオ インターコム

デバイス番号設定

手順:

- 1. [デバイス番号]をクリックし、部屋番号設定インターフェイスに入ります。
- 2. インドア ステーションの部屋番号を入力します。

| Configure Device Num | ber. |
|-----------------------------|------------------------|
| Device Number Configuration | |
| Device Type: | Door Station (V Serie) |
| Project No: | 1 |
| Community No: | 1 |
| Building No: | 1 |
| Floor No: | 1 |
| Serial No: | 0 |
| Auto Login: | Yes Y |
| | Apply |

3. オート ログインのドロップダウン リストから[はい]を選択し、[適用]をクリックして番 号設定を有効化します。

注意:

- メイン ドア ステーション(Vシリーズ)では、シリアル番号は0です。サブ ドア ステーション(Vシリーズ)では、シリアル番号は0より大きい数字です。シリアル番号は1から99までの範囲です。各住戸につき、最低1つのメイン ドア ステーション(Vシリーズ)の設定が必要で、サブ ドア ステーション(Vシリーズ)はカスタマイズ可能です。
- デバイス種別としてドアホンを選択した場合、シリアル番号の設定は必要ではありません。ドアホンをメイン ドア ステーション(VシリーズまたはDシリーズ)と一緒に利用してください。
- DS-KV8102-1C、DS-KV8102-2CおよびDS-KV8102-1Aモデルはドアホンおよびドア ステーション(Vシリーズ)としての利用をサポートしています。DS-KV8202-1A、DS-KV8402-1Aモデルはドア ステーション(Vシリーズ)としての利用のみをサポートしています。

時間パラメータ

[時間パラメータ]をクリックし、時間パラメータ インターフェイスに入ります。呼出時間の 上限および、ライブ ビューの時間の上限を設定できます。

| Configure Time Parameters. | | | | | |
|----------------------------|----------------|-----|--|--|--|
| Time Parameters | | | | | |
| Device Type: | Indoor Station | | | | |
| Max. Ring Duration: | 40 | (s) | | | |
| Max. Live View Time: | 30 | (s) | | | |
| | Apply | | | | |

注意:

- 呼出上限時間は、インドアステーションがコールを受けていて受信されずにいる最大の時間です。呼出上限時間の範囲は15秒から60秒までです。
- ライブ ビュー上限時間はインドア ステーションがライブ ビュー再生を行う最大の時間です。ライブ ビュー上限時間の範囲は10秒から60秒までです。

パスワード

[パスワード]をクリックし、パスワード変更インターフェイスに入ります。管理者パスワード、監視/監視解除パスワード、アンロック パスワードおよび脅迫状態コードを変更できます。

| Change device password. | | | | | | | |
|-------------------------|--------------------|--|--|--|--|--|--|
| Password | | | | | | | |
| Password: | Admin Password 🗸 🗸 | | | | | | |
| Old Password: | ***** | | | | | | |
| New Password: | ***** | | | | | | |
| Confirm Password: | ****** | | | | | | |
| | Apply | | | | | | |

アクセス制御とエレベータ

[アクセス制御とエレベータ]をクリックしてアクセス制御およびエレベータ パラメータの 設定インターフェイスに入ります。アクセス制御およびエレベータのパラメータを設定でき ます。

| Configure parameter | s of access control and | elevator. |
|-------------------------|-------------------------|-----------|
| Access Control | | |
| Door No: | 1 ~ | |
| Door-unlocked Duration: | 15 | (S) |
| | Apply | |
| Elevator Control | | |
| Elevator No: | 1 ~ | |
| Interface: | RS485 ~ | |
| RS485 Protocol: | Private ~ |) |
| LAN Protocol: | | |
| Elevator Linkage: | No - | |
| | Apply | |

注意:この機能はドアステーションにのみ適用されます。

10 入出力

[IO 入出力]をクリックして IO 入力と出力インターフェイスに入ります。

| IO In and Out | |
|---------------|-------------------|
| IO In | |
| IO In No: | 1 ~ |
| Input: | Door Switch 🗸 🗸 |
| | Apply |
| IO Out | |
| IO Out No: | 1 ~ |
| Output: | Electric Lock 🗸 🗸 |
| | Apply |

注意:

- IO入力端末は4つあり、端末1から4までがそれぞれドア ステーションのALARM_1から ALARM_4インターフェイスに対応しています。IO入力の有効化/無効化またはドロップダ ウン リストからの選択によってIO入力をドア磁石またはドア スイッチに設定すること ができます。
- IO出力端末は1つしかなく、ドア ステーションのDR_NC/DR_COM/DR_NOに対応しています。IO出力の有効化/無効化またはドロップダウン リストからの選択によってIO出力を電子式ロックに設定することができます。
- この機能はドア ステーションにのみ適用されます。

ボリューム入出力

[ボリューム入出力]をクリックしてボリューム入力と出力インターフェイスに入ります。ス ライダーをスライドしてボリューム入力とボリューム出力を調整します。

| Configure Volume In and Out. | | | | | |
|------------------------------|-------|---|--|--|--|
| Volume Input | | | | | |
| Volume: | Apply | 7 | | | |
| Volume Output | | | | | |
| Volume: | Apply | 7 | | | |

注意:この機能はドア ステーションにのみ適用されます。

呼び出しボタン

[呼び出しボタン]をクリックして、呼び出しボタン設定インターフェイスに入ります。呼び 出しボタンを選択して対応するフロア番号と部屋番号を設定し、[適用]をクリックして設定 を保存します。

| Configure Key call room parameters. | | | | | |
|-------------------------------------|-------|--|--|--|--|
| Calling Buttons | | | | | |
| Button Number: | 1 ~ | | | | |
| Floor No: | 0 | | | | |
| Room No: | 0 | | | | |
| | Apply | | | | |

注意:この機能はドア ステーションにのみ適用されます。

ゾーン

[ゾーン]をクリックし、ゾーン設定インターフェイスに入ります。ゾーン番号、ゾーン種別、 アラーム種別、NO/NC およびゾーンの進入/退出遅延設定を行います。

| nfigure Zone Parameters. | | | | | | |
|--------------------------|----------------|-----|--|--|--|--|
| Zone Configuration | | | | | | |
| Zone No: | 1 ~ | | | | | |
| Zone Type: | Smoke Detector | | | | | |
| Alarm Mode: | 24H Alarm 🗸 🗸 | | | | | |
| NO/NC: | N0 ~ | | | | | |
| Enter Delay: | 0 | (s) | | | | |
| Exit Delay: | 0 | (s) | | | | |
| | Apply | | | | | |

注意:

- ゾーン種別が[即時アラーム]に設定された場合、監視有効モードにおいてのみ、インドア ステーションは検知器がトリガーされた時にアラームメッセージを受信します。監視解 除モードでは検知器がトリガーされてもアラームメッセージは受信しません。
- ゾーン種別が[24時間アラーム]に設定された場合、インドアステーションは検知器がトリガーされた時に、監視有効モードであれ監視解除モードであれ、必ずアラームメッセージを受信します。
- ゾーン種別が[遅延アラーム]に設定された場合、監視有効モードにおいてのみ、インドア ステーションは検知器がトリガーされた時にアラームメッセージを受信します。監視解 除モードでは検知器がトリガーされてもアラームメッセージは受信しません。
- 進入遅延時間を設定すると、アラーム後、進入遅延時間が経過するまでの間に[OK]ボタンが押された場合、アラームイベントは管理センターにアップロードされません;もしアラーム後、進入遅延時間が経過するまでの間に[OK]ボタンが押されなかった場合、アラームイベントが管理センターにアップロードされます。
- 退出遅延は監視モードを有効にしてから監視状態が実際に有効になるまでの時間です。
- この機能はインドア ステーションにのみ適用されます。

IP カメラ情報

目的:

ネットワーク IP カメラの追加、削除および編集を行います。IP カメラのストリーム取得方法 は 2 種類です:ダイレクト、または URL。IP カメラ情報のインポートとエクスポートもでき ます。

手順:

1. [IP カメラ情報]をクリックし、IP カメラ情報インターフェイスに入ります(IP カメラ情報 インターフェイスを下図に示します。)



2. [追加]をクリックして IP カメラを追加します。ストリーム取得のドロップダウンリスト でダイレクトを選択します。

デバイス名、IP アドレス、ポート番号、ユーザ名およびパスワードを入力します。

| Add IP Camera | X |
|------------------------|----------------|
| Device Type: | ~ |
| Getting Stream: | Direct ~ |
| Device Name: | |
| IP address: | |
| Port No: | 554 |
| User Name: | admin |
| Password: | ***** |
| Camera No.: | 1 |
| Manufacturer Protocol: | HIK Protocol ~ |
| | |
| | |
| | |
| | OK Cancel |

- 3. [追加]をクリックして IP カメラを追加します。ストリーム取得のドロップダウンリスト で URL を選択します。
- 4. デバイス名、URL を入力します。

| Getting Stream: | URL | ~ |
|-----------------|--------|---|
| Device Name: | | |
| URL Address: | | |
| | | |
| ОК | Cancel | |

5. [OK]をクリックし、追加を完了します。

注意:この機能はドアステーションにのみ適用されます。

12.2.3 ネットワーク

ローカル ネットワーク設定

手順:

- 1. [**ローカル ネットワーク設定**]をクリックし、ローカル ネットワーク設定インターフェ イスに入ります(ローカル ネットワーク設定インターフェイスを下図に示します。)
- 新しい IP アドレス、サブネット マスク、ゲートウェイ アドレスおよびポート番号を設 定します。
- 3. [適用]をクリックし、ローカル ネットワーク設定を完了します。

注意:

- デフォルトのポート番号は8000です。
- デバイスのローカル ネットワーク パラメータを編集した後は、デバイスを再度デバイス
 スリストに追加する必要があります。



リンク デバイス ネットワーク設定

目的:

リンク デバイス ネットワーク設定インターフェイスでは同一 LAN にあるマスター ステー ション、SIP サーバおよび管理センターのネットワーク パラメータを設定できます。デバイ スはドア ステーションにリンクすることで、これらのデバイス間の連携を実現できます。 手順:

- [リンク デバイス ネットワーク設定]をクリックし、リンク デバイス ネットワーク設 定インターフェイスに入ります(リンク デバイス ネットワーク設定インターフェイス を下図に示します。)
- ドロップダウン リストからデバイス種別を選択し、マスター ステーションの IP アドレス、ドア ステーションの IP アドレス、SIP サーバ アドレス、管理センターIP アドレスとポート番号を入力します。
- 3. [適用]をクリックして、マスター ステーション、SIP サーバおよび管理センターをデバ イスにリンクします。



注意:

- マスター ステーションのIPアドレスを追加すると、インドア ステーションとマスター ステーションの連携が実現できます。
- ドア ステーションのIPアドレスを追加すると、同じビルにあるインドア ステーション間のビデオ インターコムが実現できます。
- SIPサーバのIPアドレスを追加すると、同じコミュニティでのビデオ インターコム、すなわち異なるビルにあるインドア ステーション間のビデオ インターコム、アウタードアステーションからインドア ステーションへのコールおよび管理センターとインドア間のビデオ インターコムが実現できます。
- 管理センターのIPアドレスを追加すると、管理センターにイベントをアップロードできる ようになります。

FTP

手順:

- 1. [FTP]をクリックし、FTP パラメータ インターフェイスに入ります(FTP パラメータ イン ターフェイスを下図に示します。)
- サーバ モードのドロップダウン リストから IP アドレスを選択し、FTP サーバの IP アドレス、ポート番号を入力します。
- 3. 匿名アクセスを有効にするチェックボックスをチェックします(オプション)。ディレクトリ構造とセパレータ、ネーミングアイテムおよびネーミング要素を選択します。
- 4. [適用]をクリックし、FTP パラメータ設定を完了します。

注意:

- デフォルトのポート番号は21です。
- 匿名アクセスを有効化するかどうかは、FTPサーバが匿名アクセスを有効にしているかど うかに合わせます。
- FTPパラメータを設定すると、ドア ステーションのキャプチャー画像がFTPサーバにアッ プロードされます。

| Configure FTP Paran | neters. |
|-----------------------------------|---|
| Enable Main FTP | |
| Server Mode: | IP address 🗸 🗸 |
| FTP Server: | 0.0.0.0 |
| Port | 21 |
| Enable Anony: | |
| Name: | |
| Password: | |
| Directory Structure: | Save in the child direct \checkmark |
| Parent Directory: | Use Device Name 🗸 🗸 |
| Child Directory: | Enable Time 🗸 🗸 |
| Naming Picture Rule
Separator: | |
| Naming Item: | Item 1 🗸 |
| Naming Element | None |

12.2.4ビデオ表示

手順:

- [ビデオ パラメータ]メニューをクリックし、ビデオ パラメータ インターフェイスに入ります(ビデオ パラメータ インターフェイスを下図に示します。)
- カメラ番号を選択し、フォーマット、色相、輝度、コントラスト、色飽和度、シャープ ネスおよびノイズ除去の設定を行います。
 - [**デフォルト設定の復元]**をクリックし、デフォルト設定を復元します。

3. [適用]をクリックし、設定を完了します。

注意:インドア ステーションのライブ ビューは無効化されます。

| System Col | nfigure the video para | meters of signa | al source. | |
|---------------------|------------------------|--|------------|--|
| Device Infor | Video Darameter | | | |
| General | video Faranieter | | | |
| W Time | PRO- | PAR IN STREET | | |
| W System Mal | | | 12 A. S. | |
| © RS485 | | THE SALE | K (pa | |
| Video Intercom | | | | |
| 💿 Network | and the second | TOTOL TO A LOCAL | | |
| 🐼 Video Display | U. May | | | |
| 🎯 Video Para | | | 4.1 | |
| | | | | |
| | | | | |
| Surgering Surgering | | Contraction of the local division of the loc | - Care | |
| | | | | |
| | Channel No: 1 | | ~ | |
| | Format PAL | | ~ | |
| | Brightness: - | | - | |
| | Hue: 💳 | 0 | _ | |
| | Contrastness: | 0 | _ | |
| | Saturation: 🥌 | 0 | _ | |
| | Sharpness: | 0 | _ | |
| | Denoising: 🛑 | 0 | - | |
| | | | | |

12.3 ライブ ビュー

手順:

 iVMS-4200 クライアント ソフトウェアのメイン ビュー インターフェイスに入り、ドア ステーション(V シリーズ)のライブ ビューを表示します。



ライブ ビュー インターフェイスで右クリックして、メニューを表示し、[ドア アンロック]を選択し、リモートからドアをアンロックできます。



12.4 画像ストレージ

デバイスが監視有効ステータスにある場合、ドアがアンロックされた場合には自動的にキャ プチャーを行います。iVMS-4200 クライアント ソフトウェアとともにストレージ サーバが インストールされている場合には、キャプチャーされた画像は自動的にストレージ サーバに アップロードされます。

注意:ここでのデバイスはVシリーズ ドア ステーションおよびDシリーズ ドア ステーションを指します。

12.5 インターコム

コントロール パネル上の アイコンをクリックするか、[ビュー]->[ビデオ インターコム]をクリックしてビデオ インターコム ページを開きます。

| Intercom Group Management | Card Management | Notice Management | | | | |
|---------------------------|-----------------|-------------------|---------|----------------------------------|-----------------------------|----------------------|
| Group | Household List | | | Dial Keyboar | ď | |
| Search | Nickname 📥 IP | Room | No./No. | | | × |
| L Community | | | | | | |
| | | | | 1 | 2 | 3 |
| | | | | | | |
| | | | | 4 | 5 | 6 |
| | | | | | | |
| | | | | 7 | 8 | 9 |
| | 4 | | | | | |
| | | | | 0 | - | × |
| | | | | | | |
| Dial I on | | | | | Call | |
| | | | | Please input t
1-2-3-101 as I | he Room No.
Room 101, Bu | (Input
iilding 3, |
| All Dellad | | | | Community 2, | Project 1.) | |
| Received | | | | | | |
| Missed | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

12.5.1インドア ステーション経由の iVMS-4200 とのビデ

オ インターコム

目的:

インドア ステーションがクライアント ソフトウェアに追加されている場合、インドア ステ ーション経由で iVMS-4200 とのビデオ インターコムが実現できます。

手順:

- 1. iVMS-4200 クライアント ソフトウェアにインドア ステーションを追加します。
- 2. インドア ステーションの SIP サーバ IP が設定されていない(または異常状態である)こと を確認してください。
- 3. インドア ステーションのメイン インターフェイスの[センター]を押してください。



注意: インドア ステーションの SIP サーバ IP が設定されている場合、インドア ステーショ ンのメイン インターフェイス上の[センター]を押して、マスター ステーションを呼び出せ ます。

12.5.2iVMS-4200 経由のインドア ステーションとのビデ

オ インターコム

[コントロール パネル]->[ビデオ インターコム]->[インターコム]タブ ページに入ります。 iVMS-4200 経由のインドア ステーションのビデオ コールは 3 つの方式で実現できます。

部屋番号での居住者の呼び出し

1. 右側のダイヤル キーボードでインドア ステーションの部屋番号を入力します。

| Intercom | Group Management | Card Managem | nent Notice Manag | ement | | | |
|----------|------------------|----------------|-------------------|--------------|-----------------------------|-------------------------------|-----------|
| Group | | Household List | | | Dial Keyboa | rd | |
| Search | ٩ | Nickname | ≜ ∣IP | Room No./No. | | | × |
| 🖃 🤔 Comn | nunity | | | | | | |
| 1-1-1 | | | | | 1 | 2 | 3 |
| 1-2-3 | | | | | | | |
| | | | | | 1 | 5 | 6 |
| | | | | | 4 | 5 | 0 |
| | | | | | - | | |
| | | | | | 1 | 8 | 9 |
| | | • | | | | | |
| | | | | | 0 | - | × |
| | | | | | | Call | |
| | | | | | Please input | the Room No. | (Input |
| Dial Log | | | | | 1-2-3-101 as
Community 2 | Room 101, Bu
, Project 1.) | ilding 3, |
| | | | | | | | |
| Daileo | | | | | | | |
| Misso | neu
n | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

注意:部屋番号は正しいフォーマットでなければいけません。例えば、プロジェクト番号 1、コミュニティ番号 2、ビル番号 3、部屋 101 であれば 1-2-3-101 です。

2. Call をクリックしてインドア ステーションとのビデオ コールを開始します。

コミュニティによる居住者の呼び出し

1. 左側のグループからコミュニティを選択します。

| Intercom Group Management | Card Management Notice Manag | jement |
|---------------------------|------------------------------|--------------|
| Group | Household List | |
| Search P | Nickname 🔺 IP | Room No./No. |
| 🖃 🛄 Community | Indoor Station 10.16.1.20 | 502 |
| 1-1-1 | | |
| 1-2-3 | | |
| | | |
| | | |

- 2. 居住者リストから追加した居住者をダブルクリックしてコールを行います。
- 3. クライアント ソフトウェアからのビデオ コールが実現できます。

| | Dial | |
|---------------|-------------------------------|------|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| Call Device 5 | 🕻 Answer 🤇 🕻 Hang Up 🔓 Unlock | \$ 0 |
| L | | |

コール ログからの居住者の呼び出し

1. 下部のダイアル ログをクリックし、ログ種別を選択してダイアル ログ インターフェイ スに入ります。

| Intercom | Group Management | Card | d Management | Notice Management | | |
|--------------------------|------------------|--------|--|-----------------------------|------------------|-------------|
| Group | | Dial L | .og List | | | 💼 Clear Log |
| Search | 9 | This V | Veek | | | ^ |
| 🖃 <u> </u> Comm
1-1-1 | nunity | e | Door Station 01
2015-06-06 16:01:3 | Door Station 01
Dailed | Duration 0 seco | × |
| 1-2-3 | | હ | Indoor Station
2015-06-06 15:36:2 | Indoor Station
5 Missed | Ring 40 second | Call X |
| | | હ | Indoor Station
2015-06-04 21:22:0 | Indoor Station
2 Missed | Ring 13 second | Call X |
| | | e | Door Station 01
2015-06-04 21:21:4 | Door Station 01
2 Dailed | Duration 0 seco | × |
| | | • e | Door Station 01
2015-06-04 21:21:0 | Door Station 01
5 Dailed | Duration 0 seco | × |
| | | e | Door Station 01
2015-06-04 21:20:5 | Door Station 01
5 Dailed | Duration 0 seco | × |
| Dial Log | | e | Door Station 01
2015-06-04 21:20:2 | Door Station 01
1 Dailed | Duration 0 seco | × |
| Dailed | red | e | Door Station 01
2015-06-04 21:19:5- | Door Station 01
4 Dailed | Duration 0 seco | × |
| lisse Misse | d | Ľ | Indoor Station
2015-06-04 21:16:3 | Indoor Station
Missed | Ring 0 second(s) | Call X |
| | | Previo | OUS WEEK | | | Ý |

 コール ログから[コール]ボタンをクリックして、インドア ステーションとのビデオ コ ールを開始します。

12.5.3 ドア ステーション経由の iVMS-4200 とのビデオ イ

ンターコム

目的:

ドア ステーションがクライアント ソフトウェアに追加されている場合、ドア ステーション 経由で iVMS-4200 とのビデオ インターコムが実現できます。

手順:

- 1. iVMS-4200 クライアント ソフトウェアにドア ステーションを追加します。
- 2. ドア ステーションの SIP サーバ IP が設定されていない(または異常状態である)ことを確認してください。
- 3. ドア ステーションの[センター キーの呼び出し]を押します。



注意:

- ドア ステーションの SIP サーバ IP が設定されている場合、ドア ステーションの[センタ ー キーの呼び出し]を押して、マスター ステーションを呼び出せます。
- キーの[アンロック]を押すと、ドア ステーションからビデオ コールが開始される一方、 iVMS-4200 経由でドア ステーションをリモートでアンロックできます。ドア ステーションのリモート アンロックにおいてはビデオ コールの受信はオプションです。

12.5.4 コール ログ

手順:

- [コントロール パネル]->[操作とコントロール]->[ビデオ インターコム]->[インターコム] タブ ページに入ります。
- ダイアル ログからログ種別をクリックして選択すると、選択されたダイアル ログはダ イアル ログ リストにリストされます。
- 3. [コール]ボタンをクリックしてインドア ステーションとのビデオ コールを開始します。
- 4. <a>
 Clear Log
 をクリックしてすべてのログをクリアできます(オプション)。

12.6 グループ管理

[コントロール パネル]->[ビデオ インターコム]->[グループ管理]に入り、グループを追加、 編集および削除します。3 つのグループ種別が選択できます: ビル、アウター ドア ステー ションおよびその他ここでは例としてビルを取り上げます。

手順:

1. コミュニティのグループが以下の図のように左側にリストされます。

| Intercom Group Management | Card Management Notice Management | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|------------|--------------|
| Group + 🗹 🗙 | List | | |
| 🖃 🔔 Community | Add Modfiy Delete | | Filter |
| 1-1-1 | Nickname | ≜ IP | Room No./No. |
| 1-2-3 | Indoor Station | 10.16.1.20 | 502 |
| Outer Door Station | Door Station | 10.16.1.25 | 1 |
| 📁 Other | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| lote: 1-1-1 indicates Project No.1 | | | |
| Community No.1, Building No.1. | | | |

- 2. グループ種別を選択して をクリックしてグループを追加し、対応する情報を適切 に入力します。
 - グループ種別として[コミュニティ]を選択し、プロジェクト番号、コミュニティ 番号、ビル番号を入力し、以下の図に示すようにコミュニティ構造を設定しま す。

| | Add Group × |
|---|---------------------------|
| Group Type:
Community | ○ Outer Door Stat ○ Other |
| Project No.:
Community No.:
Building No.: | |
| | OK Cancel |

● グループ種別として[アウター ドア ステーション]を選択し、アウター ドア ステーション名(範囲:1から9)を入力して、以下の図に示すようにアウター ドア ステーションを設定します。

| | Add Group × |
|----------------------------|---------------------------|
| Group Type:
O Community | 🥑 Outer Door Stat 🔘 Other |
| Project No.: | |
| | |
| | |
| | |
| | OK Cancel |

グループ種別として[その他]を選択して、グループ名を入力します。例えば、グループを管理者、入口守衛、清掃スタッフなどのように設定できます。

注意:グループを[その他]に追加し、異なるグループを設定して、管理者、セキュリ ティ ガード、清掃スタッフなどといった居住者以外のスタッフにカードをアサイン することができます。そのようにして、対応するカードをアサインして、個別の権 限を設定することができます。

 コミュニティを設定しすると、右側のリストにデバイスを追加できます。[追加]をク リックして、居住者追加インターフェイスに入ると、クライアント ソフトウェアに 追加されたビデオ インターコム デバイスが以下の図のようになリストされます。

| | | Add | | | |
|---------------------|-------------------------|----------------|--------------|----------|---|
| ease select the dev | rices to import: | | | Filter | |
| Device Nicknar | me 🔺 IP Address | Device Type | Room No./No. | | |
| 10.16.2.12 | 10.16.2.12 | Indoor Station | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| otal:1 Page:1/1 | Item Per Page: Adaptive | ~ | H 4 | ▶ H Page | G |
| - | | | | | |

- デバイスのチェックボックスをチェックして、インドア ステーションの部屋番号と
 ドア ステーション番号を入力し、デバイスをコミュニティに追加します。
- 5. [OK]をクリックして設定を保存します。

| Intercom | Group Management | Card Management Notice Management | | | |
|-------------------------------|--|-----------------------------------|------------|--------------|--|
| Group | + 🗹 × | List | | | |
| 🖃 🔔 Com | uup + E × Community Add 1-1-1 1-2-3 Outer Door Station Other Indoor Station 10.16.120 502 Door Station 10.16.125 10.16.125 | | | | |
| 1-1-1 | | Nickname | ≜ IP | Room No./No. | |
| 1-2-3 | • | Indoor Station | 10.16.1.20 | 502 | |
| 🕑 📑 Oute | r Door Station | Door Station | 10.16.1.25 | 1 | |
| Je 🔁 Otne | 1 | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| Note: 1-1-1 in
Community N | dicates Project No.1,
Io.1, Building No.1. | | | | |

 インドア ステーションまたはドア ステーションを選択し、[編集]をクリックして部 屋番号またはドア ステーション番号を編集します。アサインされたデバイスを削除 したい場合、デバイスを選択して[削除]をクリックして削除します。

| _ | Modify | × |
|----------------|-----------|---|
| Project No.: | 1 | |
| Community No.: | 1 | |
| Building No.: | 1 | |
| Room No./No.: | 101 | |
| | OK Cancel | |

7. 他のグループに人物を追加する場合、[**その他**]からサブ グループを選択し、[**追加**] をクリックして人物を追加します。

| | Add | × |
|-------|-----------|---|
| Name: | | |
| | OK Cancel | |

- 8. 追加される人物の名前を入力し、[OK]をクリックして設定を保存します。
- 9. 人物を追加した後、その人物を選択し、[編集]をクリックしてその人物の名前を編集 します。アサインされた人物を削除したい場合、人物を選択して[削除]をクリックし て削除します。

12.7 カード管理

目的:

未承認カードをコミュニティに追加して、そのカードを対応するインドア ステーションやア ウトドア ステーションにアサインすることができます。

例えば、401 号室に 3 人の居住者が住んでいる場合、401 号のインドア ステーションに 3 枚 のカードをアサインできます。

各インドア ステーションに対して複数のカードをアサインし、これらのカードを同じ建物の ドア ステーションにアサインすることができます。

12.7.1**カード追加**

手順:

| 1. [| カード管理 | を選択し、 | カー | ド管理タ | ブ ペー | ・ジに入りま | ミす。 |
|------|-------|-------|----|------|------|--------|-----|
|------|-------|-------|----|------|------|--------|-----|

| rd | Empty Card | | | | | | |
|---------------|------------|-------------|------------|-------------|-------------|--------|--|
| 📑 Blank Card | Add Card | Delete Card | Issue Card | Batchimport | BatchExport | Filter | |
| E Normal Card | | ▼ Index | Card No. | Card Type | | | |
| | | 1 | 1 | Other card | | | |
| | | 2 | 2 | Other card | | | |
| | | 3 | 3 | Other card | | | |
| | | 4 | 4 | Other card | | | |
| | | 5 | 5 | Other card | | | |
| | | 6 | 6 | Other card | | | |
| | | 7 | 7 | Other card | | | |
| | | 8 | 8 | Other card | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

2. [未承認カード]を選択し、[カード追加]を選択して、未承認カードを追加します。

| | Add | | × |
|----------------|---|---------------|-------------|
| | | | |
| Add: | In Batch S | Single Card 🔘 | Card Reader |
| Card Type: | Resident Card O | Other Card | |
| Start Card No. | 01 | | |
| End Card No.: | 20 | | |
| | | | |
| | | | _ |
| | | ОК | Cancel |

3. 追加モードを一括カード追加、単一カード追加、カード リーダー利用のどれかに設定し ます。カード種別を居住者カードまたはその他のカードから選択します。 4. 始点カード番号と終点カード番号を入力して[OK]をクリックし、追加を完了します。
 追加されたカードの情報は、以下の図に示すように未承認カード インターフェイスにリ ストされます。

| Add Card | Delete Card | Issue Card | Batch Import Batch Export | Filter |
|----------|-------------|------------|---------------------------|--------|
| | ▼ ∣Index | Card No. | Card Type | |
| / | 1 | 1 | Resident Card | |
|] | 2 | 2 | Resident Card | |
| | 3 | 3 | Resident Card | |
| 2 | 4 | 4 | Resident Card | |
| | 5 | 5 | Resident Card | |
| 3 | 6 | 6 | Resident Card | |
| | 7 | 7 | Resident Card | |
| - | 8 | 8 | Resident Card | |
| | 9 | 9 | Resident Card | |
| - | 10 | 10 | Resident Card | |
| | 11 | 11 | Resident Card | |
| - | 12 | 12 | Resident Card | |
| | 13 | 13 | Resident Card | |
| - | 14 | 14 | Resident Card | |
| | 15 | 15 | Resident Card | |
| | | | | |
| | | | | |

12.7.2カード発行

[カード発行]をクリックしてカード発行インターフェイスに入ります。 注意:カード リーダーを利用してカードを追加する場合にはカード リーダー(別売)が必要で す。

居住者カードのアサイン:

手順:

1. グループ リストから[コミュニティ]を選択すると、居住者リストにコミュニティのイン ドア ステーションがリストされます。

| | | ' | ssue Card | | × |
|---------------|-------------|----------|-------------|------|-------------|
| Group | List | | | | |
| 🖃 🚊 Community | Cancel Card | | | | |
| 1-1-1 | 🗆 Index 🔻 | Room No. | IP Address | Card | Assign Card |
| Ciber | 1 | 501 | 10.7.33.225 | | |
| | | | | | |
| | | | | | Close |

- 2. Elements and a set of the set of t
- インドア ステーションにアサインする必要のあるカードのチェックボックスをチェックして、ドア ステーション、ドアホン、アウター ドア ステーション(インドア ステーションにアサインできるのは居住者カードだけです)のチェックボックスをチェックします。
- 4. [カード発行]をクリックして、カード発行操作を完了します。

| | | | | Card Selection | | × |
|------|-----------|----------|---------------|-------------------|---|-------------------|
| Card | Selection | | | | | Device selected |
| Fro | m: | To: | | Filter | | ✓ All |
| • • | Index | Card No. | Card Type | Card State | ĥ | door station |
| | 1 | 31 | Resident Card | Unauthorized Card | U | |
| - | 2 | 32 | Resident Card | Unauthorized Card | | |
| | 3 | 33 | Resident Card | Unauthorized Card | | |
| | 4 | 34 | Resident Card | Unauthorized Card | | |
| | 5 | 35 | Resident Card | Unauthorized Card | | |
| | 6 | 36 | Resident Card | Unauthorized Card | | |
| | 7 | 37 | Resident Card | Unauthorized Card | | |
| | 8 | 38 | Resident Card | Unauthorized Card | | |
| | 9 | 39 | Resident Card | Unauthorized Card | | |
| | 10 | 40 | Resident Card | Unauthorized Card | | |
| | 11 | 41 | Resident Card | Unauthorized Card | | |
| | 12 | 42 | Resident Card | Unauthorized Card | | |
| | 13 | 43 | Resident Card | Unauthorized Card | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | Issue Card Cancel |
| | | | | | | |

その他のカードのアサイン:

手順:

1. グループ リストから[**その他**]を選択すると、居住者リストにコミュニティに追加された 人物がリストされます。

| | Issue Card × |
|-------|--|
| Group | List |
| Group | List Cancel Card Index Name Card Assign Card I Security No. 1 |
| | Close |

2. ____をクリックして、組織にカードをアサインします。1人の人物に複数のカードをアサインできます。
- 人物にアサインする必要のあるカードのチェックボックスをチェックして、ドア ステーション、ドアホン、アウター ドア ステーション(人物にアサインできるのはその他のカードだけです)のチェックボックスをチェックします。
- 4. [**カード発行**]をクリックして、カード発行操作を完了します。

| | _ | _ | с | ard Selection | × |
|----------|----------|----------|------------|-------------------|-------------------|
| Card S | election | | | | Device selected |
| From | | To: | | Filter | i Ali |
| | ▼ Index | Card No. | Card Type | Card State | door station |
| | 1 | 1 | Other Card | Unauthorized Card | |
| | 2 | 2 | Other Card | Unauthorized Card | |
| . | 3 | 3 | Other Card | Unauthorized Card | |
| < | 4 | 4 | Other Card | Unauthorized Card | |
| | 5 | 5 | Other Card | Unauthorized Card | |
| | 6 | 6 | Other Card | Unauthorized Card | |
| | 7 | 7 | Other Card | Unauthorized Card | |
| | 8 | 8 | Other Card | Unauthorized Card | |
| | 9 | 9 | Other Card | Unauthorized Card | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | Issue Card Cancel |

カードの削除:

手順:

1. [カード発行]をクリックして、カード発行インターフェイスに入ります。

| | | Issue Ca | rd | | | × |
|----------------|---------------|----------|----------------|---|------|----------|
| Organization | Resident List | | | | | |
| 🖃 🔔 Community | Return Card | | | | | |
| 1-1-1 | | ▼ Index | Name | | Card | Add card |
| 🖃 🛅 Other | | 1 | Security Guard | A | | |
| Security Guard | | | | | | |
| Administrator | | | | | | |
| Cleaning staff | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | Close |

- 2. グループから**コミュニティ**を選択して通常のカードを削除し、グループから[**その他**]を選 択してその他のカードを削除します。
- 3. 特定のカードまたは単一のカードをキャンセルする場合、 ボタ ンをクリックしてカード選択インターフェイスに入ります。

| | | | C | ard Selection | |
|--------|----------|----------|------------|-------------------|-------------------|
| ard Se | election | | | | Device selected |
| From: | | To: | | Filter | 🗆 All |
| | ▼ Index | Card No. | Card Type | Card State | door station |
| / | 1 | 1 | Other Card | Unauthorized Card | |
| | 2 | 2 | Other Card | Unauthorized Card | |
| 1 | 3 | 3 | Other Card | Unauthorized Card | |
| 1 | 4 | 4 | Other Card | Unauthorized Card | |
| | 5 | 5 | Other Card | Unauthorized Card | |
| | 6 | 6 | Other Card | Unauthorized Card | |
| | 7 | 7 | Other Card | Unauthorized Card | |
| | 8 | 8 | Other Card | Unauthorized Card | |
| | 9 | 9 | Other Card | Unauthorized Card | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | Issue Card Cancel |

- アサインされたカードのチェックボックス(複数可)をキャンセルして、、ドア ステーション(複数可)のチェックボックスをチェックしてカードをキャンセルします。
- 5. [カード発行]をクリックして、操作を完了します。

注意:

- デバイス リストのチェックボックスをキャンセルすることで、単一または特定のドア ステーションからのカードをキャンセルすることができます。
- 発行されたすべてのカードをキャンセルするには、部屋番号/名前のチェックボックスを チェックし、[カードのキャンセル]をクリックしてデバイスに対して発行されたすべて のカードをキャンセルします。カードの状態は未承認カードにリセットされます。

通常カード

[通常カード]をクリックして通常カードのリストを表示します。カードを発行した後、発行 されたカードの情報は、以下の図に示すように通常カード リストにリストされます。

| Intercom Group Management | Card Management | Notice Manager | ment | | |
|---------------------------|-----------------------|----------------------|----------|---------------|------------------|
| Card | Normal Card | | | | |
| 📑 Unauthorized Card | List | | | | Filter |
| 🔛 Normal Card | | ▼ Index | Card No. | Card Type | Related Resident |
| | | 1 | 31 | Resident Card | Indoor Station |
| | | 2 | 32 | Resident Card | Indoor Station |
| | | 3 | 33 | Resident Card | Indoor Station |
| | | 4 | 34 | Resident Card | Indoor Station |
| | | 5 | 35 | Resident Card | Indoor Station |
| | | | | | |
| | Total:5 Page:1/1 Iter | m Per Page: Adaptive | ~ | | I4 4 14 Page Go |

注意:

- カード発行者によってカードをアサインする場合、カード リーダーDS-K1F100-D8(別売) を USB インターフェイス経由で PC に接続してください。iVMS-4200 を開き、[ビデオ イ ンターコム] -> [カード管理] -> [未承認カード] -> [カード追加]のディレクトリに入りま す。未承認カードをスワイプすると、カード番号が読み取られ、デバイスに自動的に追 加されます。
- 各カードを iVMS-4200 経由で発行するごとに、デバイスが確認音声を再生します:カード 発行が完了しました。

12.7.3 未承認カードの一括インポート:

手順:

1. [一括インポート]をクリックし、以下の図に示すように一括インポート インターフェイ スに入ります。

| | Import | × |
|----------------------------|-----------------|---|
| | | |
| | | |
| Batch Import Files(*.csv): | | • |
| | Export Template | |
| | | |
| | | |
| | OK Cancel | |

- [エクスポート テンプレート]をクリックし、一括インポート ファイルのテンプレートを エクスポートします。
- 3. 一括インポート ファイルのテンプレートに記入し、保存します。
- 4. をクリックして一括インポート ファイルを選択し、[開く]をクリックします。
- 5. [OK]をクリックし、一括インポート ファイルのインポートを開始します。

12.7.4未承認カードの一括エクスポート:

- 1. 未承認カードを追加した後、[一括エクスポート]をクリックします。
- 2. ファイルの保存パスを選択し、[保存]をクリックします。
- 3. 未承認カードの一括エクスポートが終わると、Excel ファイルが保存先ディレクトリに生 成されます。

12.8 通知管理

12.8.1通知情報の作成

目的:

通知情報を作成し、居住者に送信することができます。

手順:

1. [通知情報作成]をクリックし、通知情報作成インターフェイスに入ります。

| Intercom | Group Management | Card Management | Notice Management |
|-------------|---|--|--|
| Information | | Create Notice Informati | on |
| E Creat | a Notice Information
Notice Information
Call Log
Unlocking Log | Send To Ind
Subject No
Info Type: No
Information: Dr
W W
S
S
Y Y
Y
Y
S
S
N
Y
Y
S
S
N
N
S
S
N
N
S
S
N
N
S
S
S
N
S
S
S
N
S
S
S
N
S
S
S
S
S
S
S
S
S
S
S
S
S
S
S
S
S
S
S
S | Ite information is interested and in |

2. [送信先]をクリックし、居住者選択インターフェイスに入ります。

| Resident Select | × |
|-------------------------|---|
| Please select resident: | |
| All | |
| Indoor Station 1 | |
| | |
| OK Cancel | |

- 3. 通知情報を送信する居住者を選択し、[OK]をクリックします。
- 4. 件名を入力し、情報種別を選択し、画像を追加します(オプション)。
- 5. 情報を入力し、[送信]をクリックして通知を送信します。

注意:

- 件名フィールドに入力できるのは 63 文字まで(空白含む)です。
- 情報フィールドに入力できるのは 1023 文字まで(空白含む)です。
- 通知に追加できるのは 512KB 未満の、JPG フォーマットの画像ファイルだけで、同一の 通知情報に追加できる画像は 6 つまでです。

12.8.2通知情報の照会

目的:

居住者に送信した通知情報を検索することができます。 手順:

- 1. [通知情報照会]をクリックし、通知情報照会インターフェイスに入ります。
- 2. 情報種別を選択し、件名、送信先、開始時刻と終了時刻を入力します。

| Intercom Group Management | Card Management Notice Management |
|---|--|
| Information | Query Notice Information |
| Create Notice Information Cuery Notice Information Cuery Call Log Cuery Unlocking Log | Info Type: All Subject. Recipient. Start Time: 2015-05-28 00:00:00 Export End Time: Export Filter |
| | recipient Subject Sending Time▲ Information Type Sending State Operation Total:0 Page:1/1 Item Per Page Adaptive ✓ Id Id Page Go |
| | |

- 3. [照会]をクリックして通知情報を検索します。
- 2.
 をクリックして選択した通知の詳細情報を確認できます。受信が失敗した、あるいは 居住者が読んでいない通知情報を再送信することができます。

| | Infor | mation Details | | _ | × |
|----------------------------------|--|-------------------------------|-------------------------|--------------|--------|
| Send To:
Subject: | Indoor Station;Indoor Statio
Happy Valentine's Day! | on 02; | | | |
| Dear Resident:
Happy Valentin | e's Day! | Sending failed All Indoor Sta | Sent
tion
tion 02 | Unreading Us | ers |
| | | | | ок | Cancel |

5. [エクスポート]をクリックして通知情報をエクスポートします。

12.8.3コール ログの照会

手順:

- 1. [コール ログの照会]をクリックしてコール ログ照会インターフェイスに入ります。
- 2. コール状態、デバイス種別を選択し、開始時刻と終了時刻を設定します。
- 3. [照会]をクリックしてコール ログを検索します。

| Intercom Group Management | Card Management Notice Management |
|--|---|
| Information | Query Call Log |
| Create Notice Information Cuery Notice Information Cuery Notice Information Cuery Call Log Cuery Unlocking Log | Calling Status: All Device Type: All Device Query Start Time: 2015-05-29 00:00:00 End Time: 2015-05-29 23:59:59 Reset Export Filter Calling Status* Time Duration Device Type Device No. Received 2015-05-29 09 Duration 69 se Indoor Station 1-1-1-202 Indoor Station /ul> |
| | Total:1 Page:1/1 Item Per Page Adaptive V H 4 >>> Page Go |

4. [エクスポート]をクリックしてコール ログをエクスポートします。

12.8.4アンロック ログの照会

手順:

- 1. [アンロック ログの照会]をクリックしてアンロック ログ照会インターフェイスに入り ます。
- 2. アンロック種別、デバイス種別を選択して、開始時刻と終了時刻を設定します。

| Intercom Group Management | Card Management Notice Management |
|---|--|
| Information | Query Unlocking Log |
| Create Notice Information Cuery Notice Information Cuery Call Log Cuery Unlocking Log | Unlocking Type: All Cuery Device Type: All Device Type: All Device Cuery Start Time: 2015-05-29 00:00:00 End Time: 2015-05-29 23:59:59 Reset Export Filter Time Unlocking Type Device Type Card No. / Devi Snapshot 2015-05-29 09 Unlock by Card Door Station 3833290014 2015-05-29 09 Unlock by Card Door Station 3833290014 2015-05-29 09 Unlock by Card Door Station 3833290014 |
| | Totat3 Page:1/1 Item Per Page Adaptive ▼ H 4 → H Page Go |

- 3. [照会]をクリックしてアンロック ログを検索します。
- 4. [エクスポート]をクリックしてアンロック ログをエクスポートします。

12.9 デバイス監視状態制御

手順:

1. [ツール]->[デバイス監視制御]を選択してデバイス監視制御インターフェイスに入ります。



 デバイスの監視ステータスを監視有効に設定すると、アラーム発生時にはアラーム情報 が自動的にクライアント ソフトウェアにアップロードされるようになります。

| ✓ door station | .€ |
|----------------|----|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

| File System View Tool | Help | 💩 iVMS-42 | 00 | 1 🔮 | | 14:13:54 | a - | = × |
|--|--|---|--|-----|----------|--------------|------------|--------|
| Control Panel | Video Intercom | 🔝 Main View 🔔 Alarn | Event 🖨 Device Managemen | t | | | | |
| 🙆 🥾 🗃 🍁 Close [| Door Failed Alarm | | | | | | | |
| Int. Alarm Time | Alarm Source | Alarm Details | Alarm Content | | Live Vie | w Send E | Vid | eo N |
| 2 2015-05-29 14:13:16 | Encoding Device:10.7.33.228 | Close Door Failed Alarm | Close Door Failed Alarm | | | | | |
| 1 2015-05-29 14:12:57 | Encoding Device:10.7.33.228 | Camera: Camera1_10.7.33.228 Trig | ger Came Video Intercom Event | | 0 | \mathbb{X} | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 2 2015-05-29 14:13:16
1 2015-05-29 14:12:57 | Encoding Device:10.7.33.228
Encoding Device:10.7.33.228 | Close Door Failed Alarm
Camera: Camera1_10.7.33.228 Trig | Close Door Failed Alarm
ger Came Video Intercom Event | | 0 | | | |

注意:デバイスをクライアント ソフトウェアに追加した後は、自動的に監視有効状態になり ます。

第13章 ログ管理

目的:

クライアント ソフトウェアのログ ファイルはローカル PC に保存され、チェックのために 検索することができます。2 種類のログが提供されます: クライアント ログおよびサーバ ロ グです。クライアント ログはクライアントのログ ファイルでローカル PC に保存されます; サーバ ログは接続されたデバイスのログ ファイルで、ローカル デバイスに保存されます。

コントロール パネルの アイコンをクリックし、ログ検索ページを開きます。

| Log Search | Client Log Lists | 🗃 Export Picture 🛛 🕒 Log Filter | 谒 Backup Log |
|--|---|---|----------------|
| Client Logs Server Logs | Operation Time 🔻 User Name Log Type | Description Inf Device Name Device Type | Group Name C |
| Start Time: | | | |
| 2015-08-06 00:00:00 | | | |
| End Time: | | | |
| 2015-08-06 23:59:59 | | | |
| Q Search | | | |
| | | | |
| | • (| | • |
| | Total:0 Page:1/1 Item Per Page: Self-adaptive 🗸 | ia a ⊳ ⊳i Paç | je Go |

ログ ファイルの検索

手順:

- 1. ログ検索ページを開きます。
- 2. ログ種別を選択します。[**サーバ ログ**]を選択した場合、検索するデバイスをクリックして指定します。
- 3. 🚺アイコンをクリックし、開始時刻と終了時刻を指定します。
- 4. [検索]をクリックします。開始時刻と終了時刻の間のログ ファイルがリストに表示され ます。

操作時刻、種別およびその他のログの情報をチェックできます。

注意:ログ ファイルが多すぎる場合には、時間の範囲を狭めるか、検索するログ種別をフィ ルタリングしてください。

| Major Type | Minor Type | Remote Operator Local Operator | Remote HOST Camera Name D |
|------------|---|---|--|
| Operation | Remote Login | admin | 10.28.7.20 |
| Operation | Remote Login | admin | 10.28.7.20 |
| Operation | Remote Logout | admin | 10.28.7.20 |
| Operation | Remote Logout | admin | 10.28.7.20 |
| Operation | Remote Logout | admin | 10.28.7.20 |
| Operation | Remote Logout | admin | 10.28.7.20 |
| Operation | Remote Logout | admin | 10.28.7.20 |
| Operation | Remote Logout | admin | 10.28.7.20 |
| Operation | Remote Logout | admin | 10.28.7.20 |
| Operation | Remote Logout | admin | 10.28.7.20 |
| Operation | Remote Logout | admin | 10.28.7.20 |
| Operation | Remote Logout | admin | 10.28.7.20 |
| Operation | Remote Logout | admin | 10.28.7.20 |
| Operation | Remote Logout | admin | 10.28.7.20 |
| Operation | Remote Logout | admin | 10.28.7.20 |
| Operation | Remote Logout | admin | 10.28.7.20 |
| Operation | Remote Logout | admin | 10.28.7.20 |
| Operation | Remote Logout | admin | 10.28.7.20 |
| | | | |
| | Major Type
Operation
Operation
Operation
Operation
Operation
Operation
Operation
Operation
Operation
Operation
Operation
Operation
Operation
Operation
Operation
Operation
Operation | Major Type Minor Type
Operation Remote Logout
Operation Remote Logout | Major Type Minor Type Remote Operation Coperation Operation Remote Login admin Opera |

ログ ファイルのフィルタリング

目的:

検索が成功した後で、ログ ファイルをキーワードまたは条件によってフィルタリングすることができます。これにより目的のログ ファイルを見つけることができます。

手順:

- [ログ フィルタ]か、ログ検索ページの マアイコンをクリックすることで、ログフィル タパネルを展開します。
- 2. **[キーワード フィルタ]**を選択し、フィルタリング用のキーワードをテキスト フィールド に入力します。

または、[条件によるフィルタ]を選択し、ドロップダウン リストからログ種別を指定します。

- 3. オプションとして、[詳細...]をクリックして、ログ ファイルをより正確にフィルタリン グすることができます。
- 4. [**フィルタ**]をクリックしてフィルタリングを開始します。[**フィルタのクリア**]をクリック してフィルタリングをキャンセルすることもできます。

| Client Log Lists | | iii Export Picture | 🔁 Log Filter | 谒 Backup Log |
|--|--|--------------------|--------------|----------------------|
| Filter by Keyword: Filter by Condition:
Log Type: Description Information: | Filter All Line Crossing Detection Alarm | × | Filter | Clear Filter
More |
| Server Log Lists | | 🕍 Export Picture | 🔁 Log Filter | 谒 Backup Log |
| Filter by Keyword: Filter by Condition:
Major Type:
Minor Type: | Filter
All
All | v | Filter | Clear Filter
More |

ログ ファイルのバックアップ

目的:

クライアント ログおよびサーバ ログを含むログ ファイルは、バックアップのためにエクス ポートできます。

手順:

- 1. 条件を設定し、ログ ファイルを検索します。
- [ログのバックアップ]をクリックし、バックアップ ログ ダイアログ ボックスを開きます。
- 3. アイコンをクリックし、ローカルの保存先パスを選択し、ファイルの名前を設定します。
- [バックアップ]をクリックし、選択したログ ファイルをバックアップ用にエクスポート します。

[**ファイル]**-> [**ログ ファイルを開く**]をクリックし、ローカル PC 上のバックアップ ログ ファイルの情報をチェックできます。

| | Backup Log. | × |
|--------------|-------------|-------|
| Saving Path: | | |
| | | ••• |
| | | |
| | Backup | ancel |

画像のエクスポート

目的:

アラーム画像はストレージ サーバに保存されますが、ローカル PC にエクスポートすること もできます。

- 1. アラーム画像を選択します。
- 2. **[画像のエクスポート]**をクリックして画像エクスポート ダイアログ ボックスを開きま す。
- 3. アイコンをクリックし、ローカルの保存先パスを選択し、ファイルの名前を設定します。
- 4. [エクスポート]をクリックして選択した画像をエクスポートします。

第14章 アカウント管理とシステム設定

14.1 アカウント管理

目的:

複数のユーザ アカウントをクライアント ソフトウェアに追加することができます。ユーザ ごとに異なる権限をアサインすることができます。

コントロール パネル上の アイコンをクリックするか、[ツール]-> [アカウント管理]をク リックしてアカウント管理 ページを開きます。

| User List | 🕂 Add User | 🖉 Edit User | 💥 Delete User | Copy to |
|-----------|------------|-------------|---------------|---------|
| Index | User Name | Туре | | |
| 1 | Root | Super User | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

注意:ソフトウェアにログインするために登録したユーザはスーパーユーザと設定されます。

ユーザの追加

手順:

- 1. アカウント管理ページを開きます。
- 2. [ユーザを追加]をクリックしてユーザ追加ダイアログ ボックスを開きます。
- ドロップダウンリストからユーザ種別を選択します。2 種類のユーザ アカウントが選択 可能です:

管理者:管理者アカウントはデフォルトですべての権限を持っており、操作者すべてと自 分自身のアカウントについて、パスワードと権限の編集ができます。

操作者:操作者アカウントはデフォルトでは何も権限を持っておらず、手動で権限をアサ インすることができます。操作者は自分自身のアカウントのパスワードのみ編集できま す。

 ユーザ名、パスワードおよび確認パスワードを任意で入力します。ソフトウェアによって自動的にパスワード強度が判断されます。データ セキュリティを向上させるために、 強力なパスワードを使用するよう強くお勧めします。

- 5. チェックボックスをチェックして作成するユーザの権限をアサインします。オプション として、[コピー元]ドロップダウン リストからユーザを選択して、選択したユーザの権 限をコピーすることができます。
- オプションとして、[デフォルト権限]をクリックして、そのユーザのデフォルトの権限を 復元することができます。
- 7. [保存]をクリックして設定を保存します。



- ◆ ユーザ名には以下の文字を利用することはできません:/¥:*?"<>|.また、パスワードの長さは6文字未満にはできません。
- ◆ プライバシーのために、製品のセキュリティを向上できるように、パスワードをあなた自身が決めたもの(大文字、小文字、数字と記号を含め、最低でも 8 文字以上)に変更することを強く推奨します。
- ◆ すべてのパスワードやその他のセキュリティの適切な設定は、設置者および/または エンドユーザの責任です。

注意:最大 50 までのアカウントをクライアントソフトウェアに追加できます。

| | A | dd U: | ser | | × |
|--------------------|-------------------|-------|---------------------|----------------------|------|
| User Information — | | | | | |
| User Type: Ad | dministrator 🗸 | U | Jser Name: | | |
| Password: | | C | Confirm Password: | | |
| | | | | | |
| User Permission | | | | | |
| Copy from | | ~ | | | |
| User Permission | | F | Play Back Remote Re | cord File(s) related | |
| ✓ All | | - | 1 | | , |
| Live View | | | 🛨 🗹 10.16.1.93 | | |
| PTZ Control | | J | 3 | | |
| Capture | | | 10.6.6.133 | | |
| Record | | | 10.6.6.134 | | |
| Camera Settings | | | 10.6.6.135 | | U |
| Play Back Remot | e Record File(s) | | 10.6.6.136 | | |
| Download Remote | te Record File(s) | | 10.6.6.137 | | |
| Remote Recording | ng | | 10.6.6.140 | | |
| Two-way Audio | | • | 10.6.6.142 | | |
| | | | Defa | ault Permission | Save |

ユーザ管理

目的:

正常に作成されたユーザ アカウントは、アカウント管理ページのユーザ リストに追加され ます。ユーザ アカウントの情報を編集または削除できます。

ユーザの情報を編集するには、ユーザをリストから選択し、[**ユーザを編集**]をクリックします。

ユーザの情報を削除するには、ユーザをリストから選択し、[**ユーザを削除**]をクリックしま す。

スーパー ユーザおよび管理者ユーザの場合、[コピー先]をクリックして他のユーザ(複数可) に権限をコピーできます。

注意:スーパー ユーザは削除できず、スーパー ユーザのパスワードだけが編集可能です。

14.2 システム設定

目的:

ー般パラメータ、ファイル保存先パス、キーボードおよびジョイスティック ショートカット、 アラーム音、メール設定およびビデオ インターコム パラメータが設定できます。

コントロール パネル上の アイコンをクリックするか、[ツール]->[システム設定]をクリ ックしてシステム設定ページを開きます。

| | System C | onfiguration | | × |
|---------|--|--|---------------|------|
| General | Set frequently used parameters
(e.g., log expiry date and picture | format). | | |
| Email | Very Experience Very Constraints Very Very Very Very Very Very Very Very | Normal Better Bes
JPEG
Maximize
Port: 80
les on Storage Server
in Single Live View
Jsing Default Password
pVCA Playback | | |
| | | | Default Value | Save |

注意:[デフォルト値]をクリックして、すべてのシステム設定のデフォルトを復元できます。

14.2.1一般設定

目的:

ログ保持期間、ビュー スケールなどを含む頻繁に利用されるパラメータを設定できます。 手順:

- 1. システム設定ページを開きます。
- 2. [一般]タブをクリックし、一般設定インターフェイスに入ります。
- 3. 一般パラメータを設定します。詳細については表 14.1 一般パラメータを参照してください。
- 4. [保存]をクリックして設定を保存します。

| Set frequently used parameters
(e.g., log expiry date and picture | format). | | |
|--|------------------|------------|--------|
| Log Expiry Date: | A Month | | ~ |
| Network Performance: | Normal Be | etter Best | |
| Picture Format: | JPEG | | * |
| Maximum Mode: | Maximize | | ~ |
| Enable Web Service | Port | 80 | |
| Enable Screen Toolbar Display | | | |
| Enable Auto-login | | | |
| Prioritize Playback of Video Files | s on Storage Se | erver | |
| Resume Live View Status | | | |
| Disconnect Background Videos | in Single Live \ | /iew | |
| Pop up Security Prompt When U | Jsing Default Pa | assword | |
| Enable Wheel for Zoom | | | |
| Skip Unconcerned Video during | VCA Playback | | |
| Auto Time Adjustment: | 00:00:00 | | *
* |
| | | | |

表 14.1 一般パラメータ

| パラメータ | 説明 |
|------------|--|
| ログ保持期間 | ログ ファイルを保存する期間で、これを過ぎるとファイルは削除さ |
| | れます。 |
| ネットワーク パフォ | 現在のネットワーク状態です。正常、良好、最高のいずれかに設定 |
| ーマンス | できます。 |
| 両換フェーマット | 「ライブ ビューまたは再生時のキャプチャー画像のフォーマットを |
| 回家フォーマット | 設定します。 |
| | 最大化モードを最大化または全画面から選択します。最大化を選択 |
| 鼻ナルエー じ | した場合、ソフトウェアは最大表示になり、タスクバーが表示され |
| 取入1して一下 | ます。全画面を選択した場合、ソフトウェアは全画面モードで表示 |
| | されます。 |
| | この機能を有効化するとiVMS-4200クライアント ソフトウェアに対 |
| | するウェブ ブラウザからのアクセスが許容されます。ウェブ サー |
| | バのポート番号も任意に設定できます。 デフォルトでは、80 番です。 |
| ウェブ サービスの友 | iVMS-4200 を動作させているお使いの PC でそのポート番号が占有さ |
| ウェブリーにへの有 | れている場合、他の値に変更することができます。 |
| ×110 | ポート番号を変更すると、ウェブ ブラウザ経由でクライアントにア |
| | クセスする場合はクライアントが動作する PC の IP アドレス:新しい |
| | ポート番号を入力します。詳細は 16.1 章 ログインを参照してくださ |
| | ιν _° |
| 画面ツールバー表示を | ライブ ビューまたは再生時、各表示ウィンドウ上にツールバーを表 |
| 有効化 | 示します。 |
| オート ログインの有 | クライアント ソフトウェアに自動ログインします。 |
| 効化 | |
| ストレージ サーバト | ストレージ サーバ上に記録されたビデオ ファイルを優先的に再生 |
| のビデオ ファイルの | します。 |
| 優先再生 | それができない場合、ローカル デバイスに記録されたビデオ ファ |
| | イルを再生します。 |
| ライブ ビュー状態の | クライアントに再度ログインした際に、最後のライブ ビュー状態か |
| 再開 | ら再開します。 |

| 単一ライブ ビューで | 複数ウィンドウ分割モードにおいて、ライブ ビデオをダブルクリッ |
|--|--|
| のバックグラウンド | クして1ウィンドウ分割モードで表示させ、リソース節約のため他 |
| ビデオの切断 | のライブ ビデオを停止させます。 |
| デフォルト パスワー
ド使用時にセキュリテ
ィ プロンプトを表示 | 追加したデバイスのデフォルト パスワードが変更されていない場
合、プロンプト画面がポップアップして通知します。 |
| ズーム用ホイールの有
効化 | PTZ モードにおいてマウス ホイールによるビデオズーム インまた
はアウトを有効化するか、デジタル ズーム モードにおけるズーム
インまたはビデオの復帰を有効化します。このようにして、マウス
のスクロールによってライブ ビデオのズーム インまたはアウト
(または復帰)をダイレクトに行うことができます。 |
| VCA 再生中の無関係な | VCA 再生中に無関係なビデオのスキップを有効化すると、VCA の再 |
| ビデオのスキップ | 生中は無関係なビデオが再生されなくなります。 |
| 自動時刻調整 | 特定の時点において時刻を自動的に調整します。 |

14.2.2 画像設定

目的:

ビューの比率や再生性能といったソフトウェアの画像パラメータを設定することができます。 **手順**:

- 1. システム設定ページを開きます。
- 2. [画像]タブをクリックし、画像設定インターフェイスに入ります。
- 3. 画像パラメータを設定します。詳細については表 14.2 画像パラメータを参照してください。
- 4. [保存]をクリックして設定を保存します。

| Configure the image para
(e.g., display scale and p | neters for the client
ay performance). | |
|--|---|--|
| View Scale: | Full Screen 🗸 | |
| Play Performance: | Self-adaptive 🗸 | |
| 🗸 Auto-change Video Stre | am | |
| Enable Highlight | | |
| Display Transaction Info | rmation | |
| VCA Rule | | |
| | | |

表 14.2 画像パラメータ

| パラメータ | 説明 |
|---|----------------------------------|
| ビューの比率 | ライブ ビューまたは再生におけるビデオのビューの比率です。全画 |
| | 面、4:3、16:9 またはオリジナル解像度から設定できます。 |
| 百८卅代 | ライブ ビデオ再生の性能です。「最小遅延」または「自動調整」か |
| 冉生性能 | ら設定できます。 |
| ビゴナ ストリーノの | ライブ ビューにおいて、表示ウィンドウのサイズに応じてビデオ |
| ローク | ストリーム(メイン ストリームまたはサブ ストリーム)を自動的に |
| 日朝炎史 | 変更します。 |
| ハイライトの有効化 | ライブ ビューおよび再生時、検知したオブジェクトを緑色の四角形 |
| | でマークします。 |

| トランザクション情報 | ライブ ビュー中にトランザクション情報を表示します。 |
|------------|----------------------------|
| 表示 | |
| VCA ルール | ライブ ビュー中に VCA ルールを表示します。 |

14.2.3ファイル保存先パス設定

目的:

手動録画されたビデオ、キャプチャーされた画像およびシステム設定ファイルはローカル PC 上に保存されます。これらのファイルの保存先パスを設定できます。

手順:

- 1. システム設定ページを開きます。
- 2. [ファイル]タブをクリックし、ファイル保存先パス設定インターフェイスに入ります。
- 3. アイコンをクリックして、ファイルのためのローカル パスを選択します。
- 4. [保存]をクリックして設定を保存します。

| aving Path of Video File:
:/ivms4200/video/ | | |
|--|-----|--|
| aving Path of Pictures: | | |
| C:/ivms4200/capture/ | ••• | |
| aving Path of Configuration File: | | |
| C:/ivms4200/config/ | ••• | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

14.2.4 キーボードおよびジョイスティック ショートカッ

ト設定

目的:

クライアントにキーボードを接続し、PTZカメラの操作に用いることができます。よく用いる操作を迅速かつ簡単に行えるように、キーボードおよびジョイスティックのショートカットを設定できます。

- 1. キーボードの場合:クライアントがインストールされた PC にキーボードが接続されてい る場合、ドロップダウン リストから COM ポートを選択します。
- 2. キーボードとジョイスティックの場合:
 - 1) 特定の機能をリストから選択します。
 - PC キーボード、USB ジョイスティックまたは USB キーボードの欄の下にあるアイテムをダブルクリックします。

- 3. [保存]をクリックして設定を保存します。

| eyboard Se | ettings: | | | |
|---------------------|--------------------|-----------------------------|--------------------|----------------------|
| OM Port | NULL | ~ | | |
| eyboard ar | d Joystick: | | | |
| 2) Set sho | ortcuts of keyboar | d and USB joystick for freq | uently used functi | ons of the software. |
| Index | Function | PC Keyboard | USB Joystick | USB Keyboard |
| 1 | Capture | Ctrl + Print Screen | | Right Button |
| 2 | Speed up | | | |
| 3 | Speed down | | | |
| 4 | Focus (+) | Home | | |
| 5 | Focus (-) | End | | |
| 6 | Zoom in (+) | + | | Clockwise Rotate |
| 7 | Zoom Out (-) | - | | Counterclockwise Rot |
| 8 | IRIS (+) | Page Up | | |
| 9 | IRIS (-) | Page Down | | |
| 10 | Lighton | | | |

14.2.5アラーム音設定

目的:

動体検知アラーム、ビデオ異常アラームなどのアラームがトリガーされた場合、クライアン トは警告音を発するように設定でき、警告音となる音の設定も行えます。

手順:

- 1. システム設定ページを開きます。
- 2. [アラーム音]タブをクリックし、アラーム音設定インターフェイスに入ります。
- 3. □ アイコンをクリックして、アラームごとにローカル パス上の音声ファイルを選択しま す。
- 4. オプションとして、 M アイコンをクリックし、音声ファイルのテストを行えます。
- 5. [保存]をクリックして設定を保存します。

注意:音声ファイルのフォーマットは*.wav だけが利用できます。

| Set alarm sound,
(such as motion detection alarm, video exception alarm, etc.) |
|---|
| Motion Detection: |
| motion.wav \cdots 📢 |
| Video/Audio Exception: |
| video_abnormal.wav \cdots 📢 |
| Alarm Input |
| alarm_input.wav \cdots 📢 |
| Device Exception: |
| device_abnormal.wav 📢 |
| VCA Alarm: |
| intel_alarm.wav \cdots 📢 |
| Other Alarm: |
| other_alarm.wav \cdots 📢 |
| |

14.2.6メール設定

目的:

システム アラームが発生した際にはメール通知を送るようにできます。特定の送信先にメールを送るためには、実行の前にメール設定が行われている必要があります。

手順:

- 1. システム設定ページを開きます。
- 2. [メール]タブを選択してメール設定インターフェイスを開きます。
- 必要な情報を入力します。 サーバ認証(オプション):お使いのメール サーバが認証を必要とする場合、このチェック ボックスをチェックしてサーバへのログイン認証を利用するようにし、メール アカウン トのログイン ユーザ名とパスワードを入力します。
 SMTP サーバ、SMTP サーバ アドレスを入力します。

ポート:メール サービスの通信ポートを入力します。デフォルトではポート番号は 25 で す。

ユーザ名:[サーバ認証]がチェックされている場合、送信に使うメール アドレスのユーザ 名を入力します。

パスワード:[サーバ認証]がチェックされている場合、送信に使うメール アドレスのパス ワードを入力します。

送信者のアドレス:送信者のメール アドレスを入力します。

送信先1から3:送信先のメール アドレスを入力します。最大3人の送信先を設定できます。

- オプションとして、[SSL を有効化]チェックボックスをチェックし、メール送信のセキュ リティを高めることができます。
- 5. オプションとして[テスト メールを送信]をクリックして送信先にテストのメールを送る ことができます。
- 6. [保存]をクリックして設定を保存します。

| Set email parameter | s including sender and recipient. | |
|---------------------|-----------------------------------|--|
| Server Authenticat | on | |
| SMTP Server: | | |
| Port: | 25 | |
| User Name: | | |
| Password: | | |
| Sender Address: | | |
| Receiver 1: | | |
| Receiver 2: | | |
| Receiver 3: | | |
| Enable SSL | | |
| Send Test Email | | |

14.2.7ビデオ インターコム設定

目的:

ビデオ インターコム パラメータを適切に設定します。

手順:

- 1. システム設定ページを開きます。
- [ビデオ インターコム]タブをクリックし、ビデオ インターコム設定インターフェイスに 入ります。
- 必要な情報を入力します。
 呼出音: アイコンをクリックして、インドア ステーションの呼出音にするローカル パス上の音声ファイルを選択します。オプションとして、 ✓ アイコンをクリックし、音声ファイルのテストを行えます。

呼出時間上限:呼出音を鳴らす時間の上限を入力します。

インドア ステーションとの最長通話時間:インドア ステーションとの通話時間の上限 を入力します。

ドア ステーションとの最長通話時間:ドア ステーションとの通話時間の上限を入力します。

4. [保存]をクリックして設定を保存します。

| | System Configuration | I | | | × |
|------------|---|-----|---------------|------|---|
| General | Configure video intercom parameters. | | | | |
| Aram Sound | Ringtone:
C/Program Files/iVMS-4200 Station/IVMS | (s) | | | |
| | Max. Speaking Duration with Door Station:
90 | (S) | | | |
| | | | Default Value | Save | |

第15章統計

目的:

統計に関しては、ソフトウェア経由でデータ統計用の8つのモジュールが提供されています: ヒート マップ、人数カウント、カウント、道路交通量、顔抽出、ナンバー プレート抽出、 行動解析、顔キャプチャーです。

コントロール パネルの - アイコンをクリックし、機能編集ページを開いて統計機能を選択 します。

モジュールのチェックボックスをチェックして[OK]をクリックすると、選択したモジュール がコントロール パネル上にリストされます。



- 🍯 ビートマップ モジュールはヒート マップ統計情報の表示を提供します。
- 🏠 人数カウントモジュールは人数カウント統計情報の表示を提供します。
- カウントモジュールはカウント統計情報の表示を提供します。
- 📩 道路交通量モジュールは道路交通量データの表示を提供します。
- 🗾 顔抽出モジュールは顔画像の検索を提供します。
- レートロンボー プレート抽出モジュールはナンバー プレートのナンバーの検索を提供 します。
- 💫 行動解析モジュールは行動解析の検索を提供します。

15.1 ヒート マップ

目的:

ヒート マップはデータを色によって表したグラフィック表示またはライン チャートで表示 されるヒート マップ データです。カメラのヒート マップ機能は通常、設定したエリアでの 顧客の訪問回数と滞留時間を分析するために使用されます。 始める前に:

ヒート マップ ネットワーク カメラをソフトウェアに追加し、対応するエリアを適切に設定 してください。追加したカメラには、ヒート マップ ルールを設定する必要があります。 注意:ヒート マップ ネットワーク カメラはエンコーディング デバイスとしてソフトウェ アに追加する必要があります。設定の詳細については 2.2 章 デバイスの追加を参照してくだ さい。ヒート マップ ルール設定についてはヒート マップ ネットワーク カメラのユーザ マニュアルを参照してください。



コントロール パネルの ダイコンをクリックし、ヒート マップ ページを開きます。

手順:

- 1. ヒート マップ ページを開きます。
- 2. エリア パネル上のヒート マップ カメラをクリックして選択します。
- 3. レポート種別を必要に応じて選択し、開始時刻を設定します。
- 4. ヒート マップ 生成をクリックすると、カメラのヒート マップが表示されます。 🕅 ま

たは■をクリックして統計情報をライン チャートまたは画像モードで表示できます。 画像モードでは、赤色のブロック(255,0,0)は訪問頻度の高いエリアで、青色のブロ ック(0,0,255)は訪問頻度の低いエリアを示します。

5. (オプション)
(オプション)

をクリックしてヒート マップの詳細データをお使いの PC に保存する ことができます。



15.2 人数カウント統計

目的:

追加した人数カウント デバイスの人数カウント統計をチェックすることができます。統計情報はライン チャートまたはヒストグラムで表示できます。詳細データはローカル ストレージにエクスポートできます。

始める前に:

人数カウント デバイスをソフトウェアに追加し、対応するエリアを適切に設定してください。 追加したデバイスには、人数カウント ルールを設定する必要があります。

注意:人数カウント デバイスはエンコーディング デバイスとしてソフトウェアに追加する 必要があります。設定の詳細については 2.2 章 デバイスの追加を参照してください。人数カ ウント ルール設定については人数カウント デバイスのユーザ マニュアルを参照してくだ さい。

コントロール パネルの アイコンをクリックし、人数カウント ページを開きます。



- 1. 人数カウント ページを開きます。
- 2. レポート種別を必要に応じて選択し、期間を設定します。
 - 1) レポートの期間種別として日次レポート、週次レポート、月次レポートまたは年次 レポートを選択します。
 - 統計種別として複数期間の単一カメラを選択します。
 複数期間の単一カメラ:2 つの期間に対して、1 つのカメラを選択して統計情報を生成できます。
 - 3) 進入、退出、または進入および退出をデータ種別として選択します。
 - **進入**:進入した人数をカウントします。
 - **退出**:退出した人数をカウントします。
 - **進入および退出**:進入した人数と退出した人数の両方をカウントします。
 - 4) 期間を設定します。
- 3. カメラを選択してレポートを生成します。
- (検索)をクリックして右側のパネルに統計情報を表示します。時間ごと、日ごと、または月ごとの詳細データも表示されます。
 デフォルトでは、統計情報はヒストグラム形式で表示されます。
 をクリックするとラインチャートに切り替えることができます。
- 5. (オプション)
 (オプション)

 をクリックして人数カウントの詳細データをお使いの PC に保存することができます。



15.3 カウント統計

目的:

追加したカウント デバイスのカウント統計をチェックすることができます。統計情報はライン チャートまたはヒストグラムで表示できます。詳細データはローカル ストレージにエクスポートできます。

始める前に:

カウント デバイスをソフトウェアに追加し、対応するエリアを適切に設定してください。追 加したデバイスには、カウント設定を行う必要があります。

注意:カウント デバイスはエンコーディング デバイスとしてソフトウェアに追加する必要 があります。設定の詳細については 2.2 章 デバイスの追加を参照してください。カウント設 定についてはカウント デバイスのユーザ マニュアルを参照してください。

コントロール パネルの アイコンをクリックし、カウント ページを開きます。



- 1. カウント ページを開きます。
- 2. レポート種別を必要に応じて選択し、期間を設定します。
 - 1) レポートの期間種別として日次レポート、週次レポート、月次レポートまたは年次 レポートを選択します。
 - 統計種別として複数期間の単一カメラを選択します。
 複数期間の単一カメラ:2 つの期間に対して、1 つのカメラを選択して統計情報を生成できます。
 - 3) 進入、退出、または進入および退出をデータ種別として選択します。
 - **進入**:進入した人数をカウントします。
 - **退出**:退出した人数をカウントします。
 - 進入および退出:進入した人数と退出した人数の両方をカウントします。
 - 4) 期間を設定します。
- 3. カメラを選択してレポートを生成します。
- (検索)をクリックして右側のパネルに統計情報を表示します。時間ごと、日ごと、または月ごとの詳細データも表示されます。
 デフォルトでは、統計情報はヒストグラム形式で表示されます。
 をクリックするとラインチャートに切り替えることができます。
- 5. (オプション) ⁽⁾をクリックしてカウントの詳細データをお使いの PC に保存することが できます。



15.4 道路交通量

目的:

道路交通量監視デバイスを追加した場合、検知した車両またはナンバー プレートのキャプチャー画像の検索とチェックができます。対応する画像について3種類の検索種別が利用できます。

- 車両検知:通過した車両を検出し、そのナンバープレートの画像をキャプチャーできます; さらに、車両の色、車両のロゴおよびその他の情報が自動的に認識されます。
- 混合交通量検知:歩行者、車両、自転車などが検出できます。対象の画像(歩行者/自転車 /ナンバー プレートのない車両)またはナンバー プレートの画像(ナンバー プレートの ある車両)が検索できます。
- 交通違反:交通ルール(違法駐車や渋滞など)に違反した車両のキャプチャー画像がチェックできます。

始める前に:

- 道路交通量監視デバイスをソフトウェアに追加し、対応するエリアを適切に設定してく ださい。追加したデバイスには、対応する画像キャプチャー設定を行う必要があります。
- 交通違反については、ソフトウェアにストレージ サーバを追加する必要があり、デバイスのストレージ サーバを設定して、[画像ストレージ]および[追加情報ストレージ]チェックボックスをチェックする必要があります。詳細については 3.1.2 章 ストレージ デバイスへの保存を参照してください。
- 車両検知、混合交通量検知については、ストレージ サーバが設定されていない場合、 ローカル デバイスのストレージ デバイスから関連する画像を検索します。

注意:道路交通量監視デバイスはエンコーディング デバイスとしてソフトウェアに追加する 必要があります。設定の詳細については 2.2 章 デバイスの追加を参照してください。キャプ チャー設定についてはデバイスのユーザ マニュアルを参照してください。

| amera | Road Traffic | | | | 💼 Export Pictur |
|--------------------------------|--------------|------|----------------------|---------|-----------------|
| Search S | Index | Time | License Plate Number | Picture | |
| 🔹 🚭 Intersection 🤺 | | | | | |
| * 🚭 9664 | | | | | |
| 🛨 🔤 Traffic Speed Dome | | | | | |
| iest4500 | | | | | |
| 😂 Insp7 | | | | | |
| ± 😂 marcoseven7 | | | | | |
| • 🔄 7286 | | | | | |
| •) 😂 IPD Traffic | | | | | |
| • 🔁 2412 | | | | | |
| 🛨 莺 Heat Map | | | | | |
| 🖅 😂 VCA Playback | | | | | |
| + 🔄 VCA PIC Face | | | | | |
| and Oradillary | | | | | |
| earch Conditions | | | | | |
| Type: Traffic Violations 🗸 | | | | | |
| Plate No.: | | | | | |
| Start Time: 2015/4/8 0:00:00 🕅 | | | | | |
| End Time: 2015/4/8 23:59:59 🔯 | | | | | |
| | | | | | |

コントロール パネルの 🔔 アイコンをクリックし、道路交通量ページを開きます。

- 1. 道路交通量ページを開きます。
- 2. カメラ パネル上の道路交通量監視カメラをクリックして選択します。
- 関連画像を見つけるための検索条件を設定します。
 タイプ:検索種別を選択し、イベント種別によってトリガーされた画像を検索します。
 プレート ナンバー:ナンバー プレートのナンバーを入力して画像を検索します。
 開始時刻/終了時刻:¹⁰⁰をクリックし、開始時刻と終了時刻を指定します。
- 4. [検索]をクリックすると見つかった画像アイテムがリストされます。

| Road Traffic | | | | 🔗 Export Picture |
|--------------|---------------------|----------------------|---------|------------------|
| lndex | Time | License Plate Number | Picture | Ċ |
| 1 | 2015-04-08 10:20:16 | | 21 | U |
| 2 | 2015-04-08 10:20:32 | 0.00 | 2 | |
| 3 | 2015-04-08 10:20:38 | | 2 | |
| 4 | 2015-04-08 10:20:49 | 0.00 | 21 | |
| 5 | 2015-04-08 10:21:02 | | 21 | |
| 6 | 2015-04-08 10:21:21 | 0.00 | 2 | |
| 7 | 2015-04-08 10:21:35 | | 2 | |
| 8 | 2015-04-08 10:21:55 | | 21 | |
| 9 | 2015-04-08 10:22:08 | | 21 | |
| 🗆 10 | 2015-04-08 10:22:26 | 1000000 | 21 | |
| 🗆 11 | 2015-04-08 10:22:40 | | 22 | |
| 12 | 2015-04-08 10:22:48 | 1000 | 2 | |
| 13 | 2015-04-08 10:22:59 | | 2 | |
| 🗆 14 | 2015-04-08 10:23:12 | 0.00 | 21 | |
| 15 | 2015-04-08 10:23:31 | | 21 | |
| 🗆 16 | 2015-04-08 10:23:45 | | 2 | |
| 17 | 2015-04-08 10:24:04 | | 21 | |
| 🗆 18 | 2015-04-08 10:24:17 | | 21 | |
| 19 | 2015-04-08 10:24:36 | | 21 | |
| 20 | 2015-04-08 10:24:56 | | 21 | - |

5. **2**をクリックしてキャプチャー画像と関連情報を確認します。[現在の画像を選択]また は[すべて選択]チェックボックスをチェックし、[ダウンロード]をクリックして、画像を お使いの PC に保存することができます。



6. (オプション) チェックボックスをチェックして画像アイテムを選択し[**画像のエクスポ** ート]をクリックして、お使いの PC に画像を保存できます。

15.5 顔抽出

目的:

接続したデバイス(NVRまたはHDVR)が顔検索をサポートしている場合、関連画像を検索して、 関連画像のビデオ ファイルを再生できます。

始める前に:

デバイスをソフトウェアに追加し、対応する設定を適切に行ってください。設定の詳細についてはデバイスのユーザ マニュアルを参照してください。

注意:デバイスはエンコーディング デバイスとしてソフトウェアに追加する必要があります。 設定の詳細については 2.2 章 デバイスの追加を参照してください。

コントロール パネルの早アイコンをクリックし、顔抽出ページを開きます。

| Camera | Picture | | | Details |
|---------------------|--------------------|----------------|----|---------|
| Search 9 | | | | |
| 🗖 🖶 3 | | | | |
| Camera1_3 | | | | |
| Camera2_3 | | | | |
| Camera3_3 | | | | |
| Camera4_3 | | | | |
| Camera5_3 | | | | |
| Camera6_3 | | | | |
| Camera7_3 | | | | |
| Camera8_3 | | | | |
| 🕑 📥 10.6.6.133 | | | | |
| 衝 🚭 10.6.6.134 | | | | |
| 🕑 🚭 10.6.6.135 | | | | |
| By Picture | | | | |
| Ohe d Times | | | | |
| Start Time: | | | | |
| 2015-08-11 00:00:00 | | | | |
| End Time: | | | | |
| 2015-08-11 23:59:59 | | | | |
| Q Search | Total: 0 Page: 1/1 | i⊲ ⊲ ⊳ ⊳i Page | Go | |
| | | | | |

手順:

- 1. 顔抽出ページを開きます。
- カメラ パネル上のデバイスをクリックして選択します。
 注意:この機能は接続したデバイス(NVR または HDVR)がサポートしている必要があります。
- 3. 対応する検索条件を設定してください。
 - (オプション) [画像指定] チェックボックスをチェックし、[画像を選択]をクリックしてお使いの PC から画像をアップロードし、アップロードされた画像から検出された顔をクリックして選択し、キャプチャーされた顔画像と照合することができます。
 - 類似度のレベルを設定します。
 例:類似度を 40 に設定すると、アップロードされた顔画像に対して 40%以上の類似度を持つキャプチャー画像がリストされます。
 - をクリックして、顔画像またはビデオファイルを検索する開始時刻と終了時刻を
 設定します。
- (検索)をクリックして検索を開始します。画像の検索結果はリストで表示されます。
- リストから画像をクリックして詳細情報をチェックできます。
 るビデオ ファイルを右下のビュー ウィンドウで再生することができます。
 ゆをクリックして再生速度を調整できます。
 レームずつ再生します。
 をクリックすると音声を有効化し、再生ウィンドウをダブルクリックするとウィンドウを最大化できます。

15.6 ナンバー プレート抽出

目的:

接続したデバイス(NVR または HDVR)がナンバー プレート検索をサポートしている場合、関 連画像を検索して、関連画像のビデオ ファイルを再生できます。 始める前に:

デバイスをソフトウェアに追加し、対応する設定を適切に行ってください。設定の詳細についてはデバイスのユーザマニュアルを参照してください。

注意:デバイスはエンコーディング デバイスとしてソフトウェアに追加する必要があります。 設定の詳細については 2.2 章 デバイスの追加を参照してください。

コントロール パネルの マイコンをクリックし、ナンバー プレート抽出ページを開きます。

| Camera | Picture | | Details |
|-----------------------|--------------------|-----------------|---------|
| Search 9 | | | |
| 🗖 🗃 3 | | | |
| Camera1_3 | | | |
| Camera2_3 | | | |
| Camera3_3 | | | |
| Camera4_3 | | | |
| Camera5_3 | | | |
| Camera6_3 | | | |
| Camera7_3 | | | |
| Camera8_3 | | | |
| 衝 🚭 10.6.6.133 | | | |
| 🕑 ڬ 10.6.6.134 | | | |
| License Plate Number: | | | |
| | | | |
| Start Time: | | | |
| 2015-08-11 00:00:00 | | | |
| End Time: | | | |
| 2015-08-11 23:59:59 | | | |
| Q Search | Total: 0 Page: 1/1 | I4 4 14 Page Go | |

- 1. ナンバー プレート抽出ページを開きます。
- カメラ パネル上のデバイスをクリックして選択します。
 注意:この機能は接続したデバイス(NVR または HDVR)がサポートしている必要があります。
- 3. 対応する検索条件を設定してください。
 - (オプション)フィールドに検索するプレート番号を入力します。
 - ■をクリックして、一致するナンバー プレート画像を検索する開始時刻と終了時刻を設定します。
- (検索)をクリックして検索を開始します。画像の検索結果はリストで表示されます。
- リストから画像をクリックして詳細情報をチェックできます。■をクリックして関連するビデオ ファイルを右下のビュー ウィンドウで再生することができます。
 ■をクリックして再生速度を調整できます。■をクリックするとビデオ ファイルを1フレームずつ再生します。
 ■をクリックすると音声を有効化し、再生ウィンドウをダブルクリックするとウィンドウを最大化できます。

15.7 行動解析

目的:

接続したデバイス(NVR または HDVR)が行動検索をサポートしている場合、関連画像を検索して、関連画像のビデオ ファイルを再生できます。

始める前に:

デバイスをソフトウェアに追加し、対応する設定を適切に行ってください。設定の詳細につ いてはデバイスのユーザ マニュアルを参照してください。

注意:デバイスはエンコーディング デバイスとしてソフトウェアに追加する必要があります。 設定の詳細については 2.2 章 デバイスの追加を参照してください。

コントロール パネルの 20 アイコンをクリックし、行動解析ページを開きます。



手順:

- 1. 行動解析ページを開きます。
- 2. カメラ パネル上のデバイスをクリックして選択します。

注意:この機能は接続したデバイス(NVR または HDVR)がサポートしている必要がありま す。

- 3. 🖾をクリックして、一致する画像を検索する開始時刻と終了時刻を設定します。
- 4. [検索]をクリックして検索を開始します。画像の検索結果はリストで表示されます。



リストから画像をクリックして詳細情報をチェックできます。
 るビデオ ファイルを右下のビュー ウィンドウで再生することができます。
 レをクリックして再生速度を調整できます。
 レームずつ再生します。
 ロをクリックすると音声を有効化し、再生ウィンドウをダブルクリックするとウィンドウを最大化できます。

15.8 顔キャプチャー

目的:

追加した顔キャプチャー デバイスの顔キャプチャー統計をチェックすることができます。統 計情報は表、ライン チャート、パイ チャートまたはヒストグラムで表示できます。詳細デ ータはローカル ストレージにエクスポートできます。

始める前に:

顔キャプチャー デバイスをソフトウェアに追加し、対応する設定を適切に行ってください。 設定の詳細についてはデバイスのユーザ マニュアルを参照してください。

注意:顔キャプチャー デバイスはエンコーディング デバイスとしてソフトウェアに追加す る必要があります。設定の詳細については 2.2 章 デバイスの追加を参照してください。

コントロール パネルの こう アイコンをクリックし、顔キャプチャー ページを開きます。

| Condition | Result | |
|------------------------------|----------------------------|---|
| Search | | |
| 10.6.6.142 | | |
| 10.6.6.143 | | |
| 🛨 🗆 ڬ 10.6.6.146 | | |
| 📧 🗆 🔄 Group_1 | | |
| 🛨 🗌 😂 2 | | |
| 🖅 🗆 🔄 Intersection | | |
| 🗆 🔤 10.7.35.223 | | |
| - 🔳 ڬ 10.33.3.159 | | |
| Camera1_10 | | |
| Camera2_10 | | |
| Camera3_10 | | |
| 🗆 🙆 Camera4_10 | | |
| · | | |
| Report Type: | | |
| Daily Report 🗸 | | |
| Multi-camera in One Period 🗸 | Time(hour) Male Female | |
| Gender 🗸 | 00:00-01:00 | |
| Duration 1: | 01:00-02:00 | |
| 2015-08-11 | 02:00-03:00 | |
| Search | 03:00-04:00 | |
| | 04:00-05:00 | • |

- 1. 顔キャプチャー ページを開きます。
- 2. レポート種別を必要に応じて選択し、期間を設定します。
 - 1) レポートの期間種別として日次レポート、週次レポート、月次レポートまたは年次 レポートを選択します。
 - 2) 統計種別として単一期間の複数カメラを選択します。
 単一期間の複数カメラ:1 つの期間に対して、複数のカメラを選択して統計情報を生成できます。
 - 3) 年齢、性別または人数をデータ種別として選択します。
 - 4) 期間を設定します。
- 3. カメラを選択してレポートを生成します。
- (検索)をクリックして右側のパネルに統計情報を表示します。時間ごと、日ごと、または月ごとの詳細データも表示されます。
 年齢と性別の統計については、統計はパイ チャートで表示されます。
 人数の統計については、統計はデフォルトではヒストグラムで表示されます。
 シックするとライン チャートに切り替えることができます。
- 5. (オプション) ¹をクリックしてキャプチャーした顔画像の詳細データをお使いの PC に 保存することができます。

第16章 ウェブ ブラウジング

目的:

iVMS-4200 クライアント ソフトウェアはウェブ ブラウザからもアクセスできます。ライブ ビュー、再生、デバイス管理、アカウント管理、システム設定などの機能が利用できます。 始める前に:

iVMS-4200 クライアント ソフトウェアのウェブ サービスにアクセスする前に、この機能を 有効化して、iVMS-4200 クライアント ソフトウェアへのウェブ ブラウザからのアクセスを 許可する必要があります。ウェブ サーバのポート番号も任意に設定できます。詳細は 14.2.1 章 一般設定を参照してください。

16.1 ログイン

手順:

- 1. ウェブ ブラウザのアドレス バーに、iVMS-4200 を実行している PC の IP アドレスを入力 し、Enter キーを押します。ログイン ウィンドウがポップアップします。
- 2. iVMS-4200 のユーザ名とパスワードを入力してください。
- オプションとして、[パスワードを保存する]チェック ボックスにチェックし、パスワードを保存することができます。
- 4. [**ログイン**]をクリックします。

注意:ログイン インターフェイスの右上隅で、言語を中国語または英語に設定することができます。



ログインするとウェブ ブラウザのホームページが以下のように表示されます。



16.2 デバイス管理

目的:

ウェブ ブラウザから操作を行う前に、監視および管理用にデバイスをシステムに追加してお く必要があります。デバイスの追加はウェブ ブラウザを通じて行うことができます。

16.2.1**エンコーディング デバイスの追加**

手順:

- 1. [デバイス管理]タブをクリックし、デバイス管理ページを開きます。
- 2. [**サーバ**]タブをクリックします。
- [エンコーディング デバイス]をクリックし、エンコーディング デバイス追加インターフ ェイスに入ります。

| Server | 🗂 Group | + IP/Domain 🔹 🖉 Modify 🛛 Delete 😳 Remote Config 🔢 🕤 Refresh All 🛛 Please enter the name for search. | | | | | | | |
|------------------|---------|---|---------------|--|------------|-----------------|------------------|----------------|--------|
| Encoding Device | | Nickname | IP | Device Serial No. | HDD Status | Recording Statu | ıs Signal Status | Hardware Statu | s Conn |
| 1 Storago Server | | 172.10.10.180 | 172.10.10.180 | DS-9016HF-ST1620111108BBRR405648575WCVU | 0 | 0 | 0 | ۲ | 0 |
| | | 172.10.74.41 | 172.10.74.41 | DS-8104AHL-S0420110609BBCH008940911WCVLU | 0 | 6 | 0 | ۲ | 0 |
| | | 172.10.38.180 | 172.10.38.180 | DS-8016HD-S0220090302ABCH010232663WCVU | 0 | 6 | 0 | 9 | 0 |
| | | 172.9.4.43 | 172.9.4.43 | DS-2DF1-5720120121024DDCH412198001W | 0 | 6 | 0 | 8 | 0 |
| | | 172.9.6.45 | 172.9.6.45 | DVR4-15000420130329AAWR419262714WCVU | 0 | 0 | 0 | ۲ | 0 |
| | | 172.9.6.88 | 172.9.6.88 | DS-9016HF-S1620130106BBRR342109898WCVU | 0 | 0 | 0 | ۲ | 0 |
| | | 172.10.10.123 | 172.10.10.123 | DS-2DF1-6720020100513BCCH400562596WC | 0 | 0 | 0 | ۲ | 0 |
| | | 172.9.4.222 | 172.9.4.222 | DS-9116HF-ST1620120107BBRR406642954WCVU | 0 | 6 | 0 | ۲ | 0 |
| | | | | | | | | | |

以下の方法でデバイスを追加することができます:

- デバイスの手動追加
- IP セグメントによるデバイスの追加
- IP サーバによるデバイスの追加
- HiDDNS によるデバイスの追加

デバイスの手動追加

- 1. こアイコンをクリックしてデバイス追加ダイアログ ボックスを開きます。
- 2. ドロップダウンリストから追加モードとして IP/ドメインを選択します。
- 3. 必要な情報を入力します。
ニックネーム:好みに合わせてデバイスの名前を編集します。 アドレス:デバイスの IP アドレスまたはドメイン名で入力します。 ポート:デバイスのポート番号を入力します。デフォルトの値は 8000 です。 ユーザ名:デバイスのユーザ名を入力します。デフォルトでは、ユーザ名は admin です。 パスワード:デバイスのパスワードを入力します。



プライバシーのために、製品のセキュリティを向上できるように、パスワードをあ なた自身が決めたもの(大文字、小文字、数字と記号を含め、最低でも8文字以上) に変更することを強く推奨します。また、定期的にパスワードを再設定し、特にセ キュリティの高いシステムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より 安全に製品を保護できます。

- オプションとして、[グループにエクスポートする]チェックボックスをチェックして、デバイス名によってグループを作成することができます。デバイスのすべてのチャンネルは、デフォルトで対応するグループにインポートされます。
- 5. **[OK]**をクリックし、デバイスを追加します。

| Add | | × |
|--|--|-------------|
| Add Offline Device | | |
| Adding Mode | IP/Domain 🗸 | |
| Nickname | |] |
| Address | | |
| Port | 8000 | |
| User Name | | |
| Password | | |
| Export to Group Set the device name as the device to the group. | e group name and add all the channels connec | sted to the |
| | | |
| | ОК С | ancel |

IP セグメントによるデバイスの追加

- 1. こアイコンをクリックしてデバイス追加ダイアログ ボックスを開きます。
- 2. ドロップダウンリストから追加モードとして IP セグメントを選択します。
- 必要な情報を入力します。
 始点 IP:始点となる IP アドレスを入力します。
 終点 IP:始点 IP と同じネットワーク セグメントに属する、終点となる IP アドレスを入力します。
 ポート:デバイスのポート番号を入力します。デフォルトの値は 8000 です。
 ユーザ名:デバイスのユーザ名を入力します。デフォルトでは、ユーザ名は admin です。
 パスワード:デバイスのパスワードを入力します。



プライバシーのために、製品のセキュリティを向上できるように、パスワードをあ なた自身が決めたもの(大文字、小文字、数字と記号を含め、最低でも8文字以上) に変更することを強く推奨します。また、定期的にパスワードを再設定し、特にセ キュリティの高いシステムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より 安全に製品を保護できます。

- オプションとして、[グループにエクスポートする]チェックボックスをチェックして、デバイスの IP によってグループを作成することができます。デバイスのすべてのチャンネルは、デフォルトで対応するグループにインポートされます。
- 5. [OK]をクリックすると、IP アドレスが始点 IP と終点 IP の間にあるデバイスが、デバイス リストに追加されます。

| Add | × |
|--------------------------|--------------|
| Add Offline Device | |
| Adding Mode | IP Segment 🗸 |
| Start IP | |
| End IP | |
| Port | 8000 |
| User Name | |
| Password | |
| Export to Group | |
| Create group with device | €IP. |
| | |
| | |
| | |
| | OK Cancel |

IP サーバによるデバイスの追加

手順:

- 1. 「アイコンをクリックしてデバイス追加ダイアログ ボックスを開きます。
- 2. ドロップダウン リストから追加モードとして IP サーバを選択します。
- 必要な情報を入力します。
 ニックネーム:好みに合わせてデバイスの名前を編集します。
 サーバ アドレス:IP サーバ アドレスを入力します。
 デバイス ID:IP サーバに登録されたデバイス ID を入力します。
 ユーザ名:デバイスのユーザ名を入力します。デフォルトでは、ユーザ名は admin です。
 パスワード:デバイスのパスワードを入力します。



プライバシーのために、製品のセキュリティを向上できるように、パスワードをあ なた自身が決めたもの(大文字、小文字、数字と記号を含め、最低でも8文字以上) に変更することを強く推奨します。また、定期的にパスワードを再設定し、特にセ キュリティの高いシステムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より 安全に製品を保護できます。

- オプションとして、[グループにエクスポートする]チェックボックスをチェックして、デバイス名によってグループを作成することができます。デバイスのすべてのチャンネルは、デフォルトで対応するグループにインポートされます。
- 5. [OK]をクリックし、デバイスを追加します。

| Add | × |
|--|--|
| Add Offline Device | |
| Adding Mode | IP Server 🗸 |
| Nickname | |
| Server Address | |
| Device ID. | |
| User Name | |
| Password | |
| Export to Group
Set the device name as th
device to the group. | e group name and add all the channels connected to the |
| | OK Cancel |

HiDDNS によるデバイスの追加

手順:

- 1. 🔛アイコンをクリックしてデバイス追加ダイアログ ボックスを開きます。
- 2. ドロップダウン リストから追加モードとして HiDDNS を選択します。
- 3. 必要な情報を入力します。

ニックネーム:好みに合わせてデバイスの名前を編集します。

サーバ アドレス:<u>www.hik-online.com</u>。

デバイス ドメイン名:HiDDNS に登録されたデバイス ドメイン名を入力します。 ユーザ名:デバイスのユーザ名を入力します。デフォルトでは、ユーザ名は admin です。 パスワード:デバイスのパスワードを入力します。



プライバシーのために、製品のセキュリティを向上できるように、パスワードをあ なた自身が決めたもの(大文字、小文字、数字と記号を含め、最低でも8文字以上) に変更することを強く推奨します。また、定期的にパスワードを再設定し、特にセ キュリティの高いシステムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より 安全に製品を保護できます。

- オプションとして、[グループにエクスポートする]チェックボックスをチェックして、デバイス名によってグループを作成することができます。デバイスのすべてのチャンネルは、デフォルトで対応するグループにインポートされます。
- 5. **[OK]**をクリックし、デバイスを追加します。

| Add | | × |
|-------------------------------------|--|------------|
| Add Offline Device | | |
| Adding Mode | Hiddns ~ | |
| Nickname | |] |
| Server Address | www.hik-online.com | |
| Device Domain Name | | |
| User Name | | |
| Password | | |
| Export to Group | | |
| Set the device name as th | e group name and add all the channels connec | ted to the |
| device to the group. | | |
| | | |
| | ОК С | ancel |

注意:[オフライン デバイスの追加]チェックボックスをチェックし、必要な情報とデバイスの チャンネル カウントを入力し、[追加]をクリックします。オフライン デバイスがオンライ ンになるとソフトウェアはそれを自動的に接続します。

問題なく追加されたデバイスは管理用のデバイス リストに表示されます。リストに追加され たデバイスは、ニックネーム、IP アドレス、シリアル番号、リソース使用率、HDD ステータ ス、録画ステータス、その他の情報を確認できます。

[すべて更新]をクリックすると、すべての追加されたデバイスの情報が更新されます。フィ ルタ フィールドにデバイス名を入力して検索することもできます。

デバイスをリストから選択し、[**編集/削除]**をクリックすると、選択したデバイスの情報を編 集/削除できます。

デバイスをリストから選択し、[**リモート設定**]をクリックすると、選択したデバイスに対して、必要に応じて一部のリモート設定を行えます。

16.2.2 デバイスのグループへのインポート

目的:

デバイスの追加が完了したら、管理の簡便化のために、デバイスをグループにインポートすることができます。

- 1. デバイス管理ページを開きます。
- 2. [**グループ**]タブをクリックし、グループ管理インターフェイスを開きます。
- 3. [グループを追加]をクリックしてグループ追加ダイアログ ボックスを開きます。
- 4. グループ名を入力し、[OK]をクリックして新しいグループを作成します。
- 5. [インポート]をクリックし、デバイス インポート インターフェイスに入ります。
- デバイス リストからエンコーディング チャンネルを選択し、グループ リストからグル ープを選択します。
- 7. **[インポート選択]**をクリックして、選択したエンコーディング チャンネルをグループに インポートします。

[**すべてインポート**]をクリックしてすべてのエンコーディング チャンネルを選択したグ ループにインポートすることもできます。

| Add group × | Import | × |
|-------------|--|--------|
| Name | Encoding Channel Select device All Encoding Channel Please enter the name for search. 0 - 172.10.10.180 0 - 172.10.20.3180 0 - 172.96.45 0 - 172.96.45 0 - 172.9.645 0 - 172.9.422 0 - 0 - 0 - 172.9.422 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 172.9.4222 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 172.9.4222 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 - 0 | |
| | | Closed |

[追加]をクリックして新しいグループをグループ リストに追加できます。

グループ/カメラを選択して[**編集**]をクリックすると、グループ/カメラの情報を編集できます。 グループ/カメラを選択して[**削除**]をクリックすると、すべてのカメラ/選択したカメラをグル ープから削除できます。

グループを削除する場合、グループ管理インターフェイス上のリストからグループを選択し、 [グループ削除]ボタンをクリックします。

16.3 ライブ ビュー

目的:

ライブ ビュー ページでは、追加したカメラのライブ ビューを表示し、画像のキャプチャー、 録画、PTZ 操作などの基本的な操作を行うことができます。

始める前に:

ライブ ビューにはカメラ グループの定義が必要です。

[**ライブ ビュー**]タブをクリックし、ライブ ビュー ページを開きます。

| 2amera ≥ Search | | | |
|--|--|-----|--------|
| • 172.10.10.180
• 172.10.71.41
• 172.9.4.43 | | | |
| | | | |
| | | | |
| Video Settings | | ∉ ⇒ | <0 Q 1 |
| Image: Second System 96 Image: Second System 96 Image: Image: Second System 96 Image: Image: Second System 96 Image: Image: Image: Second System 96 Image: Image: Second System 96 Image: Image: Image: Image: Second System 96 Image: Image: Second System 96 Image: Image: Image: Image: Image: Second System 96 Image: Image: Second System 96 Image: | | | |

16.3.1**ライブ ビューの開始**

- 1. ライブ ビュー ページを開きます。
- オプションとして、ライブ ビュー ツールバーの■アイコンをクリックして、画面レイ アウト モードを選択できます。
- カメラを表示ウィンドウにクリック アンド ドラッグするか、または表示ウィンドウを 選択してカメラ名をダブル クリックすることでライブ ビューを開始できます。



| ライブ | ビュー ツールバー: | | |
|------------|---------------------|-------------------------|---------------------------|
| - 1 | · · | | |
| ライブ | ビュー ページでは、以 | 下のツールバー ボタンが利用でき | きます: |
| 🔲 じ弐ウ | ビュ _ む中 | 画面レイアウト モードを設定し | 、ます。4 種類の画面レイアウト |
| | しユー設定 | モードが選択可能です:1 画面、4 | 4 画面、9 画面、16 画面。 |
| • | ライブ ビューの停
止/開始 | すべてのカメラのライブ ビュー | -を停止/開始します。 |
| 0 | キャプチャ | ライブ ビュー プロセスの中の | 画像をキャプチャーします。 |
| 0 | 録画の開始/停止 | 手動録画を開始/停止します。ビ
れます。 | デオ ファイルは PC に保存さ |
| - | 前へ | 前のページのライブ ビューに移 | 多動します。 |
| ⇒ | 次へ | 次のページのライブ ビューに移 | 多動します。 |
| 1 0 | ミュート/音声オン | ライブ ビューの音声のオン/オ | フを切り替えます。 |
| Q | デジタル ズーム | デジタル ズーム機能を有効化/タ | 無効化します。 |
| 1=1 | 今 面 西 | ライブ ビューを全画面モードで | 『表示します。 ESC を押して抜け |
| | ト軍軍 | ることができます。 | |

16.3.2 PTZ 操作機能

目的:

パン/チルト/ズーム機能を備えたカメラを、ウェブ ブラウザから操作することができます。 カメラのプリセット、パトロールおよびパターンを設定することもできます。 ²アイコンをクリックし、ライブ ビュー上に PTZ コントロール パネルを展開します。

| PTZ C | ontrol | | | | ÷ |
|--------------------------------------|--------------------------------------|------|-----|----|------------|
| • | | • | + | ٩ | - |
| | U | ► | + | | - |
| | • | 4 | + | 0 | - |
| | | -(|)— | | - + |
| \simeq | Q | 1 | | | :: |
| | | Det | - | De | tral |
| Pre | set | Pau | lem | Pa | uroi |
| Pre | set1 | Pau | lem | Pa | |
| Pres
Pres
Pres | set1
set2 | Pau | lem | Pa | |
| Pres
Pres
Pres
Pres | set1
set2
set3 | Pau | lem | Pa | |
| Pres
Pres
Pres
Pres | set1
set2
set3
set4 | Fall | lem | Pa | |
| Pres
Pres
Pres
Pres
Pres | set1
set2
set3
set4
set5 | Fall | lem | Fa | |

プリセットの設定

プリセットを追加するには以下の手順を実行します:

1. [プリセット]ボタンをクリックして PTZ プリセット設定パネルに入ります。

2. 方向ボタンをクリックして必要な視野が得られるようカメラを操作します。

プリセット リストから PTZ プリセット番号を選択し、 アイコンをクリックします。
 設定したプリセットを呼び出すには、リストからプリセットを選択し、 アイコンをクリックします。

設定したプリセットを削除するには、リストからプリセットを選択し、 XXアイコンをクリックします。

| PTZ Co | ontrol | | | | × |
|------------------------------|---------------------------------|------|-----|-----------|------|
| | | • | + | ٩ | - |
| • | υ | • | + | | - |
| | • | • | + | 0 | - |
| | | _ | | | - |
| \mathbb{Z} | ۵ | 1 | | | :: |
| Pres | et | Patt | ern | Pat | trol |
| Pres | | | | | |
| 1100 | et1 | | 6 |) 🖉 🤉 | ۲. |
| Pres | et1
et2 | | e |) /)
 | |
| Pres
Pres | et1
et2
et3 | | Ç | | < |
| Pres
Pres
Pres | et1
et2
et3
et4 | | C |) /) | < |
| Pres
Pres
Pres
Pres | et1
et2
et3
et4
et5 | | 0 | | < |

パターンの設定

- 1. [パターン]ボタンをクリックして PTZ パターン設定パネルに入ります。
- 2. 🔍をクリックしてパターン経路の記録を開始します。
- 3. 方向ボタンを使って PTZ の動作を操作してください。
- 4. 🌑をクリックしてパターン記録を停止し、保存します。
- 5. ▶ アイコンをクリックしてパターンの呼び出しができます。パターンの呼び出しを停止 するには■をクリックしてください。

注意:設定できるパターンは1つだけで、新しく定義したパターンは以前のパターンを上書き します。

| PTZ C | ontrol | | | | 2 |
|----------|--------|-----|------|----|------|
| | | 4 | + | ۵ | - |
| • | U | • | + | | |
| | • | 4 | + | 0 | - |
| | | -(|)— | | - + |
| Σ | ۵ | | • | | :: |
| Pre | set | Pat | tern | Pa | trol |
| | | • | | 0 | 0 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

パトロールの設定

始める前に:

1つのカメラに対して2つ以上のプリセットを追加しておく必要があります。

パトロールを追加するには以下の手順を実行します:

- 1. [パトロール]ボタンをクリックして PTZ パトロール設定パネルに入ります。
- 2. ドロップダウン リストから、トラック番号を選択します。
- 3.
 ¹ をクリックしてプリセットを追加して、プリセットの滞留時間と、そのプリセットへのパトロール速度を設定します。
- 4. 上記の操作を繰り返して、パトロールする他のプリセットを追加します。
- 5. オプションとして、 Wまたは ©をクリックし、パトロール経路のプリセットを編集また は削除できます。
- ▶ アイコンをクリックしてパトロールの呼び出しができます。パトロールの呼び出しを 停止するには■をクリックしてください。

注意:

- 最大 16 のパトロールを設定できます。
- プリセットの滞留時間は1から255秒までで設定でき、パトロールの速度はレベル1から40までで設定できます。

| PIZ Control S | |
|--|---|
| • • • • • • • | |
| < ⁽¹⁾ + ⁽¹⁾ - | |
| × • • • • - | |
| | |
| S 🔍 🕈 🌗 🖸 | |
| | |
| Preset Pattern Patrol | |
| Preset Pattern Patrol | Add Patrol No. × |
| Preset Pattern Patrol Path1 Path1 | Add Patrol No. × Preset |
| Preset Pattern Patrol Path1 Path1 Path1 | Add Patrol No. × Preset Preset1 Dwell Time(s) |
| Preset Pattern Patrol Path1 Path1 | Add Patrol No. × Preset Preset1 • Dwell Time(s) |

16.3.3ビデオ設定機能

目的:

よりよい映像効果を生成するために、輝度、コントラスト、色飽和度および色相を含むビデオパラメータを設定することができます。

手順:

- 1. 「アイコンをクリックし、ライブ ビュー上にビデオ設定パネルを展開します。
- 2. スライダーを動かして、ライブ ビューの輝度、コントラスト、色飽和度または色相を調 整します。
- 3. [デフォルト値]をクリックすると、ビデオ パラメータのデフォルトを復元することができます。

| Video Settings | | × |
|----------------|----|-----|
| Brightness | | |
| | -0 | - + |
| Contrast | | |
| | -0 | |
| Saturation | | |
| | -0 | - + |
| Hue | | |
| | -0 | - + |
| Default Val | ue | |

16.4 再生

目的:

HDD、Net HDD およびローカル デバイス上の SD/SDHC カードなどのストレージ デバイスに 保存されたビデオ ファイルは、ウェブ ブラウザを通じてリモートから検索して再生するこ とができます。 [再生]タブをクリックして再生ページを開きます。

| Camera | 6 | Playback | Searc | h Results | | | | | | | |
|--|----------|------------------|----------|-----------|-------|-------------------|---|-------|-------|-------|-----------------|
| Search | P Wind | low01: | | | 00 | 00-00-00 00:00:00 | Window02: | | | 0000- | -00-00 00:00:00 |
| IPC1 IPC1_Camera1 IPC2 IPC2 IPC2 IPCP IPDome | | | | | | | | | | | |
| | Wind | | | | | | | | | | |
| From 2013-05-02 00:00:00 | | | | | | | | | | | |
| By card number | | | | | | | 0 0 | | | | <0 E |
| File Type
All | Vi
Wi | ndow01 ndow02 | 3:00 14: | 00 15:00 | 16:00 | 17:00 | 18:00
2013-05-02 18:52:49 ^{20:00} | 21:00 | 22:00 | 23:00 | 00:00 |
| Q. Search | Wi | ndow03
ndow04 | | | | | | | | | |

再生ツールバー:

| 再生ペ | ージでは、以下のツールバ | ー ボタンが利用できます: | |
|-----------------------|--------------|--------------------|---------------|
| | | 画面レイアウト モードを設定しる | ます。4 種類の画面レイ |
| | ビュー設定 | アウト モードが選択可能です:1 🛙 | 画面、4 画面、9 画面、 |
| | | 16 画面。 | |
| | 再生の停止/開始 | すべてのチャンネルの再生を停止 | /開始します。 |
| 0 | キャプチャ | 再生プロセスの画像をキャプチャ | ーします。 |
| 0 🚱 | 切り取りの開始/停止 | ビデオ ファイルのクリッピングを | を開始/停止します。 |
| 4 0 4) | ミュート/音声オン | 再生音声のオン/オフを切り替えま | ミす。 |
| - | 今雨 五 | 再生を全画面モードで表示します | 。ESC を押して抜ける |
| | 土圓風 | ことができます。 | |

16.4.1ビデオ ファイルの検索

手順:

- 1. 再生ページを開きます。
- 2. リストから検索するカメラを選択します。
- 3. 1 アイコンをクリックして検索範囲の開始時刻と終了時刻を指定します。
- 4. [検索]をクリックします。選択したカメラのビデオ ファイルは検索結果タブ ページに表示されます。

注意:

- ビデオ ファイルをカード番号で検索(ATM DVR にのみ適用)、あるいはファイル タイプ で検索できます。
- 最大 16 までのカメラが同時に検索できます。

| 🐔 Playb | ack 🛛 🖳 Search | Results | | | | |
|----------|----------------------|---------------------|---------------------|-------------|-----------|--------------------|
| ile List | | | | | | |
| Index | Camera | Start Time | End Time | Record Type | File Size | Play |
| 1 | 172.10.74.41_Camera1 | 2013-05-10 00:00:00 | 2013-05-10 00:00:01 | Time | 0MB | 0 |
| 2 | 172.10.74.41_Camera1 | 2013-05-10 00:00:02 | 2013-05-10 03:26:55 | Time | 173MB | 0 |
| 3 | 172.10.74.41_Camera1 | 2013-05-10 03:26:55 | 2013-05-10 08:30:14 | Time | 254MB | 0 |
| 4 | 172.10.74.41_Camera1 | 2013-05-10 08:30:14 | 2013-05-10 11:26:21 | Time | 148MB | 0 |
| 5 | 172.10.74.41_Camera2 | 2013-05-10 00:00:00 | 2013-05-10 00:00:01 | Time | OMB | 0 |
| 6 | 172.10.74.41_Camera2 | 2013-05-10 00:00:02 | 2013-05-10 04:32:27 | Time | 234MB | 0 |
| 7 | 172.10.74.41_Camera2 | 2013-05-10 04:32:27 | 2013-05-10 09:28:33 | Time | 254MB | 0 |
| 8 | 172.10.74.41_Camera2 | 2013-05-10 09:28:33 | 2013-05-10 11:26:34 | Time | 101MB | 0 |
| 9 | 172.10.74.41_Camera3 | 2013-05-10 00:00:00 | 2013-05-10 00:00:02 | Time | 0MB | 0 |
| 10 | 172.10.74.41_Camera3 | 2013-05-10 00:00:02 | 2013-05-10 04:31:21 | Time | 227MB | Q |
| 11 | 172.10.74.41_Camera3 | 2013-05-10 04:31:21 | 2013-05-10 09:35:47 | Time | 254MB | 0 |
| 12 | 172.10.74.41_Camera3 | 2013-05-10 09:35:47 | 2013-05-10 11:25:46 | Time | 92MB | Q |
| 13 | 172.10.74.41_Camera4 | 2013-05-10 00:00:00 | 2013-05-10 00:00:02 | Time | 0MB | 0 |
| Total | 17 records | | | | | << < 1 > >> Page > |

16.4.2ビデオ ファイルの再生

ビデオ ファイルを検索した後、以下の2つの方法でビデオ ファイルを再生することができます:

ファイル リストによる再生
 検索結果リストからビデオ ファイルを選択し、
 アイコンをクリックして再生表示ウィンドウにビデオを再生します。



タイムラインによる再生

タイムラインはビデオ ファイルの時間の長さを示しています。タイムラインをクリッ クすることでビデオ ファイルの特定の時間を再生することができます。

ここまたは**こ**をクリックして、タイムライン バーを拡大または縮小することができます。

マウス ホイールを利用してタイムラインに対するズーム インまたはズーム アウトを 行うことができます。

| Playback Search Results | | | |
|----------------------------------|---------------------|---|---------------------|
| Window01:IPC2_Camera1 | 2013-05-03 08:49:05 | Window02: | 0000-00-00 00:00:00 |
| | | | |
| Window03: | 0000-00-00 00:00:00 | | |
| | | | |
| | | 6 | • |
| 2:00 14:00 16:00 | 18:00 20:00 22:00 2 | 00:00 02:00 04:00
013-05-03 00:00:00 | 06:00 08:00 10:00 1 |
| Window01
Window02
Window03 | | | |
| Window 04 | | | |

マウス ポインタを再生中の表示ウィンドウに移動するとツールバーが表示されます。 各再生表示ウィンドウのツールバー:

|| 🔳 < 🕨 🕨 👱

再生表示ウィンドウでは、以下のツールバー ボタンが利用できます:

| | 再生の一時停止/再開 | ビデオ ファイル再生を一時停止/再開します。 |
|---|------------|-----------------------------|
| | 再生を停止 | すべてのカメラの再生を停止します。 |
| | スロー再生 | ビデオ ファイル再生速度を遅くします。 |
| | 高速再生 | ビデオ ファイル再生速度を速くします。 |
| | シングル フレーム | ビデオ ファイルを1フレームずつ再生します。 |
| ₽ | ダウンロード | ビデオ ファイルをバックアップ用にダウンロードします。 |

16.5 アカウント管理

目的:

クライアントの別のアカウントをウェブ ブラウザを通じて追加できます。追加したユーザに 権限をアサインすることもできます。追加したユーザはスーパー管理者として設定されます。 [アカウント管理]タブをクリックし、アカウント管理ページを開きます。

| User List | 🕂 Add 🛛 🖉 Modify 🔀 I | Delete |
|-----------|----------------------|------------|
| Index | User Name | User Type |
| 1 | root | Super User |
| | | |
| | | |
| | | |

16.5.1**ユーザの追加**

手順:

1. アカウント管理ページを開きます。

- 2. [追加]をクリックしてユーザ追加ダイアログボックスを開きます。
- 3. ユーザ種別を選択します。ユーザ種別を管理者または操作者として設定します。
- 4. ユーザ名、パスワードおよび確認パスワードを任意で入力します。
- 5. チェックボックスをチェックして作成するユーザの権限をアサインします。
- オプションとして、[デフォルト権限]をクリックして、そのユーザのデフォルトの権限を 復元することができます。
- 7. [保存]をクリックして設定を保存します。



- ◆ ユーザ名には以下の文字を利用することはできません:/¥:*?"<>|.また、パスワードの長さは6文字未満にはできません。
- ◆ プライバシーのために、製品のセキュリティを向上できるように、パスワードをあ なた自身が決めたもの(大文字、小文字、数字と記号を含め、最低でも 8 文字以上) に変更することを強く推奨します。
- ◆ すべてのパスワードやその他のセキュリティの適切な設定は、設置者および/または エンドユーザの責任です。

注意:最大 50 までのアカウントをクライアントソフトウェアに追加できます。

| Add User | | | | | |
|-----------------|---------------------|---|------------------|--------------------|------|
| User Infomation | | | | | |
| User Type | Administrator | ~ | User Name | | |
| Password | | | Confirm Password | | |
| User Privilege | | | | | |
| All | | | V IPC1 | | * |
| Live View | | Π | | C1_Camera1 | |
| PTZ Control | | | V IPC2 | | E |
| Capture | | | | 2_Camera1 | |
| Record | | | 🖃 🥑 DVR | | |
| Camera Settir | ngs | | - 🖌 DV | R_Camera1 | |
| Playback rem | ote record file(s) | | - 🖌 DV | R_Camera2 | |
| Download ren | note record file(s) | | 🖌 DV | R_Camera3 | |
| Remote Reco | rding | | 🖌 DV | R_Camera4 | |
| | lia | | - 🗸 DV | R_Camera5 | |
| Cupebrenizati | | | - 🖌 DV | R_Camera6 | |
| Synchronizau | UII | | - 🖌 DV | R_Camera7 | |
| Picture backu | p | | - 🖌 DV | R_Camera8 | |
| Backup Record | /d File(s) | | - 🗸 DV | R_Camera9 | - |
| | | | l | Default Permission | Save |

16.5.2ユーザ管理

目的:

新しく作成したユーザ アカウントはユーザ リストに追加されます。ユーザ アカウントの情 報を編集または削除できます。

ユーザの情報を編集するには、ユーザをユーザリストから選択し、[編集]をクリックします。 ユーザの情報を削除するには、ユーザをユーザリストから選択し、[削除]をクリックします。

16.6 システム設定

目的:

ネットワーク性能、再生性能およびファイルの保存先パスなどの一般的なパラメータは、ウ ェブ ブラウザを通じて設定できます。

[システム設定]タブをクリックし、システム設定ページを開きます。

| Network Transmission | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|--|
| Network Performance | ○ Normal ○ Better ● Best | |
| Play Performance | Real Time 🗸 | |
| Saving Path | | |
| Saving Path of Video File | C:\Users\zhangxiu\BSWeb\Video | |
| Saving Path of Pictures | C:\Users\zhangxiu\BSWeb\Capture | |
| Saving Path of Configuration File | C:\Users\zhangxiu\BSWeb\Config | |
| | | |
| | Default Value Save | |

- 1. システム設定ページを開きます。
- 2. ネットワーク性能および再生性能を設定します。 アイコンをクリックして、ファイル のためのローカル保存先パスを選択します。詳細については表 16.1 システム パラメー タを参照してください。
- オプションとして、[デフォルト値]をクリックして、すべてのシステムパラメータのデフ ォルトを復元できます。
- 4. [保存]をクリックして設定を保存します。

表 16.1 システム パラメータ

| パラメータ | 説明 |
|------------|-----------------------------------|
| ネットワーク パフォ | 現在のネットワーク状態です。正常、良好、最高のいずれかに設定 |
| ーマンス | できます。 |
| 百८姓代 | ライブ ビデオ再生の性能です。「最小遅延」、「リアルタイム」、「バ |
| 中工に肥 | ランス」または「滑らかさ」から設定できます。 |
| ビデオ ファイルの保 | 手動録画によって録画されたビデオ ファイルの保存先パスです。 |
| 存先パス | |
| 両角の保方生パフ | ライブ ビューまたは再生におけるキャプチャー画像の保存先パス |
| 画像の休行元ハス | です。 |
| 設定ファイルの保存先 | システム設定ファイルの保存先パスです。 |
| パス | |

トラブル シューティング

ライブ ビュー

問題:

● 特定のデバイスからのライブ ビュー取得に失敗する。

可能性のある原因:

- ネットワークが不安定であるか、ネットワーク性能が十分でない。
- 機器がオフラインである。
- リモート デバイスへのアクセス集中により、デバイスの負荷が高くなりすぎている。
- 現在のユーザがライブ ビューの権限を与えられていない。
- クライアント ソフトウェアのバージョンが必要なバージョンより前のものである。
 解決法:
- ネットワーク状態をチェックし、お使いの PC で使われていないプロセスを無効にして ください。
- デバイスのネットワーク ステータスをチェックしてください。
- デバイスを再起動するか、デバイスへの他のリモート アクセスを無効にしてください。
- 管理者ユーザでログインして再試行してください。
- クライアント ソフトウェアの最新バージョンをダウンロードしてください。

録画

問題:

● ローカル録画とリモート録画の違いがわからない。

解決法:

- このマニュアルでのローカル録画とは、ローカル デバイスの HDD、SD/SDHC にビデオ フ ァイルを保存する録画のことを指します。
- リモート録画はリモート デバイス側のクライアントによって命令される録画アクションのことを指します。

再生

問題:

● ビデオ ファイルのダウンロードに失敗する、またはダウンロード速度が遅すぎる。

可能性のある原因:

- ネットワークが不安定であるか、ネットワーク性能が十分でない。
- NIC 種別の互換性がない。
- リモート デバイスへのアクセスが集中している。
- 現在のユーザが再生の権限を与えられていない。
- クライアント ソフトウェアのバージョンが必要なバージョンより前のものである。 解決法:
- ネットワーク状態をチェックし、お使いの PC で使われていないプロセスを無効にして ください。
- クライアントを実行している PC をデバイスに直接接続し、NIC カードの互換性を確認してください。

- デバイスを再起動するか、デバイスへの他のリモート アクセスを無効にしてください。
- 管理者ユーザでログインして再試行してください。
- クライアント ソフトウェアの最新バージョンをダウンロードしてください。



Made in China